

工 事 設 計 書

工事設計書のダウンロードにあたって

知り得た情報は、関東地方整備局以外の者の権利を含む場合があるため、ダウンロードを行った個人又は法人における1次利用に限るものとし、有償無償に関わらず「第三者への提供行為※」を行わないでください。

※「他の第三者への提供行為」・・・PDFデータのまま、あるいは、紙に出力して等の手段に関わらず、ダウンロードを行った個人又は法人以外の他者による2次利用につながる一切の行為を指します。

国土交通省 関東地方整備局
横浜国道事務所

鏡

1. 工事名

工事名	R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事
工事地名	神奈川県横浜市戸塚区汲沢町地先

2. 工事内容

1) 発注年月	令和 7年 8月	1 2) 設 計 年 月	令和 7年10月
2) 事務所名	横浜国道事務所 工務課	1 3) 機械損料一括補正	0 労務費一括割増 0%
3) 工事番号	2025120026	1 4) 単価適用年月	2025年12月
4) 契約区分	単年度（繰越を含む）の分任官	1 5) 歩掛適用年月	2025年12月
5) 変更回数	0回	1 6) 前請負工事費	0
6) 主 工 種	河川・道路構造物工事	1 7) 前請負代金額	0
7) 工 事 量		1 8) 調 整 区 分	0
8) 工 期	239日間 自 令和 8年 4月 6日 (当初) 至 令和 8年11月30日 (0回変更) 至 年 月 日	1 9) 共通仮設費対象額	
9) 施 工 県	神奈川県	2 0) 現場管理費対象額	
1 0) 地 区	横浜地区	2 1) 一般管理費等対象額	
1 1) 河川・路線	一般国道 4 6 8 号	2 2) 処 分 費 等	30, 313, 690
		2 3) 公 告 日	令和 7年12月 1日
		2 4) 入 札 締 切 日	年 月 日

3. 予算科目

1) 予算科目：	2) 目：	3) 目の細分：	4) 事業名：

設計内訳書

工事名	R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事 (当 初)					事業区分	道路新設・改築		
						工事区分	橋梁下部		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
橋梁下部			式	1		1, 200, 414			
工場製作工			式	1		1, 200, 414			
アンカーフレーム製作工			式	1		1, 200, 414			
製作加工		SM400A、SM490YB							単-1号
			t	0. 98	483, 100	473, 438			
アンカーボルト (1)		φ 65×1040							単-2号
			組	16	15, 910	254, 560			
アンカーボルト (2)		φ 60×790							単-3号
			組	32	11, 030	352, 960			
アンカーボルト (3)		φ 50×930							単-4号
			組	16	7, 466	119, 456			
間接労務費			式	1		102, 399			
工場純工事費			式	1		1, 302, 813			
工場管理費			式	1		118, 378			
(工場製作原価)			式	1		1, 421, 191			
橋梁下部			式	1		170, 412, 862			

設計内訳書

工事名	R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事 (当 初)					事業区分	道路新設・改築		
						工事区分	橋梁下部		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
工場製品輸送工			式	1		47,840			
輸送工			式	1		47,840			
輸送		アンカーフレーム	t	2.6	18,400	47,840			単-5号
作業ヤード整備工			式	1		48,413,870			
作業ヤード整備工			式	1		48,413,870			
掘削		土砂 オープンカット 押土無 障害無 5,000m3未満	m3	2,900	345.7	1,002,530			単-6号
積込(ルース)		土砂	m3	3,100	251.4	779,340			単-7号
土砂等運搬 (現場～UCR)		土砂(岩塊・玉石混り土 含む)	m3	2,900	3,922	11,373,800			単-8号
土砂等運搬 (ヤード～UCR)		土砂(岩塊・玉石混り土 含む)	m3	3,100	3,922	12,158,200			単-9号
残土等処分			m3	6,000	3,850	23,100,000			単-10号
歩道橋本体工			式	1		44,729,939			
作業土工			式	1		3,416,120			

設計内訳書

工事名	R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事 (当 初)					事業区分	道路新設・改築		
						工事区分	橋梁下部		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
床掘り (1)		土砂	m3	200	317.8	63,560			単-11号
床掘り (2)		土砂 小規模	m3	240	2,396	575,040			単-12号
埋戻し (1)		土砂	m3	160	2,159	345,440			単-13号
埋戻し (2)		土砂 小規模	m3	20	4,335	86,700			単-14号
基面整正			m2	18	540.6	9,730			単-15号
土砂等運搬 (1) (現場~UCR)		土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	20	3,922	78,440			単-16号
土砂等運搬 (2) (現場~UCR)		土砂(岩塊・玉石混り土含む) 小規模	m3	210	6,301	1,323,210			単-17号
残土等処分			m3	240	3,850	924,000			単-18号
UCR基本料			式	1		10,000			内-1号
既製杭工			式	1		33,737,327			
既製コンクリート杭 (1)		PHC杭 杭径 600mm 杭長 29m 杭の打込長 (掘削長) 30.3m	本	6	807,500	4,845,000			単-19号
既製コンクリート杭 (2)		PHC杭 杭径 600mm 杭長 27m 杭の打込長 (掘削長) 30m	本	4	761,900	3,047,600			単-20号

設計内訳書

工事名	R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事 (当 初)					事業区分	道路新設・改築		
						工事区分	橋梁下部		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
既製ｺﾝｸﾘｰﾄ杭 (3)		PHC杭 杭径 600mm 杭長 27m 杭の打込長 (掘削長) 30m	本	4	761,900	3,047,600			単-21号
鋼管杭 (1)		鋼管径(杭径) 500mm 鋼管長さ(杭長) 26.5 m	本	4	2,599,000	10,396,000			単-22号
鋼管杭 (2)		鋼管径(杭径) 500mm 鋼管長さ(杭長) 28m	本	4	2,629,000	10,516,000			単-23号
積込(ﾙｰｽﾞ) (1)		土砂							単-24号
			m3	60	322.5	19,350			
積込(ﾙｰｽﾞ) (2)		土砂 小規模							単-25号
			m3	40	1,170	46,800			
土砂等運搬 (1) (現場~UCR)		土砂(岩塊・玉石混り土 含む)							単-26号
			m3	60	3,922	235,320			
土砂等運搬 (2) (現場~UCR)		土砂(岩塊・玉石混り土 含む) 小規模							単-27号
			m3	40	6,301	252,040			
残土等処分									単-28号
			m3	100	3,850	385,000			
殻運搬		ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)							単-29号
			m3	1	3,224	3,224			
殻処分		ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)							単-30号
			m3	1					
現場取卸(PHC杭)									単-31号
			t	146.2	6,245	913,019			
現場取卸(鋼管杭)									単-32号
			t	24.8	962.7	23,874			

設計内訳書

工事名	R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事 (当 初)					事業区分	道路新設・改築		
						工事区分	橋梁下部		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
橋脚フーチング工			式	1		3,654,422			
基礎材	再生クラッシュラン40～0 17.5cmを超え20.0cm以下	m2	34	1,502	51,068				単-33号
均しコンクリート	18-8-25(20)(高炉) 敷厚 10 c m	m2	34	4,730	160,820				単-34号
アンカーフレーム架設		基	4	133,900	535,600				単-35号
型枠	一般型枠	m2	68	10,760	731,680				単-36号
箱抜型枠	円形型枠	m2	1	14,560	14,560				単-37号
鉄筋 (1)	SD345 D13	t	0.02	179,600	3,592				単-38号
鉄筋 (2)	SD345 D16～25	t	2.17	177,600	385,392				単-39号
鉄筋 (3)	SD345 D16～25	t	0.76	177,600	134,976				単-40号
機械式鉄筋定着 (1)	D13 1m<L≤2m	箇所	12	297	3,564				単-41号
機械式鉄筋定着 (2)	D22 1m<L≤2m	箇所	148	490	72,520				単-42号
コンクリート	24-12-25(20)(高炉) 一般養生 コンクリート夜間 割増無	m3	49	31,850	1,560,650				単-43号

設計内訳書

工事名	R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事 (当 初)					事業区分	道路新設・改築		
						工事区分	橋梁下部		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
橋台躯体工(構造物単位)			式	1		3,246,708			
逆T式橋台	5m以上7m未満 50m3以上90m3未満 24-12-25(20)(高炉)	m3	52	55,740	2,898,480				単-44号
鉄筋 (1)	SD345 D13	t	0.5	179,600	89,800				単-45号
鉄筋 (2)	SD345 D16～25	t	1.32	177,600	234,432				単-46号
機械式鉄筋定着 (1)	D13 1m<L≤2m	箇所	56	297	16,632				単-47号
機械式鉄筋定着 (2)	D16 1m<L≤2m	箇所	16	337	5,392				単-48号
円筒型枠	φ 150	m	4	493	1,972				単-49号
橋台躯体工		式	1		675,362				
基礎材	再生クワッチャン40～0 17.5cmを超え20.0cm以下	m2	11	1,502	16,522				単-50号
均しコンクリート	18-8-25(20)(高炉) 敷厚 10 c m	m2	11	5,012	55,132				単-51号
コンクリート	24-12-25(20)(高炉) 一般養生 コンクリート夜間割増無	m3	9	31,850	286,650				単-52号
鉄筋 (1)	SD345 D13	t	0.02	179,600	3,592				単-53号

設計内訳書

工事名	R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事 (当 初)					事業区分	道路新設・改築		
						工事区分	橋梁下部		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
鉄筋 (2)		SD345 D16～25	t	0.49	177,600	87,024			単-54号
機械式鉄筋定着		D13 1m<L≤2m	箇所	16	297	4,752			単-55号
型枠		一般型枠	m2	19	10,760	204,440			単-56号
円筒型枠		φ 125 L=320mm	m	3	5,750	17,250			単-57号
橋台工			式	1		48,010,227			
作業土工			式	1		12,655,830			
床掘り (1)		土砂 小規模	m3	50	2,396	119,800			単-58号
床掘り (2)		土砂	m3	1,300	317.8	413,140			単-59号
埋戻し			m3	1,200	1,170	1,404,000			単-60号
積込(ルース)		土砂 土量50,000m3未満	m3	1,200	251.4	301,680			単-61号
土砂等運搬 (1) (現場～UCR)		土砂(岩塊・玉石混り土含む) 小規模	m3	50	6,301	315,050			単-62号
土砂等運搬 (2) (現場～UCR)		土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	1,280	3,922	5,020,160			単-63号

設計内訳書

工事名	R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事 (当 初)					事業区分	道路新設・改築		
						工事区分	橋梁下部		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
残土等処分			m3	1,320	3,850	5,082,000			単-64号
場所打杭工			式	1		22,075,304			
場所打杭 (1)		杭径 1200mm 杭長(設計長) 35.5m	本	2	4,073,000	8,146,000			単-65号
場所打杭 (2)		杭径 1200mm 杭長(設計長) 26.5m	本	4	3,064,000	12,256,000			単-66号
積込(ルーズ)		土砂	m3	200	322.5	64,500			単-67号
土砂等運搬 (現場~UCR)		土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	200	3,922	784,400			単-68号
残土等処分			m3	200	3,850	770,000			単-69号
殻運搬		コンクリート殻(無筋)	m3	7	2,602	18,214			単-70号
殻処分		コンクリート殻(無筋)	m3	7					単-71号
橋台躯体工			式	1		13,279,093			
基礎材		再生クラッシュ40~0 17.5cmを超え20.0cm以下	m2	39	1,502	58,578			単-72号
均しコンクリート		18-8-25(20)(高炉) 敷厚 10 c m	m2	39	4,451	173,589			単-73号

設計内訳書

工事名	R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事 (当 初)					事業区分	道路新設・改築		
						工事区分	橋梁下部		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
コンクリート		24-12-25 (高炉) 一般養生 コンクリート夜間 割増無	m3	172	27,130	4,666,360			単-74号
鉄筋 (1)		SD345 D13	t	1.08	179,600	193,968			単-75号
鉄筋 (2)		SD345 D16～25	t	7.17	177,600	1,273,392			単-76号
鉄筋 (3)		SD345 D29～32	t	5.16	178,600	921,576			単-77号
鉄筋 (4)		SD345 D35	t	1.88	181,700	341,596			単-78号
機械式鉄筋定着 (1)		D13 1m<L≤2m	箇所	67	297	19,899			単-79号
機械式鉄筋定着 (2)		D16 1m<L≤2m	箇所	12	337	4,044			単-80号
機械式鉄筋定着 (3)		D16 2m<L≤3m	箇所	20	402	8,040			単-81号
機械式鉄筋定着 (4)		D22 1m<L≤2m	箇所	40	490	19,600			単-82号
型枠		一般型枠	m2	330	10,760	3,550,800			単-83号
円筒型枠		φ 150 L=520,560mm	m	3	8,645	25,935			単-84号
支保 (1)		f≤40kN/m2[t≤120cm]	空m3	0.2	5,684	1,136			単-85号

設計内訳書

工事名	R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事 (当 初)					事業区分	道路新設・改築		
						工事区分	橋梁下部		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
支保 (2)		40kN/m2<f≦80kN/m2[1 20<t≦250cm]	空m3	30	6,944	208,320			単-86号
足場		安全ネット必要	掛m2	310	5,846	1,812,260			単-87号
区画線工			式	1		797,578			
区画線工 【夜間】			式	1		797,578			
溶融式区画線 (1)		溶融式手動 実線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装 無	m	280	501.5	140,420			単-88号
溶融式区画線 (2)		溶融式手動 破線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装 無	m	59	538.8	31,789			単-89号
区画線消去		削取り式	m	627	997.4	625,369			単-90号
歩道切回し工			式	1		1,725,193			
路体盛土工			式	1		55,728			
路体(築堤)盛土		2.5m以上4.0m未満	m3	60	928.8	55,728			単-91号
透水性舗装工			式	1		340,953			
下層路盤(歩道部)		再生クワッシャー RC-40 仕 上り厚 100mm	m2	121	921.8	111,537			単-92号

設計内訳書

工事名	R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事 (当 初)					事業区分	道路新設・改築		
						工事区分	橋梁下部		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
表層		開粒度アスコン 13 1.4m以上2.4m未満 舗装厚 40mm	m2	121	1,896	229,416			単-93号
コンクリート舗装工			式	1		27,203			
下層路盤(歩道部)		再生クラッシュラン RC-40 仕上り厚 100mm	m2	3	921.8	2,765			単-94号
コンクリート舗装		18-8-25(20)(高炉) 舗装厚 100mm	m2	3	8,146	24,438			単-95号
階段工			式	1		321,964			
コンクリート		18-8-25(20)(高炉)	m3	2	40,840	81,680			単-96号
型枠		一般型枠	m2	10	10,760	107,600			単-97号
基礎材		再生クラッシュラン40〜0 敷厚 0.1m	m2	12	1,350	16,200			単-98号
転落(横断)防止柵		柵高 1.1m コンクリート建込	m	12	9,707	116,484			単-99号
土のう工			式	1		195,865			
土のう (1)			袋	14	827.9	11,590			単-100号
土のう (2)		大型土のう	袋	35	5,265	184,275			単-101号

設計内訳書

工事名	R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事 (当 初)					事業区分	道路新設・改築		
						工事区分	橋梁下部		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
防護施設工			式	1		783,480			
仮囲い		設置 丸ハ° 17° 土中打込式 高さ 3m	m	120	6,529	783,480			単-102号
仮設工			式	1		26,688,215			
土留・仮締切工			式	1		5,932,705			
鋼矢板 (1) P1		III型 平均鋼矢板長さ 7m 鋼矢板打込長 6.5m 平均鋼矢板引抜長 0m	枚	40	25,060	1,002,400			単-103号
鋼矢板 (2) P2		III型 平均鋼矢板長さ 6.5m 鋼矢板打込長 6m 平均鋼矢板引抜長 0m	枚	44	17,500	770,000			単-104号
鋼矢板 (3) P4		III型 平均鋼矢板長さ 7m 鋼矢板打込長 6.5m 平均鋼矢板引抜長 0m	枚	40	24,920	996,800			単-105号
鋼矢板 (4) A2		III型 平均鋼矢板長さ 8.5m 鋼矢板打込長 8m 平均鋼矢板引抜長 0m	枚	10	30,570	305,700			単-106号
鋼矢板 (5) A3		III型 平均鋼矢板長さ 9m 鋼矢板打込長 8.5m 平均鋼矢板引抜長 8.5m	枚	19	51,130	971,470			単-107号
鋼矢板 (6) Eランブ°		III型 平均鋼矢板長さ 8.5m 鋼矢板打込長 8m 平均鋼矢板引抜長 0m	枚	29	38,220	1,108,380			単-108号

設計内訳書

工事名	R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事 (当 初)					事業区分	道路新設・改築		
						工事区分	橋梁下部		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
切梁・腹起し (1) P1		t	3.3	98,740	325,842			単-109号	
切梁・腹起し (2) P2		t	1.8	61,260	110,268			単-110号	
切梁・腹起し (3) P4		t	3.5	97,670	341,845			単-111号	
交通管理工		式	1		8,148,030				
交通誘導警備員 (1)	A	人日	111	20,300	2,253,300			単-112号	
交通誘導警備員 (2)	B	人日	311	17,850	5,551,350			単-113号	
交通誘導警備員 (3)【夜間】	A	人日	6	30,450	182,700			単-114号	
交通誘導警備員 (4)【夜間】	B	人日	6	26,780	160,680			単-115号	
引継ぎ賃料		式	1		12,607,480				
引継賃料		式	1		12,607,480			内-2号	
直接工事費		式	1		170,412,862				
共通仮設費		式	1		31,291,888				

設計内訳書

工事名	R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事 (当 初)					事業区分	道路新設・改築		
						工事区分	橋梁下部		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
共通仮設費			式	1		13,908,888			
運搬費			式	1		10,737,888			
重建設機械分解組立費			回	1	483,800	483,800			単-116号
重建設機械分解組立輸送費			回	5	1,910,000	9,550,000			単-117号
仮設材運搬費			t	114.3	6,160	704,088			単-118号
技術管理費			式	1		145,000			
土質等試験費			式	1		145,000			内-3号
現場環境改善費（率計上）			式	1		3,026,000			
共通仮設費（率計上）			式	1		17,383,000			
純工事費			式	1		201,704,750			
現場管理費			式	1		54,534,000			
(現場原価)			式	1		256,238,750			

設計内訳書

工事名	R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事 (当 初)					事業区分	道路新設・改築		
						工事区分	橋梁下部		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
工事原価			式	1		257,659,941			
一般管理費等			式	1		35,560,059			
工事価格			式	1		293,220,000			
消費税相当額			式	1		29,322,000			
工事費計			式	1		322,542,000			

一式当たり内訳書

UCR基本料
第 1号内訳書

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
UCR基本料		式	1		10, 000			
合 計					10, 000			

一式当たり内訳書

引継賃料

第 2号内訳書

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
下水道用水中ポンプ	2インチ 2台 R8. 4. 1～R8. 11. 30 244日	日	244	800	195, 200			
騒音・振動計	分離型 3台 R8. 4. 1～R8. 11. 30 244日	日	244	15, 000	3, 660, 000			
水中ポンプ	2インチ 100v オート 4台 R8. 4. 1～R8. 11. 30 244日	日	244	2, 000	488, 000			
水中ポンプ	2インチ 高揚200v オート 2台 R8. 4. 1～R8. 11. 30 244日	日	244	2, 000	488, 000			
ノッチタンク	3. 0m3 1台 R8. 4. 1～R8. 11. 30 244日	日	244	1, 500	366, 000			
H形鋼	H-300×300×10×15 14. 694t R8. 4. 1～R8. 11. 30 244日	日	244	1, 469	358, 436			
人道橋覆工板	2m2 25+21枚 (92m2) R8. 4. 1～R8. 11. 30 244日	日	244	3, 956	965, 264			
歩道上部工部材	20. 634t R8. 4. 1～R8. 11. 30 244日	日	244	8, 253	2, 013, 732			
高欄部材	3. 112t R8. 4. 1～R8. 11. 30 244日	日	244	1, 244	303, 536			
管理用門扉	1000×2000 4枚 R8. 4. 1～R8. 11. 30 244日	日	244	800	195, 200			
ガードフェンス	網フェンス メッキ 1200 全網 14枚 R8. 4. 1～R8. 11. 30 244日	日	244	420	102, 480			
ガードフェンス	網フェンス メッキ 1800 全網 8枚 R8. 4. 1～R8. 11. 30 244日	日	244	280	68, 320			

一式当たり内訳書

引継賃料
第 2号内訳書

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
ガードフェンス	ガードフェンス1800メッキ Sハネル付 セット180枚 R8. 4. 1～R8. 11. 30 244日	日	244	6, 300	1, 537, 200			
30 244日								
鋼矢板	SP-4型 9. 5m 42枚 R8. 4. 1～R8. 11. 30 244日	日	244	2, 898	707, 112			
鋼矢板コーナー	SP-C3型 9. 5m 1枚 R8. 4. 1～R8. 11. 30 244日	日	244	113	27, 572			
鋼矢板 コーナー	SP-C4型 9. 5m 1枚 R8. 4. 1～R8. 11. 30 244日	日	244	137	33, 428			
H鋼ガードレール	H鋼ガードレール 3m 18基 R8. 4. 1～R8. 11. 30 244日	日	244	4, 500	1, 098, 000			
合 計					12, 607, 480			

一式当たり内訳書

土質等試験費
第 3号内訳書

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
土質等試験費（一式入力）	145千円	式	1		145, 000			
合 計					145, 000			

1 次単価表

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一1号	製作加工	SM400A、SM490YB	単位	t	数量	0. 98	単価	483, 100
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
SM400A t=12								
鋼材費（鋼板 1 各種） SM400A			t	0. 322	204, 100	65, 720. 2		
SM490YB t=25, 22								
鋼材費（鋼板 1 各種） SM490YB			t	0. 611	218, 800	133, 686. 8		
鋼材費（形鋼 2 規格品）		等辺山形鋼(SS400) 6×50×50						
			t	0. 047	112, 000	5, 264		
製作直接労務費（横断歩道橋）		箱桁 0 t 0 t 0 t 0. 98 t 0 t I桁 I桁 0無						
			式	1		250, 900		
副資材費（t）			t	0. 98	18, 200	17, 836		
計						473, 407		
単価						483, 100	円／t	

1 次単価表

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一2号	アンカーボルト (1)	φ 65×1040	単位	組	数量	16	単価	15, 910
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
機械構造用炭素鋼鋼材(材料費)		S45C	t	0. 432	194, 000	83, 808		
ナット(P1)(材料費)		M64(SS400)(1種)	個	48	2, 690	129, 120		
ワッシャー(P1)(材料費)		M64(SS400)	枚	48	866	41, 568		
計						254, 496		
単価						15, 910	円／組	

1 次単価表

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一3号	アンカーボルト (2)	φ 60×790	単位	組	数量	32	単価	11, 030
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
機械構造用炭素鋼鋼材(材料費)		S45C	t	0. 56	194, 000	108, 640		
ナット(P2) (P3) (材料費)		M56 (SS400) (1種)	個	96	1, 730	166, 080		
ワッシャー(P2) (P3) (材料費)		M56 (SS400)	枚	96	813	78, 048		
計						352, 768		
単価						11, 030	円／組	

1 次単価表

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一4号	アンカーボルト (3)	φ 50×930	単位	組	数量	16	単価	7, 466
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
機械構造用炭素鋼鋼材(材料費)		S45C	t	0. 229	194, 000	44, 426		
ナット(P4)(材料費)		M48(SS400)(1種)	個	48	1, 060	50, 880		
ワッシャー(P4)(材料費)		M48(SS400)	枚	48	503	24, 144		
計						119, 450		
単価						7, 466	円／組	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一5号	輸送	アンカーフレーム	単位	t	数量	1	単価	18, 400
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋梁工場製作輸送工		横断歩道橋 80km	t	1	18, 400	18, 400		
計						18, 400		
単価						18, 400	円／t	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一6号	掘削	土砂 オープンカット 押土無 障害無 5, 000m3未満	単位	m3	数量	1	単価	345. 7
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
掘削		土砂 オープンカット 無し 無し 5, 000m3未満	m 3	1	345. 7	345. 7		
計						345. 7		
単価						345. 7	円／m3	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一7号	積込(ルーズ)	土砂	単位	m3	数量	1	単価	251. 4
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
積込 (ルーズ)		土砂 土量50, 000m3未満	m 3	1	251. 4	251. 4		
計						251. 4		
単価						251. 4	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一8号	土砂等運搬 (現場UCR)	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	単位	m3	数量	1	単価	3, 922
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
土砂等運搬		標準 平積0. 8m3(平積0. 6m3) 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 有り 31. 5km以下	m 3	1	3, 922	3, 922		
計						3, 922		
単価						3, 922	円／m3	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一9号	土砂等運搬 (ヤード等UCR)	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	単位	m3	数量	1	単価	3, 922
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
土砂等運搬		標準 バックホウ山積0. 8m3(平積0. 6m3) 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 有り 31. 5km以下	m 3	1	3, 922	3, 922		
計						3, 922		
単価						3, 922	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一10号	残土等処分		単位	m3	数量	1	単価	3, 850
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
残土等処分			m 3	1	3, 850	3, 850		
計						3, 850		
単価						3, 850	円／m3	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一11号	床掘り (1)	土砂	単位	m3	数量	1	単価	317. 8
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
床掘り		土砂 標準 無し 有り	m 3	1	317. 8	317. 8		
計						317. 8		
単価						317. 8	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一12号	床掘り (2)	土砂 小規模	単位	m3	数量	1	単価	2, 396
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
床掘り		土砂 上記以外(小規模) 全ての費用	m 3	1	2, 396	2, 396		
計						2, 396		
単価						2, 396	円／m3	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一13号	埋戻し (1)	土砂	単位	m3	数量	1	単価	2, 159
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
埋戻し		最大埋戻幅1m以上4m未満	m 3	1	2, 159	2, 159		
計						2, 159		
単価						2, 159	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一14号	埋戻し (2)	土砂 小規模	単位	m3	数量	1	単価	4, 335
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
埋戻し		上記以外(小規模) 土砂 全ての費用	m 3	1	4, 335	4, 335		
計						4, 335		
単価						4, 335	円／m3	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一15号	基面整正		単位	m2	数量	1	単価	540. 6
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
基面整正			m 2	1	540. 6	540. 6		
計						540. 6		
単価						540. 6	円／m2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一16号	土砂等運搬 (1) (現場UCR)	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	単位	m3	数量	1	単価	3, 922
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
土砂等運搬		標準 〆ッヶ山積0. 8m3(平積0. 6m3) 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 有り 31. 5km以下	m 3	1	3, 922	3, 922		
計						3, 922		
単価						3, 922	円／m3	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一17号	土砂等運搬 (2) (現場~UCR)	土砂(岩塊・玉石混り土含む) 小規模	単位	m3	数量	1	単価	6, 301
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
土砂等運搬		小規模 バックホウ山積0. 28m3 (平積0. 2m3) 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 有り	m 3	1	6, 301	6, 301		
計						6, 301		
単価						6, 301	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一18号	残土等処分		単位	m3	数量	1	単価	3, 850
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
残土等処分			m 3	1	3, 850	3, 850		
計						3, 850		
単価						3, 850	円／m3	

1 次単価表

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一19号	既製コンクリート杭 (1)	PHC杭 杭径 600mm 杭長 29m 杭の打込長(掘削長) 30. 3m	単位	本	数量	1	単価	807, 500
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
鋼管・既製コンクリート杭打工 [中掘工]		グラウト注入 既製コンクリート杭 有 φ 600mm≦D< φ 700mm N<20 16m<L≦32m	本	1	753, 500	753, 500		
既製コンクリート杭カットオフ工		φ 500～600mm	本	1	10, 930	10, 930		
積込 (コンクリート殻)		全ての費用	m 3	0. 22	1, 377	302. 94		
鉄筋工 [市場単価]		SD345 D13 一般構造物 10t以上(標準) 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む) 差筋及び杭頭処理	t	0. 05	176, 300	8, 815		
鉄筋工 [市場単価]		SD345 D16～25 一般構造物 10t以上(標準) 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む) 差筋及び杭頭処理	t	0. 04	174, 300	6, 972		
コンクリート		無筋・鉄筋構造物 バックホウ(クレーン機能付) 打設 24-12-25 (20) (高炉) 一般養生	m 3	0. 22	41, 430	9, 114. 6		
吊り型枠設置		PHC杭 φ 420	箇所	1	4, 366	4, 366		
吊り型枠(材料費)		φ 420×3. 2	個	1	13, 400	13, 400		
計						807, 400. 54		
単価						807, 500	円／本	

1 次単価表

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一20号	既製コンクリート杭 (2)	PHC杭 杭径 600mm 杭長 27m 杭の打込長(掘削長) 30m	単位	本	数量	1	単価	761, 900
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
鋼管・既製コンクリート杭打工 [中掘工]		グラウト注入 既製コンクリート杭 有 φ 600mm≦D< φ 700mm N<20 16m<L≦32m	本	1	717, 500	717, 500		
鉄筋工 [市場単価]		SD345 D13 一般構造物 10t以上(標準) 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む) 差筋及び杭頭処理	t	0. 04	176, 300	7, 052		
鉄筋工 [市場単価]		SD345 D16～25 一般構造物 10t以上(標準) 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む) 差筋及び杭頭処理	t	0. 06	174, 300	10, 458		
コンクリート		無筋・鉄筋構造物 バックホウ(クレーン機能付) 打設 24-12-25(20) (高炉) 一般養生	m 3	0. 22	41, 430	9, 114. 6		
吊り型枠設置		PHC杭 φ 420	箇所	1	4, 366	4, 366		
吊り型枠(材料費)		φ 420×3. 2	個	1	13, 400	13, 400		
計						761, 890. 6		
単価						761, 900	円／本	

1 次単価表

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一21号	既製コンクリート杭 (3)	PHC杭 杭径 600mm 杭長 27m 杭の打込長(掘削長) 30m	単位	本	数量	1	単価	761, 900
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
鋼管・既製コンクリート杭打工 [中掘工]		グラウト注入 既製コンクリート杭 有 φ 600mm≦D< φ 700mm N<20 16m<L≦32m	本	1	717, 500	717, 500		
鉄筋工 [市場単価]		SD345 D13 一般構造物 10t以上(標準) 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む) 差筋及び杭頭処理	t	0. 04	176, 300	7, 052		
鉄筋工 [市場単価]		SD345 D16～25 一般構造物 10t以上(標準) 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む) 差筋及び杭頭処理	t	0. 06	174, 300	10, 458		
コンクリート		無筋・鉄筋構造物 バックホウ(クレーン機能付) 打設 24-12-25(20) (高炉) 一般養生	m 3	0. 22	41, 430	9, 114. 6		
吊り型枠設置		PHC杭 φ 420	箇所	1	4, 366	4, 366		
吊り型枠(材料費)		φ 420×3. 2	個	1	13, 400	13, 400		
計						761, 890. 6		
単価						761, 900	円／本	

1 次単価表

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一22号	鋼管杭 (1)	鋼管径(杭径) 500mm 鋼管長さ(杭長) 26. 5m	単位	本	数量	1	単価	2, 599, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
回転杭工		開口タイプ 継手3箇所 杭径 φ 500杭長26. 5m掘削長29. 1m	本	1	1, 437, 000	1, 437, 000		
板厚9mm(杭先端1. 0m範囲:12mm) 加重平均N値15. 2N								
鋼管杭(P2)(材料費)		φ 500 L=26. 5m	本	1	1, 110, 000	1, 110, 000		
鋼管杭杭頭処理溶接工		8mm～10mm	m	1. 57	1, 766	2, 772. 62		
鉄筋工 [市場単価]		SD345 D13 一般構造物 10t以上(標準) 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む) 差筋及び杭頭処理	t	0. 02	176, 300	3, 526		
鉄筋工 [市場単価]		SD345 D16～25 一般構造物 10t以上(標準) 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む) 差筋及び杭頭処理	t	0. 08	174, 300	13, 944		
コンクリート		無筋・鉄筋構造物 バックホウ(クレーン機能付) 打設 24-12-25(20)(高炉) 一般養生	m ³	0. 25	41, 430	10, 357. 5		
吊り型枠設置		鋼管杭 φ 482	箇所	1	4, 366	4, 366		
吊り型枠(材料費)		φ 482×3. 2	個	1	16, 400	16, 400		
計						2, 598, 366. 12		
単価						2, 599, 000	円／本	

1 次単価表

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一23号	鋼管杭 (2)	鋼管径(杭径) 500mm 鋼管長さ(杭長) 28m	単位	本	数量	1	単価	2, 629, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
回転杭工		開口タイプ 継手3箇所 杭径φ500杭長28.0m掘削長30.0m	本	1	1, 437, 000	1, 437, 000		
板厚9mm(杭先端1.0m範囲:12mm) 加重平均N値14.1N								
鋼管杭(P3)(材料費)		φ500 L=28.0m	本	1	1, 140, 000	1, 140, 000		
鋼管杭杭頭処理溶接工		8mm~10mm	m	1. 57	1, 766	2, 772. 62		
鉄筋工 [市場単価]		SD345 D13 一般構造物 10t以上(標準) 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む) 差筋及び杭頭処理	t	0. 02	176, 300	3, 526		
鉄筋工 [市場単価]		SD345 D16~25 一般構造物 10t以上(標準) 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む) 差筋及び杭頭処理	t	0. 08	174, 300	13, 944		
コンクリート		無筋・鉄筋構造物 バックホウ(クレーン機能付) 打設 24-12-25(20)(高炉) 一般養生	m ³	0. 25	41, 430	10, 357. 5		
吊り型枠設置		鋼管杭 φ482	箇所	1	4, 366	4, 366		
吊り型枠(材料費)		φ482×3. 2	個	1	16, 400	16, 400		
計						2, 628, 366. 12		
単価						2, 629, 000	円/本	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一24号	積込(ルーズ) (1)	土砂	単位	m3	数量	1	単価	322. 5
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
積込 (ルーズ)		土砂 平均施工幅1m以上2m未満	m 3	1	322. 5	322. 5		
計						322. 5		
単価						322. 5	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一25号	積込(ルーズ) (2)	土砂 小規模	単位	m3	数量	1	単価	1, 170
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
積込 (ルーズ)		土砂 小規模(標準)	m 3	1	1, 170	1, 170		
計						1, 170		
単価						1, 170	円／m3	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一26号	土砂等運搬 (1) (現場~UCR)	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	単位	m3	数量	1	単価	3, 922
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
土砂等運搬		標準 バックホウ山積0. 45m3 (平積0. 35m3) 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 有り	m 3	1	3, 922	3, 922		
計						3, 922		
単価						3, 922	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一27号	土砂等運搬 (2) (現場~UCR)	土砂(岩塊・玉石混り土含む) 小規模	単位	m3	数量	1	単価	6, 301
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
土砂等運搬		小規模 バックホウ山積0. 28m3 (平積0. 2m3) 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 有り	m 3	1	6, 301	6, 301		
計						6, 301		
単価						6, 301	円／m3	

1 次単価表

1 次単価表						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数		2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単－28号	残土等処分		単位	m3	数量	1	単価	3, 850	
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
残土等処分			m 3	1	3, 850	3, 850			
計						3, 850			
単価						3, 850	円／m3		

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単－29号	殻運搬	コンクリート殻(鉄筋)	単位	m3	数量	1	単価	3, 224
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
殻運搬		コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし 機械積込 有り 14. 4km以下 全ての費用	m 3	1	3, 224	3, 224		
計						3, 224		
単価						3, 224	円／m3	

1 次単価表

1 次単価表						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数		2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一30号	殻処分	コンクリート殻(鉄筋)	単位	m3	数量	1	単価		
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
処分費 (m 3)			m 3	1					
計									
単価								円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単－31号	現場取卸 (PHC杭)		単位	t	数量	1	単価	6, 245
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
現場取卸 (PHC杭)			t	1	6, 245	6, 245		
計						6, 245		
単価						6, 245	円／t	

1 次単価表

1 次単価表						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数		2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単－32号	現場取卸(鋼管杭)		単位	t	数量	1	単価	962. 7	
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
現場取卸（鋼管杭）		ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 16t吊 標準	t	1	962. 7	962. 7			
計						962. 7			
単価						962. 7	円／t		

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一33号	基礎材	再生クラッシュラン40～0 17. 5cmを超え20. 0cm以下	単位	m2	数量	1	単価	1, 502
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
基礎碎石		17. 5cmを超え20. 0cm以下 再生クラッシュラン 40～0 全ての費用	m 2	1	1, 502	1, 502		
計						1, 502		
単価						1, 502	円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一34号	均しコンクリート	18-8-25(20) (高炉) 敷厚 10 c m	単位	m2	数量	33. 9	単価	4, 730
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
コンクリート		無筋・鉄筋構造物 バックホウ(クレーン機能付)打設 各種 養生無し 全ての費用	m 3	3. 4	39, 320	133, 688		
型枠		一般型枠 均しコンクリート	m 2	4. 9	5, 436	26, 636. 4		
計						160, 324. 4		
単価						4, 730	円／m2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一35号	アンカーフレーム架設		単位	基	数量	4	単価	133, 900
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
アンカーフレーム据付工 (横断歩道橋)			t	2. 57	208, 400	535, 588		
計						535, 588		
単価						133, 900	円／基	

1 次単価表

1 次単価表						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数		2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単－36号	型枠	一般型枠	単位	m2	数量	1	単価	10, 760	
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
型枠		一般型枠 鉄筋・無筋構造物	m 2	1	10, 760	10, 760			
計						10, 760			
単価						10, 760	円／m2		

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一37号	箱拔型枠	円形型枠	単位	m2	数量	1	単価	14, 560
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
型枠		一般型枠 鉄筋・無筋構造物(合板円形型枠使用)	m 2	1	14, 560	14, 560		
計						14, 560		
単価						14, 560	円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一38号	鉄筋 (1)	SD345 D13	単位	t	数量	1	単価	179, 600
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
鉄筋工 [市場単価]		SD345 D13 一般構造物 10t以上(標準) 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む) 切梁のある構造物	t	1	179, 600	179, 600		
計						179, 600		
単価						179, 600	円／t	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一39号	鉄筋 (2)	SD345 D16～25	単位	t	数量	1	単価	177, 600
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
鉄筋工 [市場単価]		SD345 D16～25 一般構造物 10t以上(標準) 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む) 切梁のある構造物	t	1	177, 600	177, 600		
計						177, 600		
単価						177, 600	円／t	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0
単一40号	鉄筋 (3)	SD345 D16～25	単位	t	数量	1	単価 177, 600
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋工 [市場単価]		SD345 D16～25 一般構造物 10t以上(標準) 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む)	t	1	177, 600	177, 600	
計						177, 600	
単価						177, 600	円／t

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0
単一41号	機械式鉄筋定着 (1)	D13 1m<L≤2m	単位	箇所	数量	1	単価 297
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
機械式鉄筋定着加工費		D13 1m<L≤2m	箇所	1	297	297	
計						297	
単価						297	円／箇所

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一42号	機械式鉄筋定着 (2)	D22 1m<L≤2m	単位	箇所	数量	1	単価	490
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
機械式鉄筋定着加工費		D22 1m<L≤2m	箇所	1	490	490		
計						490		
単価						490	円／箇所	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一43号	コンクリート	24-12-25 (20) (高炉) 一般養生 コンクリート夜間割増無	単位	m3	数量	1	単価	31, 850
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
コンクリート		無筋・鉄筋構造物 コンクリートポンプ車打設 24-12-25 (20) (高炉) 10m3以上100m3未満 一般養生 延長無し	m 3	1	31, 850	31, 850		
計						31, 850		
単価						31, 850	円／m3	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一44号	逆T式橋台	5m以上7m未満 50m3以上90m3未満 24-12-25 (20) (高炉)	単位	m3	数量	1	単価	55, 740
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
逆 T 式橋台		5m以上7m未満 50m3以上90m3未満 24-12-25 (20) (高炉) 一般養生 基礎材+均しコンクリート 無 無	m 3	1	55, 740	55, 740		
計						55, 740		
単価						55, 740	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一45号	鉄筋 (1)	SD345 D13	単位	t	数量	1	単価	179, 600
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
鉄筋工 [市場単価]		SD345 D13 一般構造物 10t以上(標準) 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む) 補正無(一般構造物)	t	1	179, 600	179, 600		
計						179, 600		
単価						179, 600	円／t	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0
単－46号	鉄筋 (2)	SD345 D16～25	単位	t	数量	1	単価 177, 600
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋工 [市場単価]		SD345 D16～25 一般構造物 10t以上(標準) 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む)	t	1	177, 600	177, 600	
計						177, 600	
単価						177, 600	円／t

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0
単－47号	機械式鉄筋定着 (1)	D13 1m<L≤2m	単位	箇所	数量	1	単価 297
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
機械式鉄筋定着加工費		D13 1m<L≤2m	箇所	1	297	297	
計						297	
単価						297	円／箇所

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単－48号	機械式鉄筋定着 (2)	D16 1m<L≤2m	単位	箇所	数量	1	単価	337
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
機械式鉄筋定着加工費		D16 1m<L≤2m	箇所	1	337	337		
計						337		
単価						337	円／箇所	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単－49号	円筒型枠	φ 150	単位	m	数量	1	単価	493
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
円形型枠(材料費)		φ 150	m	1	493	493		
計						493		
単価						493	円／m	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一50号	基礎材	再生クラッシュラン40～0 17. 5cmを超え20. 0cm以下	単位	m2	数量	1	単価	1, 502
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
基礎碎石		17. 5cmを超え20. 0cm以下 再生クラッシュラン 40～0 全ての費用	m 2	1	1, 502	1, 502		
計						1, 502		
単価						1, 502	円／m2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一51号	均しコンクリート	18-8-25(20) (高炉) 敷厚 10 c m	単位	m2	数量	10. 8	単価	5, 012
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
コンクリート		無筋・鉄筋構造物 バックホ(クレーン機能付) 打設 各種 養生無し 全ての費用	m 3	1. 1	39, 320	43, 252		
型枠		一般型枠 均しコンクリート	m 2	2	5, 436	10, 872		
計						54, 124		
単価						5, 012	円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一52号	コンクリート	24-12-25(20) (高炉) 一般養生 コンクリート夜間割増無	単位	m3	数量	1	単価	31, 850
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
コンクリート		無筋・鉄筋構造物 コンクリートホップ車打設 24-12-25(20) (高炉) 10m3以上100m3未満 一般養生 延長無し	m 3	1	31, 850	31, 850		
計						31, 850		
単価						31, 850	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一53号	鉄筋 (1)	SD345 D13	単位	t	数量	1	単価	179, 600
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
鉄筋工 [市場単価]		SD345 D13 一般構造物 10t以上(標準) 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む) 補正無(一般構造物)	t	1	179, 600	179, 600		
計						179, 600		
単価						179, 600	円／t	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0
単－54号	鉄筋 (2)	SD345 D16～25	単位	t	数量	1	単価 177, 600
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋工 [市場単価]		SD345 D16～25 一般構造物 10t以上(標準) 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む)	t	1	177, 600	177, 600	
計						177, 600	
単価						177, 600	円／t

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0
単－55号	機械式鉄筋定着	D13 1m<L≤2m	単位	箇所	数量	1	単価 297
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
機械式鉄筋定着加工費		D13 1m<L≤2m	箇所	1	297	297	
計						297	
単価						297	円／箇所

1 次単価表

1 次単価表						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数		2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単－56号	型枠	一般型枠	単位	m2	数量	1	単価	10, 760	
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
型枠		一般型枠 鉄筋・無筋構造物	m 2	1	10, 760	10, 760			
計						10, 760			
単価						10, 760	円／m2		

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一57号	円筒型枠	φ 125 L=320mm	単位	m	数量	3	単価	5, 750
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
円筒型枠設置		φ 125 L=320mm	箇所	4	4, 003	16, 012		
円形型枠(材料費)		φ 125	m	3	412	1, 236		
計						17, 248		
単価						5, 750	円／m	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単－58号	床掘り (1)	土砂 小規模	単位	m3	数量	1	単価	2, 396
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
床掘り		土砂 上記以外(小規模) 全ての費用	m 3	1	2, 396	2, 396		
計						2, 396		
単価						2, 396	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単－59号	床掘り (2)	土砂	単位	m3	数量	1	単価	317. 8
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
床掘り		土砂 標準 無し 有り	m 3	1	317. 8	317. 8		
計						317. 8		
単価						317. 8	円／m3	

1 次単価表

1 次単価表						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数		2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単－60号	埋戻し		単位	m3	数量	1	単価	1, 170	
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
埋戻し		最大埋戻幅4m以上	m 3	1	1, 170	1, 170			
計						1, 170			
単価						1, 170	円／m3		

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一61号	積込(ルーズ)	土砂 土量50,000m3未満	単位	m3	数量	1	単価	251.4
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
積込 (ルーズ)		土砂 土量50,000m3未満	m 3	1	251.4	251.4		
計						251.4		
単価						251.4	円／m3	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一62号	土砂等運搬 (1) (現場~UCR)	土砂(岩塊・玉石混り土含む) 小規模	単位	m3	数量	1	単価	6, 301
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
土砂等運搬		小規模 バックホウ山積0. 28m3(平積0. 2m3) 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 有り	m 3	1	6, 301	6, 301		
計						6, 301		
単価						6, 301	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一63号	土砂等運搬 (2) (現場~UCR)	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	単位	m3	数量	1	単価	3, 922
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
土砂等運搬		標準 バックホウ山積0. 8m3(平積0. 6m3) 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 有り 31. 5km以下	m 3	1	3, 922	3, 922		
計						3, 922		
単価						3, 922	円／m3	

1 次単価表

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一64号	残土等処分		単位	m3	数量	1	単価	3, 850
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
残土等処分			m 3	1	3, 850	3, 850		
計						3, 850		
単価						3, 850	円／m3	

1 次単価表

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一65号	場所打杭 (1)	杭径 1200mm 杭長(設計長) 35.5m	単位	本	数量	1	単価	4, 073, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
全回転式オールケーシング工		1, 200mm 36. 4m 0m 0m 0m 0m 0m 35. 5m 生コンクリート各種	本	1	3, 045, 000	3, 045, 000		
鉄筋工 [市場単価]		SD345 D13 場所打杭用かご筋 10t以上(標準) 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む)	t	0. 03	166, 400	4, 992		
鉄筋工 [市場単価]		SD345 D16~25 場所打杭用かご筋 10t以上(標準) 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む)	t	2. 08	164, 300	341, 744		
鉄筋工 [市場単価]		SD345 D29~32 場所打杭用かご筋 10t以上(標準) 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む)	t	2. 31	165, 400	382, 074		
杭頭処理		1, 200mm	本	1	29, 180	29, 180		
補強リング固定金具(D32用)(材料費)		L-6×50×50×2645 穴加工56箇所	本	4	14, 000	56, 000		
補強リング固定金具(D32用)(材料費)		L-6×50×50×2645 穴加工28箇所	本	1	11, 200	11, 200		
補強リング固定金具(D22用)(材料費)		L-6×50×50×2677 穴加工28箇所	本	8	11, 200	89, 600		
補強リング固定用Uボルト固定金具(材料費)		鉄筋D32用 ナット2個含む	個	126	270	34, 020		
補強リング固定用Uボルト固定金具(材料費)		鉄筋D22用 ナット2個含む	個	112	250	28, 000		
重ね継手用Uボルト固定金具(材料費)		鉄筋D32用 ナット2個及び裏当て材含む	個	44	470	20, 680		

1 次単価表

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一65号	場所打杭 (1)	杭径 1200mm 杭長(設計長) 35.5m	単位	本	数量	1	単価	4, 073, 000
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	重ね継手用Uボルト固定金具(材料費)	鉄筋D22用 ナット2個及び裏当て材含む	個	64	450	28, 800		
	積込 (コンクリート殻)	全ての費用	m 3	1. 1	1, 377	1, 514. 7		
	計					4, 072, 804. 7		
	単価					4, 073, 000	円／本	

1 次単価表

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一66号	場所打杭 (2)	杭径 1200mm 杭長(設計長) 26. 5m	単位	本	数量	1	単価	3, 064, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
全回転式オールケーシング工		1, 200mm 29. 5m 0m 0m 0m 0m 0m 26. 5m 生コンクリート各種	本	1	2, 375, 000	2, 375, 000		
鉄筋工 [市場単価]		SD345 D13 場所打杭用かご筋 10t以上(標準) 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む)	t	0. 03	166, 400	4, 992		
鉄筋工 [市場単価]		SD345 D16～25 場所打杭用かご筋 10t以上(標準) 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む)	t	1. 51	164, 300	248, 093		
鉄筋工 [市場単価]		SD345 D29～32 場所打杭用かご筋 10t以上(標準) 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む)	t	1. 27	165, 400	210, 058		
杭頭処理		1, 200mm	本	1	29, 180	29, 180		
補強リング 固定金具(D32用)(材料費)		L-6×50×50×2645 穴加工48箇所	本	3	13, 200	39, 600		
補強リング 固定金具(D25用)(材料費)		L-6×50×50×2667 穴加工24箇所	本	1	10, 800	10, 800		
補強リング 固定金具(D22用)(材料費)		L-6×50×50×2677 穴加工24箇所	本	6	10, 800	64, 800		
補強リング 固定用ホルダー固定金具(材料費)		鉄筋D32用 ナット2個含む	個	72	270	19, 440		
補強リング 固定用ホルダー固定金具(材料費)		鉄筋D25用 ナット2個含む	個	12	260	3, 120		
補強リング 固定用ホルダー固定金具(材料費)		鉄筋D22用 ナット2個含む	個	72	250	18, 000		

1 次単価表

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一66号	場所打杭 (2)	杭径 1200mm 杭長(設計長) 26.5m	単位	本	数量	1	単価	3, 064, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
重ね継手用Uボルト固定金具(材料費)		鉄筋D32用 ナット2個及び裏当て材含む	個	28	470	13, 160		
重ね継手用Uボルト固定金具(材料費)		鉄筋D25用 ナット2個及び裏当て材含む	個	8	460	3, 680		
重ね継手用Uボルト固定金具(材料費)		鉄筋D22用 ナット2個及び裏当て材含む	個	48	450	21, 600		
積込 (コンクリート殻)		全ての費用	m 3	1. 1	1, 377	1, 514. 7		
計						3, 063, 037. 7		
単価						3, 064, 000	円／本	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一67号	積込(ルーズ)	土砂	単位	m3	数量	1	単価	322. 5
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
積込 (ルーズ)		土砂 平均施工幅1m以上2m未満	m 3	1	322. 5	322. 5		
計						322. 5		
単価						322. 5	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一68号	土砂等運搬 (現場UCR)	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	単位	m3	数量	1	単価	3, 922
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
土砂等運搬		標準 バックホウ山積0. 45m3(平積0. 35m3) 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 有り	m 3	1	3, 922	3, 922		
計						3, 922		
単価						3, 922	円／m3	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一69号	残土等処分		単位	m3	数量	1	単価	3, 850
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
残土等処分			m 3	1	3, 850	3, 850		
計						3, 850		
単価						3, 850	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一70号	殻運搬	コンクリート殻(無筋)	単位	m3	数量	1	単価	2, 602
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
殻運搬		コンクリート(無筋)構造物とりこわし 機械積込 有り 14. 4km以下 全ての費用	m 3	1	2, 602	2, 602		
計						2, 602		
単価						2, 602	円／m3	

1 次単価表

1 次単価表						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一71号	殻処分	コンクリート殻(無筋)	単位	m3	数量	1	単価	
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費 (m 3)			m 3	1				
計								
単価							円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一72号	基礎材	再生クラッシュラン40～0 17. 5cmを超え20. 0cm以下	単位	m2	数量	1	単価	1, 502
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
基礎砕石		17. 5cmを超え20. 0cm以下 再生クラッシュラン 40～0 全ての費用	m 2	1	1, 502	1, 502		
計						1, 502		
単価						1, 502	円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一73号	均しコンクリート	18-8-25(20)(高炉) 敷厚 10 c m	単位	m2	数量	39. 1	単価	4, 451
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
コンクリート		無筋・鉄筋構造物 バックホウ(クレーン機能付)打設 各種 養生無し 全ての費用	m 3	3. 9	39, 320	153, 348		
型枠		一般型枠 均しコンクリート	m 2	3. 8	5, 436	20, 656. 8		
計						174, 004. 8		
単価						4, 451	円／m2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一74号	コンクリート	24-12-25(20)(高炉) 一般養生 コンクリート夜間割増無	単位	m3	数量	1	単価	27, 130
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋台・橋脚コンクリート打設		24-12-25(20)(高炉) 一般養生 無 無	m 3	1	27, 130	27, 130		
計						27, 130		
単価						27, 130	円／m3	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一75号	鉄筋 (1)	SD345 D13	単位	t	数量	1	単価	179, 600
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
鉄筋工 [市場単価]		SD345 D13 一般構造物 10t以上(標準) 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む) 補正無(一般構造物)	t	1	179, 600	179, 600		
計						179, 600		
単価						179, 600	円／t	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一76号	鉄筋 (2)	SD345 D16～25	単位	t	数量	1	単価	177, 600
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
鉄筋工 [市場単価]		SD345 D16～25 一般構造物 10t以上(標準) 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む)	t	1	177, 600	177, 600		
計						177, 600		
単価						177, 600	円／t	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一77号	鉄筋 (3)	SD345 D29～32	単位	t	数量	1	単価	178, 600
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
鉄筋工 [市場単価]		SD345 D29～32 一般構造物 10t以上(標準) 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む)	t	1	178, 600	178, 600		
計						178, 600		
単価						178, 600	円／t	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一78号	鉄筋 (4)	SD345 D35	単位	t	数量	1	単価	181, 700
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
鉄筋工 [市場単価]		SD345 D35 一般構造物 10t以上(標準) 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む) 補正無(一般構造物)	t	1	181, 700	181, 700		
計						181, 700		
単価						181, 700	円／t	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一79号	機械式鉄筋定着 (1)	D13 1m<L≤2m	単位	箇所	数量	1	単価	297
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
機械式鉄筋定着加工費		D13 1m<L≤2m	箇所	1	297	297		
計						297		
単価						297	円／箇所	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一80号	機械式鉄筋定着 (2)	D16 1m<L≤2m	単位	箇所	数量	1	単価	337
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
機械式鉄筋定着加工費		D16 1m<L≤2m	箇所	1	337	337		
計						337		
単価						337	円／箇所	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一81号	機械式鉄筋定着 (3)	D16 2m<L≤3m	単位	箇所	数量	1	単価	402
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
機械式鉄筋定着加工費		D16 2m<L≤3m	箇所	1	402	402		
計						402		
単価						402	円／箇所	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一82号	機械式鉄筋定着 (4)	D22 1m<L≤2m	単位	箇所	数量	1	単価	490
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
機械式鉄筋定着加工費		D22 1m<L≤2m	箇所	1	490	490		
計						490		
単価						490	円／箇所	

1 次単価表

1 次単価表						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数		2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単－83号	型枠	一般型枠	単位	m2	数量	1	単価	10, 760	
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
型枠		一般型枠 鉄筋・無筋構造物	m 2	1	10, 760	10, 760			
計						10, 760			
単価						10, 760	円／m2		

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単－84号	円筒型枠	φ 150 L=520, 560mm	単位	m	数量	3	単価	8, 645
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
円筒型枠設置		φ 150 L=520, 560mm	箇所	6	4, 076	24, 456		
円形型枠(材料費)		φ 150	m	3	493	1, 479		
計						25, 935		
単価						8, 645	円／m	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一85号	支保 (1)	f ≤ 40kN/m ² [t ≤ 120cm]	単位	空m ³	数量	1	単価	5, 684
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
パイプサポート支保・くさび結合支保		パイプサポート支保 V ≤ 40空m ³ f ≤ 40kN/m ² [t ≤ 120cm]	空m ³	1	5, 684	5, 684		
計						5, 684		
単価						5, 684	円／空m ³	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一86号	支保 (2)	40kN/m ² < f ≤ 80kN/m ² [120 < t ≤ 250cm]	単位	空m ³	数量	1	単価	6, 944
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
パイプサポート支保・くさび結合支保		くさび結合支保 40kN/m ² < f ≤ 80kN/m ² [120 < t ≤ 250cm] 標準 (1. 0)	空m ³	1	6, 944	6, 944		
計						6, 944		
単価						6, 944	円／空m ³	

1 次単価表

1 次単価表						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数		2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一87号	足場	安全ネット必要	単位	掛m2	数量	1	単価	5, 846	
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
足場工		手摺先行型枠組足場 必要 標準	掛m 2	1	5, 846	5, 846			
計						5, 846			
単価						5, 846	円／掛m2		

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-50	
単－88号	溶融式区画線 (1)	溶融式手動 実線 15cm 厚1. 5mm 排水性舗装無	単位	m	数量	1	単価	501. 5
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
区画線設置		有り 溶融式手動 無し 実線 15cm 無し 1. 5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	m	1	501. 5	501. 5		
計						501. 5		
単価						501. 5	円／m	

1 次単価表

1 次単価表						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数		2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-50	
単－89号	溶融式区画線 (2)	溶融式手動 破線 15cm 厚1. 5mm 排水性舗装無	単位	m	数量	1	単価	538. 8	
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
区画線設置		有り 溶融式手動 無し 破線 15cm 無し 1. 5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	m	1	538. 8	538. 8			
計						538. 8			
単価						538. 8	円／m		

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-50	
単－90号	区画線消去	削取り式	単位	m	数量	1	単価	997. 4
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
区画線消去		有り 削取り式 無し 無し 全ての費用	m	1	997. 4	997. 4		
計						997. 4		
単価						997. 4	円／m	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一91号	路体(築堤)盛土	2. 5m以上4. 0m未満	単位	m3	数量	1	単価	928. 8
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
路体（築堤）盛土		2. 5m以上4. 0m未満	m 3	1	928. 8	928. 8		
計						928. 8		
単価						928. 8	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一92号	下層路盤(歩道部)	再生クラッシュラン RC-40 仕上り厚 100mm	単位	m2	数量	1	単価	921. 8
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
下層路盤（歩道部）		100mm 1層施工 再生クラッシュラン RC-40 全ての費用	m 2	1	921. 8	921. 8		
計						921. 8		
単価						921. 8	円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単－93号	表層	開粒度アスコン 13 1. 4m以上2. 4m未満 舗装厚 40mm	単位	m2	数量	1	単価	1, 896
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
透水性アスファルト舗装		1. 4m以上2. 4m未満 40mm 開粒度アスコン(13)	m 2	1	1, 896	1, 896		
計						1, 896		
単価						1, 896	円／m2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単－94号	下層路盤(歩道部)	再生クラッシュラン RC-40 仕上り厚 100mm	単位	m2	数量	1	単価	921. 8
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
下層路盤 (歩道部)		100mm 1層施工 再生クラッシュラン RC-40 全ての費用	m 2	1	921. 8	921. 8		
計						921. 8		
単価						921. 8	円／m2	

1 次単価表

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一95号	コンクリート舗装	18-8-25(20)(高炉) 舗装厚 100mm	単位	m2	数量	3. 4	単価	8, 146
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
コンクリート舗装工 人力舗設		20cm未満	m 2	3. 4	3, 943	13, 406. 2		
コンクリート舗装工 (材料)		0m2/100m2 0t/100m2 0t/100m2 各種 0. 1m 無	m 2	3. 4	2, 579	8, 768. 6		
溶接金網(材料費)		φ6. 0×150×150	m 2	11. 5	480	5, 520		
計						27, 694. 8		
単価						8, 146	円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一96号	コンクリート	18-8-25 (20) (高炉)	単位	m3	数量	1	単価	40, 840
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
コンクリート		無筋・鉄筋構造物 パツクホリ(クレーン機能付) 打設 18-8-25 (高炉) 一般養生 全ての費用	m 3	1	40, 840	40, 840		
計						40, 840		
単価						40, 840	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一97号	型枠	一般型枠	単位	m2	数量	1	単価	10, 760
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
型枠		一般型枠 鉄筋・無筋構造物	m 2	1	10, 760	10, 760		
計						10, 760		
単価						10, 760	円／m2	

1 次単価表

1 次単価表						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数		2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一98号	基礎材	再生クラッシュラン40～0 敷厚 0.1m	単位	m2	数量	1	単価	1, 350	
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
基礎碎石		7.5cmを超え12.5cm以下 再生クラッシュラン 40～0 全ての費用	m 2	1	1, 350	1, 350			
計						1, 350			
単価						1, 350	円／m2		

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単－99号	転落(横断)防止柵	柵高 1.1m コンクリート建込	単位	m	数量	10	単価	9,707
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
防護柵（横断・転落防止柵）設置工		コンクリート建込 ビーム式・パネル式 2m 100m未満 無	m	10	9,707	97,070		
計						97,070		
単価						9,707	円／m	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一100号	土のう (1)		単位	袋	数量	1	単価	827. 9
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
土のう工		仕拵・積立	袋	1	827. 9	827. 9		
計						827. 9		
単価						827. 9	円／袋	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単一101号	土のう (2)	大型土のう	単位	袋	数量	1	単価	5, 265
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
大型土のう工		製作・設置 流用土 5m以下 -3m≤H≤2m	袋	1	5, 265	5, 265		
計						5, 265		
単価						5, 265	円／袋	

1 次単価表

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一102号	仮囲い	設置 丸パイプ 土中打込式 高さ 3m	単位	m	数量	10	単価	6, 529
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
仮囲い設置・撤去		設置 50日	m	10	6, 529	65, 290		
計						65, 290		
単価						6, 529	円／m	

1 次単価表

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一103号	鋼矢板 (1) P1	III型 平均鋼矢板長さ 7m 鋼矢板打込長 6.5m 平均 鋼矢板引拔長 0m	単位	枚	数量	40	単価	25, 060
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
鋼矢板圧入 (N m a x ≤ 2 5)		陸上 III型 9m以下	枚	40	15, 240	609, 600		
油圧式杭圧入引抜機据付・解体		圧入 (Nmax ≤ 25) III型 陸上	回	1	112, 100	112, 100		
鋼矢板賃料 (普通鋼矢板)		III型 7m/枚 192日 有 283日 無	枚	40	7, 015	280, 600		
計						1, 002, 300		
単価						25, 060	円／枚	

1 次単価表

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一104号	鋼矢板 (2) P2	III型 平均鋼矢板長さ 6. 5m 鋼矢板打込長 6m 平均 鋼矢板引抜長 0m	単位	枚	数量	44	単価	17, 500
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
鋼矢板圧入 (N m a x ≦ 2 5)		陸上 III型 6m以下	枚	44	12, 110	532, 840		
油圧式杭圧入引抜機据付・解体		圧入 (Nmax ≦ 25) III型 陸上	回	1	112, 100	112, 100		
鋼矢板賃料 (普通鋼矢板)		III型 6. 5m/枚 78日 有 169日 無	枚	44	2, 834	124, 696		
計						769, 636		
単価						17, 500	円／枚	

1 次単価表

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一105号	鋼矢板 (3) P4	III型 平均鋼矢板長さ 7m 鋼矢板打込長 6.5m 平均 鋼矢板引拔長 0m	単位	枚	数量	40	単価	24, 920
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
鋼矢板圧入 (N m a x ≤ 2 5)		陸上 III型 9m以下	枚	40	15, 240	609, 600		
油圧式杭圧入引抜機据付・解体		圧入 (Nmax ≤ 25) III型 陸上	回	1	112, 100	112, 100		
鋼矢板賃料 (普通鋼矢板)		III型 7m/枚 188日 有 279日 無	枚	40	6, 869	274, 760		
計						996, 460		
単価						24, 920	円／枚	

1 次単価表

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一106号	鋼矢板 (4) A2	III型 平均鋼矢板長さ 8.5m 鋼矢板打込長 8m 平均 鋼矢板引抜長 0m	単位	枚	数量	10	単価	30, 570
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
鋼矢板圧入 (Nmax ≤ 25)		陸上 III型 9m以下	枚	10	15, 240	152, 400		
油圧式杭圧入引抜機据付・解体		圧入 (Nmax ≤ 25) III型 陸上	回	1	112, 100	112, 100		
鋼矢板賃料 (普通鋼矢板)		III型 8.5m/枚 63日 有 154日 無	枚	10	3, 052	30, 520		
頭部連結材設置		[-250×90×9×13 ホール接合 (A2=10本、A3=20本)	m	2.8	1, 312	3, 673. 6		
溝形鋼		大形 SS400 9×250×90	t	0.1	105, 000	10, 500		
スクラップ		ヘビーH1	t	-0.1	35, 000	-3, 500		
計						305, 693. 6		
単価						30, 570	円/枚	

1 次単価表

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一107号	鋼矢板 (5) A3	III型 平均鋼矢板長さ 9m 鋼矢板打込長 8.5m 平均 鋼矢板引抜長 8.5m	単位	枚	数量	19	単価	51, 130
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
鋼矢板圧入 (Nmax ≤ 25)		陸上 III型 9m以下	枚	19	15, 240	289, 560		
油圧式杭圧入引抜機据付・解体		圧入 (Nmax ≤ 25) III型 陸上	回	1	112, 100	112, 100		
鋼矢板引抜き		陸上 III型 9m以下	枚	19	8, 696	165, 224		
油圧式杭圧入引抜機据付・解体		引抜き III型 陸上	回	1	67, 010	67, 010		
鋼矢板賃料 (普通鋼矢板)		III型 9m/枚 190日 無 有 3650円 無 1回	枚	19	16, 030	304, 570		
頭部連結材設置		[-250×90×9×13 ホルト接合 (A2=10本、A3=20本)	m	7. 6	1, 312	9, 971. 2		
頭部連結材撤去		[-250×90×9×13 ホルトの取り外し	m	7. 6	625. 9	4, 756. 84		
溝形鋼		大形 SS400 9×250×90	t	0. 26	105, 000	27, 300		
スクラップ		ヘビーH1	t	-0. 26	35, 000	-9, 100		
計						971, 392. 04		
単価						51, 130	円/枚	

1 次単価表

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一108号	鋼矢板 (6) Eランプ	III型 平均鋼矢板長さ 8.5m 鋼矢板打込長 8m 平均 鋼矢板引抜長 0m	単位	枚	数量	29	単価	38, 220
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
鋼矢板圧入 (Nmax ≤ 25)		陸上 III型 9m以下	枚	29	15, 240	441, 960		
油圧式杭圧入引抜機据付・解体		圧入 (Nmax ≤ 25) III型 陸上	回	1	112, 100	112, 100		
鋼矢板引抜き		陸上 III型 9m以下	枚	29	8, 696	252, 184		
油圧式杭圧入引抜機据付・解体		引抜き III型 陸上	回	1	67, 010	67, 010		
鋼矢板賃料 (普通鋼矢板)		III型 8.5m/枚 29日 無 有 3650円 無 1回	枚	29	8, 106	235, 074		
計						1, 108, 328		
単価						38, 220	円/枚	

1 次単価表

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一109号	切梁・腹起し (1) P1		単位	t	数量	3. 3	単価	98, 740
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
切梁・腹起し設置・撤去		設置 無 標準(1. 0)	t	3. 3	37, 830	124, 839		
山留材質料		無 181日 有 272日 無 無 有 300000円 1回/現場	t	0. 5	45, 000	22, 500		
山留材質料(H500)		無 181日 有 272日 無 無 有	t	2. 1	85, 000	178, 500		
計						325, 839		
単価						98, 740	円／t	

1 次単価表

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一110号	切梁・腹起し (2) P2		単位	t	数量	1. 8	単価	61, 260
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
切梁・腹起し設置・撤去		設置 無 標準(1. 0)	t	1. 8	37, 830	68, 094		
山留材賃料		無 88日 有 179日 無 無 有 300000円 1回/現場	t	1. 45	29, 080	42, 166		
計						110, 260		
単価						61, 260	円／t	

1 次単価表

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単－111号	切梁・腹起し (3) P4		単位	t	数量	3. 5	単価	97, 670
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
切梁・腹起し設置・撤去		設置 無 標準(1. 0)	t	3. 5	37, 830	132, 405		
山留材質料		無 177日 有 268日 無 無 有 300000円 1回/現場	t	0. 54	44, 270	23, 905. 8		
山留材質料(H500)		無 177日 有 268日 無 無 有	t	2. 22	83, 570	185, 525. 4		
計						341, 836. 2		
単価						97, 670	円／t	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単－112号	交通誘導警備員 (1)	A	単位	人日	数量	1	単価	20, 300
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員 A			人日	1	20, 300	20, 300		
計						20, 300		
単価						20, 300	円／人日	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
単－113号	交通誘導警備員 (2)	B	単位	人日	数量	1	単価	17, 850
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員 B			人日	1	17, 850	17, 850		
計						17, 850		
単価						17, 850	円／人日	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-50	
単一114号	交通誘導警備員 (3)【夜間】	A	単位	人日	数量	1	単価	30, 450
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員 A			人日	1	30, 450	30, 450		
計						30, 450		
単価						30, 450	円／人日	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-50	
単一115号	交通誘導警備員 (4)【夜間】	B	単位	人日	数量	1	単価	26, 780
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員 B			人日	1	26, 780	26, 780		
計						26, 780		
単価						26, 780	円／人日	

1 次単価表

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単－116号	重建設機械分解組立費		単位	回	数量	1	単価	483, 800
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	重建設機械分解組立	分解組立 クロー式杭打機 機械質量20t以上60t以下 標準(1. 0)	回	1	483, 800	483, 800		
	計					483, 800		
	単価					483, 800	円／回	

1 次単価表

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一117号	重建設機械分解組立輸送費		単位	回	数量	5	単価	1, 910, 000
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	重建設機械分解組立輸送	分解組立+輸送(往復) クロー式杭打機 機械質量60tを超え100t以下 標準(1. 0)	回	1	2, 235, 000	2, 235, 000		
	重建設機械分解組立輸送	分解組立+輸送(往復) クロークレーン系 35t吊超80t吊以下(クラム平積0. 6m3超2m3下) 標準(1. 0)	回	2	1, 322, 000	2, 644, 000		
	重建設機械分解組立輸送	分解組立+輸送(往復) クロー式杭打機 機械質量20t以上60t以下 標準(1. 0)	回	1	1, 248, 000	1, 248, 000		
	重建設機械分解組立輸送	分解組立+輸送(往復) オールケーシング掘削機 スキッド式(クロークレーン排2014年70～90t)	回	1	3, 422, 000	3, 422, 000		
	計					9, 549, 000		
	単価					1, 910, 000	円／回	

1 次単価表

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一118号	仮設材運搬費		単位	t	数量	114. 3	単価	6, 160
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	【往路】							
	仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運搬	関東・中部・近畿 16. 5km 12m以内 各種(実数入力) 0無 無	t	89. 2	4, 660	415, 672		
	仮設材等の積込み、取卸し費	積込み, 取卸し(片道分)	t	89. 2	1, 500	133, 800		
	【復路】							
	仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運搬	関東・中部・近畿 16. 5km 12m以内 各種(実数入力) 0無 無	t	25. 1	4, 660	116, 966		
	仮設材等の積込み、取卸し費	積込み, 取卸し(片道分)	t	25. 1	1, 500	37, 650		
	計					704, 088		
	単価					6, 160	円／t	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	鋼材費（鋼板 1 各種）		単位	t	数量	1	単価	204, 100
	SM400A							
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
鋼板（販売）		厚板 無規格 12≦t≦25						
			t	1. 17	175, 000	204, 750		
中厚板 規格エキストラ		SM400A t≦38						
			t	1. 17	3, 500	4, 095		
長さエキストラ		横断歩道橋のため計上無し						
			t	1. 17	0	0		
厚みエキストラ		横断歩道橋のため計上無し						
			t	1. 17	0	0		
スクラップ		ペーパーH1						
			t	-0. 136	35, 000	-4, 760		
諸雑費（まるめ）								
			式	1		15		
計						204, 100		
単価						204, 100	円／t	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	鋼材費（鋼板 1 各種）		単位	t	数量	1	単価	218, 800
	SM490YB							
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
鋼板（販売）	厚板 無規格 12≦t≦25		t	1. 17	175, 000	204, 750		
中厚板 規格エキストラ	SM490YB t≦25		t	1. 17	16, 000	18, 720		
長さエキストラ	横断歩道橋のため計上無し		t	1. 17	0	0		
厚みエキストラ	横断歩道橋のため計上無し		t	1. 17	0	0		
スクラップ	ペーパーH1		t	-0. 136	35, 000	-4, 760		
諸雑費（まるめ）			式	1		90		
計						218, 800		
単価						218, 800	円／ t	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	鋼材費（形鋼 2 規格品）	等辺山形鋼(SS400) 6×50×50	単位	t	数量	1	単価	112, 000
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	等辺山形鋼	中形 S S 4 0 0 6 × 5 0 × 5 0	t	1. 12	103, 000	115, 360		
	スクラップ	ヘビーH 1	t	-0. 096	35, 000	-3, 360		
	諸雑費（まるめ）		式	1		0		
	計					112, 000		
	単価					112, 000	円／ t	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
	製作直接労務費（横断歩道橋）	箱桁 0 t 0 t 0 t 0.98 t 0 t I桁 I桁 0無	単位	式	数量	1	単価	250, 900
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
製作工（橋梁）			人工	8. 04	31, 200	250, 848		
諸雑費（まるめ）			式	1		52		
計						250, 900		
単価						250, 900	円／式	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
	副資材費（t）		単位	t	数量	1	単価	18, 200
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
副資材費		鋼橋製作用 溶接材料込み	t	1	18, 200	18, 200		
諸雑費（まるめ）			式	1		0		
計						18, 200		
単価						18, 200	円／t	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	橋梁工場製作輸送工	横断歩道橋 80km	単位	t	数量	1	単価	18, 400
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	鋼橋工場製作輸送単価		t	1	18, 400	18, 400		
	諸雑費（まるめ）		式	1		0		
	計					18, 400		
	単価					18, 400	円／ t	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	鋼管・既製コンクリート杭打工〔中掘工〕	ゲラウト注入 既製コンクリート杭 有 φ 600mm≦D< φ 700mm N<20 16m<L≦32m	単位	本	数量	10	単価	753, 500
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人	3. 92	33, 252	130, 347		
	溶接工		人	3. 92	38, 250	149, 940		
	とび工		人	3. 92	33, 354	130, 747		
	特殊作業員		人	3. 92	30, 498	119, 552		
	普通作業員		人	3. 92	27, 030	105, 957		
	既製コンクリート杭	PHC杭 φ 600 t=90mm L=29. 0m	本	10	385, 000	3, 850, 000		
	アースオーガ中掘機運転	φ 600mm≦D< φ 700mm 16m<L≦32m	日	3. 92	320, 300	1, 255, 576		
	クローラクレーン運転	油圧駆動式ウインチ・ラジジブ型50～55t吊 排ガス型(第3次)	日	3. 92	128, 200	502, 544		
	バックホウ運転		日	3. 92	60, 630	237, 669		
	諸雑費（率＋まるめ） 40%		式	1		1, 052, 668		
	計					7, 535, 000		

参考資料 (1)

単価使用年月	2025.12
歩掛使用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

[illegible]

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	既製コンクリート杭カットオフ工	φ 500～600mm	単位	本	数量	10	単価	10, 930
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
特殊作業員			人	2. 9	30, 498	88, 444		
杭破碎機運転		φ 500～600mm	日	0. 83	6, 051	5, 022		
諸雑費（率＋まるめ） 18%			式	1		15, 834		
計						109, 300		
単価						10, 930	円／本	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	鉄筋工 [市場単価]	SD345 D13 一般構造物 10t以上(標準) 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む) 差筋及び杭頭処理	単位	t	数量	1	単価	176, 300
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	鉄筋コンクリート用棒鋼	S D 3 4 5 D 1 3	t	1. 03	110, 000	113, 300		
	鉄筋工	加工・組立共 一般構造物	t	1	62, 985	62, 985		
	諸雑費（まるめ）		式	1		15		
	計					176, 300		
	単価					176, 300	円／ t	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	鉄筋工 [市場単価]	SD345 D16～25 一般構造物 10t以上(標準) 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む) 差筋及び杭頭処理	単位	t	数量	1	単価	174, 300
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	鉄筋コンクリート用棒鋼	S D 3 4 5 D 1 6 ～ 2 5	t	1. 03	108, 000	111, 240		
	鉄筋工	加工・組立共 一般構造物	t	1	62, 985	62, 985		
	諸雑費（まるめ）		式	1		75		
	計					174, 300		
	単価					174, 300	円／ t	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	吊り型枠設置	PHC杭 φ420	単位	箇所	数量	10	単価	4, 366
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人	0. 5	33, 252	16, 626		
	普通作業員		人	1	27, 030	27, 030		
	諸雑費（まるめ）		式	1		4		
	計					43, 660		
	単価					4, 366	円／箇所	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	鋼管・既製コンクリート杭打工〔中掘工〕	ゲラウト注入 既製コンクリート杭 有 φ 600mm≦D< φ 700mm N<20 16m<L≦32m	単位	本	数量	10	単価	717, 500
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人	3. 92	33, 252	130, 347		
	溶接工		人	3. 92	38, 250	149, 940		
	とび工		人	3. 92	33, 354	130, 747		
	特殊作業員		人	3. 92	30, 498	119, 552		
	普通作業員		人	3. 92	27, 030	105, 957		
	既製コンクリート杭	PHC杭 φ 600 t=90mm L=27. 0m	本	10	349, 000	3, 490, 000		
	アースオーガ中掘機運転	φ 600mm≦D< φ 700mm 16m<L≦32m	日	3. 92	320, 300	1, 255, 576		
	クローラクレーン運転	油圧駆動式ウインチ・ラジジブ型50～55t吊 排ガス型(第3次)	日	3. 92	128, 200	502, 544		
	バックホウ運転		日	3. 92	60, 630	237, 669		
	諸雑費（率＋まるめ） 40%		式	1		1, 052, 668		
	計					7, 175, 000		

参考資料 (1)

単価使用年月	2025.12
歩掛使用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

[illegible]

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	回転杭工	開口タイプ 継手3箇所 杭径φ500杭長26. 5m掘削長29. 1m	単位	本	数量	1	単価	1, 437, 000
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役			人	2	33, 252	66, 504		
とび工			人	2	33, 354	66, 708		
特殊作業員			人	2	30, 498	60, 996		
溶接工			人	2	38, 250	76, 500		
クロー式杭打機運転		鋼管回転圧入機 全装備50〜55tトルク 548kN・m	日	2	359, 100	718, 200		
(55. 9t・m)最大適合管長10m								
バックホウ(クロー型)運転		山積0. 28m3(〜排3次・超低含)	日	2	18, 580	37, 160		
ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型)賃料		4. 9t吊 オペレータ付(〜排2014・低騒含)	日	2	40, 000	80, 000		
諸雑費(率+まるめ) 30%			式	1		330, 932		
計						1, 437, 000		
単価						1, 437, 000	円／本	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	鋼管杭杭頭処理溶接工	8mm～10mm	単位	m	数量	10	単価	1, 766
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	溶接工		人	0. 35	38, 250	13, 387		
	電気溶接機運転		日	0. 39	6, 166	2, 404		
	諸雑費（率＋まるめ） 14%		式	1		1, 869		
	計					17, 660		
	単価					1, 766	円／m	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	吊り型枠設置	鋼管杭 φ482	単位	箇所	数量	10	単価	4, 366
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人	0. 5	33, 252	16, 626		
	普通作業員		人	1	27, 030	27, 030		
	諸雑費（まるめ）		式	1		4		
	計					43, 660		
	単価					4, 366	円／箇所	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	回転杭工	開口タイプ 継手3箇所 杭径φ500杭長28. 0m掘削長30. 0m	単位	本	数量	1	単価	1, 437, 000
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人	2	33, 252	66, 504		
	とび工		人	2	33, 354	66, 708		
	特殊作業員		人	2	30, 498	60, 996		
	溶接工		人	2	38, 250	76, 500		
	クロー式杭打機運転	鋼管回転圧入機 全装備50〜55tトルク 548kN・m	日	2	359, 100	718, 200		
	(55. 9t・m)最大適合管長10m							
	バックホウ(クロー型)運転	山積0. 28m3(〜排3次・超低含)	日	2	18, 580	37, 160		
	ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型)賃料	4. 9t吊 オペレータ付(〜排2014・低騒含)	日	2	40, 000	80, 000		
	諸雑費(率+まるめ) 30%		式	1		330, 932		
	計					1, 437, 000		
	単価					1, 437, 000	円／本	

参考資料 (1)

單僱使用年月	2025.12
步掛使用年月	2025.12
勞務調整係數	1.000-00-00-2-0

[illegible]

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	現場取卸 (PHC杭)		単位	t	数量	100	単価	6, 245
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人	2. 9	33, 252	96, 430		
	とび工		人	2. 9	33, 354	96, 726		
	普通作業員		人	2. 9	27, 030	78, 387		
	クレーン運転	油圧駆動式クインチ・ラチスジフ型・排対3次50～55t吊	日	2. 9	121, 700	352, 930		
	諸雑費（まるめ）		式	1		27		
	計					624, 500		
	単価					6, 245	円／t	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	アンカーフレーム据付工（横断歩道橋）		単位	t	数量	1	単価	208, 400
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう世話役		人	1. 429	40, 188	57, 428		
	橋りょう特殊工		人	1. 429	34, 884	49, 849		
	普通作業員		人	1. 429	27, 030	38, 625		
	トラック（クレーン装置付）4 t 積 2. 9 t 吊運転		日	1. 429	43, 670	62, 404		
	諸雑費（率＋まるめ） 0. 1%		式	1		94		
	計					208, 400		
	単価					208, 400	円／ t	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	鉄筋工 [市場単価]	SD345 D13 一般構造物 10t以上(標準) 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む) 切梁のある構造物	単位	t	数量	1	単価	179, 600
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	鉄筋コンクリート用棒鋼	S D 3 4 5 D 1 3	t	1. 03	110, 000	113, 300		
	鉄筋工	加工・組立共 一般構造物	t	1	66, 300	66, 300		
	諸雑費（まるめ）		式	1		0		
	計					179, 600		
	単価					179, 600	円／ t	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	鉄筋工 [市場単価]	SD345 D16～25 一般構造物 10t以上(標準) 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む) 切梁のある構造物	単位	t	数量	1	単価	177, 600
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	鉄筋コンクリート用棒鋼	S D 3 4 5 D 1 6 ～ 2 5	t	1. 03	108, 000	111, 240		
	鉄筋工	加工・組立共 一般構造物	t	1	66, 300	66, 300		
	諸雑費（まるめ）		式	1		60		
	計					177, 600		
	単価					177, 600	円／ t	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	鉄筋工 [市場単価]	SD345 D16～25 一般構造物 10t以上(標準) 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む)	単位	t	数量	1	単価	177, 600
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	鉄筋コンクリート用棒鋼	S D 3 4 5 D 1 6 ～ 2 5	t	1. 03	108, 000	111, 240		
	鉄筋工	加工・組立共 一般構造物	t	1	66, 300	66, 300		
	諸雑費（まるめ）		式	1		60		
	計					177, 600		
	単価					177, 600	円／ t	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	逆T式橋台	5m以上7m未満 50m3以上90m3未満 24-12-25(20)(高炉) 一般養生 基礎材+均しコンクリート 無 無	単位	m 3	数量	10	単価	55, 740
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人	1	33, 252	33, 252		
	特殊作業員		人	0. 2	30, 498	6, 099		
	型わく工		人	3. 3	31, 926	105, 355		
	とび工		人	0. 8	33, 354	26, 683		
	普通作業員		人	2. 7	27, 030	72, 981		
	生コンクリート 高炉	2 4 - 1 2 - 2 5 (2 0)	m 3	10. 2	24, 000	244, 800		
	コンクリートポンプ車運転ブーム式 9 0 ～ 1 1 0 m 3	無	日	0. 06	96, 120	5, 767		
	雑工種 6%		式	1		15, 008		
	諸雑費（率+まるめ） 19%		式	1		47, 455		
	計					557, 400		
	単価					55, 740	円／m 3	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	鉄筋工 [市場単価]	SD345 D13 一般構造物 10t以上(標準) 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む) 補正無(一般構造物)	単位	t	数量	1	単価	179, 600
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	鉄筋コンクリート用棒鋼	S D 3 4 5 D 1 3	t	1. 03	110, 000	113, 300		
	鉄筋工	加工・組立共 一般構造物	t	1	66, 300	66, 300		
	諸雑費（まるめ）		式	1		0		
	計					179, 600		
	単価					179, 600	円／ t	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	円筒型枠設置	φ 125 L=320mm	単位	箇所	数量	20	単価	4, 003
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人	1	33, 252	33, 252		
	普通作業員		人	1. 5	27, 030	40, 545		
	諸雑費（率＋まるめ） 8. 5%		式	1		6, 263		
	計					80, 060		
	単価					4, 003	円／箇所	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	全回転式オールケーシング工	1, 200mm 36. 4m 0m 0m 0m 0m 0m 35. 5m 生コンクリート各種	単位	本	数量	1	単価	3, 045, 000
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人	2. 33	33, 252	77, 477		
	とび工		人	2. 33	33, 354	77, 714		
	特殊作業員		人	2. 33	30, 498	71, 060		
	普通作業員		人	2. 33	27, 030	62, 979		
	全回転型オールケーシング掘削機運転	1, 200mm 36. 4m	日	2. 33	272, 100	633, 993		
	クローラクレーン運転	1, 200mm 36. 4m	日	2. 33	224, 700	523, 551		
	バックホウ（クローラ型）運転		日	2. 33	41, 720	97, 207		
	生コンクリート 高炉（材料費）	30-18-25(20) W/C55%以下 C=350	m 3	43. 763	24, 650	1, 078, 757		
	ビット等損耗費 0. 4%		式	1		6, 175		
	諸雑費（率＋まるめ） 27%		式	1		416, 087		
	計					3, 045, 000		

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	全回転式オールケーシング工	1, 200mm 36. 4m 0m 0m 0m 0m 0m 35. 5m 生コンクリート各種	単位	本	数量	1	単価	3, 045, 000
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	単価					3, 045, 000	円／本	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	鉄筋工 [市場単価]	SD345 D13 場所打杭用かご筋 10t以上(標準) 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む)	単位	t	数量	1	単価	166, 400
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	鉄筋コンクリート用棒鋼	S D 3 4 5 D 1 3	t	1. 03	110, 000	113, 300		
	鉄筋工	加工・組立共 場所打杭用かご筋	t	1	53, 040	53, 040		
	諸雑費（まるめ）		式	1		60		
	計					166, 400		
	単価					166, 400	円／ t	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	鉄筋工 [市場単価]	SD345 D16～25 場所打杭用かご筋 10t以上(標準) 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む)	単位	t	数量	1	単価	164, 300
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	鉄筋コンクリート用棒鋼	S D 3 4 5 D 1 6 ～ 2 5	t	1. 03	108, 000	111, 240		
	鉄筋工	加工・組立共 場所打杭用かご筋	t	1	53, 040	53, 040		
	諸雑費（まるめ）		式	1		20		
	計					164, 300		
	単価					164, 300	円／ t	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	鉄筋工 [市場単価]	SD345 D29～32 場所打杭用かご筋 10t以上(標準) 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む)	単位	t	数量	1	単価	165, 400
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	鉄筋コンクリート用棒鋼	S D 3 4 5 D 2 9 ～ 3 2	t	1. 03	109, 000	112, 270		
	鉄筋工	加工・組立共 場所打杭用かご筋	t	1	53, 040	53, 040		
	諸雑費（まるめ）		式	1		90		
	計					165, 400		
	単価					165, 400	円／ t	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	杭頭処理	1, 200mm	単位	本	数量	1	単価	29, 180
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役			人	0. 12	33, 252	3, 990		
特殊作業員			人	0. 41	30, 498	12, 504		
ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型]		5 0 t 吊	日	0. 12	92, 000	11, 040		
諸雑費（率＋まるめ） 6%			式	1		1, 646		
計						29, 180		
単価						29, 180	円／本	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	全回転式オールケーシング工	1, 200mm 29. 5m 0m 0m 0m 0m 0m 26. 5m 生コンクリート各種	単位	本	数量	1	単価	2, 375, 000
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人	1. 86	33, 252	61, 848		
	とび工		人	1. 86	33, 354	62, 038		
	特殊作業員		人	1. 86	30, 498	56, 726		
	普通作業員		人	1. 86	27, 030	50, 275		
	全回転型オールケーシング掘削機運転	1, 200mm 29. 5m	日	1. 86	272, 100	506, 106		
	クローラクレーン運転	1, 200mm 29. 5m	日	1. 86	224, 700	417, 942		
	バックホウ（クローラ型）運転		日	1. 86	41, 720	77, 599		
	生コンクリート 高炉（材料費）	30-18-25(20) W/C55%以下 C=350	m 3	32. 668	24, 650	805, 266		
	ビット等損耗費 0. 4%		式	1		4, 930		
	諸雑費（率＋まるめ） 27%		式	1		332, 270		
	計					2, 375, 000		

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	全回転式オールケーシング工	1, 200mm 29. 5m 0m 0m 0m 0m 0m 26. 5m 生コンクリート各種	単位	本	数量	1	単価	2, 375, 000
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	単価					2, 375, 000	円／本	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	処分費（m 3）		単位	m 3	数量	100	単価	
	名称	規格	単位	数量	単価	金額		摘要
処分費		Co殻(無筋) 神奈川-36 東洋建材(株)	m 3	100				
	計							
	単価							円／m 3

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	橋台・橋脚コンクリート打設	24-12-25(20) (高炉) 一般養生 無 無	単位	m 3	数量	10	単価	27, 130
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役			人	0. 06	33, 252	1, 995		
特殊作業員			人	0. 18	30, 498	5, 489		
普通作業員			人	0. 24	27, 030	6, 487		
生コンクリート 高炉		2 4 - 1 2 - 2 5 (2 0)	m 3	10. 2	24, 000	244, 800		
コンクリートポンプ車運転ブーム式 9 0 ～ 1 1 0 m 3		無	日	0. 06	96, 120	5, 767		
養生工		鉄筋構造物 一般養生	m 3	10	626. 1	6, 261		
諸雑費（率＋まるめ） 3%			式	1		501		
計						271, 300		
単価						27, 130	円／m 3	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	鉄筋工 [市場単価]	SD345 D29～32 一般構造物 10t以上(標準) 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む)	単位	t	数量	1	単価	178, 600
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	鉄筋コンクリート用棒鋼	S D 3 4 5 D 2 9 ～ 3 2	t	1. 03	109, 000	112, 270		
	鉄筋工	加工・組立共 一般構造物	t	1	66, 300	66, 300		
	諸雑費（まるめ）		式	1		30		
	計					178, 600		
	単価					178, 600	円／ t	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	鉄筋工 [市場単価]	SD345 D35 一般構造物 10t以上(標準) 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む) 補正無(一般構造物)	単位	t	数量	1	単価	181, 700
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	鉄筋コンクリート用棒鋼	S D 3 4 5 D 3 5	t	1. 03	112, 000	115, 360		
	鉄筋工	加工・組立共 一般構造物	t	1	66, 300	66, 300		
	諸雑費（まるめ）		式	1		40		
	計					181, 700		
	単価					181, 700	円／ t	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	円筒型枠設置	φ 150 L=520, 560mm	単位	箇所	数量	25	単価	4, 076
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人	1	33, 252	33, 252		
	型わく工		人	2	31, 926	63, 852		
	諸雑費（率＋まるめ） 5%		式	1		4, 796		
	計					101, 900		
	単価					4, 076	円／箇所	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	パイプサポート支保・くさび結合支保	パイプサポート支保 $V \leq 40$ 空m ³ $f \leq 40$ kN/m ² [$t \leq 120$ cm]	単位	空m ³	数量	100	単価	5, 684
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人	2. 9	33, 252	96, 430		
	型わく工		人	5. 3	31, 926	169, 207		
	とび工		人	2. 5	33, 354	83, 385		
	普通作業員		人	5. 7	27, 030	154, 071		
	諸雑費（率＋まるめ） 13%		式	1		65, 307		
	計					568, 400		
	単価					5, 684	円／空m ³	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	パイプサポート支保・くさび結合支保	くさび結合支保 40kN/m2<f≦80kN/m2[120<t≦250cm] 標準(1.0)	単位	空m 3	数量	100	単価	6,944
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人	2.1	33,252	69,829		
	型わく工		人	2.7	31,926	86,200		
	とび工		人	4.2	33,354	140,086		
	普通作業員		人	6	27,030	162,180		
	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型]	2 5 t 吊	日	1.2	53,200	63,840		
	諸雑費（率＋まるめ） 33%		式	1		172,265		
	計					694,400		
	単価					6,944	円／空m 3	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	足場工	手摺先行型枠組足場 必要 標準	単位	掛㎡	数量	100	単価	5, 846
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人	1. 6	33, 252	53, 203		
	とび工		人	8. 5	33, 354	283, 509		
	普通作業員		人	1. 3	27, 030	35, 139		
	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型]	2 5 t 吊	日	1. 4	53, 200	74, 480		
	諸雑費（率＋まるめ） 31%		式	1		138, 269		
	計					584, 600		
	単価					5, 846	円／掛㎡	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-50
	区画線設置	有り 溶融式手動 無し 実線 15cm 無し 1. 5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	単位	m	数量	1, 000	単価 501. 5
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
	区画線設置（溶融式）	夜間 豪雪無 実線15cm 制約無	m	1, 000	337. 62	337, 620	
	トラフィックペイント	3 種 1 号 ビーズ 1 5 ～ 1 8 白 溶融型	k g	570	235	133, 950	
	ガラスビーズ	0. 1 0 6 ～ 0. 8 5 0 mm	k g	25	180	4, 500	
	接着用プライマー	区画線用	k g	25	485	12, 125	
	軽油		L	40	139	5, 560	
	諸雑費（率＋まるめ） 5%		式	1		7, 745	
	計					501, 500	
	単価					501. 5	円／m

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

	区画線設置	有り 溶融式手動 無し 破線 15cm 無し 1.5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	単位	m	数量	1, 000	単価	538. 8
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	区画線設置（溶融式）	夜間 豪雪無 破線15cm 制約無	m	1, 000	374. 34	374, 340		
	トラフィックペイント	3 種 1 号 ビーズ 1 5 ～ 1 8 白 溶融型	k g	570	235	133, 950		
	ガラスビーズ	0. 1 0 6 ～ 0. 8 5 0 mm	k g	25	180	4, 500		
	接着用プライマー	区画線用	k g	25	485	12, 125		
	軽油		L	44	139	6, 116		
	諸雑費（率＋まるめ） 5%		式	1		7, 769		
	計					538, 800		
	単価					538. 8	円／m	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

	区画線消去	有り 削取り式 無し 無し 全ての費用	単位	m	数量	1, 000	単価	997. 4
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	区画線消去	夜間 豪雪無 削取り式 制約無	m	1, 000	983. 28	983, 280		
	軽油		L	62	139	8, 618		
	ガソリン	レギュラー	L	35	155	5, 425		
	諸雑費（まるめ）		式	1		77		
	計					997, 400		
	単価					997. 4	円／m	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	コンクリート舗装工 人力舗設	20cm未満	単位	m 2	数量	100	単価	3, 943
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人	1. 08	33, 252	35, 912		
	特殊作業員		人	3. 35	30, 498	102, 168		
	普通作業員		人	6. 38	27, 030	172, 451		
	諸雑費（率＋まるめ） 27%		式	1		83, 769		
	計					394, 300		
	単価					3, 943	円／m 2	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	コンクリート舗装工（材料）	0m2/100m2 0t/100m2 0t/100m2 各種 0.1m 無	単位	m 2	数量	100	単価	2, 579
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	生コンクリート 高炉	18-8-25 (20)	m 3	10. 4	23, 450	243, 880		
	アスファルト乳剤	P K-3 プライムコート用	L	126	111	13, 986		
	鉄筋金網	S D 2 9 5 D 6 × 1 5 0 × 1 5 0	m 2	0	596	0		
	鉄筋金網	S D 2 9 5 D 1 3 × 1 0 0 ～ 2 5 0	t	0	163, 000	0		
	鉄筋コンクリート用棒鋼	S D 2 9 5 D 1 3	t	0	105, 000	0		
	諸雑費（まるめ）		式	1		34		
	計					257, 900		
	単価					2, 579	円／m 2	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	防護柵（横断・転落防止柵）設置工	コンクリート建込 ビーム式・パネル式 2m 100m未満 無	単位	m	数量	100	単価	9, 707
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	横断・転落防止柵設置工 コンクリート建込用	ビーム式・パネル式	m	100	2, 376. 62	237, 662		
	転落防止柵	4段ビーム型(白色) 2. 3×φ42. 7×3000 コンクリート建込	m	100	7, 330	733, 000		
	諸雑費（まるめ）		式	1		38		
	計					970, 700		
	単価					9, 707	円／m	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	土のう工	仕拵・積立	単位	袋	数量	100	単価	827. 9
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
流用土			m 3	2	0	0		
普通作業員			人	3	27, 030	81, 090		
土のう		6 2 × 4 8 c m	袋	100	17	1, 700		
諸雑費（まるめ）			式	1		0		
計						82, 790		
単価						827. 9	円／袋	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	大型土のう工	製作・設置 流用土 5m以下 -3m≦H≦2m	単位	袋	数量	10	単価	5, 265
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人	0. 294	33, 252	9, 776		
	特殊作業員		人	0. 294	30, 498	8, 966		
	普通作業員		人	0. 294	27, 030	7, 946		
	1t土のう	丸型 径110cm×長さ108cm	袋	10	1, 100	11, 000		
	バックホウ運転（クレーン仕様）	製作・設置 5m以下 -3m≦H≦2m	日	0. 294	50, 020	14, 705		
	諸雑費（率＋まるめ） 1%		式	1		257		
	計					52, 650		
	単価					5, 265	円／袋	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	仮囲い設置・撤去	設置 50日	単位	m	数量	10	単価	6, 529
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人	0. 286	33, 252	9, 510		
	普通作業員		人	1. 429	27, 030	38, 625		
	仮囲い仮設材損料	単管土中打込式 H＝3. 0 m	供用日	50	247	12, 350		
	諸雑費（率＋まるめ） 10%		式	1		4, 805		
	計					65, 290		
	単価					6, 529	円／m	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	鋼矢板圧入（N m a x ≤ 2 5）	陸上 III型 9m以下	単位	枚	数量	10	単価	15, 240
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人	0. 37	33, 252	12, 303		
	特殊作業員		人	0. 37	30, 498	11, 284		
	とび工		人	0. 741	33, 354	24, 715		
	油圧式杭圧入引抜機運転	圧入(Nmax≤25) III型	日	0. 37	180, 300	66, 711		
	ラフテレーンクレーン運転	25t吊 排出ガス対策型(第3次基準値)	日	0. 37	97, 120	35, 934		
	諸雑費（率＋まるめ） 1%		式	1		1, 453		
	計					152, 400		
	単価					15, 240	円／枚	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	油圧式杭圧入引抜機据付・解体	圧入(Nmax≤25) III型 陸上	単位	回	数量	1	単価	112, 100
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役			人	0. 29	33, 252	9, 643		
特殊作業員			人	0. 29	30, 498	8, 844		
とび工			人	0. 58	33, 354	19, 345		
油圧式杭圧入引抜機運転		圧入(Nmax≤25) III型	日	0. 25	180, 300	45, 075		
ラフテレーンクレーン運転		25t吊 排出ガス対策型(第3次基準値)	日	0. 3	97, 120	29, 136		
諸雑費（まるめ）			式	1		57		
計						112, 100		
単価						112, 100	円／回	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	鋼矢板賃料（普通鋼矢板）	III型 7m/枚 192日 有 283日 無	単位	枚	数量		単価	
						1		7, 015
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	鋼矢板（本矢板）	3型（60kg/m）						
			t	0. 42	16, 704	7, 015		
	諸雑費（まるめ）							
			式	1		0		
	計					7, 015		
	単価					7, 015	円／枚	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	鋼矢板圧入（N m a x ≤ 2 5）	陸上 III型 6m以下	単位	枚	数量	10	単価	12, 110
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人	0. 294	33, 252	9, 776		
	特殊作業員		人	0. 294	30, 498	8, 966		
	とび工		人	0. 588	33, 354	19, 612		
	油圧式杭圧入引抜機運転	圧入(Nmax≤25) III型	日	0. 294	180, 300	53, 008		
	ラフテレーンクレーン運転	25t吊 排出ガス対策型(第3次基準値)	日	0. 294	97, 120	28, 553		
	諸雑費（率＋まるめ） 1%		式	1		1, 185		
	計					121, 100		
	単価					12, 110	円／枚	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
	鋼矢板賃料（普通鋼矢板）	III型 6.5m/枚 78日 有 169日 無	単位	枚	数量	1	単価	2, 834
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
鋼矢板（本矢板）		3型（6 0 k g／m）	t	0. 39	7, 267	2, 834		
諸雑費（まるめ）			式	1		0		
計						2, 834		
単価						2, 834	円／枚	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
	鋼矢板賃料（普通鋼矢板）	III型 7m/枚 188日 有 279日 無	単位	枚	数量	1	単価	6, 869
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
鋼矢板（本矢板）		3型（6 0 k g／m）	t	0. 42	16, 356	6, 869		
諸雑費（まるめ）			式	1		0		
計						6, 869		
単価						6, 869	円／枚	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	鋼矢板賃料（普通鋼矢板）	III型 8.5m/枚 63日 有 154日 無	単位	枚	数量		単価	
						1		3, 052
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	鋼矢板（本矢板）	3 型（6 0 k g／m）						
			t	0. 51	5, 985	3, 052		
	諸雑費（まるめ）							
			式	1		0		
	計					3, 052		
	単価					3, 052	円／枚	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	頭部連結材設置	[-250×90×9×13 ボルト接合 (A2=10本、A3=20本)	単位	m	数量	100	単価	1, 312
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人	0. 59	33, 252	19, 618		
	とび工		人	1. 11	33, 354	37, 022		
	溶接工		人	0. 59	38, 250	22, 567		
	普通作業員		人	0. 59	27, 030	15, 947		
	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型]	2 5 t 吊	日	0. 59	53, 200	31, 388		
	諸雑費（率＋まるめ） 5%		式	1		4, 658		
	計					131, 200		
	単価					1, 312	円／m	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	鋼矢板引抜き	陸上 III型 9m以下	単位	枚	数量	10	単価	8, 696
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人	0. 213	33, 252	7, 082		
	特殊作業員		人	0. 213	30, 498	6, 496		
	とび工		人	0. 426	33, 354	14, 208		
	油圧式杭圧入引抜機運転	引抜き III型	日	0. 213	180, 300	38, 403		
	ラフテレーンクレーン運転	25t吊 排出ガス対策型(第3次基準値)	日	0. 213	97, 120	20, 686		
	諸雑費（率＋まるめ） 0. 1%		式	1		85		
	計					86, 960		
	単価					8, 696	円／枚	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	油圧式杭圧入引抜機据付・解体	引抜き III型 陸上	単位	回	数量	1	単価	67, 010
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人	0. 19	33, 252	6, 317		
	特殊作業員		人	0. 19	30, 498	5, 794		
	とび工		人	0. 39	33, 354	13, 008		
	油圧式杭圧入引抜機運転	引抜き III型	日	0. 13	180, 300	23, 439		
	ラフテレーンクレーン運転	25t吊 排出ガス対策型(第3次基準値)	日	0. 19	97, 120	18, 452		
	諸雑費（まるめ）		式	1		0		
	計					67, 010		
	単価					67, 010	円／回	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	鋼矢板賃料（普通鋼矢板）	III型 9m/枚 190日 無 有 3650円 無 1回	単位	枚	数量	1	単価	16, 030
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	鋼矢板（本矢板）	3型（6 0 k g / m）	t	0. 54	16, 530	8, 926		
	鋼矢板 修理費及び損耗費		t	0. 54	13, 140	7, 095		
	諸雑費（まるめ）		式	1		9		
	計					16, 030		
	単価					16, 030	円／枚	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0
	頭部連結材設置	[-250×90×9×13 ホト接合 (A2=10本、A3=20本)	単位	m	数量	100	単価 1, 312
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
	土木一般世話役		人	0. 59	33, 252	19, 618	
	とび工		人	1. 11	33, 354	37, 022	
	溶接工		人	0. 59	38, 250	22, 567	
	普通作業員		人	0. 59	27, 030	15, 947	
	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型]	2 5 t 吊	日	0. 59	53, 200	31, 388	
	諸雑費（率＋まるめ） 5%		式	1		4, 658	
	計					131, 200	
	単価					1, 312	円／m

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	頭部連結材撤去	[-250×90×9×13 ボルトの取り外し	単位	m	数量	100	単価	625. 9
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人	0. 35	33, 252	11, 638		
	とび工		人	0. 66	33, 354	22, 013		
	普通作業員		人	0. 35	27, 030	9, 460		
	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型]	2 5 t 吊	日	0. 35	53, 200	18, 620		
	諸雑費（率＋まるめ） 2%		式	1		859		
	計					62, 590		
	単価					625. 9	円／m	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	鋼矢板賃料（普通鋼矢板）	III型 8.5m/枚 29日 無 有 3650円 無 1回	単位	枚	数量	1	単価	8, 106
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	鋼矢板（本矢板）	3型（6 0 k g / m）	t	0. 51	2, 755	1, 405		
	鋼矢板 修理費及び損耗費		t	0. 51	13, 140	6, 701		
	諸雑費（まるめ）		式	1		0		
	計					8, 106		
	単価					8, 106	円／枚	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	切梁・腹起し設置・撤去	設置 無 標準(1. 0)	単位	t	数量	10	単価	37, 830
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	切梁・腹起し設置	無 標準(1. 0)	t	10	37, 830	378, 300		
	諸雑費（まるめ）		式	1		0		
	計					378, 300		
	単価					37, 830	円／ t	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	山留材質料	無 181日 有 272日 無 無 有 300000円 1回/現場	単位	t	数量	1	単価	45, 000
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	H形鋼（山留主部材）	2 5 0 ～ 4 0 0 型（8 0 ～ 2 0 0 k g ／ m）	t	1	19, 910	19, 910		
	副部材（A）	賃料 181日	t	0. 22	58, 933	12, 965		
	副部材（B） 修理費及び損耗費		t	0. 04	303, 000	12, 120		
	諸雑費（まるめ）		式	1		5		
	計					45, 000		
	単価					45, 000	円／ t	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	山留材質料(H500)	無 181日 有 272日 無 無 有	単位	t	数量	1	単価	85, 000
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	H形鋼(山留主部材)	500型(300kg/m) 賃料 181日	t	1	39, 367	39, 367		
	H形鋼(副部材A)	500型(300kg/m) 賃料 181日	t	0. 22	116, 527	25, 635		
	H形鋼(副部材B)	500型(300kg/m) 修理費及び損耗費	t	0. 04	499, 950	19, 998		
	諸雑費（まるめ）		式	1		0		
	計					85, 000		
	単価					85, 000	円／t	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	山留材質料	無 88日 有 179日 無 無 有 300000円 1回/現場	単位	t	数量	1	単価	29, 080
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	H形鋼（山留主部材）	2 5 0 ～ 4 0 0 型（8 0 ～ 2 0 0 k g ／ m）	t	1	9, 788	9, 788		
	副部材（A）	賃料 88日	t	0. 22	32, 560	7, 163		
	副部材（B） 修理費及び損耗費		t	0. 04	303, 000	12, 120		
	諸雑費（まるめ）		式	1		9		
	計					29, 080		
	単価					29, 080	円／ t	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	山留材質料	無 177日 有 268日 無 無 有 300000円 1回/現場	単位	t	数量	1	単価	44, 270
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	H形鋼（山留主部材）	2 5 0 ～ 4 0 0 型（8 0 ～ 2 0 0 k g ／ m）	t	1	19, 470	19, 470		
	副部材（A）	賃料 177日	t	0. 22	57, 631	12, 678		
	副部材（B） 修理費及び損耗費		t	0. 04	303, 000	12, 120		
	諸雑費（まるめ）		式	1		2		
	計					44, 270		
	単価					44, 270	円／ t	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	山留材質料(H500)	無 177日 有 268日 無 無 有	単位	t	数量	1	単価	83, 570
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	H形鋼(山留主部材)	500型(300kg/m) 賃料 177日	t	1	38, 497	38, 497		
	H形鋼(副部材A)	500型(300kg/m) 賃料 177日	t	0. 22	113, 952	25, 069		
	H形鋼(副部材B)	500型(300kg/m) 修理費及び損耗費	t	0. 04	499, 950	19, 998		
	諸雑費（まるめ）		式	1		6		
	計					83, 570		
	単価					83, 570	円／t	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
	交通誘導警備員A		単位	人日	数量	1	単価	20, 300
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員A			人	1	20, 298	20, 298		
諸雑費（まるめ）			式	1		2		
計						20, 300		
単価						20, 300	円／人日	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
	交通誘導警備員B		単位	人日	数量	1	単価	17, 850
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員B			人	1	17, 850	17, 850		
諸雑費（まるめ）			式	1		0		
計						17, 850		
単価						17, 850	円／人日	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-50	
	交通誘導警備員A		単位	人日	数量	1	単価	30, 450
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員A			人	1	30, 447	30, 447		
諸雑費（まるめ）			式	1		3		
計						30, 450		
単価						30, 450	円／人日	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-50	
	交通誘導警備員B		単位	人日	数量	1	単価	26, 780
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員B			人	1	26, 775	26, 775		
諸雑費（まるめ）			式	1		5		
計						26, 780		
単価						26, 780	円／人日	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
	下水道用水中ポンプ	2インチ 2台 R8. 4. 1～R8. 11. 30 244日	単位	日	数量	1	単価	800
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
水中ポンプ		2インチ 0. 4kw/50mm/100v	台・日	2	400	800		
計						800		
単価						800	円／日	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
	騒音・振動計	分離型 3台 R8. 4. 1～R8. 11. 30 244日	単位	日	数量	1	単価	15, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
環境表示計		分離型	台・日	3	5, 000	15, 000		
計						15, 000		
単価						15, 000	円／日	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
	水中ポンプ	2インチ 100v オート 4台 R8. 4. 1～R8. 11. 30 244日	単位	日	数量	1	単価	2, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
水中ポンプ		2インチ 100v オート						
			台・日	4	500	2, 000		
計						2, 000		
単価						2, 000	円／日	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
	水中ポンプ	2インチ 高揚200v オート 2台 R8. 4. 1～R8. 11. 30 244日	単位	日	数量	1	単価	2, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
水中ポンプ		2インチ高揚200vオート						
			台・日	2	1, 000	2, 000		
計						2, 000		
単価						2, 000	円／日	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
	ノッチタンク	3. 0m3 1台 R8. 4. 1～R8. 11. 30 244日	単位	日	数量	1	単価	1, 500
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
ノッチタンク		3. 0m3						
			台・日	1	1, 500	1, 500		
計						1, 500		
単価						1, 500	円／日	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
	H形鋼	H-300×300×10×15 14. 694t R8. 4. 1～R8. 11. 30 244	単位	日	数量	1	単価	1, 469
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
H形鋼		H-300×300×10×15 14. 694t						
			t・日	14. 694	100	1, 469		
計						1, 469		
単価						1, 469	円／日	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
	人道橋覆工板	2m2 25+21枚(92m2) R8. 4. 1～R8. 11. 30 244日	単位	日	数量	1	単価	3, 956
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
人道橋覆工板		2m2/枚 92m2						
			m 2 ・ 日	92	43	3, 956		
計						3, 956		
単価						3, 956	円／日	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
	歩道上部工部材	20. 634t R8. 4. 1～R8. 11. 30 244日	単位	日	数量	1	単価	8, 253
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
歩道上部工部材		20. 634t						
			t ・ 日	20. 634	400	8, 253		
計						8, 253		
単価						8, 253	円／日	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
	高欄部材	3. 112t R8. 4. 1～R8. 11. 30 244日	単位	日	数量	1	単価	1, 244
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
高欄部材		3. 112t	t・日	3. 112	400	1, 244		
計						1, 244		
単価						1, 244	円／日	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
	管理用門扉	1000×2000 4枚 R8. 4. 1～R8. 11. 30 244日	単位	日	数量	1	単価	800
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
管理用門扉		1000×2000	枚・日	4	200	800		
計						800		
単価						800	円／日	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
	カーポートフェンス	カーポートフェンス1800メッキ Sハネ付 セット180枚 R8. 4. 1～R8. 11.	単位	日	数量	1	単価	6, 300
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
カーポートフェンス		カーポートフェンス1800メッキ Sハネ付 セット	枚・日	180	35	6, 300		
計						6, 300		
単価						6, 300	円／日	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
	鋼矢板	SP-4型 9. 5m 42枚 R8. 4. 1～R8. 11. 30 244日	単位	日	数量	1	単価	2, 898
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
鋼矢板		SP-4型 9. 5m (0. 72295t)	枚・日	42	69	2, 898		
計						2, 898		
単価						2, 898	円／日	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
	鋼矢板コーナー	SP-C3型 9.5m 1枚 R8. 4. 1～R8. 11. 30 244日	単位	日	数量	1	単価	113
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
鋼矢板 コーナー		SP-C3型 9.5m (0.594t)	枚・日	1	113	113		
計						113		
単価						113	円／日	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
	鋼矢板 コーナー	SP-C4型 9.5m 1枚 R8. 4. 1～R8. 11. 30 244日	単位	日	数量	1	単価	137
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
鋼矢板 コーナー		SP-C4型 9.5m (0.722t)	枚・日	1	137	137		
計						137		
単価						137	円／日	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	H鋼カ°ート°レール	H鋼カ°ート°レール 3m 18基 R8. 4. 1～R8. 11. 30 244日	単位	日	数量	1	単価	4, 500
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	H鋼カ°ート°レール	H鋼カ°ート°レール 3m	基・日	18	250	4, 500		
	計					4, 500		
	単価					4, 500	円／日	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	重建設機械分解組立	分解組立 クロー式杭打機 機械質量20t以上60t以下 標準(1.0)	単位	回	数量	1	単価	483, 800
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
特殊作業員			人	8. 6	30, 498	262, 282		
ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型]		6 0 t 吊	日	2. 1	101, 000	212, 100		
諸雑費（率＋まるめ） 2%			式	1		9, 418		
計						483, 800		
単価						483, 800	円／回	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	重建設機械分解組立輸送	分解組立+輸送(往復) クロー式杭打機 機械質量60tを超え100t以下 標準(1. 0)	単位	回	数量	1	単価	2, 235, 000
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
特殊作業員			人	15. 5	30, 498	472, 719		
ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型]		6 0 t 吊	日	3. 7	101, 000	373, 700		
運搬費等率 164%			式	1		1, 388, 127		
諸雑費（まるめ）			式	1		454		
計						2, 235, 000		
単価						2, 235, 000	円／回	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	重建設機械分解組立輸送	分解組立+輸送(往復) クローラークレーン系 35t吊超80t吊以下(クラム平積0.6m3超2m3下) 標準(1.0)	単位	回	数量	1	単価	1,322,000
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
特殊作業員			人	5.5	30,498	167,739		
ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型]		25 t 吊	日	1.5	53,200	79,800		
運搬費等率 434%			式	1		1,074,319		
諸雑費 (まるめ)			式	1		142		
計						1,322,000		
単価						1,322,000	円／回	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	重建設機械分解組立輸送	分解組立+輸送(往復) クロー式杭打機 機械質量20t以上60t以下 標準(1. 0)	単位	回	数量	1	単価	1, 248, 000
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
特殊作業員			人	8. 6	30, 498	262, 282		
ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型]		6 0 t 吊	日	2. 1	101, 000	212, 100		
運搬費等率 163%			式	1		773, 242		
諸雑費（まるめ）			式	1		376		
計						1, 248, 000		
単価						1, 248, 000	円／回	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	重建設機械分解組立輸送	分解組立+輸送(往復) オールケーシング掘削機 スキッド式(クローラークレーン排2014年70～90t)	単位	回	数量	1	単価	3, 422, 000
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
特殊作業員			人	4. 9	30, 498	149, 440		
クローラークレーン [油圧駆動ウインチ・ラチスジブ]		基礎工事用 排ガス型 2 0 1 4 年規制 7 0 ～ 9 0 t 吊	時間	11. 9	36, 170	430, 423		
運搬費等率 490%			式	1		2, 841, 328		
諸雑費（まるめ）			式	1		809		
計						3, 422, 000		
単価						3, 422, 000	円／回	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
	仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運	関東・中部・近畿 16.5km 12m以内 各種(実数入力) 0無 無	単位	t	数量	1	単価	4,660
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
基本運賃区分A		製品長12m以内 20kmまで	t	1	4,660	4,660		
諸雑費（まるめ）			式	1		0		
計						4,660		
単価						4,660	円／ t	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
	仮設材等の積込み、取卸し費	積込み, 取卸し(片道分)	単位	t	数量	1	単価	1,500
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
積込み、取卸し費（仮設材等）			t	1	1,500	1,500		
諸雑費（まるめ）			式	1		0		
計						1,500		
単価						1,500	円／ t	

参考資料（１）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	土質等試験費（一式入力）	145千円	単位	式	数量	1	単価	145, 000
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土質等試験費		式	1		145, 000		
	計					145, 000		
	単価					145, 000	円／式	

参考資料（２）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	アースオーガ中掘機運転	$\phi 600\text{mm} \leq D < \phi 700\text{mm}$ $16\text{m} < L \leq 32\text{m}$	単位	日	数量	1	単価	320, 300
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	運転手（特殊）		人	1	32, 028	32, 028		
	軽油		L	57	139	7, 923		
	アースオーガ中掘機 [直結三点支持式]	E 5 5 k W $\phi 400 \sim 1200\text{mm}$ 2 1 ～ 3 3 m	供用日	1. 46	192, 000	280, 320		
	諸雑費（まるめ）		式	1		29		
	計					320, 300		
	単価					320, 300	円／日	

参考資料（２）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	クローラクレーン運転	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ 型50～55t吊 排ガス型(第3次)	単位	日	数量	1	単価	128, 200
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	運転手（特殊）		人	1	32, 028	32, 028		
	軽油		L	56	139	7, 784		
	クローラクレーン [油圧駆動ウインチ・ラチスジブ]	排出ガス対策型（第3次基準値） 5 0～5 5 t 吊	供用日	1. 46	60, 500	88, 330		
	諸雑費（まるめ）		式	1		58		
	計					128, 200		
	単価					128, 200	円／日	

参考資料（２）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	バックホウ運転		単位	日	数量	1	単価	60, 630
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	運転手（特殊）		人	1	32, 028	32, 028		
	軽油		L	45	139	6, 255		
	バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型〕	排出ガス対策型（２０１４年規制） 山積０．５ｍ３	供用日	1. 52	14, 700	22, 344		
	諸雑費（まるめ）		式	1		3		
	計					60, 630		
	単価					60, 630	円／日	

参考資料（２）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	杭破碎機運転	φ 500～600mm	単位	日	数量	1	単価	6, 051
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	ガソリン	レギュラー	L	1. 3	155	201		
	杭破碎機	杭径 φ 3 0 0 ～ 6 0 0 mm	日	1	5, 850	5, 850		
	諸雑費（まるめ）		式	1		0		
	計					6, 051		
	単価					6, 051	円／日	

参考資料（２）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	クローラ式杭打機運転	鋼管回転圧入機 全装備50～55tﾄﾙｸ 548kN・m	単位	日	数量	1	単価	359, 100
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	運転手（特殊）		人	1	32, 028	32, 028		
	軽油		L	112	139	15, 568		
	クローラ式杭打機損料	鋼管回転圧入機 全装備50～55tﾄﾙｸ548kN・m(55. 9t・m)	供用日	1. 75	178, 000	311, 500		
	最大適合管長10m							
	諸雑費（まるめ）		式	1		4		
	計					359, 100		
	単価					359, 100	円／日	

参考資料（２）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	バックホウ(クローラ型)運転	山積0.28m3(〃排3次・超低含)	単位	日	数量	1	単価	18,580
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	運転手（特殊）		人	0.28	32,028	8,967		
	軽油		L	11	139	1,529		
	バックホウ（クローラ型）賃料	山積0.28m3（〃排3次・超低含）	供用日	1.59	5,080	8,077		
	諸雑費（まるめ）		式	1		7		
	計					18,580		
	単価					18,580	円／日	

参考資料（２）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	ラフテレーンクレーン（油圧伸縮ジ ブ型）賃料	4. 9t吊 オペレータ付（～排2014・低騒含）	単位	日	数量	1	単価	40, 000
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型〕	4. 9 t 吊	日	1	40, 000	40, 000		
	計					40, 000		
	単価					40, 000	円／日	

参考資料（２）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	電気溶接機運転		単位	日	数量	1	単価	6, 166
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
軽油			L	24	139	3, 336		
電気溶接機 [ディーゼルエンジン駆動・直流アーク]		排出ガス対策型（第３次） 最大溶接電流３００Ａ	日	1	2, 830	2, 830		
諸雑費（まるめ）			式	1		0		
計						6, 166		
単価						6, 166	円／日	

参考資料（２）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	クローラークレーン運転	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排対3次50～55t吊	単位	日	数量	1	単価	121, 700
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	運転手（特殊）		人	1	32, 028	32, 028		
	軽油		L	66	139	9, 174		
	クローラークレーン〔油圧駆動ウインチ・ラチスジブ〕	排出ガス対策型（第3次基準値）5 0～5 5 t吊	供用日	1. 33	60, 500	80, 465		
	諸雑費（まるめ）		式	1		33		
	計					121, 700		
	単価					121, 700	円／日	

参考資料（２）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	トラック（クレーン装置付）４ｔ積 ２．９ｔ吊運転		単位	日	数量	1	単価	43, 670
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
運転手（特殊）		人	1	32, 028	32, 028			
軽油		L	33	139	4, 587			
トラック〔クレーン装置付〕	ベーストラック４ｔ級 吊能力２．９ｔ	日	1	7, 050	7, 050			
諸雑費（まるめ）		式	1		5			
計					43, 670			
単価					43, 670	円／日		

参考資料（２）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	コンクリートポンプ車運転ブーム式 9 0 ～ 1 1 0 m 3	無	単位	日	数量	1	単価	96, 120
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
運転手（特殊）		人	1	32, 028	32, 028			
軽油		L	66	139	9, 174			
コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式]	圧送能力 9 0 ～ 1 1 0 m 3 / h	供用日	1. 04	52, 800	54, 912			
諸雑費（まるめ）		式	1		6			
計					96, 120			
単価					96, 120	円／日		

参考資料（２）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	全回転型オールケーシング掘削機運 転	1, 200mm 36. 4m	単位	日	数量	1	単価	272, 100
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
運転手（特殊）			人	1	32, 028	32, 028		
軽油			L	88	139	12, 232		
全回転型オールケーシング掘削機〔ケーシングD〕			スキッド式・ディーゼル油圧駆動 径φ 1 5 0 0 mm	供用日	1. 46	156, 000	227, 760	
諸雑費（まるめ）			式	1		80		
計						272, 100		
単価						272, 100	円／日	

参考資料（２）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	クローラクレーン運転	1, 200mm 36. 4m	単位	日	数量	1	単価	224, 700
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	運転手（特殊）		人	1	32, 028	32, 028		
	軽油		L	106	139	14, 734		
	クローラクレーン〔油圧駆動ウインチ・ラチスジブ〕	基礎工事用 排ガス型 2 0 1 4 年規制 7 0 ～ 9 0 t 吊	供用日	1. 39	128, 000	177, 920		
	諸雑費（まるめ）		式	1		18		
	計					224, 700		
	単価					224, 700	円／日	

参考資料（２）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	バックホウ（クローラ型）運転		単位	日	数量	1	単価	41, 720
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	運転手（特殊）		人	0. 8	32, 028	25, 622		
	軽油		L	35	139	4, 865		
	バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型〕	山積0. 5 m ³ （平積0. 4 m ³ ）	日	1. 6	7, 020	11, 232		
	諸雑費（まるめ）		式	1		1		
	計					41, 720		
	単価					41, 720	円／日	

参考資料（２）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	全回転型オールケーシング掘削機運 転	1, 200mm 29. 5m	単位	日	数量	1	単価	272, 100
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
運転手（特殊）			人	1	32, 028	32, 028		
軽油			L	88	139	12, 232		
全回転型オールケーシング掘削機〔ケーシングD〕		スキッド式・ディーゼル油圧駆動 径φ 1 5 0 0 mm	供用日	1. 46	156, 000	227, 760		
諸雑費（まるめ）			式	1		80		
計						272, 100		
単価						272, 100	円／日	

参考資料（２）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	クローラクレーン運転	1, 200mm 29. 5m	単位	日	数量	1	単価	224, 700
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	運転手（特殊）		人	1	32, 028	32, 028		
	軽油		L	106	139	14, 734		
	クローラクレーン〔油圧駆動ウインチ・ラチスジブ〕	基礎工事用 排ガス型 2 0 1 4 年規制 7 0 ～ 9 0 t 吊	供用日	1. 39	128, 000	177, 920		
	諸雑費（まるめ）		式	1		18		
	計					224, 700		
	単価					224, 700	円／日	

参考資料（２）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	養生工	鉄筋構造物 一般養生	単位	m 3	数量	10	単価	626. 1
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人	0. 05	33, 252	1, 662		
	普通作業員		人	0. 13	27, 030	3, 513		
	諸雑費（率＋まるめ） 21%		式	1		1, 086		
	計					6, 261		
	単価					626. 1	円／m 3	

参考資料（２）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	バックホウ運転（クレーン仕様）	製作・設置 5m以下 -3m≦H≦2m	単位	日	数量	1	単価	50, 020
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	運転手（特殊）		人	1	32, 028	32, 028		
	軽油		L	63	139	8, 757		
	バックホウ（クレーン型）〔後方超小旋回・クレーン付〕	山積0. 4 5m3(平積0. 3 5 m 3)吊2. 9 t	日	1. 28	7, 210	9, 228		
	諸雑費（まるめ）		式	1		7		
	計					50, 020		
	単価					50, 020	円／日	

参考資料（２）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	油圧式杭圧入引抜機運転	圧入(Nmax≤25) III型	単位	日	数量	1	単価	180, 300
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
軽油			L	128	139	17, 792		
油圧式杭圧入引抜機 [エンジン式ユニット]		排ガス型（２０１４年規制） 圧入８００kN	供用日	1. 49	109, 000	162, 410		
諸雑費（まるめ）			式	1		98		
計						180, 300		
単価						180, 300	円／日	

参考資料（２）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	ラフテレーンクレーン運転	25t吊 排出ガス対策型(第3次基準値)	単位	日	数量	1	単価	97, 120
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
運転手（特殊）			人	1	32, 028	32, 028		
軽油			L	92	139	12, 788		
ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型]		排出ガス対策型（第3次基準値） 2 5 t 吊	供用日	1. 49	35, 100	52, 299		
諸雑費（まるめ）			式	1		5		
計						97, 120		
単価						97, 120	円／日	

参考資料（２）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	油圧式杭圧入引抜機運転	引抜き III型	単位	日	数量	1	単価	180, 300
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
軽油			L	128	139	17, 792		
油圧式杭圧入引抜機 [エンジン式ユニット]		排ガス型（２０１４年規制） 圧入８００kN	供用日	1. 49	109, 000	162, 410		
諸雑費（まるめ）			式	1		98		
計						180, 300		
単価						180, 300	円／日	

参考資料（２）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	切梁・腹起し設置	無 標準(1.0)	単位	t	数量	10	単価	37, 830
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人	1. 7	33, 252	56, 528		
	とび工		人	3. 2	33, 354	106, 732		
	溶接工		人	1. 7	38, 250	65, 025		
	普通作業員		人	1. 7	27, 030	45, 951		
	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型]	2 5 t 吊	日	1. 7	53, 200	90, 440		
	諸雑費（率＋まるめ） 5%		式	1		13, 624		
	計					378, 300		
	単価					37, 830	円／ t	

参考資料（２）

単価使用年月	2025. 12
歩掛使用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	クローラクレーン〔油圧駆動ウインチ・ラチスジブ〕	基礎工事用 排ガス型 2 0 1 4 年規制 7 0 ～ 9 0 t 吊	単位	時間	数量	1	単価	36, 170
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
運転手（特殊）			人	0. 17	32, 028	5, 444		
軽油			L	16	139	2, 224		
クローラクレーン〔油圧駆動ウインチ・ラチスジブ〕		基礎工事用 排ガス型 2 0 1 4 年規制 7 0 ～ 9 0 t 吊	時間	1	28, 500	28, 500		
諸雑費（まるめ）			式	1		2		
計						36, 170		
単価						36, 170	円／時間	

参考資料（3）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
	クローラ式杭打機損料	鋼管回転圧入機 全装備50～55tﾄﾙｸ548kN・m(55. 9t・m)	単位	供用日	数量	1	単価	178, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
クローラ式杭打機損料		鋼管回転圧入機 全装備50～55tﾄﾙｸ548kN・m(55. 9t・m)	日	1	178, 000	178, 000		
最大適合管長10m								
計						178, 000		
単価						178, 000	円／供用日	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2025. 12 2025. 12 1. 000-00-00-2-0	
	バックホウ（クローラ型）賃料	山積0. 2 8 m 3 （～排3次・超低含）	単位	供用日	数量	1	単価	5, 080
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
バックホウ（クローラ）〔標準〕		山積0. 2 8 m 3 （平積0. 2 m 3）	日	1	5, 080	5, 080		
計						5, 080		
単価						5, 080	円／供用日	

R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事

(当 初) 請負工事費計算書

(1) 直接工事費 -----	170, 412, 862
(2) 共通仮設費 -----	31, 291, 888
(3) 純工事費 -----	201, 704, 750

(1)+(2)

(4) 現場管理費 -----	54, 534, 000
(5) 工期延長等に伴う現場維持等の費用 -----	0

(6) 工事原価 -----	257, 659, 941

(3)+(4)+(5)+(18)

(7') 一般管理費等(計上額) -----	35, 560, 059

(8') その他費目計 -----	0

(9) 業務委託料等 -----	0

(10) 工事価格 -----	293, 220, 000

(6)+(7')+(8')+(9) (万円未満切り捨て)

(11) 消費税相当額 -----	29, 322, 000

(12) 請負工事価格 -----	322, 542, 000

(10)+(11)

(13) 入札書比較価格 -----	293, 220, 000

(請負工事費の100/110)

(14) 調査基準価格 -----	294, 888, 000

(15) 調査基準価格の100/110 -----	268, 080, 000

(万円未満切り捨て)

(16) 工場製作純工事費 -----	1, 302, 813

(17) 工場管理費 -----	118, 378

(18) 工場製作原価 -----	1, 421, 191

(16)+(17)

((7) 一般管理費等(計算額) -----	35, 569, 908

R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事

特 記 仕 様 書

令和 7 年 1 2 月

国土交通省関東地方整備局

横浜国道事務所

第1章 総則

第1条 適用

1. この特記仕様書は、関東地方整備局 土木工事共通仕様書(令和7年度版)(以下「共通仕様書」という。)でいう特記仕様書で、本工事の施工に適用する。
2. この工事の施工にあたっての一般的事項は、共通仕様書によるものとする。
3. この特記仕様書に添付されていない別紙様式等については以下 URL よりダウンロードするものとする。

URL <https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/index00000015.html>

4. 本工事における「条件明示」については、別紙ー1「明示項目および明示事項」に記載のとおりとする。

第2条 主任技術者等（契約書第10条）

本工事の主任技術者又は監理技術者は、受注者が提出した競争参加資格確認申請書に記述した配置予定の技術者でなければならない。

第3条 主任技術者等の専任期間

1. 契約締結日の翌日から工事の始期までの期間については、主任技術者又は監理技術者の配置を要しない。
2. 契約締結日の翌日から現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、発注者と受注者の間で書面により明確にした場合に限って、主任技術者又は監理技術者の工事現場での専任を要しない。
3. 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日（例：「完成通知書」等における日付）とする。
4. 主任技術者又は監理技術者が技術研鑽のための研修、講習、試験等で短期間工事現場を離れる場合は、適切な施工ができる体制を確保したうえで、監督職員の承諾を得るものとする。
5. 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続後、後片付け等のみが残っている期間については、発注者と受注者の間で書面により明確にした場合に限って、主任技術者又は監理技術者の工事現場での専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日（例：「完成通知書」等における日付）とする。

第4条 専任特例1号の場合の監理技術者又は主任技術者の配置

本工事は、建設業法第26条第3項第一号の規定の適用を受ける監理技術者又は主任技術者の配置は認めない。

第5条 専任特例2号の場合の監理技術者の配置

1. 本工事において、建設業法第26条第3項第二号の規定の適用を受ける監理技術者（以下、「専任特例2号の場合の監理技術者」という。）の配置を行う場合は以下の（１）～（８）の要件を全て満たさなければならない。
 - （１）建設業法第26条第3項第二号による監理技術者の職務を補佐する者（以下、「監理技術者補佐」という。）を専任で配置すること。
 - （２）監理技術者補佐は、一級施工管理技士補又は一級施工管理技士等の国家資格者、学歴や実務経験により監理技術者の資格を有する者であること。なお、監理技術者補佐の建設業法第27条の規定に基づく技術検定種目は、専任特例2号の場合の監理技術者に求める技術検定種目と同じであること。
 - （３）監理技術者補佐は、直接的かつ恒常的な雇用関係にあること。
 - （４）同一の専任特例2号の場合の監理技術者が配置できる工事は、本工事を含め同時に2件までとする。なお、専任特例1号の場合の監理技術者又は主任技術者を活用した工事と兼務することは出来ない。

（ただし、同一あるいは別々の発注者が、同一の建設業者と締結する契約工期の重複する複数の請負契約に係る工事であって、かつ、それぞれの工事の対象となる工作物等に一体性が認められるものについては、これら複数の工事を一の工事とみなす。）
 - （５）専任特例2号の場合の監理技術者が兼務できる工事は神奈川県内の工事でなければならない。
 - （６）専任特例2号の場合の監理技術者は、施工における主要な会議への参加、現場の巡回及び主要な工程の立会等の職務を適正に遂行しなければならない。
 - （７）専任特例2号の場合の監理技術者と監理技術者補佐との間で常に連絡が取れる体制であること。
 - （８）監理技術者補佐が担う業務等について、明らかにすること。
2. 現場の安全管理体制について、平成7年4月21日付基発第267号の2「元方事業者による建設現場安全管理指針」において、「統括安全衛生責任者の選任を要するときには、その事業場に専属の者とする」とされていることから、施工体制に留意すること。
3. 本工事の監理技術者が専任特例2号の場合の監理技術者として兼務し、本工事に監理技術者補佐を配置する事を予定している場合、以下の書類を提出すること。
 - 1) 監理技術者補佐の資格を有する書類（一級施工管理技士等の国家資格者の合格証の写しなど）
 - 2) 監理技術者補佐の直接的かつ恒常的な雇用関係を証明する書類（監理技術者資格者証、市区町村が作成する住民税特別徴収税額通知書、健康保険・厚生年金被保険者標準報酬決定通知書、所属会社の雇用証明書又はこれらに準ずる資料（いずれも写し可））
 - 3) 専任特例2号の場合の監理技術者が兼務する工事の箇所、内容を示す書類（CORINSの写し）
4. 本工事の監理技術者が専任特例2号の場合の監理技術者として兼務し、本工事に監理技術者補佐を配置する事となった場合、第1項（５）～（８）について施工計画書へ記載し、提

出すること。

5. 本工事において、専任特例2号の場合の監理技術者及び監理技術者補佐の配置を行う場合又は配置を要さなくなった場合は、コリンズ（CORINS）への登録・修正を適切に行うこと。

第6条 コリンズ（CORINS）への登録

1. 工事カルテの作成、登録については、土木工事共通仕様書「1-1-1-7 コリンズ（CORINS）への登録」によるものとする。
2. 受注者は、工事受注後又は施工中において当該工事に係る悪質で不誠実な行為（一括下請負等）が発覚し、指名停止の措置を受けた場合は、登録済みの工事カルテの取り下げを行うものとする。
3. 技術者の従事期間は、工期をもって登録するものとする。（余裕期間を含まないことに留意するものとする。）

第7条 コリンズ（CORINS）への位置情報の入力

土木工事共通仕様書 1-1-1-7 コリンズ（CORINS）への登録に定める「登録のための確認のお願い」を作成するにあたり、位置情報については以下のとおりとし、工事場所および座標（緯度、経度）を記載するものとする。なお、座標は、世界測地系（JGD2024）に準拠する

工事場所：神奈川県横浜市戸塚区汲沢町地先 緯度 35° 22' 55" 経度 139° 30' 49"

第8条 コリンズ（CORINS）への工事概要の入力

土木工事共通仕様書 1-1-1-7 コリンズ（CORINS）への登録に定める「登録のための確認のお願い」を受注時に作成するにあたり、工事概要について必須登録とし、記載例を参考にすること。

記載例）

本工事は、横浜市戸塚区汲沢町地先において、高速横浜環状南線及び国道1号の整備のための歩道橋下部工事を行うものである。

第9条 コリンズ（CORINS）への設計業務名及びテクリス番号の入力

土木工事共通仕様書 1-1-1-7 コリンズ（CORINS）への登録に定める「登録のための確認のお願い」を作成するにあたり、設計業務名およびテクリス番号を登録すること。設計業務名およびテクリス番号については以下のとおりとする。

コリンズへ登録する業務名およびテクリス番号

業務名	テクリス番号
R 6 圏央道栄・戸塚 I C 間道路設計業務	4056977874
R 3 圏央道戸塚 I C 構造物詳細設計業務	4048168829

第10条 施工体制台帳

工事成績優秀企業に認定され、認定有効期限内に、工事発注の契約を行った工事の監理技術者、主任技術者（工事成績優秀企業に認定された下請負を含む）は、工事成績優秀企業認定マークの使用や金色帯線（黄色もしくは橙色の帯線でも可）を名札上部に印刷することが出来るものとする。

監理（主任）技術者	
写真 2cm×3cm 程 度	氏名 ○○ ○○ 工事名 ○○改良工事 工期 自○○年○○月○○日 至○○年○○月○○日
	会社 ◇◇建設株式会社 印



注意 1）用紙の大きさは名刺サイズ以上とする。

注意 2）所属会社の写真とする。

第11条 調査・試験に対する協力

1. 契約担当官等が工事の中間において技術検査の必要を認めた場合は、速やかに監督職員の指示に従い、検査を受けなければならない。なお、検査は工事請負契約書及び共通仕様書に適用する条項に準じて行うものとする。
 2. 予算決算及び会計令第85条の基準に基づく価格を下回る価格で落札した場合においては、受注者は下記の調査に協力しなければならない。
 - (1) 受注者は、下請負者の協力を得て間接工事費等諸経費動向調査票(営繕工事においては共通費実態調査票)の作成を行い、工事完了後、速やかに発注者に提出するものとする。
 - (2) 受注者は、提出された間接工事費等諸経費動向調査票(営繕工事においては共通費実態調査票)の費用の内訳についてヒアリング調査に応じるものとする。この場合において、受注者は下請負者についてもヒアリングに参加させるものとする。
 - (3) 工事コスト調査（調査結果でも可）に係る資料は、下記のとおりとし、関東地方整備局又は横浜国道事務所のホームページにより公表する。
 - (4) 低入札価格調査と工事コスト調査の結果に大きな乖離がある場合、又は、工事コスト調査資料の提出が無い場合には、工事成績評点を減点する場合がある。
- なお、低入札価格調査対象工事については、工事コスト調査終了後に、工事成績評点を通知する。

公表資料は以下のとおり。

資料名	内容
低価格理由とその詳細	当該工事が低価格で施工可能となる理由を示した資料
比較表-1	積算内訳書の発注者と元請における当初と実績の比較表
比較表-2	積算内訳書に対する明細書の発注者と元請における当初と実績の比較表
比較表-3	元請の手持ち資材の当初と実績の比較表
比較表-4	元請の資材購入先一覧の当初と実績の比較表
比較表-5	手持ち機械の当初と実績の比較表
比較表-6	労務者確保計画の当初と実績の比較表
比較表-7	工種別労務者配置計画の当初と実績の比較表
比較表-8	建設副産物の搬出の当初と実績の比較表
諸経費動向調査(工事費)	元請、下請の工事費内訳

第12条 低入札契約におけるモニターカメラの設置

本工事は、予算決算及び会計令第85条の基準に基づく価格を下回る価格で落札した場合においては、工事の監督補助としてモニターカメラの設置を行う対象工事とする。

なお、モニターカメラの設置費用については、発注者の負担によるものとする。

第13条 不可視部分の出来形管理について

予算決算及び会計令第85条の基準に基づく価格を下回る価格で落札した場合においては、以下に示す工種の不可視部分について、ビデオカメラを用いた出来形管理を行うこととし、撮影した映像については監督職員に提出するものとする。

- ①歩道橋本体工
- ②橋台工

第14条 不具合等発生時の措置

受注者は、工事施工途中に工事目的物や工事材料等の不具合等が発生した場合、又は公益通報者等から当該工事に関する情報が寄せられた場合には、その内容を監督職員に直ちに通知しなければならない。

第15条 工事書類の作成

1. 工事書類の作成に当たっては、別に定める「土木工事電子書類作成マニュアル（令和7年3月）」に基づき実施するものとする。
2. 工事書類の作成に当たっては、別に定める「土木工事電子書類スリム化ガイド（令和7年3月）」を参考に書類の電子化、受発注者間での作成書類の役割分担の明確化、書類の削減等に留意すること。
3. 「工事関係書類一覧表」（別紙様式－15）により、工事着手前に「作成書類の役割分担」、「作成書類の位置付け」に関して「協議」するものとする。
また、「協議」の内容を変更する場合は、改めて、受発注者で協議を行うものとする。
4. 電子により提出、提示した書類については、検査時その他の場合においても紙での提示、提出は行わないものとする。

第16条 設計図書の照査

発注者は、設計図書の照査の範囲を超える資料の作成については、監督職員の指示とし、

その作成費用は、設計変更の対象とする。なお、設計変更の対象については、「土木工事における工事請負契約における設計変更ガイドライン（総合版）：令和7年3月」によるものとする。

第17条 情報共有システムの活用

1. 本工事は、監督職員及び受注者の間の情報を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図る情報共有システムの活用対象工事である。なお、活用にあたっては「土木工事・業務の情報共有システム活用ガイドライン」（令和7年3月版）に基づき実施すること。
2. 受注者は、本工事で使用する情報共有システムを選定し、使用する情報共有システムは次の要件を満たすものとする。
 - ・工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件（Rev5.7）
令和7年3月版 国土交通省（国土技術政策総合研究所）
3. 監督職員及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行うものとする。また、利用開始日、必要なユーザーID数、ディスク容量等の仕様やワークフロー機能の対象者等については、監督職員の確認を得た上で決定すること。
4. 受注者は、サービス提供者と次の内容を含めた契約を締結するものとする。
 - ①情報共有システムに関する障害を適正に処理、解決できる体制を整える
 - ②サービス提供者が善良なる管理者の注意をもってしても防御し得ない不正アクセスにより、情報漏洩、データ破壊、システム停止等があった場合、速やかに受注者に連絡を行い適正な処置を行う旨
 - ③②の場合において、サービス提供者に重大な管理瑕疵があると監督職員若しくは受注者が判断した場合、又は復旧若しくは処理対応が不適切な場合には、受注者はサービス提供者と協議の上情報共有システムの利用を停止することができる旨
5. 受注者は、監督職員等から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためのアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

第18条 「設計・施工技術連絡会議（三者会議）」の設置

本工事は、公共工事の品質確保及び円滑な事業執行を目的として、発注者、設計者、施工者（工事受注者）の三者が工事着手前等において一堂に会して、事業目的、設計思想・条件等の情報の共有及び施工上の課題、新たな技術提案に対する意見交換等を行う「設計・施工技術連絡会議（三者会議）」（以下、「三者会議」という。）の設置対象工事であり、工事着手前に1回以上開催するものとする。

「三者会議」の運用にあたっては、「設計・施工技術連絡会議（「三者会議」）運用方針」（<http://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000039.html>）によるものとする。

第19条 設計審査会の設置

本工事は、発注者と受注者が一堂に会して、現場着手前（準備期間内）に工事工程クリテ

ィカルパスの共有及び工事工程の照合（クロスチェック）を実施し、併せて協議資料作成等の受発注者間の役割分担を明確にする場、また、設計変更手続きの透明性と公正性の向上及び迅速化のため、設計変更の妥当性の審議及び設計変更等に伴う工事中止等の判断等を行う場として開催する「設計審査会」（以下、「審査会」という。）の設置対象工事である。「審査会」の運用にあたっては、「設計審査会設置運用方針」（<http://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000039.html>）によるものとする。

第20条 工事環境の改善

本工事の実施にあたっては、工事環境の改善に取り組むウィークリースタンスを考慮するものとする。

ウィークリースタンスの実施にあたっては、関東地方整備局ホームページ <https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000039.html> に掲載している工事環境改善実施要領に基づき、監督職員と確認・調整した内容について取り組むものとする。

第21条 ワンデーレスポンス

1. この工事はワンデーレスポンス実施対象工事である。

・「ワンデーレスポンス」とは

受注者からの質問、協議等への回答は、基本的に「その日のうち」に指示、通知等行うよう対応する。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議の上、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」に通知することである。

2. 受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督職員と協議をおこなうこと。

3. 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに文書にて監督職員へ報告すること。

4. ワンデーレスポンスの実施にあたっては、関東地方整備局ホームページ <https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000039.html> に掲載しているワンデーレスポンス実施の手引き（令和5年12月）に基づき、取り組むものとする。

5. 効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合があるため、協力すること。

第22条 契約内容の変更手続きについて

本工事における契約内容の変更は、以下によるものとする。

①本工事における設計変更や契約変更は書面に基づき行うことを徹底し、指示書・協議書があるもののみを契約変更の対象とする。

②受注者は、工事期間中及び工事完成後において、監督職員から契約図書の規定に違反する等の不適切な指示を受けたと思料されるときは、当該監督職員を経由せずに、事務所長へ直接又は契約担当課長経由で書面により、その旨を報告することができる。

第23条 設計図書の変更

設計変更等については、契約書第 18 条から第 25 条及び共通仕様書共通編 1-1-1-16 から 1-1-1-18 に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「土木工事における工事請負契約における設計変更ガイドライン（総合版）：令和 7 年 3 月」によることとする。

第24条 スライド条項

工事請負契約書第 26 条（スライド条項）については、物価水準の変動により請負代金 が不適当となったと認められた時に、相手方に請負代金の変更を請求することができる条 項となっている。単品スライドについては、鋼材類・燃料油の他、コンクリート類、購入 土などの主要工事材料も対象となるので、物価水準の変動により請負代金 が不適当となっ た場合には、相手方に対して請負代金額の変更を請求することができる。

第25条 再生資材の活用

受注者は、下記の資材の使用に際し、再生資材を利用するものとする。

資材名	規 格	備考
再生クラッシャーラン	RC-40	基礎材
再生クラッシャーラン	RC-40	下層路盤（歩道部）

なお、使用に際し「舗装再生便覧」等を遵守するものとする。

第26条 公共建設工事における分別解体等・再資源化等及び再生資源活用工事実施要領(土木)

1. 本工事は建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律((平成 12 年法律第 104 号 最終改正令和 4 年 6 月 17 日法律 68 号)。以下「建設リサイクル法」という。)に基 づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずる こととする。

なお、本工事における特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、以下の積算 条件を設定しているが、工事請負契約書「8 解体工事に要する費用等」に定める事項は 契約締結時に発注者と受注者の間で確認されるものであるため、発注者が積算上条件 明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。ただし工事発 注後に明らかになった事情により予定した条件により難しい場合は監督職員と協議する ものとする。

(1) 分別解体の方法

工程	工程	作業内容	分解解体などの方法
	①仮設	仮設工事 ■有 □無	□手作業 ■作業・機械作業の併用
	②土工	土工事	□手作業

		■有 □無	■手作業・機械作業の併用
③基礎	基礎工事	■有 □無	□手作業 ■作業・機械作業の併用
④本体構造	本体構造の工事	■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
⑤本体付属品	本体付属品の工事	□有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
⑥その他	その他の工事	□有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用

(2) 再資源化する施設の名称及び所在地

特定建設資材廃棄物の種類	施設の名称	所在地
コンクリート殻（無筋）	東洋建材(株)	神奈川県横浜市旭区善部 92-1 外 33 筆
コンクリート殻（有筋）	東洋建材(株)	神奈川県横浜市旭区善部 92-1 外 33 筆

上記(2)については、積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。
 なお、受注者の提示する施設と異なる場合でも設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項については、監督職員と協議の上、契約変更の対象とすることができる。

(3) 受入時間

東洋建材（株）：8時00分～18時00分

- 受注者は、特定建設資材の分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、以下の事項を書面に記載し、監督職員に報告することとする。
 なお、書面は「建設リサイクルガイドライン(平成14年5月)」に定めた様式1〔再生資源利用計画書(実施書)〕及び様式2〔再生資源利用促進計画書(実施書)〕を兼ねるものとする。

- ・再資源化等が完了した年月日
- ・再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・再資源化等に要した費用

工事発注後に明らかになった事情により予定していた条件により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

第27条 建設リサイクル法第11条通知の徹底

受注者は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号）第11条に基づく、都道府県知事に対する通知を行った旨の書面を監督職員より受領した後に、工事着手（建設リサイクル法第10条第1項に規定する工事着手をいう。）するものとする。なお、これによりがたい場合は監督職員と協議の上決定するも

のとする。

第28条 コンクリート副産物から再生された資源について

1. コンクリート副産物から再生された資材を利用する場合には、「コンクリート副産物の再生利用に関する用途別品質基準」によるものとする。
2. 受注者は、コンクリート副産物から再生された資材の利用を希望する場合は、工事着手時にその適用の有無を監督職員と協議するものとする。
3. 受注者は、工場が発行する再生骨材コンクリートの配合計画書及び納入書を整備および管理し、監督職員または検査職員からの請求があった場合は速やかに提示しなければならない。
4. 受注者は、再生骨材コンクリートの品質を確かめるための検査を JIS A 5022（再生骨材Mを用いたコンクリート）、JIS A 5023（再生骨材Lを用いたコンクリート）により実施しなければならない。また、再生骨材Mを用いたプレキャストコンクリート製品の検査については、JIS A 5365（プレキャストコンクリート製品－検査方法通則）により実施しなければならない。なお、生産者等に検査のため試験を代行させる場合は受注者がその試験に臨場しなければならない。
5. 再生骨材コンクリートの配合については、「土木工事共通仕様書第1編3-3-3 配合」に従うものとする。

第29条 工事完成図

本工事は、道路工事完成図等作成要領（第2版）（国土技術政策総合研究所資料、平成20年12月）に基づく電子納品の対象工事である。

http://www.nilim-cdrw.jp/dl_std.html

第30条 施工管理

1. 本工事の施工管理は、関東地方整備局土木工事施工管理基準及び規格値(令和7年度版)によるものとする。なお、この管理基準により難しい場合及び基準、規格値が定められていない工種については、監督職員と協議の上、施工管理を行うものとする。
2. 本工事の写真管理は、関東地方整備局土木工事写真管理基準（令和7年度版）によるものとする。なお、「撮影項目」、「撮影頻度」等が工事内容に合致しない場合は、監督職員の指示により追加、削減するものとする。
3. 本工事の施工管理における適用工種毎の基準類は、ICT活用工事実施要領(令和7年3月改定)の関連要領等一覧（URL「https://www.mlit.go.jp/tec/constplan/sosei_constplan_tk_000051.html」）によるものとする。

第31条 デジタル工事写真の小黑板情報電子化について

デジタル工事写真の小黑板情報電子化は、受発注者双方の業務効率化を目的に、被写体画像の撮影と同時に工事写真における小黑板の記載情報の電子的記入および、工事写真の

信憑性確認を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化、工事写真の改ざん防止を図るものである。

工事では、以下の1. から4. の全てを実施することとする。

1. 対象機器の導入

受注者は、デジタル工事写真の小黑板情報電子化の導入に必要な機器・ソフトウェア等（以降、「使用機器」と称する）については、関東地方整備局土木工事写真管理基準（令和7年度版）（以下、写真管理基準）「2-2 撮影方法」に示す項目の電子的記入ができること、かつ信憑性確認（改ざん検知機能）を有するものを使用することとする。なお、信憑性確認（改ざん検知機能）は、「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC 暗号リスト）」(URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」)に記載している技術を使用していること。また、受注者は監督職員に対し、工事着手前に、本工事での使用機器について提示するものとする。

なお、使用機器の事例を以下に示す。

【使用機器の事例】

デジタル工事写真の小黑板情報電子化対応ソフトウェア、（一社）施工管理ソフトウェア産業協会、<https://www.jcomsia.org/kokuban>。

※ここでは使用機器の事例を示したものであり、この使用機器の事例からの選定に限定するものではない

2. デジタル工事写真における小黑板情報の電子的記入

受注者は、同条1. の使用機器を用いてデジタル工事写真を撮影する場合は、被写体と小黑板情報を電子画像として同時に記録してもよい。小黑板情報の電子的記入を行う項目は、写真管理基準「2-2 撮影方法」による。

ただし、対象工事において、高温多湿、粉じん等の現場条件の影響により、対象機器の使用が困難な工種については、使用機器の利用を限定するものではない。

3. 小黑板情報の電子的記入の取扱い

本工事の工事写真の取扱いは、写真管理基準及びデジタル写真管理情報基準（以下、デジタル写真管理情報基準）に準ずるが、同条2. に示す小黑板情報の電子的記入については、写真管理基準「2-5 写真編集等」及びデジタル写真管理情報基準「6.写真編集等」で規定されている写真編集には該当しない。

4. 小黑板情報の電子的記入を行った写真の納品

受注者は、同条2. に示す小黑板情報の電子的記入を行った写真（以下、「小黑板情報電子化写真」と称する。）を、工事完成時に監督職員へ納品するものとする。なお納品時に、受注者は改ざん検知機能（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアや工事写真ビューアソフトを用いて、小黑板情報電子化写真の信憑性確認を行い、その結果を併せて監督職員へ提出するものとする。なお、提出された信憑性確認の結果を、監督職員が確認することがある。

また、下記のチェックツールを使用して信憑性確認を行い、結果を出力したのもでもよい。

【チェックツールの事例】

信憑性チェックツール（一社）施工管理ソフトウェア産業協会

<<https://www.jcomsia.org/kokuban>>.

※ここでは使用機器の事例を示したものであり、この使用機器の事例からの選定に限定するものではないなお、デジタル工事写真の黒板情報電子化を実施しない工事写真がある場合は、工事契約後、監督職員の承諾を得ること。

第32条 ICT活用工事（構造物工（橋脚・橋台））

1. ICT活用工事

本工事は、国土交通省が提唱する i-Construction に基づき、ICT施工技術の全面的活用を図るため、受注者の提案・協議により、起工測量、設計図書の照査、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用するICT活用工事の対象工事である。

2. 定義

（1）i-Construction とは、ICT施工技術の全面的な活用、規格の標準化、施工時期の平準化等の施策を建設現場に導入することによって、建設現場のプロセス全体の最適化を図る取り組みである。本工事では、施工者の希望により、その実現に向けてICT施工技術を活用した工事（ICT活用工事）を実施するものとする。

（2）ICT活用工事とは、施工プロセスの以下段階において、ICT施工技術を全面的に活用する工事である。また、以下の①②④⑤の段階でICT施工技術を活用することをICT活用工事という。

対象は、構造物工（橋脚・橋台）等を含む一般土木工事とする。

- ① 3次元起工測量
- ② 3次元設計データ作成
- ③ 該当なし
- ④ 3次元出来形管理等の施工管理
- ⑤ 3次元データの納品

3. 受注者は、ICT施工技術の活用を行う希望がある場合、契約後、施工計画書の提出（施工数量や現場条件の変更による、変更施工計画書の提出を含む）までに監督職員へ提案・協議を行い、協議が整った場合に以下4～8によりICT施工技術の活用を行うことができる。

4. 原則、本工事においては上記①②④⑤の段階でICT施工技術を活用することとする。構造物工（橋脚・橋台）の施工範囲の全てで適用するが、具体的な工事内容及び数量・対象範囲を明示し、監督職員と協議するものとする。なお、実施内容等については施工計画書に記載するものとする。

5. ICT施工技術を用い、以下の施工を実施する。

① 3次元起工測量

受注者は、3次元測量データを取得するため、以下1)～7)から選択（複数以上可）して測量を行うものとする。

- 1) 空中写真測量（無人航空機）を用いた起工測量
- 2) 地上型レーザースキャナーを用いた起工測量
- 3) 無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量
- 4) 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量
- 5) TS等光波方式を用いた起工測量
- 6) TS（ノンプリズム方式）を用いた起工測量
- 7) RTK-GNSSを用いた起工測量

② 3次元設計データ作成

受注者は、5. ①で得られた測量データと、発注者が貸与する発注図データを用いて、3次元出来形管理を行うための3次元設計データを作成する。

ICT構造物工（橋脚・橋台）の施工管理においては、3次元設計データ（TIN）形式での作成は必要としない。

なお、ICT構造物工（橋脚・橋台）の3次元設計データとは、3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）（構造物工（橋脚・橋台編））で定義する設計データのことを言う。

③ 該当なし

④ 3次元出来形管理等の施工管理

（1）出来形管理

構造物工（橋脚・橋台）の施工管理において、以下1）～4）の技術から選択（複数以上可）して、出来形管理を実施するものとする。

また、以下1）～4）の出来形管理を行う場合は、工事検査前の工事竣工段階の目的物について点群データを取得し、⑤によって納品するものとする。

- 1) 空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理
- 2) 地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理
- 3) 無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理
- 4) TS等光波方式を用いた出来形管理

なお、計測装置位置と計測対象箇所との離隔・位置関係により上記1）～4）のICT施工技術を用いた計測によっては精度確保が困難となる部分や計測が非効率となる場合、監督職員と協議の上、写真・画像データ等と併用するなど出来形管理を行っても良いものとする。

（2）出来形管理基準および規格値

出来形管理基準および規格値については、現行の基準および規格値を用いる。出来形の算出は、上記(1)で定める計測技術を用い以下1）の出来形管理要領による。

- 1) 3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）

（3）出来形管理帳票

現行の出来形管理帳票、出来高整理資料を作成する。また、出来形の3次元計測結果が計測（管理）すべき断面上あるいは測線上にあることを示す適用工種の3次元設計データあるいは平面図を提出することとする。

⑤ 3次元データの納品

5. ①②④により作成した3次元データを工事完成図書として電子納品する。
6. 上記5. ①②④の施工を実施するために使用するICT機器類は、受注者が調達すること。また、施工に必要な施工用データは、受注者が作成するものとする。使用するアプリケーション・ソフト、ファイル形式については、事前に監督職員と協議するものとする。

発注者は、3次元設計データの作成に必要な詳細設計において作成したCADデータを受注者に貸与する。また、ICT施工技術の活用を実施する上で有効と考えられる詳細設計等において作成した成果品と関連工事の完成図書は、施工区間の前後を含め必要な範囲を積極的に受注者に貸与するものとする。
7. 土木工事施工管理基準（案）に基づく出来形管理が行われていない箇所で、出来形測量により形状が計測出来る場合は、出来形数量は出来形測量に基づき算出した結果とする。
8. 本特記仕様書に疑義が生じた場合または記載のない事項については、監督職員と協議するものとする。

第33条 ICT活用工事（作業土工（床掘工））

1. ICT活用工事

本工事は、国土交通省が提唱する i-Construction に基づき、ICT施工技術の全面的活用を図るため、受注者の提案・協議により、起工測量、設計図書の照査、施工、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用するICT活用工事の対象工事である。

2. 定義

（1）i-Construction とは、ICT施工技術の全面的な活用、規格の標準化、施工時期の平準化等の施策を建設現場に導入することによって、建設現場のプロセス全体の最適化を図る取り組みである。本工事では、受注者の希望により、その実現に向けてICT施工技術を活用した工事（ICT活用工事）を実施するものとする。

（2）ICT活用工事とは、施工プロセスの以下段階において、ICT施工技術を全面的に活用する工事である。また、本工事においては、次の①（選択）②③⑤の段階でICT施工技術を活用することをICT活用工事とする。

対象は、作業土工（床掘工）を含む工事とする。

- ① 起工測量（選択）
- ② 3次元設計データ作成
- ③ ICT建設機械による施工
- ④ 該当なし
- ⑤ 3次元データの納品

3. 受注者は、特記仕様書に指定された作業土工以外の工種に、ICT施工技術の活用を行う希望がある場合、契約後、施工計画書の提出（施工数量や現場条件の変更による、変更施工計画書の提出を含む）までに監督職員へ提案・協議を行い、協議が整った場合に以下4～6によりICT施工技術の活用を行うことができる。

4. ICT施工技術を用い、土工について以下の施工を実施する。

① 起工測量（選択）

受注者は、起工測量にあたって、従来手法による起工測量またはICT施工技術を用いた起工測量を選択できるものとし、作業土工以外の工種で取得した3次元起工測量データがある場合は、積極的に活用するものとする。

ICT施工技術を用いた起工測量としては、3次元測量データを取得するため、以下1)～7)から選択（複数選択可）して測量を行うことができるものとする。

- 1) 空中写真測量（無人航空機）を用いた起工測量
- 2) 地上型レーザースキャナーを用いた起工測量
- 3) 無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量
- 4) 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量
- 5) TS等光波方式を用いた起工測量
- 6) TS（ノンプリズム方式）を用いた起工測量
- 7) RTK-GNSSを用いた起工測量

② 3次元設計データ作成

受注者は、4. ①で得られたデータと発注者が貸与する発注図データを用いて、ICT建設機械による施工を行うため、3次元設計データを作成する。

③ ICT建設機械による施工

4. ②で作成した3次元設計データを用いて、作業に応じて以下に示すICT建設機械を選択して施工を実施する。位置・標高をリアルタイムに取得するに当たっては、国土地理院の電子基準点のほか、国土地理院に登録された民間等電子基準点を活用することができる。

なお、位置情報サービス事業者が提供する位置情報サービスの利用においては、当該サービスが国家座標に準拠し、かつ、作業規程の準則（令和5年3月31日 国土交通省告示第250号）付録1 測量機器検定基準2-6の性能における検定基準を満たすこと。

1) 3次元MCまたは3次元MG建設機械※

※MCとは「マシンコントロール」、MGとは「マシンガイダンス」の略称である。建設機械の作業装置の位置・標高をリアルタイムに取得し、施工用データとの差分に基づき建設機械の作業装置を自動制御する3次元マシンコントロール技術または、建設機械の作業装置の位置・標高をリアルタイムに取得し、施工用データとの差分を表示し、建設機械の作業装置を誘導する3次元マシンガイダンス技術を用いて、河川・海岸・道路土工の掘削等を実施する。

但し、現場条件により、③ICT建設機械による施工が困難又は非効率となる場合は監督職員との協議の上、従来型建設機械による施工を実施してよいものとするが、丁張設置等には積極的に3次元設計データ等を活用するものとする。

④ 3次元出来形管理等の施工管理

作業土工であるため、該当しない。

⑤ 3次元データの納品

4. ②により作成した3次元設計データを工事完成図書として電子納品する。
ただし、1－3①において、3次元起工測量を実施した場合は、取得した3次元測量データも3次元データ納品の対象とする。
5. 上記4. ①（選択）②③の施工を実施するために使用するICT機器類は、受注者が調達すること。また、施工に必要な施工用データは、受注者が作成するものとする。
使用するアプリケーション・ソフト、ファイル形式については、事前に監督職員と協議するものとする。
発注者は、3次元設計データの作成に必要となる詳細設計において作成したCADデータを受注者に貸与する。また、ICT施工技術の活用を実施する上で有効と考えられる詳細設計等において作成した成果品と関連工事の完成図書は、施工区間の前後を含め必要な範囲を積極的に受注者に貸与するものとする。
6. 本特記仕様書に疑義を生じた場合または記載のない事項については、監督職員と協議するものとする。

第34条 ICT活用工事（基礎工）

1. ICT活用工事

本工事は、国土交通省が提唱する i-Construction に基づき、ICT施工技術の全面的活用を図るため、受注者の提案・協議により、起工測量、設計図書の照査、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用するICT活用工事の対象工事である。

2. 定義

（1）i-Construction とは、ICT施工技術の全面的な活用、規格の標準化、施工時期の平準化等の施策を建設現場に導入することによって、建設現場のプロセス全体の最適化を図る取り組みである。本工事では、施工者の希望により、その実現に向けてICT施工技術を活用した工事（ICT活用工事）を実施するものとする。

（2）ICT活用工事とは、施工プロセスの以下段階において、ICT施工技術を全面的に活用する工事である。また、以下の①②④⑤の段階でICT施工技術を活用することをICT活用工事という。

対象は、基礎工を含む工事とする。

- ① 3次元起工測量
- ② 3次元設計データ作成
- ③ 該当なし
- ④ 3次元出来形管理等の施工管理
- ⑤ 3次元データの納品

3. 受注者は、ICT施工技術の活用を行う希望がある場合、契約後、施工計画書の提出（施工数量や現場条件の変更による、変更施工計画書の提出を含む）までに監督職員へ提案・協議を行い、協議が整った場合に以下4～8によりICT施工技術の活用を行うことができる。

4. 原則、本工事においては上記①②④⑤の段階でICT施工技術を活用することとす

る。基礎工の施工範囲の全てで適用するが、具体的な工事内容及び数量・対象範囲を明示し、監督職員と協議するものとする。なお、実施内容等については施工計画書に記載するものとする。

5. ICT施工技術を用い、以下の施工を実施する。

① 3次元起工測量

受注者は、3次元測量データを取得するため、以下1)～7)から選択（複数以上可）して測量を行うものとする。

但し、基礎工等の関連施工としてICT土工等が行われる場合、監督職員との協議の上、その起工測量データを活用することができるものとし、ICT活用工事とする。

- 1) 空中写真測量（無人航空機）を用いた起工測量
- 2) 地上型レーザースキャナーを用いた起工測量
- 3) 無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量
- 4) 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量
- 5) TS等光波方式を用いた起工測量
- 6) TS（ノンプリズム方式）を用いた起工測量
- 7) RTK-GNSSを用いた起工測量

② 3次元設計データ作成

受注者は、5. ①で得られた測量データ等と、発注者が貸与する発注図データを用いて、3次元出来形管理を行うための3次元設計データを作成する。

3次元設計データ作成はICT土工等と合わせて行うが、ICT基礎工の施工管理においては、3次元設計データ（TIN）形式での作成は必要としない。

なお、ICT基礎工の3次元設計データとは、3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）（基礎工編）で定義する基礎工設計データのことを言う。

③ 該当なし

④ 3次元出来形管理等の施工管理

（1）出来形管理

基礎工の施工管理において、以下1)～7)の技術から選択（複数以上可）して、出来形管理を実施するものとする。

また、以下1)～4)の出来形管理を行う場合は、工事検査前の工事竣工段階の目的物について点群データを取得し、⑤によって納品するものとする。

- 1) 空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理
- 2) 地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理
- 3) 無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理
- 4) 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理
- 5) TS等光波方式を用いた出来形管理
- 6) TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理
- 7) RTK-GNSSを用いた出来形管理

なお、計測装置位置と計測対象箇所との離隔・位置関係により上記1)～7)のICT施工技術を用いた計測によっては精度確保が困難となる部分や計測が非効率とな

る場合、監督職員と協議の上、写真・画像データ等と併用するなど出来形管理を行っても良いものとする。

(2) 出来形管理基準および規格値

出来形管理基準および規格値については、現行の基準および規格値を用いる。厚さ管理は本要領の対象外とする。出来形の算出は、上記(1)で定める計測技術を用い以下1)の出来形管理要領による。

1) 3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)

(3) 出来形管理帳票

現行の出来形管理帳票、出来高整理資料を作成する。また、出来形の3次元計測結果が計測(管理)すべき断面上あるいは測線上にあることを示す適用工種の3次元設計データあるいは平面図を提出することとする。

⑤ 3次元データの納品

①②④により作成した3次元データを工事完成図書として電子納品する。

6. 上記5. ①②④の施工を実施するために使用するICT機器類は、受注者が調達すること。また、施工に必要な施工用データは、受注者が作成するものとする。使用するアプリケーション・ソフト、ファイル形式については、事前に監督職員と協議するものとする。

発注者は、3次元設計データの作成に必要な詳細設計において作成したCADデータを受注者に貸与する。また、ICT施工技術の活用を実施する上で有効と考えられる詳細設計等において作成した成果品と関連工事の完成図書は、施工区間の前後を含め必要な範囲を積極的に受注者に貸与するものとする。

7. 土木工事施工管理基準(案)に基づく出来形管理が行われていない箇所で、出来形測量により形状が計測出来る場合は、出来形数量は出来形測量に基づき算出した結果とする。
8. 本特記仕様書に疑義が生じた場合または記載のない事項については、監督職員と協議するものとする。

第35条 ICT活用工事における適用(用語の定義)

1. 図面

図面とは、入札に際して発注者が示した設計図、発注者から変更または追加された設計図、工事完成図、3次元モデルを復元可能なデータ(以下「3次元データ」という。)等をいう。

なお、設計図書に基づき監督職員が受注者に指示した図面及び受注者が提出し、監督職員が書面により承諾した図面を含むものとする。

第36条 ICT活用工事の費用について(構造物工(橋脚・橋台))

- 1 受注者が、契約後、施工計画書の提出(施工数量や現場条件の変更による、変更施工計画書の提出を含む)までにICT活用の具体的な工事内容及び数量・対象範囲について明示し、監督職員へ提案・協議を行い、協議が整った場合、ICT施工技術を活用する項目

については、以下の積算要領に基づき以下の（１）（２）により費用を計上することとする。

・ＩＣＴ活用工事（構造物工（橋脚・橋台））積算要領

（１）３次元起工測量・３次元設計データの作成費用

３次元起工測量・３次元設計データの作成（修正含む）を実施した場合は、受注者は発注者からの依頼に基づき、見積り書を提出するものとし、発注者は、費用の妥当性を確認した上で設計変更の対象とする。

なお、受注者から見積りの提出がない場合は、「３次元起工測量・３次元設計データの作成費用」は計上しないものとする。

（２）３次元出来形管理・３次元データ納品の費用、外注経費等の費用

出来形管理の計測範囲において、面的に座標を取得し、ソフトウェア上で面の法長・高さ等の出来形管理を実施し、工事検査前の工事竣工段階の目的物について点群データを取得し、３次元データ納品を行った場合、標記費用の対象とする。

費用の計上方法については、受注者より提出された見積りにより費用の妥当性を確認することとし、官積による算出方法については、共通仮設費率、現場管理費率に以下の補正の補正係数を乗じるものとする。

なお、受注者は、発注者からの依頼に基づき、見積り書を提出するものとする。受注者からの見積りにより算出される金額が以下の補正係数を乗じて算出される金額を下回る場合は、見積りにより算出される金額を積算計上額とする。

また、受注者から見積りの提出がない場合は、３次元出来形管理・３次元データ納品の費用、外注経費等の費用は計上しないものとする。ただし、構造物工（橋脚・橋台）（ＩＣＴ）と同時に実施する土工（ＩＣＴ）等他工種において補正係数を乗じる場合は適用しない。

・共通仮設費率補正係数：１.２

・現場管理費率補正係数：１.１

上記費用の対象となる出来形管理は、以下の１）～３）とし、それ以外の出来形管理の費用は、共通仮設費率及び現場管理費率に含まれるため、別途計上は行わない。

１）空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理

２）地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理

３）無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理

なお、以下の４）による出来形管理を実施した場合は、「３次元出来形管理・３次元データ納品の費用、外注経費等の費用」については、計上しない。

４）ＴＳ等光波方式を用いた出来形管理

２ 施工合理化調査を実施する場合はこれに協力すること。

第37条 ＩＣＴ活用工事の費用について（作業土工（床掘工））

- １．受注者が、契約後施工計画書の提出（施工数量や現場条件の変更による、変更施工計画書の提出を含む）までに、作業土工（床掘工）及び作業土工（床掘工）以外の工種に関するＩＣＴ活用の具体的な工事内容・数量及び対象範囲について明示し、監督職員へ協議を行い、協議が整った場合、ＩＣＴ施工技術の活用を実施する項目

については、各段階を設計変更の対象とし、以下の積算要領より費用を計上することとする。

- ・ICT活用工事（作業土工（床掘工））積算要領

ただし、監督職員の指示に基づき、3次元起工測量を実施するとともに3次元設計データの作成を行った場合は、受注者は発注者からの依頼に基づき、見積書を提出するものとする。

2. 施工合理化調査を実施する場合はこれに協力すること。

第38条 ICT活用工事の費用について（基礎工）

1 受注者が、契約後、施工計画書の提出（施工数量や現場条件の変更による、変更施工計画書の提出を含む）までにICT活用の具体的な工事内容及び数量・対象範囲について明示し、監督職員へ提案・協議を行い、協議が整った場合、ICT施工技術を活用する項目については、以下の積算要領に基づき以下の（1）（2）により費用を計上することとする。

- ・ICT活用工事（基礎工）積算要領

（1）3次元起工測量・3次元設計データの作成費用

3次元起工測量・3次元設計データの作成（修正含む）を実施した場合は、受注者は発注者からの依頼に基づき、見積り書を提出するものとし、発注者は、費用の妥当性を確認した上で設計変更の対象とする。

なお、受注者から見積りの提出がない場合は、「3次元起工測量・3次元設計データの作成費用」は計上しないものとする。

（2）3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用

出来形管理の計測範囲において、面的に座標を取得し、ソフトウェア上で面の法長・高さ等の出来形管理を実施し、工事検査前の工事竣工段階の目的物について点群データを取得し、3次元データ納品を行った場合、標記費用の対象とする。

費用の計上方法については、受注者より提出された見積により費用の妥当性を確認することとし、官積による算出方法については、共通仮設費率、現場管理費率に以下の補正の補正係数を乗じるものとする。

なお、受注者は、発注者からの依頼に基づき、見積り書を提出するものとする。受注者からの見積により算出される金額が以下の補正係数を乗じて算出される金額を下回る場合は、見積により算出される金額を積算計上額とする。

また、受注者から見積の提出がない場合は、3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用は計上しないものとする。ただし、基礎工（ICT）と同時に実施する土工（ICT）等他工種において補正係数を乗じる場合は適用しない。

- ・共通仮設費率補正係数：1.2
- ・現場管理費率補正係数：1.1

上記費用の対象となる出来形管理は、以下の1）～4）とし、それ以外の出来形管理の費用は、共通仮設費率及び現場管理費率に含まれるため、別途計上は行わない。

1）空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理

- 2) 地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理
 - 3) 無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理
 - 4) 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理
- なお、以下の5)～7)による出来形管理を実施した場合は、「3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用」については、計上しない。
- 5) TS等光波方式を用いた出来形管理
 - 6) TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理
 - 7) RTK-GNSSを用いた出来形管理

2 施工合理化調査を実施する場合はこれに協力すること。

第39条 ICT活用工事の活用効果等に関する調査

ICT活用工事を行った施工者は、活用目的等の把握のための「ICT活用工事の活用効果等に関する調査」の対象であり、別途監督職員より指示される調査票に基づき実施するものとする。

施工者は、工事完了後直ちに調査票を監督職員へ提出・確認後、発注者が指示するメールアドレスまで調査票を電子メールにより提出すること。また調査票の聞き取り調査等を実施する場合はこれに協力するものとする。

調査費用については当初は計上していないため、設計変更の対象とする。

第40条 現場環境改善（快適トイレの設置）

1. 内容

受注者は、現場に以下の（１）～（１１）の仕様を満たす快適トイレを設置することを原則とする。

（１２）～（１７）については、満たしていればより快適に使用出来ると思われる項目であり、必須ではない。

【快適トイレに求める機能】

- （１）洋式（洋風）便器
- （２）水洗及び簡易水洗機能
（し尿処理装置付き含む）
- （３）臭い逆流防止機能
- （４）容易に開かない施錠機能
- （５）照明設備
- （６）衣類掛け等のフック、又は、荷物の置ける棚等（耐荷重を5kg 以上とする）

【付属品として備えるもの】

- （７）現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示
- （８）周囲からトイレの入口が直接見えない工夫
- （９）サニタリーボックス
（女性用トイレに必ず設置）
- （１０）鏡と手洗器

(11) 便座除菌クリーナー等の衛生用品

【推奨する仕様、付属品】

(12) 室内寸法 900mm×900mm 以上（面積ではない）

(13) 擬音装置（機能を含む）

(14) 着替え台

(15) 臭気対策機能の多重化

(16) 室内温度の調整が可能な設備

(17) 小物置き場

（トイレトーパー予備置き場等）

2. 快適トイレに要する費用

快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。

受注者は、上記1の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督職員と協議することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。

【快適トイレに求める機能】(1)～(6)及び【付属品として備えるもの】(7)～(11)の費用については、従来品相当を差し引いた後、51,000 円/基・月を上限に設計変更の対象とする。

なお、設計変更数量の上限は、男女別で各1基ずつ2基/工事（施工箇所）※までとする。

また、運搬・設置費は共通仮設費（率）に含むものとし、2基/工事（施工箇所）※より多く設置する場合や積算上限額を超える費用については、現場環境改善費（率）を想定しており、別途計上は行わない。

※「施工箇所が点在する工事の積算」適用工事や施工延長が長いなどのトイレを施工箇所に応じて複数設置する必要性が認められる工事については、「工事」を「施工箇所」に読み替え、個々の施工箇所です計上できるものとする。

3. 快適トイレの「質の向上」に要する費用

快適トイレの「質の向上」として、積算上限額を超える費用について現場環境改善費（率）を充当することができる。現場環境改善費（率）の充当を希望する場合は、上記2.の協議時に見積書を添付し、規格・基数等の詳細について監督職員と協議することとする。

なお、現場環境改善費（率）を充当することにより、特記仕様書に明示されたその他の費目の実施が困難な場合には、実施費目数の変更を合わせて協議することとする。

4. その他

快適トイレの手配が困難の場合は、監督職員と協議の上、本条項の対象外とする。

第41条 BIM/CIM 適用工事について

本工事は、BIM/CIM 適用工事（発注者指定型）である。

少なくとも以下に示す義務項目について、BIM/CIM を適用する。さらに、発注者が示す課題や効率化等を求める内容を踏まえ、BIM/CIM 取扱要領「附属資料1 推奨項目一

覧」や過去の取組事例等を参考にして、受発注者で実施内容や納品方法について協議し決定する。

受注者が希望する場合、発注者が示す活用内容以外の活用内容を提案することができる。

BIM/CIM 適用工事に要する費用については、当初は計上していない。3次元モデルを作成または加工する場合は、受発注者間の協議に基づき、設計変更を行うものとする。

活用内容	活用内容の詳細
【義務項目】	
特定部の確認 (2次元図面の確認補助)	2次元では表現が難しい箇所を3次元モデルで視覚化することで、関係者の理解促進や2次元図面の精度向上を図る。
【推奨項目】	
重ね合わせによる確認	3次元モデルに複数の情報を重ね合わせて表示することにより、位置関係にずれ、干渉等がないか等を確認する。
鉄筋の干渉チェック	3次元モデルで鉄筋の干渉を確認する。
現場条件の確認	3次元モデルに建機等を配置し、近接物の干渉等、施工に支障がないか確認する。
(参考) 3次元モデル作成の目安	
詳細度	300～400程度※1 ※1 構造形式がわかるモデル～主構造の形状がわかるモデル
属性情報※2 ※2 部材等の名称、規格、仕様等の情報	オブジェクト分類名※3のみ入力し、その他は任意とする。 ※3 道路土構造物、橋梁等の分類の名称

1 BIM/CIM 実施計画書の作成

受発注者において、BIM/CIM の実施内容や、納品方法等を協議し決定した結果を「BIM/CIM 実施計画書」として整理し、提出する。内容に変更が生じた場合は、受発注者間で協議し、BIM/CIM 実施計画書を作成する。

また、作成した BIM/CIM 実施計画書に基づき、本工事を実施する。

- 1) 工事概要
- 2) 整理すべき課題
- 3) BIM/CIM の実施内容（3次元モデルの活用内容、期待する効果等）
- 4) 3次元モデルの作成仕様（作成範囲、詳細度、属性情報、別業務等で作成された3次元モデルの仕様等）
- 5) 3次元モデルの作成に用いるソフトウェア、オリジナルデータの種類
- 6) 3次元モデルの閲覧、データ共有ができるソフトウェアの種類、成果物の納

品ファイル形式

7) 3次元モデルの作成担当者

8) 3次元モデルの作成・活用に要する費用

2 BIM/CIM 実施報告書の作成

BIM/CIM 実施計画書に基づき実施した内容について、BIM/CIM 実施報告書を作成する。以下の内容を BIM/CIM 実施計画書に追記して作成する。

9) 後段階への引継事項（データ活用時の留意点、更なる検討が必要な内容、2次元図面との整合等）

10) 省人化の効果（前段階から引き継いだデータの活用により省人化した効果、3次元での検討により省人化した効果等）

3 成果物の納品

以下の内容を納品する。様式については別添資料を参照すること。

1) BIM/CIM 実施計画書・見積書（変更含む）

2) BIM/CIM 実施報告書（3次元モデル作成引継書シート、3次元モデル照査時チェックシートを含む）

3) 作成した3次元モデル（オリジナルデータ、標準的なデータ形式（J-LandXML 形式、IFC 形式）、統合モデル、動画等

4 その他

最新の情報は BIM/CIM ポータルサイト

（<https://www.nilim.go.jp/lab/qbg/bimcim/bimcimindex.html>）で提供されているので、適宜参照すること。

第42条 DX データセンターの使用

本工事は DX データセンターを使用することで、VDI による専用ソフトの利用及び受発注者間のデータ共有の円滑化を図る工事である。

3次元モデルを活用するにあたり、受注者が希望する場合、国土技術政策総合研究所が運用する DX データセンターにインストールされている専用ソフトウェアを使用することができる。

DXデータセンター内の有償ソフトウェアを使用する場合は、受注者が有償ソフトウェアの使用契約手続きを行うものとする。

なお、DXデータセンターの詳細については、DXデータセンターの参考資料（<https://dxportal.nilim.go.jp/exonym/reference>）及びポータルサイト（<https://dxportal.nilim.go.jp/exonym>）を参照すること。

第43条 工事中の安全確保

1. 工事の施工にあたっては、関東地方整備局長が定める「重点的安全対策」について留意し、工事事故の防止を図らなければならない。なお、令和7年度における重点的安全対策項目は以下の7項目である。

I. 架空線等上空施設の損傷事故防止

- Ⅱ. 建設機械等の稼働に関連した人身事故防止
- Ⅲ. 資機材等の下敷きによる人身事故防止
- Ⅳ. 足場・法面等からの墜落事故防止
- Ⅴ. 地下埋設物の損傷事故防止
- Ⅵ. 第三者の負傷・第三者車両等に対する損害
- Ⅶ. 事故防止

2. 受注者は、工事に従事する就業制限業務及び作業主任者を選任する業務における資格者のうち、資格取得後一定期間経過した資格者に対し、次に掲げる再教育の受講が推進されるよう努めるものとする。
 - ①労働安全衛生法第 19 条の 2 に基づく足場組立等作業主任者等に対する能力向上教育
 - ②労働安全衛生法第 60 条の 2 に基づく車両系建設機械運転従事者、移動式クレーン運転士、玉掛業務従事者等に対する危険有害業務従事者教育
 - ③厚生労働省通達に基づくドラグ・ショベル運転業務従事者等に対する危険再認識教育
3. 工事の施工にあたっては、工事等の時期、工事等の方法の概要 及び 工事等を行なう場合における道路交通に対する措置について「道路工事保安施設設置基準（令和元年 5 月）」に基づき監督職員へ確認を行うものとする。
4. 工事中看板、工事情報看板及び工事説明看板の記載内容及び設置箇所については、監督職員の承諾を得るものとする。
5. 工事期間中は、夜間における安全確保のため保安要員を巡回させ、道路灯、バリケード等保安施設の保安点検を行うものとする。
6. 工事期間中に配置する交通誘導警備員は、以下のとおり計上するものとする。ただし、交通管理者等との協議条件など社会的要件、現地精査に基づき配置人員の変更が必要になった場合は、監督職員と協議するものとする。

作 業 内 容	昼夜区分	資格の有無	単位	数 量	摘要
出入り口部誘導	昼間	有り	人日	1 1 1	
出入り口部誘導	昼間	無し	人日	3 1 1	
出入り口部誘導	夜間	有り	人日	6	
出入り口部誘導	夜間	無し	人日	6	

第44条 熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行工事

1. 本工事は、夏季における真夏日などの気候状況を考慮し、工事現場の熱中症対策に掛かる経費に関して「熱中症対策に資する現場管理費の補正」を行う試行工事である。
2. 真夏日の考え方は下記のとおりである。
 - (1) 真夏日の定義

日最高気温が 30℃以上の日を指す。

ただし、夜間工事の場合は作業時間帯の最高気温が 30℃以上の場合とする。
 - (2) 試行にあたっての真夏日の計上の考え方

下記①～③のいずれかに該当する場合、真夏日として計上する。

①環境省が公表している暑さ指数（WBGT）が日最高 25℃以上の場合。

施工現場から最寄りの環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）が 25℃以上となる日を真夏日とみなす。

②気象庁が公表している地上気象観測所の日最高気温が 30℃以上の場合。

施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温が 30℃以上の日を真夏日とする。

③夜間工事については、作業時間帯の最高気温が 30℃以上の場合。

施工現場から最寄りの観測地点における作業時間帯の最高気温が 30℃以上、又は暑さ指数（WBGT）が 25℃以上の場合を真夏日とする。

なお、休工日においては、上記に該当した場合でも真夏日としない。

上記①～③によりがたい場合は、監督職員と協議すること。

（３）工期

工事着手から工事完成日までの期間を指す。なお、年末年始休暇６日間、夏季休暇３日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。

（４）基準日

受発注者協議により、「基準日」を定めるものとする。「基準日」は工事着手日を基本とする。

当該「基準日」より工期末までの期間のうち、真夏日にあたる日数を算出する。なお、夏季休暇３日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間、現場休工日は含まないものとする。

（５）真夏日率

以下の式により算出された率をいう。

$$\bullet \text{真夏日率} = \text{基準日から工期末までの真夏日} \div \text{工期}$$

（６）現場管理費の補正

現場管理費の補正は、工期中の日最高気温の状況に応じて補正値を算出し、現場管理費率に加算する。なお、補正は変更契約において行うものとする。

$$\bullet \text{補正値（％）} = \text{真夏日率} \times \text{補正係数} \times$$

※ 真夏日補正係数：１，２

第45条 交通誘導警備員の資格

交通誘導警備員については、資格者（警備業法第 23 条に規定する都・県公安委員会の行う 1 級又は 2 級検定に合格した者）1 名以上を充て、他は経験 1 年以上の者を配置すること。

なお、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

第46条 仮設工等の段階点検

受注者は、仮設工の計画、設計及び施工における下記段階及び内容について、監督職員の指示する書式に従い、確認し、提出するものとする。

- (1)仮設工の設計完了段階(指定仮設については、発注者から提示された設計図書の内容検討完了段階)
現地条件と整合した設計条件で設計され適切な仮設計画書が作成されているかを確認する。
(なお、指定仮設については発注者から提示された設計図書が現地条件と整合した設計条件で設計され、安全確保された設計図書になっているかを確認する)
- (2)仮設工の施工中間段階
仮設計画書どおりに施工が実施されているか確認する。
- (3)仮設工の施工完了段階
仮設計画書どおりに施工が実施されているか確認する。
- (4)仮設工の撤去中間段階
仮設計画書どおりに施工が実施されているか確認する。

第47条 路上工事の縮減等

受注者は、路上工事による交通への影響の緩和を図るため、施工方法・規制時間帯・施工日数の短縮等の検討を行い、監督職員に提出するとともに工事完了時に実施結果を提出するものとし、路上工事の縮減等に努めるものとする。

第48条 交通規制日数の報告

現道上での(改築・維持修繕)工事等により交通規制を実施した場合には、月毎に実交通規制日数を監督職員へ提出するものとする。

第49条 環境対策

受注者は、工事に伴う公害防止(騒音、振動、粉塵、排出ガス等)のため、下記によらなければならない。

1. 工種
歩道橋本体工
橋台工
2. 建設機械・設備
低騒音・低振動認定機械
騒音防止を施した機械
3. 施工にあたり現地状況を十分把握し、安全性、経済性等の検討を行い、施工方法に変更が生じた場合、又は上記により難しい場合は、監督職員と協議しなければならない。

第50条 環境対策（特定調達品目の調達実績の調査について）

受注者は、本工事の資材、建設機械の使用にあたっては、必要とされる強度や耐久性、機能の確保等に留意しつつ、環境物品等の調達の推進に関する基本方針に定められた国土交通省の特定調達品目(以下、「特定調達品目」という)の使用を積極的に推進するものとする。設計図書に定めがあるものについて、特定調達品目への変更が可能である場合は、監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。ただし、東日本大震災の影響により、

特定調達品目の使用が困難な場合には、監督職員と協議するものとする。

受注者は、特定調達品目の調達実績の集計を行い、工事完了後(工期が令和〇〇年度以降に及ぶものは、監督職員の指示する日まで)に、電子データにより監督職員に提出するものとする。集計の方法については、監督職員より指示する。

第51条 環境対策（建設機械の使用）

受注者は、本工事において「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針」（昭和 62 年 3 月 30 日建設省経機第 58 号）に基づき、低騒音型建設機械の使用原則を図られた場合は、「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」に基づき指定された低騒音型建設機械を使用するものとする。

第52条 ディーゼル車排出ガス規制に適合した車輛の使用

1. 受注者は、本工事現場で使用し又は使用される関係車輛（以下、本工事関係車輛という。）が、埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県 of ディーゼル車排出ガス規制条例（以下、関係法令等という。）の適用を受ける場合は、これに適合した車輛を使用しなければならない。
2. 受注者は、本工事の施工に先立ち、本工事関係車輛の「ディーゼル車排出ガス規制に適合する車輛の使用」について、関係法令等の遵守を施工計画書に記載しなければならない。
3. 受注者は、本工事関係車輛にディーゼル車を使用する場合には、車検証等のコピーを保管し、本工事関係車輛を把握しなければならない。
4. 受注者は、取締りにより本工事関係車輛に違法行為等があった場合には、直ちに監督職員に報告しなければならない。
5. 受注者は、資機材の搬出入等において、資材納入業者に関係法令等を遵守させるものとする。

第53条 交通安全管理・工事現場管理

受注者は、工事の施工にあたっては、次の事項を遵守するものとする。

1. 積載重量制限を超えて土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。
2. さし枠装着車、不表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。
3. 過積載車輛、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等過積載を助長することのないようにすること。
4. 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行った場合、さし枠装着車、不表示車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
5. 建設発生土の処理及び骨材の購入等にあたって、下請事業者及び骨材納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
6. 以上のことにつき、下請業者にも十分指導すること。

第54条 交通安全管理（特殊車両通行許可関係図書の確認及び提出）

共通仕様書 1-1-1-36 交通安全管理第 14 項における道路法第 47 条の 2 に基づく通行許可の確認は、下記について実施するものとする。また監督職員からの求めがあった場合には確認結果等を提示しなければならない。

- ① 当該車両に関する特殊車両通行許可証
- ② 現場到着地点及び現場出発時における荷姿（荷姿全景、ナンバープレート等通行許可証と照合可能な写真を撮影しておくこと）
- ③ 車両通行記録計（タコグラフ）（夜間走行条件の場合のみ）

なお、当該車両の特殊車両通行許可証については、当該経路に関する部分の写しを、共通仕様書 1-1-1-39 官公庁等への手続等第 3 項に基づき、監督職員へ提示するものとする。

第55条 通行許可等

1. 受注者は、建設機械、資材の運搬にあたり、道路法第 47 条第 1 項、車両制限令第 3 条における一般的制限値を超える車両を通行させようとする場合は、運搬資機材毎に運搬計画（車種区分、車両番号等、車両諸元及び積載重量、資材の積載限度数量、通行経路、許可証等の有効期限等の確認方法と確認頻度）を作成し、施工計画書に記載しなければならない。
2. 受注者は、運搬計画どおりに運行していることを確認しなければならない。また、確認を行った資料については、整理保管するとともに、監督職員または検査職員の要求があった場合は速やかに提示しなければならない。

第56条 現場環境改善

1. 現場環境改善として実施する内容は、下記のとおりとするが、現場条件等により実施が困難になった場合には、監督職員と協議するものとする。
 - (1) 仮設備関係
環境負荷の低減を実施するものとする。
 - (2) 営繕関係
現場事務所の快適化を実施するものとする。
 - (3) 安全関係
避暑（熱中症予防）、防寒対策及び盗難防止対策（警報器等）を実施するものとする。
 - (4) 地域連携
社会貢献を実施するものとする。
2. 現場環境改善については具体的な内容、実施時期について施工計画書に含め提出するものとする。
3. 主に現場の施設や設備に対する熱中症対策・防寒対策については、工事契約後、監督職員と協議するものとし、現場環境改善費（率）の 50%を上限として設計変更の対象とする。

第57条 工期

1. 工期は、雨天、休日等 94 日を見込み、契約の翌日から令和 8 年 11 月 30 日までとする。

なお、休日には、日曜日、祝日、年末年始休暇及び夏季休暇の他、作業期間内の全ての土曜日を含んでいる。

工期には、施工に必要な実日数（実働日数）に加えて以下の日数を見込んでいる。

①	準備期間	40 日間
②	後片付け期間	20 日間
③	雨休率（猛暑日補正あり）	0.79
	（実働工期日数に休日と天候等による作業不能日※を見込むための係数）	

※雨休率を算出した際の日換算した年間の作業不能日は以下の通りである。（当該工事の作業不能日ではない。）

イ）1 日の降雨・降雪量が 10mm/日以上の日：29 日間

ロ）8 時から 17 時までの WBGT 値が 31 以上の時間を足し合わせた日数：7 日間（少数第 1 位を四捨五入（整数止め）し、日数換算した日数）

過去 5 年（2020 年～2024 年）の気象庁（横浜観測所）及び環境省（横浜地点）のデータより年間の平均発生日数を算出（雨休率を算出した際の日換算した年間の作業不能日）

2. 本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間と実工事期間を合わせた全体工期を設定した工事であり、発注者が示した工事完了期限までの間で、受注者は工事の始期及び終期を任意に設定できる。なお、契約を締結するまでの間に、別紙様式-16 により、工事の始期及び終期を通知すること。

3. 余裕期間内は、現場に搬入しない資材等の準備を行うことができるが、資材の搬入や仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

全体工期：契約締結日の翌日から令和 8 年 11 月 30 日まで

※ 契約締結後において、工期の始期の変更の必要が生じた場合は、監督職員と協議の上、工期に係る契約を変更することにより、工事に着手することができるものとする。なお、条件の変更がない場合において、契約時に設定した工期の変更は行わない。

第58条 工程表

受注者は、現場着手前（準備期間内）に設計図書等を踏まえた工事工程表（クリティカルパスを含む）を作成し、監督職員と共有すること。工程に影響する事項がある場合は、その事項の処理対応者（「発注者」又は「受注者」）を明確にすること。

施工中に工事工程表のクリティカルパスに変更が生じた場合は、適切に受発注者間で共有することとし、工程の変更理由が以下の①～⑤に示すような受注者の責によらない場合は、工期の延長が可能となる場合があるので協議すること。

- ① 受発注者間で協議した工事工程の条件に変更が生じた場合
- ② 著しい悪天候や気象状況より「天候等による作業不能日」が工程（官積算）で見込んでいる日数から著しく乖離し、かつ、作業を休止せざるを得なかった場合
- ③ 工事中止や工事一部中止により全体工程に影響が生じた場合
- ④ 資機材や労働需要のひっ迫により、全体工程に影響が生じた場合
- ⑤ その他特別な事情により全体工程に影響が生じた場合

第59条 工事工程表の開示の試行工事

1. 本工事は、工期設定の根拠とした工事に必要な関係機関との調整、住民合意、用地確保、法定手続きなどの進捗状況を踏まえた工事工程表を開示するとともに、設計審査会等において工事工程クリティカルパスの共有や発注者が作成する工程と受注者が作成する工事工程の照合（クロスチェック）を行うことにより、適切な工期設定の取組を行う「工事工程表の開示の試行工事」である。
2. 工事契約後、設計審査会等において、「前条 工事工程クリティカルパスの共有」により作成した工事工程表を確認し、受注者・発注者間でクリティカルパスの共有を行うものとする。
3. 設計審査会等において、発注者が開示した工事工程表（別紙-5）との照合（クロスチェック）を実施し、必要に応じて工期延伸の判断について審査を行うなど、適正な工事工程の確保に努めるものとする。
4. 本試行に関するアンケート調査を実施する場合はこれに協力すること。

第60条 週休二日の対応

1. 本工事は、監督職員と受注者双方が工程調整を行うことにより、完全週休2日（土日）を達成するよう工事を実施する「現場閉所による週休2日制適用工事（完全週休2日）（受注者希望方式）」の試行工事である。
受注者は、工事契約後、完全週休2日（土日）の取組を希望するか判断の上、発注者に協議するものとし、希望しない場合は月単位の週休2日に取組むものとする。
2. 週休2日の考え方は下記のとおりである。

1) 週休2日

①完全週休2日（土日）

対象期間内の全ての土日において、現場閉所を行ったと認められる状態をいう。

受注者の責によらず土日に施工を行わざるを得ない場合は、協議により、同一の週に土日に代わる現場閉所日（以下、「代替休日」という。）を設定することによって、土日に現場閉所を行ったとみなす。なお、週の定義は月曜日から日曜日までとする。

②月単位の週休2日

対象期間内の全ての月において、現場閉所日数の割合（以下、「現場閉所率」という。）が、28.5%（8日/28日）以上となる現場閉所を行ったと認められる状態をいう。

なお、降雨、降雪等による予定外の現場閉所日についても、現場閉所日数に含めるものとする。また、天候等による作業環境が厳しい時期を避けることを目的に、1年単位の変形労働時間制を適用し休日を振り替えた場合には、振替後の日を予定どおり閉所した場合に振替前の日を現場閉所を行ったものとみなす。対象期間において、4週8休以上の現場閉所を行ったと認められる状態をいう。

2) 対象期間

工事着手日から工事完成日までの期間をいう。なお、年末年始休暇6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間（受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間など）は含まない。

また、工事着手後、受注者の責によらず週休2日の実施が困難な期間が生じる場合は、受発注者間で協議して週休2日の対象外とする作業と期間を決定するとともに、変更契約時の設計図書に対象外とする作業と期間を明示する。ただし、対象外とする期間は災害対応等のやむを得ない期間に限定すること。

3) 現場閉所

巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて1日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。

3. 現場閉所を行うときは、監督職員へ事前に連絡すること。ただし、以下に該当する場合は、連絡は不要である。

①施工計画書に記載した法定休日・所定休日の場合

②週間工程会議等により監督職員が事前に把握している場合

③官公庁の休日の場合

完全週休2日（土日）の実施にあたり、受注者の責に寄らず土日に施工を行わざるを得ない場合は、協議により、同一の週に代替休日を設定すること。なお、夜間工事の場合は作業に着手した日を作業日とみなす。

また、天候等による作業環境が厳しい時期を避けることを目的に、1年単位の変形労働時間制を適用し休日を振り替える場合には、振替前後の日にちが把握出来るよう施工計画書に記載しておくこと。

4. 監督職員は、受注者の月毎の現場閉所率の状況を適宜確認するものとし、受注者側の週休2日の取組状況が十分でない場合は、受発注者双方において要因を分析し、週休2日が確保できるよう改善に取り組むものとする。

5. 工事完了後、週休2日の取得結果が確認できる「取得報告書」を作成し、監督職員に提出するものとする。

6. アンケート調査を実施する場合はこれに協力すること。

7. 明らかに受注者側に月単位の週休2日に取り組む姿勢が見られなかった場合については、内容に応じて、工事成績評定から点数を減ずる措置を行うものとする。

8. 週休2日に掛かる費用については、当初予定価格から完全週休2日（土日）を達成した場合の補正係数を労務費、市場単価、土木工事標準単価、共通仮設費率、現場管理費率に乗じているが、現場閉所の達成状況を確認後、完全週休2日（土日）が

未達成の場合は、月単位の週休2日の補正係数に変更する。月単位の週休2日が未達成の場合は、補正係数を除して変更する。

完全週休2日（土日）の取組を希望しない場合は、月単位の週休2日の補正係数に変更する。また、現場閉所の達成状況を確認後、月単位の週休2日が未達成の場合は、補正係数を除して変更する。

第61条 悪天候等により工期変更が必要となる場合の協議を簡素化する試行

- 1. 受注者は、著しい悪天候により作業不稼働日が多く発生し、工期内に工事を完成することが困難な場合はその理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。
著しい悪天候とは、当該工事の工期月の雨休率が、直近5カ年における工期月の雨休率の平均値を超える場合をいう。
工期月とは、工事着手日から工事完成予定日までの期間のうちの、工期の延長変更請求時までにかかる月（ただし、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は除く）をいう。
なお、本工事の降雨降雪日は、横浜観測所（気象庁のデータ）における1日の降雨・降雪量雨が10mm以上/日の日を想定している。
- 2. アンケート調査を行う場合は、これに協力すること。

第62条 施工時期及び施工時間の変更

本工事の作業区分は、下記によるものとする。

作業区分	施 工 区 分	標 準 作 業 時 間
下記以外のすべての作業	昼間施工	8：00～17：00
区画線工	夜間施工	20：00～翌5：00

上記については、積算上の条件明示であり、作業時間を指定するものではない。

※各々の標準作業時間には、日々の作業準備、後片付け、KY等安全活動なども含まれる。

ただし、上記区分に変更を要する場合は、監督職員と協議するものとする。

夜間作業における道路使用許可の時間帯は、20：00時～翌5：00時を見込んでいる。

ただし、上記時間帯に変更があった場合は、監督職員と協議するものとする。

第63条 他工事との調整

- 1. 下記工事の請負業者とは、現場が連続し施工が輻輳することから、施工手順・工程については十分な打ち合わせを行い、工事の円滑な進捗に努めるものとする。
- 2. 本工事との調整工事は以下のとおりとする。

工事名	施工範囲	工期（予定）

R7横環南戸塚IC 改良その2工事	E・Fランプ（擁壁工他）	令和7年11月 ～令和8年8月

第64条 新技術の定義

1. 本工事は、新技術活用の促進を図ることを目的とした、新技術活用工事である。
2. 新技術の定義
新技術活用の原則化における新技術の定義は以下による。
 - ①技術の成立性が技術を開発した民間事業者等により実験等の方法で確認されている技術
 - ②公共工事等において実用段階に達している技術
 - ③当該技術の適用範囲において従来技術に比べて活用の効果が同程度以上の技術又は同程度以上と見込まれる技術
 - ④実用段階に達していない技術又は要素技術など研究開発段階にある技術であって国により導入促進を図る技術
3. 対象とする新技術
新技術活用の原則義務化の対象とする新技術は以下のとおりとする。
 - 1) 新技術情報提供システム（NETIS）登録技術
URL <http://www.netis.mlit.go.jp>
 - 2) NETIS のテーマ設定型の技術比較表に掲載されている技術
 - 3) 新技術導入促進（Ⅱ）型により活用する技術
 - 4) 新技術のニーズ・シーズマッチングにより現場実証し、従来技術と同等以上と確認できた技術
対象とする技術は、NETIS「マッチング」に掲載された技術のうち、「標準化推進技術」「普及促進技術」のいずれかに該当するものとする。
なお、NETIS 掲載期間終了技術は対象外とする。

第65条 新技術の活用（施工者選定型）

1. 本工事は、施工者が原則1 技術以上の新技術を選択したうえで活用を図る新技術活用工事である。
2. 本工事において、第 64 条 新技術の活用「新技術の定義」3. 対象とする新技術に示す 1)～4)の技術が選定されていない場合、受注者は施工に先立ち、当該工事内容について十分把握の上、新技術を原則一つ以上選定し、監督職員の承諾を得た上で活用するものとし、活用する新技術の名称及び内容等を施工計画書に記載するものとする。活用する新技術が NETIS 登録技術の場合は新技術活用計画書も提出するものとする。
3. 受注者は、選定した新技術が第 64 条 新技術の活用「新技術の定義」3. 対象とする新技術に示す 1)～4)のいずれの新技術であるか確認できるよう、施工計画書に

記載する。

4. 当該技術については、設計図書等で定められた事項に係る部分でない場合は、設計変更の対象としない
5. 受注者は、試行現場照会中の技術を活用する場合において当該技術の施工にあたり NETIS 申請者が実施する「試行調査」に協力するものとする。なお、試行調査に係る費用は NETIS 申請者が負担する。
6. 試行現場照会中の技術を活用する場合、当該工事の実施箇所において標準的に使用される技術の施工費相当額を超える費用については、試行調査に係る費用とみなし、NETIS 申請者の負担とする。
7. 受注者は、活用する新技術が情報種別記号「ーVE」以外の NETIS 登録技術の場合は、当該技術の施工にあたり「活用効果調査」を行うものとする。「活用効果調査」は、「新技術情報提供システム(NETIS)」より作成し、監督職員に提出するものとする。
8. 受注者は、本工事によって知り得た当該技術に係わる情報は、監督職員の許可なく公表してはならない。

第66条 建設現場の遠隔臨場における遠隔臨場の実施（発注者指定）

1. 建設現場における遠隔臨場の実施

「建設現場における遠隔臨場の実施」は、受注者における「段階確認に伴う手待ち時間の削減や確認書類の簡素化」や発注者（監督員）における「現場臨場の削減による効率的な時間の活用」を目指し、動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）と Web 会議システム等を介して「段階確認」、「材料確認」と「立会」の遠隔臨場を行うものとする。

なお、遠隔臨場の実施にあたっては「建設現場における遠隔臨場に関する実施要領（案）R5.3」を参考に実施するものとする。

URL <https://www.mlit.go.jp/tec/content/001594449.pdf>

2. 遠隔臨場を適用する工種、確認項目

現場での適用・不適用については、受発注者間にて協議の上、適用する工種・確認項目を選定することとする。

3. 実施内容

（1）段階確認・材料確認、立会での確認

①受注者が動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）により取得した映像及び音声を Web 会議システム等を介して「段階確認」、「材料確認」と「立会」を行うものとする。

②確認実施者が現場技術員の場合、現場技術員は使用する PC にて遠隔臨場の映像（実施状況）を画面キャプチャ等で記録し、情報共有システム（ASP）等に登録して保管する。（従来の立会資料の管理と同様とする。）

（2）動画撮影

動画撮影は、撮影者の安全を確保するため、撮影者が移動の際に横転等が考えられるいわゆる「歩きスマホ」（カメラを手に持って歩きながら撮影）での撮影はしないこと。

動画撮影は、静止して撮影又は撮影者のヘルメットや胸ポケットに付ける等の安全に配慮するものとする。

(3) 機器の準備

遠隔臨場に要する動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）や Web 会議システム等は受注者が手配、設置するものとする。これによらない場合は監督職員等と協議し決定するものとする。

なお、配信に利用するシステムは、「パッケージ化したシステム」、「情報共有システム（ASP）」、「Web 会議システム（teams、zoom 等）」等、何れのシステムを利用してよい。

(4) 遠隔臨場を中断した場合の対応

電波状況等により遠隔臨場が中断された場合の対応について、事前に受発注者間で協議を行うものとする。対応方法に関しては、確認箇所を画像・映像で記録したものをメール等の代替手段で共有し、監督職員等は机上確認することも可能とする。

なお、本項目は受発注者間で協議し、別日の現場臨場に変更することを妨げるものではない。

(5) フォローアップ調査

工事完了時に別紙様式-19を監督職員へ提出するものとする。

また、遠隔臨場を通じた効果の検証及び課題の抽出に関するアンケート調査に協力するものとする。詳細は、監督職員の指示によるものとする。

(6) 費用

遠隔臨場にかかる費用については、工事実施に必要な施工管理費として、全必要額を技術管理費に積み上げ計上し、設計変更するものとする。

なお、機器の手配は基本的にリースとし、その賃料を計上するものとするが、やむを得ず購入せざるを得ない機器がある場合は、その購入費に、機器の耐用年数に対する使用期間（日単位）割合を乗じた分を計上するものとする。また、受注者が所持する機器を使用する場合も、基本的には同様の考え方とするものとする。

(7) 不正行為

遠隔臨場において故意に不良箇所を撮影しない等の不正行為等を行った場合は、「建設業者の不正行為等に対する監督処分の基準 令和 5 年 3 月 3 日（国不建第 578 号）」等に従い、監督処分を実施する場合がある。

遠隔臨場の実施にかかる通信環境整備は、発注者の費用負担にて行うものとする。

遠隔臨場の実施にあたり、現場の通信環境が不良と確認された場合は、対応策を検討の上、監督職員と協議を行うものとする。

第67条 建設現場における遠隔臨場を活用した工事検査の実施

1. 建設現場における遠隔臨場を活用した工事検査の実施

「遠隔臨場を活用した工事検査」は、受注者における「工事検査に伴う移動時間の削減や工事関係書類の簡素化」や発注者（監督職員・検査職員）における「現場実地（現場臨場）の削減による効率的な時間の活用」等を目指し、動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ、360 度カメラ等）と Web 会議システム等を介して工事実施状況、出来形、品質と出来ばえの各検査項目を遠隔で行うものである。なお、遠隔臨場による工事検査は、『遠隔臨場による工事検査に関する実施要領（案）』の内容に従い実施する。

2. 遠隔臨場を活用した工事検査の対象

遠隔臨場を活用した工事検査は、完成検査、中間技術検査、既済部分検査、完済部分検査における、工事実施状況、出来形、品質、出来ばえの各検査項目を対象とし、以下の表に示す。また、全ての検査を対象とするが、現場条件や、『遠隔臨場による工事検査に関する実施要領（案）』「7.3 検査項目の適応性」を踏まえ、従来方法（対面書類検査、現場実地検査）を選択することも可能である。

凡例 ○：遠隔臨場による工事検査の対象

	工事実施 状況	出来形		品質		出来ばえ	
	書類	書類	実地	書類	実地	書類	実地
完成検査	○	○	○	○	○	○	○
中間技術検査	○	○	○	○	○	○	○
既済部分検査	○	○	○	○	○	○	○
完済部分検査	○	○	○	○	○	○	○

3. 遠隔臨場を活用した工事検査を適用する検査項目

現場条件により遠隔臨場による工事検査の適応性が一致しない場合も想定されることから、検査項目での適用・不適用については、監督職員が検査職員と調整・決定し、受注者に遠隔臨場による工事検査を適用する検査項目を連絡する。遠隔臨場による工事検査を適用する検査項目については、『遠隔臨場による工事検査に関する実施要領（案）』「7.3 検査項目の適応性」を踏まえ判断する。

4. 実施内容

（1）技術検査、工事検査での実施

受注者が動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ、360 度カメラ等）により取得した映像及び音声を Web 会議システム等を介して工事実施状況、出来形、品質と出来ばえの各検査を実施するものである。

（2）機器の準備

遠隔臨場による工事検査に要する動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ、360 度カメラ等）や Web 会議システム等は受注者が手配、設置するものとする。これによらない場合は監督職員と協議し決定するものとする。

（3）遠隔臨場による工事検査を中断した場合の対応

電波状況等により遠隔臨場による工事検査が中断された場合の対応について、事前に受発注者間で予備日を取り決めて検査日を連絡する。

（4）効果の検証

遠隔臨場による工事検査を通じた効果の検証及び課題の抽出に関するアンケート調

査に協力するものとする。詳細は、監督職員の指示による。

(5) 費用

遠隔臨場による工事検査にかかる費用については、受発注者間の協議を踏まえ、技術管理費に積上げ計上する。なお、監督業務で遠隔臨場を実施する工事については、遠隔検査を行うために追加で要する費用が生じた場合に監督職員と協議するものとする。

(6) 不正行為

遠隔臨場による工事検査において故意に不良箇所を撮影しない等の不正行為等を行った場合は、『建設業者の不正行為等に対する監督処分の基準 令和 3 年 9 月 30 日（国不建第 273 号）』等に従い、監督処分を実施する場合がある。

第68条 契約後VE方式

「VE提案」とは、契約書第 19 条の2の規定に基づき、設計図書に定める工事の目的物の機能、性能等を低下させることなく請負代金額を低減することを可能とする工事材料、施工方法等に係る設計図書の変更について、受注者が発注者に行う提案である。

第69条 VE提案の意義及び範囲

1. 受注者がVE提案を行う範囲は、設計図書に定められている内容のものとする。
2. 以下の提案は、VE提案の範囲に含まないものとする。
 - (1) 施工方法等を除く工期の延長等の施工条件の変更を伴う提案。
 - (2) 契約書第 18 条に規定された条件変更等に該当する事実との関係が認められる提案。
 - (3) 提案の実施に当たり、関係機関協議等、第三者との調整等を要する提案。

第70条 VE提案書の提出

1. 受注者は、前項のVE提案を行う場合は、次に掲げる事項をVE提案書(別紙様式ー1～4)に記載し、発注者に提出しなければならない。
 - (1) 設計図書に定める内容とVE提案の内容の対比及び提案理由
 - (2) VE提案の実施方法に関する事項(当該提案に係る施工上の条件等を含む)
 - (3) VE提案が採用された場合の工事代金額の概算低減額及び算出根拠
 - (4) 発注者が別途発注する関連工事との関係
 - (5) 工業所有権等の排他的権利を含むVE提案である場合、その取扱いに関する事項
 - (6) その他VE提案が採用された場合に留意すべき事項
2. 発注者は、提出されたVE提案書に関する追加的資料、図書その他の書類の提出を受注者に求めることができる。
3. 受注者は、前項のVE提案を契約の締結日より、当該VE提案に係る部分の施工に着手する〇〇日前までに、発注者に提出できるものとする。

(注) 〇〇の部分には原則として「35」と記入する。
4. VE提案の提出費用は、受注者の負担とする。

第71条 VE提案の審査

提出されたVE提案は、施工の確実性、安全性が確保され、かつ設計図書に定める工事の目的物と比較し、機能、性能等が同等以上で経済性が優位であると判断されるものについては、VE提案として採用することを原則として審査を行い、当該提案の採否を決定するものとする。

第72条 VE提案の採否等について

VE提案の採否について、原則として、VE提案の受領後14日以内に書面(別紙様式-5)により通知するものとする。ただし、受注者の同意を得た上でこの期間を延長することができるものとする。また、VE提案を採用しなかった場合には、その理由を付して通知するものとする。

第73条 VE提案を採用した場合の設計変更等について

1. VE提案を採用した場合において、必要があるときは、発注者は設計図書の変更を行わなければならない。
2. 前項の規定により設計図書の変更が行われた場合において、発注者は、必要があるときは請負代金額を変更しなければならない。
3. 前項の変更を行う場合においては、VE提案により請負代金額が低減すると見込まれる額の10分の5に相当する金額(以下「VE管理費」という。)を削減しないものとする。
4. VE提案を採用した後、契約書第18条の条件変更が生じた場合、発注者がVE提案に対する変更案を求めた場合、受注者はこれに応じるものとする。なお、VE管理費については、原則として変更しないものとする。

第74条 VE提案の活用と保護

評定の結果、当該VE提案内容の活用が効果的であると認められた場合は、他の工事においても積極的に活用を図るものとする。その場合、工業所有権等の排他的権利を有する提案については、当該権利の保護に留意するものとする。

第75条 責任の所在

発注者がVE提案等を採用し、設計図書の変更を行った場合においても、VE提案を行った受注者の責任が否定されるものではない。

第76条 生産性向上チャレンジ工事

1. 試行の実施

本工事は、受注者の発案による施工手順の工夫等の創意工夫による生産性向上の取り組みを推進する「生産性向上チャレンジ」の試行対象工事である。

2. 試行の内容

工事契約後、受注者は、当該工事において、省人化等の生産性向上に資する取り組みを実施することができる。

本取り組みを実施する場合は、施工計画書に「生産性向上チャレンジ工事」の項目を設け、①取組内容、②期待される効果等を明記するものとし、完成検査までに実施内容及び効果を報告するものとする。また、期待される効果等について、人員削減や作業時間削減等の定量的な効果を記載できる場合は記載することとする。

なお、「技術提案で提案済みの内容」及び「特記仕様書第 64 条 新技術活用「新技術の定義」」において採用した取組については本試行の対象外とする。

3. 工事成績評価

施工計画書で位置づけられた「生産性向上チャレンジ工事」の取組の履行が確認できた場合は加点を行うこととする。

4. 本試行に係る費用については、原則、受注者負担によるものとする。

第77条 出来高部分払方式

本工事の部分払は、短い間隔で出来高に応じた部分払や設計変更協議を実施し、円滑かつ速やかな工事代金の流通を確保することによって、より双務性及び質の高い施工体制の確保を目指すため、「出来高部分払方式実施要領」[国土交通省 HP https://www.mlit.go.jp/tec/tec_tk_000052.html 参照]に基づき行うものとする。

第78条 総価契約単価合意方式について

1. 本工事は、請負代金額の変更があった場合における変更金額や部分払金額の算定を行う際に用いる単価等をあらかじめ協議し、合意しておくことにより、設計変更や部分払に伴う協議の円滑化に資することを目的として実施する総価契約単価合意方式の対象工事である。（共通仕様書第3編3-1-1-1-1の適用）

2. 共通仕様書第3編3-1-1-1-1第2項、第6項及び第7項に係る規定は適用しないものとする。

受注者は、契約書第3条第1項の規定に基づき請負代金内訳書（以下「内訳書」という。）を発注者に提出した後に、当該工事の工事費構成書の提示を求めることができるものとする。（合意単価の公表）

3. 発注者・受注者間で作成の上合意した単価合意書は、公表するものとする。

第79条 現場技術員

本工事は、現場技術員の配置対象工事であり、現場技術業務を関東建設マネジメント（株）に委託している。

第80条 施工体制調査員

本工事は、現場における施工体制の点検補助を関東建設マネジメント（株）に委託している。

また、本工事の施工体制の点検を担当する施工体制調査員の氏名は、別途監督職員より

通知する。

なお、施工体制調査員は、工事の情報共有システム（ＡＳＰ）により電子書類を閲覧し、点検を行うため、施工体制調査員を情報共有システム（ＡＳＰ）のユーザーに登録するものとする。（「閲覧のみ可能」で登録）

第81条 施工体制の点検

1. 受注者は「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」（平成 12 年法律 第 127 号 最終改正令和 3 年 9 月 1 日）第 15 条 3 により発注者から施工体制について点検を求められたときは、これを受けることを拒んではない。
2. 施工体制の点検員は当該工事の監督職員、施工体制調査員及び発注担当事務所の職員である。
3. 施工体制調査員は、業務証明書を携帯し、胸に委託業務名、委託先、業務職（施工体制調査員）、氏名、顔写真の入った名札を着用している。
4. 当該工事の監督職員及び発注担当事務所の職員は、所属、氏名、顔写真の入った名札を着用している。
5. 施工体制調査員は、施工体制の点検を行う者で、指示等の権限は有しない。
6. 施工体制調査員は、電子書類の点検を工事の情報共有システム（ＡＳＰ）により「閲覧」し、点検する。
7. 施工体制調査員は、第 1 回目の現地点検は現地で点検するが、以降の点検は、映像により点検が可能な項目は、必要に応じ、工事の受注者が導入しているＷＥＢ会議や遠隔臨場システムを活用し、点検することを可能とする。
ただし、立会や打合せ等においてＷＥＢ会議や遠隔臨場システムを導入していない工事や現地での点検を希望する工事は、従来通り、現地で点検する。

第82条 工事完成図書の納品

1. 本工事は電子納品対象工事とする。電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品すること」をいう。ここでいう電子成果品とは、「工事完成図書の電子納品等要領(令和 5 年 3 月)：(以下「要領」という。)」に基づいて作成した電子データを指す。
「要領」で特に記載がない項目については、原則として電子データを提出する義務はないが、「要領」の解釈に疑義がある場合は監督職員と協議の上、電子化の是非を決定する。
なお、電子納品の運用にあたっては、「電子納品等運用ガイドライン【土木工事編】(令和 6 年 3 月)」を参考とするものとする。
2. 本工事は「オンライン電子納品実施要領」に基づき、オンライン電子納品を行うものとする。
オンライン電子納品は、発注者が用意した電子納品保管管理サーバへのオンラインによる納品を原則とする。
なお、オンラインによる納品が実施できない場合は、監督職員と協議の上、電子媒体に格納して納品するものとする。

3. 成果品の提出の際には、電子納品チェックシステムによるチェックを行い、エラーがないことを確認した後、ウィルス対策を実施したうえで提出すること。

第83条 技術検査

1. 本工事は、中間技術検査対象工事とし、実施回数は2回以上を原則とする。なお、工事成績優秀企業の適用工事にあたっては、減免することが出来るものとする。但し、低入札価格調査制度対象工事となった工事及び監督強化価格対象工事については、減免の適用の対象外とする。
2. 中間技術検査の実施時期は、完成、既済部分(完済を含む)の検査時期及び当該工事の主要工種を考慮し、施工上の重要な変化点で行うことを原則とする。実施時期は、監督職員が選定するものとし、監督職員は、受注者に対して書面をもって検査日及び検査職員名を通知するものとする。
3. 中間技術検査は、上記を標準として実施することとするが、中間技術検査の主旨を踏まえ、現場条件、工事規模、内容、工期等を考慮して、実施時期、実施回数を変更することが出来る。

第84条 書類限定検査

1. 本工事は、検査に必要な書類を限定し、監督職員と技術検査官の重複確認廃止の徹底及び受注者における説明用資料等の書類削減により効率化を図る「書類限定検査」の対象である。
2. 書類限定検査とは、検査時に下記の10書類に限定して資料検査を行うものとする。

①施工計画書	⑥出来形管理図表
②施工体制台帳（下請引取検査書類を含む。）	⑦品質管理図表
③工事打合せ簿（協議）	⑧品質規格証明資料
④工事打合せ簿（提出）	⑨品質証明書
⑤工事打合せ簿（承諾）	⑩工事写真

なお、以下の工事については対象外とする。

- ・「低入札価格対象工事」又は「監督体制強化工事」は対象外
 - ・施工中、監督職員より文書等により改善指示が発出された工事は対象外
3. 実施状況や改善点等を把握するためのアンケートに協力する。

第85条 ウィルス対策

受注者は、電子納品時のみならず、監督職員に工事に関する事項について電子データを提出する際には、ウィルス対策を実施した上で提出しなければならない。

また、ウィルスチェックソフトは常に最新データに更新（アップデート）しなければならない。

第2章 個人情報の取り扱いについて

第86条 基本的事項

受注者は、個人情報の保護の重要性を認識し、この契約による事務を処理するための個人情報の取扱いに当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報の保護に関する法律（平成 15 年 5 月 30 日法律第 57 号）第 66 条第 2 項第 1 号の規定に基づき、個人情報の漏えい、滅失、改ざん又はき損の防止その他の個人情報の安全管理のために必要かつ適切な措置を講じなければならない

第87条 秘密の保持

受注者は、この契約による事務に関して知り得た個人情報の内容をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用してはならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

第88条 取得の制限

受注者は、この契約による事務を処理するために個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示しなければならない。また、当該利用目的の達成に必要な範囲内で、適正かつ公正な手段で個人情報を取得しなければならない。

第89条 利用及び提供の制限

受注者は、発注者の指示又は承諾があるときを除き、この契約による事務を処理するための利用目的以外の目的のために個人情報を自ら利用し、又は提供してはならない。

第90条 複写等の禁止

受注者は、発注者の指示又は承諾があるときを除き、この契約による事務を処理するために発注者から提供を受けた個人情報が記録された資料等を複写し、又は複製してはならない。

第91条 再委託の禁止

受注者は、発注者の指示又は承諾があるときを除き、この契約による事務を処理するための個人情報については自ら取り扱うものとし、第三者にその取り扱いを伴う事務を再委託してはならない。なお、発注者の指示又は承諾により第三者に個人情報の取り扱いを伴う事務を再委託する場合（二以上の段階にわたる委託を含む。）には、受注者は当該第三者に対して、個人情報の保護に関する法律（平成 15 年 5 月 30 日法律第 57 号）第 66 条第 2 項第 4 号に基づく個人情報の漏えい、滅失、改ざん又はき損の防止その他の個人情報の安全管理のために必要かつ適切な措置を講じさせなければならない。

第92条 事件発生時における報告

受注者は、個人情報の漏えい等の事案が発生し、又は発生するおそれがあることを知ったときは、速やかに発注者に報告し、発注者の指示に従うものとする。この契約が終

了し、又は解除された後においても同様とする。

第93条 資料等の返却等

1. 受注者は、この契約による事務进行处理するために発注者から貸与され、又は受注者が収集し、若しくは作成した個人情報記録された資料等を、この契約の終了後又は解除後速やかに発注者に返却し、又は引き渡さなければならない。ただし、発注者が、廃棄又は消去など別の方法を指示したときは、当該指示に従うものとする。なお、発注者の指示又は承諾により個人情報記録された資料等を複写等した場合には、確実にそれらを廃棄又は消去するとともに、証明書（別紙ー2）を発注者に提出しなければならない。
2. 前項の規定は、発注者の指示又は承諾により第三者に個人情報の取り扱いを伴う事務を再委託する場合（二以上の段階にわたる委託を含む。）において準用する。

第94条 管理の確認等

発注者は、受注者における個人情報の管理の状況について適時確認することができる。また、発注者は必要と認めるときは、受注者に対し個人情報の取り扱い状況について報告を求め、又は検査することができる。

第95条 管理体制の整備

受注者は、この契約による事務に係る個人情報の管理に関する責任者を特定するなど管理体制を定めなければならない。

第96条 従事者への周知

受注者は、従事者に対し、在職中及び退職後においてもこの契約による事務に関して知り得た個人情報の内容をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に利用してはならないことなど、個人情報の保護に関して必要な事項を周知しなければならない。

第3章 土工

第97条 建設発生土の受け入れ地

1. 発生土の受け入れ場所は、神奈川県厚木市下荻野宮之浦 1920 とする。
 - 1) 捨土の種類
案件ごとに確認すること。
 - 2) 受け入れ時間
案件ごとに確認すること。
2. 搬出調書を作成し、監督職員に提出しなければならない。
3. 受け入れ地での処理方法は、以下の溶出試験を実施するものとする。

試験名称	検体数

溶出試験２８項目一斉分析

１検体

4.工事発注後に明らかになったやむをえない事情により、上記の指定により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

第98条 建設発生土の情報提供対象工事の提供内容

受注者は、本工事から建設発生土を 100m³ 以上搬出する場合は、別紙様式－８により搬出前に搬出先区市町村の建設発生土担当窓口あてに建設発生土に関する下記の情報を郵送・FAX 等で提出しなければならない。

なお、情報提供後速やかにその写しを監督職員に提出しなければならない。

- １．工事件名、工事概要、工事場所
- ２．工事発注機関名、工事発注機関監督職員名、連絡先
- ３．工事請負業者名、現場代理人名、連絡先
- ４．建設発生土の運搬業者名
- ５．建設発生土の受入先名(搬出先事業所名等)、住所
- ６．建設発生土の発生場所から受入地までの運搬経路
- ７．建設発生土の搬出時期（搬出期間）
- ８．建設発生土の土質(砂、ローム等)、 土量(m³)

第99条 掘削工

構造物の床堀により、発生した土砂は、埋戻しに利用し、残土は現場ヤード内に仮置きするものとする。

第100条 仮設材

他工事との調整により改築工事等の事業円滑化を図るため、下記の内容は引き継ぐものとし、工事完了後、撤去または別途工事にて引き渡しを行うものとする。

なお、現場条件等により変更が必要な場合は、監督職員と協議するものとする。

引継物品等	規格・内容	数量	期間	備考
下水用水中ポンプ	２インチ	２台	R8.4.1～R8.11.30	賃料
騒音・振動計	分離型	３台	R8.4.1～R8.11.30	賃料
水中ポンプ	２インチ オート 100V	４台	R8.4.1～R8.11.30	賃料
水中ポンプ	２インチ オート 高揚 200V	２台	R8.4.1～R8.11.30	賃料
ノッチタンク	3m ³	１台	R8.4.1～R8.11.30	賃料
H 型鋼	H300×300×10× 15	14.694 t	R8.4.1～R8.11.30	賃料
国道１号仮歩道橋 (ランドクロス)	人道橋覆工板 2m ²	92m ²	R8.4.1～R8.11.30	賃料

国道1号仮歩道橋 (ランドクロス)	上部工部材	20.634 t	R8.4.1～R8.11.30	賃料
国道1号仮歩道橋 (ランドクロス)	高欄部材	3.112 t	R8.4.1～R8.11.30	賃料
管理用門扉	1000×2000	4 枚	R8.4.1～R8.11.30	賃料
ガードフェンス	網フェンス メッキ 1200 全網	14 枚	R8.4.1～R8.11.30	賃料
ガードフェンス	網フェンス メッキ 1800 全網	8 枚	R8.4.1～R8.11.30	賃料
ガードフェンス	ガードフェンス 1800 メッキ Sパネル付きセット	180 枚	R8.4.1～R8.11.30	賃料
鋼矢板	SP-4型 9.5m	42m	R8.4.1～R8.11.30	賃料
鋼矢板	SP-C3型 9.5m	1 枚	R8.4.1～R8.11.30	賃料
鋼矢板	SP-C4型 9.5m	1 枚	R8.4.1～R8.11.30	賃料
H鋼ガードレール	3m	18 基	R8.4.1～R8.11.30	賃料

第4章 無筋・鉄筋コンクリート

第101条 レディーミクストコンクリート

1. コンクリートは、レディーミクストコンクリートを原則とし、下記の仕様によるものとする。

用 途	粗骨材の 最大寸法	スランプ	水セメント比	呼び強度	セメント の種類
既製杭工 既製コンクリート杭(1)(2)(3)	25mm	12cm	55%以下	24N/mm ²	高炉
既製杭工 鋼管杭(1)(2)	25mm	12cm	55%以下	24N/mm ²	高炉
橋脚フーチング工 均しコンクリート	25mm	8cm	指定なし	18N/mm ²	高炉
橋脚フーチング工 コンクリート	25mm	12cm	55%以下	24N/mm ²	高炉
橋台躯体工(構造物単位) 逆T式橋台	25mm	12cm	55%以下	24N/mm ²	高炉
橋台躯体工	25mm	8cm	指定なし	18N/mm ²	高炉

均しコンクリート					
橋台躯体工 コンクリート	25mm	12cm	55%以下	24N/mm ²	高炉
場所打杭工 場所打杭(1)(2)	25mm	18cm	55%以下	30N/mm ²	高炉
コンクリート舗装工 コンクリート舗装	25mm	8cm	60%以下	18N/mm ²	高炉
階段工 コンクリート	25mm	8cm	60%以下	18N/mm ²	高炉

ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

2. コンクリートの耐久性向上の対策は「コンクリートの耐久性向上」仕様書(土木編)(平成 14 年 8 月一部改正)により行うものとする。

第102条 配合

水セメント比については、示方配合表により監督職員の確認を得なければならない。

なお、水セメント比を減じることにより施工性が著しく低下する場合は、必要に応じて、高性能減水剤の使用等を検討しなければならない。また、下記構造物については適用除外とする。

- ・仮設構造物(建設後数年の内に撤去するもの。)
- ・最大高さ 1m 未満の擁壁・水路・側溝及び街渠等の構造物。
- ・管(函)渠等(φ600 未満、600mm×600mm 未満)の構造物。
- ・道路照明、標識、防護柵等の構造物。
- ・耐久性を期待しない構造物。
- ・河川における護岸構造物(特殊堤及び船着場等は除く。)

第103条 テストハンマーによる強度推定調査

強度確認調査の対象工事については、高さが 5m 以上の鉄筋コンクリート擁壁、内空断面積が 25m² 以上の鉄筋コンクリートカルバート類、橋梁上・下部工、トンネル及び高さが 3m 以上の堰・水門・樋門とする。

但し、いずれの工種についても、プレキャスト製品及びプレストレストコンクリートは測定の対象としない。

1. 調査頻度は、鉄筋コンクリート擁壁及びカルバート類については目地間、トンネルについては 1 打設部分、その他の構造物については強度が同じブロックを 1 構造物の単位として、各単位につき 3ヶ所の調査を実施しなければならない。
2. 調査結果、所定の強度が得られない場合については、その箇所の周辺において再調査を 5ヶ所実施しなければならない
3. 測定方法は、「硬化コンクリートのテストハンマー強度の試験方法(JSCE-G504)」により実施しなければならない。

4. 測定は、足場が存置されている間に実施しなければならない。これにより難しい場合は、監督職員の承諾を得るものとする。
5. 監督職員等及び受注者が立ち会いのうえテストハンマー強度推定調査を実施しなければならない。
6. 構造物毎に別紙様式－9により調査票を作成し、完成検査時に提出しなければならない。

第104条 ひび割れ発生状況の調査

ひび割れ発生状況の調査の対象工種については、高さが5m以上の鉄筋コンクリート擁壁、内空断面積が25m²以上の鉄筋コンクリートカルバート類、橋梁上・下部工、及び高さが3m以上の堰・水門・樋門とする。

但し、いずれの工種についても、プレキャスト製品及びプレストレストコンクリートは測定の対象としない。

1. 0.2mm以上のひび割れ幅について、展開図を作成するものとし、展開図に対応する写真についても提出しなければならない。
2. ひび割れ等変状の認められた部分のマーキングを実施しなければならない
3. 調査は、足場が存置されている間に実施しなければならない。これにより難しい場合は、監督職員の承諾を得るものとする。
4. 構造物毎に別紙様式－11により調査票を作成し提出しなければならない。
5. 調査結果の評価に当たっては、「ひび割れ調査結果の評価に関する留意事項」を参考にした評価を行ない評価書(様式自由)を提出しなければならない。

第105条 銘板の設置

1. 本工事は、銘板を設置するものとする。
2. 材質・規格、記載事項については以下を標準とし、詳細について受注者は監督職員と協議し指示を受けるものとする。

1) 材質・規格

- ①材質：JIS H 2202（鋳物用銅合金地金）
- ②寸法：600mm×400mm
- ③文字サイズ：15mm程度

なお、銘板の寸法について変更となる場合は、設計変更の対象とする。

2) 記載事項

- ①構造物名称
- ②工事名称
- ③工期又は完成年月
- ④発注機関名
- ⑤諸元
- ⑥適用基準
- ⑦設計基準強度

- ⑧水セメント比
- ⑨コンクリート工場名
- ⑩設計会社名、設計責任者名
- ⑪施工会社名、監理技術者名
- ⑫施工会社名、現場代理人名
- ⑬⑭当該工事に携わった技術者名及び所属する会社名
- ⑭監督職員名、検査職員名

なお、⑬について、元請け会社の担当技術者及び下請施工会社の専任の主任技術者とし、本人の了解を得た上で記載することができる。⑭について監督職員、検査職員を記載することができるものとする。

3. 取付位置については、通常の点検で目視できる位置とし、監督職員の承諾を得るものとする。

【銘板作成例】

600mm		
構造物名称	〇〇高架橋	400mm
工事名称	〇〇高架橋下部工事	
工期 (又は完成年月)	自)平成〇年〇月〇日 至)令和〇年〇月〇日 (又は令和〇年〇月)	
発注	国土交通省 関東地方整備局 〇〇事務所	
緒元	高さ〇m、幅 〇m	
適用基準	道示(HO年) 杭木基礎設計便覧(HO年) コンクリート標準示方書(HO年)	
設計基準強度	〇〇N/mm ²	
水セメント比	〇〇%	
コンクリート工場名	〇〇コンクリート(株)	
設計会社名、設計責任者名	〇〇コンサルタント(株) 〇〇 〇〇	
施工会社名、監理(主任)技術者氏名	〇〇建設(株) 〇〇 〇〇	
現場代理人氏名	〇〇 〇〇	
技術者氏名(施工会社名)	〇〇 〇〇(〇〇土木(株)) 〇〇 〇〇((株)〇〇組)	
監督職員氏名	〇〇 〇〇 〇〇 〇〇	
検査職員氏名	〇〇 〇〇	

※上記作成例の諸元及び適用基準、設計基準強度、水セメント比、コンクリート工場名については、対象構造物により必要な項目を適宜記載するものとする。

第106条 組立て

配筋・組立において、鉄筋組立固定架台、鉄筋固定金具を使用する場合は監督職員と協議しなければならない。

第107条 機械式鉄筋継手

機械式鉄筋定着工法を採用する場合は、「機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン(平成28年7月)」に基づき実施するものとする。

なお、上記については、設計変更の対象とし別途監督職員と協議するものとする。

受注者は、施工する工法について、求める性能に関する公的認証機関による建設技術審査証明の写しを監督職員へ提出し、承諾を得なければならない。

また、現場施工における取付箇所の品質確認方法について、監督職員と協議するものとする。

第5章 材料

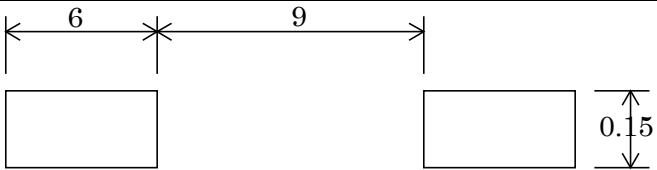
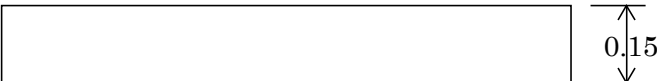
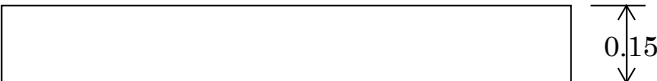
第108条 区画線

塗装厚は、下表のとおりとする。

1. 溶融式

幅 (cm)	厚 (mm)	摘 要
15	1.5	実線
		破線

2. 設置様式は、下記のとおりとする。区画線設置様式(単位：m)

区分		幅・長さ・間隔	
車道境界線（１０２）	破線		
			
車道外側線（１０３）			

第6章 一般施工

第109条 既製杭工

杭の継手は、半自動溶接機によるものとする。

第110条 既製杭工・場所打杭工

基礎杭の施工によって生ずる杭施工基面までの空洞(穴)は、施工機械、作業員などの安全対策上埋戻しを施し、安全管理に努めなければならない。

第111条 場所打杭工

- 場所打ち杭の施工は、全回転式オールケーシング工法を見込んでいる。なお、施工にあたっては現地状況を十分把握し、安全性、細部構造等については受注者において十分検討を行い、受注者の責任において決定し、施工するものとする。
- なお、現地状況、施工条件等に変更が生じた場合は、監督職員と協議しなければならない。

らない。

2. 受注者は、全ての杭について、床堀完了後（杭頭余盛部の撤去前）に杭頭部の杭径を確認するとともに、その状況について写真撮影を行い監督職員に提出するものとする。

その際、杭場が出来形管理基準を満たさない状況が発生した場合は、補修方法等について監督職員と協議を行うものとする。

なお、上記の検討及び補修に要する費用については、受注者が負担するものとする。

3. 場所打ち杭における鉄筋かごの形状保持について

鉄筋かごの組立にあたって、形状保持のために「特殊金物等による無溶接工法」を採用する場合は、現地条件等に基づき比較検討を行い監督職員と協議するものとする。

第112条 工事用道路工

1. 運搬路に使用した既設道路の舗装等に破損が生じた場合は、速やかに監督職員と協議し、補修しなければならない。

なお、補修は設計変更の対象とする。

2. 工事用道路は、工事終了後も引き続き他の工事で使用するので存置するものとする。

第113条 仮設工

1. 本工事の歩道橋本体工及び橋台工に関する仮設にあたっては、現地の状況を十分把握し、安全性、細部構造等については受注者において十分検討を行い、受注者の責任において決定し、施工するものとする。

2. 上記の決定にあたっては、下記条件等を遵守するものとする。

なお、下記条件等に変更が生じた場合には、監督職員と協議のうえ変更するものとする。

・設計条件

土質定数は次表のとおりとするが、貸与する報告書にて照査を行うこととする。

また、疑義が生じた場合は、監督職員と協議することとする。

ボーリング	層	層厚 (mm)	γ (kN/m ³)	ϕ (°)	C (kN/m ²)
国道1号歩道橋					
P1 粘性土	B	1614	16	0	44
粘性土	Kb	0	16	0	0
粘性土	Lm	5791	14	0	55
粘性土	Dc	5972	16	0	59
砂質土	Bs1	11031	17	33	0
粘性土	Bc1	4063	18	0	66
砂質土	Bs2	3000	19	36	0

P2	粘性土	B	1187	16	0	44
	粘性土	Kb	0	16	0	0
	粘性土	Lm	7259	14	0	55
	粘性土	Dc	4735	16	0	59
	砂質土	Bs1	10037	17	33	0
	粘性土	Bc1	5267	18	0	66
	砂質土	Bs2	3000	19	36	0
P3	粘性土	B	4085	16	0	44
	粘性土	Kb	0	16	0	0
	粘性土	Lm	5563	14	0	55
	粘性土	Dc	7161	16	0	59
	砂質土	Bs1	6977	17	33	0
	粘性土	Bc1	5322	18	0	66
	砂質土	Bs2	3000	19	36	0
P4	粘性土	B	2597	16	0	44
	粘性土	Kb	0	16	0	0
	粘性土	Lm	5791	14	0	55
	粘性土	Dc	5972	16	0	59
	砂質土	Bs1	11031	17	33	0
	粘性土	Bc1	4065	18	0	66
	砂質土	Bs2	3000	19	36	0
A3	粘性土	B	2597	16	0	44
	粘性土	Kb	0	16	0	0
	粘性土	Lm	5791	14	0	55
	粘性土	Dc	5972	16	0	59
	砂質土	Bs1	11031	17	33	0
	粘性土	Bc1	4065	18	0	66
	砂質土	Bs2	3000	19	36	0
Eランプ歩道橋						
A1	粘性土	B	—	18	0	30
	粘性土	Lm	4100	13	0	30
	粘性土	Dc	16300	13	0	60
	砂質土	Bs1	1950	19	37	0
	粘性土	Bc1	6500	18	0	72
	砂質土	Bs2	2000	19	38	0
	粘性土	Bc2	2850	18	0	60
	砂質土	Bs3	1450	19	38	0
	粘性土	Bc3	1750	18	0	240

砂質土	Bs4	2900	19	38	0
A2 粘性土	B	—	18	0	30
粘性土	Lm	—	13	0	30
粘性土	Dc	14593	13	0	60
砂質土	Bs1	1980	19	37	0
粘性土	Bc1	6470	18	0	72
砂質土	Bs2	2000	19	38	0
粘性土	Bc2	2850	18	0	60
砂質土	Bs3	1450	19	38	0
粘性土	Bc3	1750	18	0	240
砂質土	Bs4	2900	19	38	0

鋼矢板の打ち込みは油圧式圧入工法を見込んでいる。引き抜きは、油圧式引抜工法を見込んでいる。

鋼矢板の打ち込み工法や、引き抜き工法などは、現地状況を十分把握し、安全性等については受注者において十分検討を行い、受注者の責任において決定し施工するものとする。

なお、現地状況、施工条件等に変更が生じたことに伴い、上記の施工方法が変更となる場合は監督職員と協議しなければならない。

第7章 橋梁下部

第114条 橋脚フーチング工

支承部箱抜き施工については、共通仕様書10-3-8-9『6. フーチングの箱抜き施工』により行うこととされているが、下記のとおり段階的な確認も踏まえて、出来形確認の徹底を行うものとする。

- ①コンクリートの打込み及び締固めなどの影響で型枠などの浮き上がりや、ずれが生じる事があるため、箱抜き用型枠材料を下部構造の鉄筋に固定する等の対策をしているか確認を行うこと。
- ②支承部アンカーボルトの箱抜き規格値の確認については、施工計画書、作業手順書などで、計測方法・位置等について、事前に確認を行うこと。
特に鉛直度の計測は、箱抜き孔の全長（箱抜き深さ）に対応した定規等を用いて、全長（深さ）に対する鉛直度の測定を行うこと。
- ③施工完了後、箱抜きの形状（位置及び深さ）、補強鉄筋配置などの測量結果を検査記録に必ず記載すること。

(単位 : mm)

支 承 部 ア ン カ ー ボ ルト の 箱 抜 き 規 格 値	計画高さ	+ 1 0 ～ - 2 0
	平面位置	± 2 0
	アンカーボルト孔の 鉛直度	1 / 5 0 以下

「土木工事施工管理基準及び規格値」橋台工、RC橋脚工 抜粋

第115条 橋梁下部工

1. 受注者は、橋梁下部工（直接基礎）の施工に先立ち平板載荷試験（地盤工学会基準 JIS1521）を実施するものとし、地盤反力（支持力）を測定の上、監督職員に報告すること。なお、地盤反力（支持力）が設計時の値を満足しない場合は監督職員と協議するものとし、構造等に変更が生じた場合は設計変更の対象とする。
また、測定箇所及び測定回数等についても監督職員と協議するものとする。
2. 当初契約時において、橋梁下部工（直接基礎・杭基礎）に係わるジャストボーリングがない場合は、受注者の責においてジャストボーリングの必要性を検討し、監督職員と協議するものとする。
なお、ボーリング位置、深さ等についても監督職員と協議するものとし、費用については設計変更の対象とする。

第8章 その他

第116条 台帳等の資料

1. 台帳等の資料作成及び部数については、監督職員の指示により作成し、工事完成時に下記の資料を提出するものとする。
 - (1) 本工事に係わる各種台帳
 - (2) 工事完成図

第117条 震災対策

1. 地震発生等の天災に備えて、あらかじめその対応策を定めておくものとする。
2. 地震注意情報等が発令された場合は、直ちに工事を中断し、その情報に応じた適切な保全措置等を講ずるものとする。

第118条 地震発生後の建設工事現場の点検について

地震発生後の建設工事現場の点検実施及び報告時期については、以下によることとす

る。

① 気象庁地震計で震度4の地震が発生した場合。

イ) 現場稼働日(開庁日)の夜間に発生した場合には、翌現場稼働日(開庁日)の始業時に点検。異常があった場合は直ちに監督職員に報告。異常が無い場合は、開庁日に速やかに監督職員へ報告。

ロ) 現場休工日(閉庁日)に発生した場合には、翌現場稼働日(開庁日)の始業時に点検。異常があった場合は直ちに監督職員に報告。異常が無い場合は、開庁日に速やかに監督職員へ報告。

※開庁日に現場が休工であった場合は開庁日を優先して判断し建設工事現場の点検を行うこと。

② 気象庁地震計で震度5弱以上の地震が発生した場合。

夜間・現場休工日(休祭日)に関わらず直ちに点検。点検結果については、速やかに監督職員へ報告。

第119条 工事現場における説明性の向上

受注者は、事業名、事業の目的・内容・効果、工事名、工事内容、連絡先を記した工事説明書を作成し、近隣住民等から事業内容等の説明を求められた場合は、工事の安全確保に支障のない範囲において、当該工事説明書を配布する等、工事現場の説明性の向上を図るものとする。

また、受注者は、工事現場作業員に対し、工事内容及び事業目的・効果を周知するものとする。

第120条 苦情等の処理

工事中沿道住民による苦情又は、意見等があった場合は丁寧に対応し、直ちに監督職員に報告するとともに、適切な措置をとらなければならない。

第121条 環境影響対策

本工事区間において、環境影響を低減するための環境保全措置が必要と判断された場合は、別途監督職員より指示するものとする。

第122条 南海トラフ地震臨時情報【巨大地震警戒、巨大地震注意】発表時の対応

(1) 本工事の施工場所は、南海トラフ地震防災対策推進地域が含まれる工事である。

(2) 受注者は、本工事の施工条件、施工内容を踏まえ、南海トラフ地震臨時情報【巨大地震警戒、巨大地震注意】の発表時における、後発地震による揺れの影響が大きい作業又は津波による影響を受ける作業に対する措置の内容及び津波避難を含む作業員等の安全確保の方法について施工計画書に記載するものとする。なお、南海トラフ地震津波避難対策特別強化地域における工事にあつては、津波避難に関して施工計画書に記載するものとする。

(3) 受注者は、南海トラフ地震臨時情報【巨大地震警戒】が気象庁から発表された

場合には、本工事の施工条件、施工内容を踏まえ、あらかじめ定めた施工計画書の措置内容に基づき、後発地震による揺れの影響が大きい作業又は津波による影響を受ける作業について、工事請負契約書第 20 条等の規定に基づく発注者からの一時中止の通知があったものとして、警戒する措置が解除されるまでの間（1 週間）は一時中止するものとする。その他の作業について、受注者は、改めて後発地震又は津波に備え作業の一時中止か継続を判断するものとし、その結果を、監督職員に連絡し、その後の対応について監督職員の指示を受けるものとする。工事等を継続する場合に受注者は、本工事等に必要な安全対策の措置を速やかに講じ、土木工事安全施工技術指針に基づき適切に作業員等の安全確保に努めなければならない。

- (4) 受注者は、南海トラフ地震臨時情報【巨大地震注意】が気象庁から発表された場合には、本工事の施工条件、施工内容を踏まえ、改めて後発地震による揺れの影響が大きい作業又は津波による影響を受ける作業の一時中止か継続を判断するものとし、その結果を、監督職員に連絡し、その後の対応について監督職員の指示を受けるものとする。工事等を継続する場合に受注者は、本工事等に必要な安全対策の措置を速やかに講じ、土木工事安全施工技術指針に基づき適切に作業員等の安全確保に努めなければならない。
- (5) 受注者は、南海トラフ地震臨時情報を受けて措置を行った場合においては、実施した内容について監督職員に報告するものとする。
- (6) なお、南海トラフ地震臨時情報の発表があった場合は、後発地震及び津波の発生に備えるため必要に応じて、受注者は施工計画書の記載にかかわらず、工事の一時中止について監督職員と協議できるものとする。

明示項目及び明示事項

明示項目	明示事項	記載条項
工程関係	■ 施工時期、施工時間及び施工方法が制限される場合は、制限される施工内容、施工時期、施工時間及び施工方法。 ■ 余裕工期を設定して発注する工事については、工事の着手時期。 ■ 設計工程上見込んでいる休日日数等作業不能日数。	第 62 条 第 57 条 第 57 条
公害関係	■ 工事に伴う公害防止（騒音、振動、粉塵、排出ガス等）のため、施工方法、建設機械・設備、作業時間等を指定する必要がある場合は、その内容。	第 49 条
工事用道路関係	■ 搬入路の使用後及び使用後の処置が必要である場合は、その処置内容。	第 112 条
仮設備関係	■ 仮土留、仮橋、足場等の仮設物を他の工事に引き渡す場合及び引き継いで使用する場合は、その内容、期間、条件等。 ■ 仮設備の設計条件を指定する場合は、その内容。	第 100 条 第 113 条
明示項目	明示事項	記載条項
建設副産物関係	■ 建設発生土が発生する場合は、残土の受入場所及び仮置き場所までの距離、時間等の処分及び保管条件。 ■ 建設副産物及び建設廃棄物が発生する場合は、その処理方法、処理場等の処理条件。 なお、再資源化処理施設又は最終処分場を指定する場合は、その受入場所、距離、時間等の処分条件。	第 97 条 第 26 条

証明書

工事（業務）名：_____

受注業者：_____

証 明 者：_____

個人情報記録された資料等について、廃棄又は消去したことを証明します。

※以下は、紙により提出する場合において、押印を省略する場合のみ記載すること。
連絡先は2以上記載すること。

本件責任者（会社名・部署名・氏名）：_____

担当者（会社名・部署名・氏名）：_____

連絡先1：_____

連絡先2：_____

（※証明者について

工事については、「現場代理人」又は「主任（監理）技術者」が行うものとする。

業務については、「管理技術者」が行うものとする。）

概略工事工程表

工事名：R7横環南国道1号外歩道橋下部工事

別紙－ 5

工 種		単位	数 量	令和7年度				令和8年度								備考
				2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
準備工		式	1													・40日間
工場製作工		式	1													1pt
区画線工		m	340													区画線設置(1pt) 区画線消去(1pt)
作業ヤード整備工		m3	2,900 6,000													作業ヤード整備工(1pt)
歩道橋本体工(国道1号) 作業土工		式	1													床堀り・埋戻し(1pt)
歩道橋本体工(国道1号) 既製杭工(P1)		本	4													既製コンクリート杭4本(1pt)
歩道橋本体工(国道1号) 既製杭工(P2)		本	4													鋼管杭4本(1pt)
歩道橋本体工(国道1号) 既製杭工(P3)		本	4													鋼管杭4本(1pt)
歩道橋本体工(国道1号) 既製杭工(P4)		本	4													既製コンクリート杭4本(1pt)
歩道橋本体工(国道1号) 既製杭工(A3)		本	6													既製コンクリート杭6本(1pt)
歩道橋本体工(国道1号) 橋脚・フーチング工・橋台躯体工		基	7													橋脚・フーチング4基(1pt) 橋台躯体工3基(1pt)
橋台工(Eランプ) 場所打杭工(A1)		本	2													1pt
橋台工(Eランプ) 場所打杭工(A2)		本	4													1pt
橋台工(Eランプ) 作業土工		式	1													床堀り(1pt)
橋台工(Eランプ) 橋台躯体工		基	2													1pt
仮設工		式	1													土留・仮締切工(1pt)
後片付け		式	1													・20日間
制 約 条 件	関連工事(前工事)	R7横環南戸塚IC 改良その2工事														
	警察協議	—														
	年末年始、お盆	—														・8月中旬
雨休率の適用				準備・後片付けを除く、雨休率(猛暑日補正有り※)を適用												

別紙様式－０－１

【低価格理由とその詳細】

番号	低価格理由	低 価 格 理 由 の 詳 細 内 容
①	資材費の低減	生石灰、セメント系固化材を材料納入品協力会社から7%引きで購入。コンクリート2次製品は19%引きで購入。生コンクリートはグループ会社から20%引きで購入
②		
③	機械経費の低減	自社保有の建設機械車両(全100台)を使用。ダンプトラック運搬はグループ会社を中心に使用し運賃を削減。
④		
⑤	作業効率の向上	現場経験豊富な熟練したオペレータによるロスのない重機作業。仕上がり精度の高い法面整形。補助労務を必要としない程丁寧な仕上りの床堀作業。
⑥	下請業者の協力	施工協力会社に植生基材吹付工を外注し、設計想定より10%引きとする。
⑦	経費の低減	冬期間においても会社から現場まで45分程度で到着する。
⑧	現場管理費の低減	パソコン、デジカメ、プリンタ、仮設資材等を所有している。
⑨	安全資機材の低減	安全標識類を所有している。
⑩	本支店経費の低減	役員報酬、事務員給料を未計上。
⑪		
⑫	受注実績の取得	国交省発注工事の受注実績の取得
⑬		
⑭	その他	作業員の雇用確保、重機械の稼働率向上

別紙様式－０－２

【比較表－１】

積算内訳書の比較表

記 入 要 領	1) 見積り等積算根拠を示すものがあれば添付する。 2) 数量総括表に対応する内訳書にして下さい。 3) 入札時の元請(当初予定)欄は、入札時に事情聴取した結果と照合確認して下さい。 4) 工事完成時の元請(完成時実績)、官積算(最終)欄は、それぞれ調査票の直接工事費、共通仮設費、現場管理費、一般管理費等および工事価格と合致するか確認して下さい。 5) ※印の官積算欄(予定価格および最終共)は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。											
工 事 名	〇〇道路改良工事											
工事区分・工種・ 種別	単位	入 札 時					工 事 完 成 時					備 考
		官積算(予定価格)※		元請(当初予定)		元請/ 官積 (%)	元請(完成時実績)		官積算(最終)※		元請/ 官積 (%)	
		数量	金額	数量	金額		数量	金額	数量	金額		
道路土工	式	1		1			1		1			
地盤改良工	式	1		1			1		1			
法面工	式	1		1			1		1			
カルバート工	式	1		1			1		1			
排水構造物工	式	1		1			1		1			
構造物撤去工	式	1		1			1		1			
仮設工	式	1		1			1		1			
直接工事費	式	1		1			1		1			
共通仮設費	式	1		1			1		1			
共通仮設費	式	1		1			1		1			
純工事費	式	1		1			1		1			
現場管理費	式	1		1			1		1			
工事原価	式	1		1			1		1			
一般管理費	式	1		1			1		1			
基礎工	式	1		1			1		1			
工事価格	式	1		1			1		1			

別紙様式－０－３

【比較表－２】

内 訳 書 対 する 明 細 書 の 比 較 表

記 入 要 領	1) 本様式は、比較表-1に対する明細を記入することとする。さらにその明細が必要な場合は、本様式を使用しその詳細が明確になるようにする。 2) ※印の官積算欄(予定価格および最終共)は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。													
工 事 名	〇〇道路改良工事													
工事区分・工種・ 種別・細別	単 位	入 札 時						工 事 完 成 時						備 考
		官積算(予定価格)※			元請(当初予定)			元請(完成時実績)			官積算(最終)※			
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	
道路土工	式	1			1			1			1			
掘削工	〃	1			1			1			1			
掘削(土砂)	m3	39,300			39,300			35,800			1			
掘削(軟岩)	〃	2,250			2,250			0			1			
路体盛土工	式	1			1			1			36			
路体(流用土)	m3	4,100			4,100			10,600			14			
法面整形工	式	1			1			1			30			
法面整形(切土部)	m2	5,920			5,920			5,010			9			
法面整形(切土部)	〃	250			250			0			1			
法面整形(盛土)	〃	330			330			160			11			
地盤改良工	式	1			1			1			1			
安定処理工	〃	1			1			1			1			
基礎安定処理 45kg/m3	m2	1,000			1,000			0			1			
〃 53. 6kg/m3 t=0.5m	〃	0			0			115			1			
〃 53. 6kg/m3 t=0.8m	〃	0			0			785			2			
路体安定処理 30kg/m3	m3	4,100			4,100			0			2			
路体安定処理 33kg/m3	m3	0			0			13,100			200			

[illegible]

【比較表－4】

[illegible]

【比較表－5】

手持ち機械の比較表(主要機械)

[illegible]

労務者の確保計画の比較表

[illegible]

【比較表－7】

工種別労務者配置計画の比較表

[illegible]

【比較表－8】

- 1) 当該工事で発生する、すべての建設副産物について記入してください。
- 2) 記入してある名称以外の建設副産物がある場合は、名称を追加して記入して下さい。
- 3) 受け入れ価格は、建設副産物の処分のみ要した価格を記入してください(収集、運搬等に要した費用を除く)。
- 4) ※印の官積算価格欄は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。

[illegible]

【諸経費動向調査（工事費）】

[illegible]

様式－ 6 (1)

年月日：

V E 提 案 書

(発注者) 殿

(受注者)

工事請負契約書第 1 9 条の 2 に基づき V E 提案書を提出いたします。

工事件名：		連絡者
契約締結日：		氏 名
		T E L
		F A X
V E 提案の概要		
注) 記入欄が不足する場合には、様式－ 6 (1) の 2 として追記して下さい。なお、概算低減額は、提案を審査する上で参考とするものです。		
番 号	項 目 内 容	概算低減額：千円
概 算 低 減 額 合 計		

様式－6 (2)

番 号	項 目 内 容								
(1) 設計図書の特記事項と、V E 提案の内容の対比 <table border="1"><thead><tr><th>【現状】</th><th>略図等</th><th>【改善案】</th><th>略図等</th></tr></thead><tbody><tr><td colspan="4"></td></tr></tbody></table>		【現状】	略図等	【改善案】	略図等				
【現状】	略図等	【改善案】	略図等						
(2) 提案理由									
(3) V E 提案の実施方法（材料仕様、施工要領等を記入）									
(4) 品質保証の証明（品質保証書の添付等）									
(5) その他									

VE提案による概算低減額及び算出根拠[illegible]

様式－６（４）

番 号		項目内容	

(１) 工業所有権等の排他的権利を含むV E 提案である場合、その取扱いに関する事項

(２) V E 提案が採用された場合に留意すべき事項（提案内容の公表に係る所見等）

令和 年 月 日 号

V E 提 案 採 否 通 知 書

〇 〇 〇 〇 殿

契約行為担当官
関東地方整備局長 印

特記仕様書「〇 V E 提案について」に基づき、令和 年 月 日付けで提出され
ま した V E 提案に対する審査結果を下記のとおり通知します。

工 事 件 名 : 契約締結日 :		V E 提案項目数 : 採用項目数 : 不採用項目数 :
V E 提案に対する「採否」及びその理由		
番 号	項 目 内 容	概算低減額 : 千円

(注) 採否に関する問い合わせ先

建設発生土搬出のお知らせ

令和 年 月 日

殿

会 社 名：

現場代理人名：

下記のとおり、貴区市町村内への受入れ先に建設発生土を搬出いたしますので、お知らせいたします。

工 事 件 名	
工 事 場 所	
工 事 概 要	
工 事 発 注 機 関 名	
工事監督職員又は担当者名	
連絡先機関・電話番号	
	TEL：

工 事 受 注 業 者 名	
担 当 者 名 ・ 電 話 番 号	氏 名 : TEL :
建 設 発 生 土 の 運 搬 業 者	
建 設 発 生 土 の 受 入 先 名 等	
住 所	
建 設 発 生 土 の 運 搬 経 路	(別添図面の通り)
建 設 発 生 土 の 搬 出 時 期	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日
建 設 発 生 土 の 土 質 、 土 量	土 質 : 搬 出 量 : m3

＜記入例＞

(別紙)

建設発生土搬出のお知らせ

平成 〇〇 年 〇〇 月 〇〇

日

〇〇〇〇部 〇〇〇〇課 殿

会 社 名：〇〇〇〇建設(株)

現場代理人名：〇〇 〇〇〇

下記のとおり、貴区市町村内への受入れ先に建設発生土を搬出いたしますので、お知らせいたします。

工 事 件 名	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇工事
工 事 場 所	〇〇県〇〇市〇〇地先
工 事 概 要	土工〇〇〇m ³ 、舗装工〇〇〇m ² 、法面工〇〇〇m ² 、仮設工 1 式 搬出：発生土〇〇〇m ³ 、 搬入：A S 合材〇〇〇ト、碎石〇〇〇m ³ 、
工 事 発 注 機 関 名	国土交通省 関東地方整備局 〇〇事務所
工事監督職員又は担当者名	主任監督員〇〇〇〇〇、監督員〇〇〇〇〇、
連絡先機関・電話番号	〇〇事務所〇〇出張所 TEL：〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇
工 事 受 注 業 者 名	〇〇〇〇建設(株)
担当者名・電話番号	氏名：〇〇〇〇〇 TEL：〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇 〇
建設発生土の運搬業者	〇〇〇〇興業(株)
建設発生土の受入先名等	〇〇〇〇土地改良事業

住 所	〇〇県〇〇市〇〇番地
建設発生土の運搬経路	(別添図面の通り)
建設発生土の搬出時期	平成 〇 年 〇〇月 〇〇日 ~ 平成 〇 年 〇〇月 〇〇 日
建設発生土の土質、土量	土質：砂質土 3 搬出量： 〇〇〇 m

工事関係電子書類一覧表(作成書類の役割分担・位置付け)

※必要に応じ、項目を追加し、作成書類の役割分担を明確化すること

※本様式もASP(情報共有システム)で電子で管理すること

▼不要

工 事 関 係 書 類					工事関係書類の 標準様式(案) (様式No)	作成書類 役割分担		発注者作成 書類の位置づ け		受注者作成書類の位置付け						工事書類作成 媒体の 事前協議		備 考		
作成 時期	種 別	No.	書 類 名 称	書類作成の根拠		発注者	受注者	指示	通知	提出		提示	監督職員 へ連絡	監督職員 へ納品	電子 ☆		紙 ◎			
										監督職員	契約担当課				発注担当課	受注者保管			電子	紙
工事着手前	作成書類の役割分担	設計審査会で確認	【事例】 工事のお知らせ(自治会、住民等への周知)	共通仕様書1-1-1-36-7	—		○							○				令和○年○月○日設計審査会で確認		
			【事例】 関係機関(〇〇〇)協議結果に基づく届出	共通仕様書1-1-1-36-2	—		○								○				令和○年○月○日設計審査会で確認	
			【事例】 土壌汚染対策法第4条1項に基づく届出	土壌汚染対策法第4条1項	—		○		○										土地の形質の変更に着手する日の30日前までに届け出	
			【事例】概算概略発注等のため関係機関協議が実施中、未了の場合】 関係機関(〇〇〇)との設計・施工協議	河川法、道路法、道路交通法等の個別法	—		○		○										令和○年○月○日設計審査会で確認	
			【事例】概算概略発注のため関係機関協議が実施中、未了の場合】 占用物件(〇〇〇)の移設の調整、監督処分	河川法、道路法	—		○		○										令和○年○月○日設計審査会で確認	
			【事例】 設計図書、条件明示と現地の不整合による協議資料	共通仕様書1-1-1-3-2	—		○		○											令和○年○月○日設計審査会で確認
			【事例】 設計図書、条件明示と現地の不整合による設計図修正(構造計算の件うものや大幅な修正)	共通仕様書1-1-1-15	—		○		○											令和○年○月○日設計審査会で確認 個別の図面修正等について受発注者間で協議し役割分担を決定。 (受注者が実施する場合は、設計費用を発注者が負担する)
	契約図書	設計図書	8 工事請負契約書	—	—	○														
			9 共通仕様書	—	—	○														
			10 特記仕様書	—	—	○														
			11 発注図面	—	—	○														
			12 現場説明書	—	—	○														
			13 質問回答書	—	—	○														
			14 工事数量総括表	—	—	○														
	契約関係書類		15 現場代理人等通知書	工事請負契約書第10条1項	様式－1		○				○									
			16 請負代金内訳書	工事請負契約書第3条1項 共通仕様書3-1-1-1	様式－2		○				○								契約書を作成する全ての工事	
			17 工事工程表	工事請負契約書第3条1項	様式－3		○				○									
			18 掛金収納書(電子申請方式)	現説時指導事項(R3.3.31付 国会公契第71号) 共通仕様書1-1-1-41-6	様式－4		○				○								電子申請を使用しない場合は、「掛金収納書提出用台紙」に掛金収納書を張り付けたうえ、提出する。なお、スキャン、撮影によるデータ化も可とする。	
			19 建退共証紙受払簿	現説時指導事項(R3.3.31付 国会公契第71号)	—		○					○								
			20 工事別共済証紙受払簿	現説時指導事項(R3.3.31付 国会公契第71号)	—		○					○								
			21 掛金充当実績総括表	現説時指導事項(R3.3.31付 国会公契第71号)	—		○					○								
			22 被共済者就労状況報告書	現説時指導事項(R3.3.31付 国会公契第71号)	—		○					○								
			23 掛金充当書	現説時指導事項(R3.3.31付 国会公契第71号)	—		○					○								
			24 請求書(前払金)	工事請負契約書第34条1項	様式－5		○				○									
			25 VE提案書(契約後VE時)	特記仕様書	様式－6		○					○							契約締結後にVE提案を行う場合に提出する。	
	その他		26 品質証明員通知書	共通仕様書3-1-1-6-5	様式－7		○			○									契約図書で規定された場合に提出する。	
			27 再生資源利用計画書 －建設資材搬入工事用－	共通仕様書1-1-1-19-4	—		○				○								該当する建設資材を搬入する予定がある場合、建設副産物情報交換システムにより作成し、施工計画書へ含めて提出する。	
			28 再生資源利用促進計画書 －建設副産物搬出工事用－	共通仕様書1-1-1-19-5	—		○				○								該当する建設副産物を搬出する予定がある場合、建設副産物情報交換システムにより作成し、施工計画書へ含めて提出する。	
			29 建設発生土搬出調書	特記仕様書	—		○				○									
			30 建設発生土搬出のお知らせ	特記仕様書	—		○				○									
工事書類	1 施工計画	① 施工計画	31 施工計画書	共通仕様書1-1-1-4-1	—		○			○								工事着手前又は施工方法が確定した時期に監督職員に提出 重要な変更が生じた場合(工期や数量等の軽微な変更以外)には、その都度当該工事に着手する前に、変更施工計画書を監督職員に提出する。		
			32 ISO9001品質計画書	特記仕様書	—		○		○											
			33 設計図書の照査確認資料 (契約書18条に該当する事実があった場合)	共通仕様書1-1-1-3-2	—		○		○											
			34 工事測量成果表(仮BM及び多角点の設置)	共通仕様書1-1-1-38-1	—		○		○											
			35 工事測量結果(設計図書との照合) (設計図書と差異有り)	—	—		○		○									設計図書と差異があった場合にのみ監督職員に提出する。		
	2 施工体制	② 施工体制	36 施工体制台帳	共通仕様書1-1-1-10-1	—		○			○								・「[施工体制台帳に係る書類の提出について]」の一部改正について(令和3年3月5日付け国官技第319号、国官整第16号)に基づき作成する。 ・建設業及び一次下請人の登録業以外は不要		
			37 施工体系図	共通仕様書1-1-1-10-2	—		○			○										
			38 作業員名簿	共通仕様書1-1-1-10-1	—		○			○										
			39 工事打合せ簿(指示)	共通仕様書1-1-1-2-15	様式－9	○														
			40 工事打合せ簿(協議)	共通仕様書1-1-1-2-17	様式－9		○			○								協議の根拠となる一般的な諸基準類のコピーは添付不要。		
3 施工状況	③ 施工管理	41 工事打合せ簿(承諾)	共通仕様書1-1-1-2-16	様式－9		○			○											
		42 工事打合せ簿(提出)	共通仕様書1-1-1-2-18	様式－9		○			○											
		43 工事打合せ簿(報告)	共通仕様書1-1-1-2-20	様式－9		○			○											
		44 工事打合せ簿(通知)	共通仕様書1-1-1-2-21	様式－9		○			○											
		45 材料確認書	共通仕様書2-1-2-4	様式－10		○			○								設計図書に記載しているもの以外は材料確認書の提出は不要			
		46 材料納入伝票	共通仕様書2-1-2-1	—		○				○							設計図書で指定した材料や監督職員から請求があった場合は提出する。			

工事関係電子書類一覧表(作成書類の役割分担・位置付け)

※必要に応じ、項目を追加し、作成書類の役割分担を明確化すること

※本様式もASP(情報共有システム)で電子で管理すること

▼不要

工 事 関 係 書 類						工事関係書類 の 標準様式(案) (様式No)	作成書類 役割分担		発注者作成 書類の位置づ け		受注者作成書類の位置付け						工事書類作成 媒体の 事前協議		備 考
作成 時期	種 別		No.	書 類 名 称	書類作成の根拠		発注者	受注者	指示	通知	提出		提示	監督職 員 へ連絡	監督職 員 へ納品	電子 ☆	紙 ◎		
											受注者	受注者						監督職 員	
施 工 中	工事書類	3 施工状況	③ 施工管理	47	段階確認書	共通仕様書3-1-1-4-6	様式－11		○			○						・契約図書で規定された場合のみ対象 ・段階確認書に添付する資料は新たに作成する必要なし。 ・監督職員又は現場技術員が臨場した場合の状況写真等は不要。 ・監督職員又は現場技術員が臨場して段階確認した箇所は、出来形管理写真の撮影を省略できる。	
				48	確認・立会依頼書	共通仕様書3-1-1-4-1	様式－12		○		○						・確認・立会依頼書添付する資料を新たに作成する必要はない。 ・監督職員又は現場技術員が臨場した場合の状況写真等は不要。 ・監督職員又は現場技術員が臨場して段階確認した箇所は、出来形管理写真の撮影を省略できる。		
				49	休日・夜間作業届	共通仕様書1-1-1-37-2	－		○					○			ASP、電子メールなどにより連絡する。 ただし、現道上の工事については「提出」とする。		
			④ 安全管理	50	安全教育訓練実施資料	共通仕様書1-1-1-27-13	－		○				○				監督職員へ実施内容の提示のみで提出不要。		
				51	工事事故速報	共通仕様書1-1-1-30	様式－13		○		○			○			事故が発生した場合、直ちに連絡するとともに、事故の概要を書面により速やかに報告する。		
				52	工事事故報告書	共通仕様書1-1-1-30	－		○		○						事故報告書はSAS(建設工事事故データベースシステム)により作成して提出するほか、監督職員から請求があった資料を提出する。		
			⑤ 工程管理	53	工事履行報告書	工事請負契約書第11条 共通仕様書1-1-1-25	様式－14		○		○						工程の進捗状況を把握するため、実施工程表の提示を求めることがある。根拠資料の添付不要。		
			⑥ 品質管理	54	品質規格証明資料	共通仕様書2-1-2-1	－		○		○						指定材料のみ提出(設計図書で指定した材料を含む)。		
	契約関係書類	中間前払金	55	認定請求書	工事請負契約書第35条4項	様式－15		○			○								
			56	請求書(中間前払金)	工事請負契約書第35条3項	様式－5		○		○									
			57	指定部分完成通知書	工事請負契約書第39条1項	様式－16		○		○									
		完済部分検査	58	指定部分引渡書	工事請負契約書第39条1項	様式－17		○		○									
			59	請求書(指定部分完済払金)	工事請負契約書第39条1項	様式－5		○		○									
			60	出来高内訳書	工事請負契約書第38条2項 共通仕様書1-1-1-22-2	様式－18		○		○									
		既済部分検査	61	請負工事既済部分検査請求書	工事請負契約書第38条2項	様式－19		○			○								
			62	出来形報告書 (数量内訳書、出来形図)	共通仕様書3-1-1-7-2	－		○		○								中間技術検査時にも提出する。	
			62	出来高内訳書	工事請負契約書第38条2項 共通仕様書1-1-1-22-2	様式－18		○		○									
		63	請求書(部分払金)	工事請負契約書第38条5項	様式－5		○			○									
		修補	64	修補完了届	工事請負契約書第32条1項 工事請負契約書第32条6項	様式－21		○			○								
			65	部分使用承諾書	工事請負契約書第34条1項	様式－22		○			○							部分使用がある場合に提出する。	
		工期延期	66	工期延期届	工事請負契約書第18条～22条	様式－23		○			○								工期延期が発生する場合に提出する。
			支給品 建設機械	67	支給品受領書	工事請負契約書第15条3項	様式－24		○		○								支給品を受領した場合に提出する。
	68	支給品精算書		共通仕様書1-1-1-17-3	様式－25		○		○								支給品がある場合に提出する。		
	69	建設機械使用実績報告書		共通仕様書1-1-1-17-5	様式－26		○		○								建設機械の貸与がある場合に提出する。		
	現場発生品	70	建設機械借用・返納書	工事請負契約書第15条3項	様式－27		○		○								建設機械の貸与がある場合に提出する。		
		71	現場発生品調書	共通仕様書1-1-1-18	様式－28		○		○								現場発生品がある場合に提出する。		
	その他	72	出来形報告書 (数量内訳書、出来形図)	共通仕様書3-1-1-7	－		○		○									既済部分検査等の際に提出する。	
		73	産業廃棄物管理表(マニフェスト)	共通仕様書1-1-1-19-2	－		○					○						・産業廃棄物がある場合に監督職員へ提示すればよく、コピーの提出不要。	
		74	建設発生土搬出調書	特記仕様書	－		○					○							
		75	建設発生土搬出のお知らせ	特記仕様書	－		○					○							
		76	新技術活用関係資料	特記仕様書	－		○					○						新技術情報提供システム(NETIS)に登録されている技術を活用して工事施工する場合に提出する。	
工 事 完 成 時	契約関係書類	契約関係書類	契約関係書類	77	完成通知書	工事請負契約書第32条1項	様式－29		○		○								
				78	引渡書	工事請負契約書第32条4項	様式－30		○		○								
				79	請求書(完成代金)	工事請負契約書第33条1項	様式－5		○		○								
	工事書類	工事書類	工事書類	80	出来形管理図表	共通仕様書1-1-1-24-8	様式－31		○		○							・施工中は提示とし、工事完成時に提出とする。 ・出来形の測定位置が分かるように略図を記載する。 ・測定結果総括表、測定結果一覧表、出来形管理図(工程能力図)、度数表(ヒストグラム)については、出来形管理図表にて代用可能なため提出不要。	
				81	品質管理図表	共通仕様書1-1-1-24-8	様式－32		○		○								・施工中は提示とし、工事完成時に提出とする。 ・品質の測定位置が分かるように略図を記載する。 ・測定結果総括表、測定結果一覧表、品質管理図(工程能力図)、度数表(ヒストグラム)については、品質管理図表にて代用可能なため提出不要。
				82	品質証明書	特記仕様書	様式－33		○		○								・契約図書で規定された場合に提出する。 ・品質証明に関する添付書類は提出不要
				83	工事写真	共通仕様書1-1-1-24-8	－		○		○						☆		・工事写真の撮影にあたっては、写真管理基準(案)を適用する。 ・電子納品等運用ガイドライン(案)【土木工事編】に基づき提出する。 ・紙の工事写真帳の提出不要 ・不可視部分を含め、監督職員又は現場技術員が臨場して確認した箇所は、出来形管理写真等の撮影は省略 ・監督職員等が確認や立会っている状況写真等も不要。
				84	総合評価実施報告書	特記仕様書	－		○		○								総合評価落札方式を適用して契約した場合に提出する。
				85	創意工夫・社会性等に関する実施状況	特記仕様書 共通仕様書3-1-1-10	様式－34		○		○								自ら立案実施した創意工夫や地域社会への貢献として、特に評価できる項目を実施すれば提出できる。 1 工事につき最大10項目までの提出とする。
	工事完成図書	工事完成図書	工事完成図書	86	工事完成図	共通仕様書1-1-1-20 共通仕様書3-1-1-7	－		○		○				○	☆	・電子納品等運用ガイドライン(案)【土木工事編】に基づき、原則、電子成果品で納品する。		
				87	工事管理台帳	共通仕様書3-1-1-7	－		○		○					○	☆	・電子納品等運用ガイドライン(案)【土木工事編】に基づき、原則、電子成果品で納品する。	
その他	その他	その他	88	再生資源利用実施書 －建設資材搬入工事用－	共通仕様書1-1-1-19-6	－		○				○				該当する建設資材を搬入した場合、建設副産物情報交換システムにより作成して提出する。			
			89	再生資源利用促進実施書 －建設副産物搬出工事用－	共通仕様書1-1-1-19-6	－		○				○					該当する建設副産物を搬出した場合、建設副産物情報交換システムにより作成して提出する。		
工 成 事 後 完 了	その他	90	低入札価格調査 (間接工事費等諸経費動向調査票)	共通仕様書1-1-1-13-5-3	－		○	○			○						「低入札価格調査制度」の調査対象工事の場合に完 成日から30日以内に提出する。		

工 期 通 知 書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

(分任) 契約行為担当官
〇〇 〇〇 様

住所
商号又は名称
氏名 印

次のとおり工期を定めたので通知します。

工 事 名	〇〇〇〇工事
工 事 場 所	〇〇県〇〇市〇〇
契約予定年月日	令和 年 月 日
工 事 の 始 期	令和 年 月 日
工 期	工 事 の 始 期 か ら (〇〇〇日間) 令和 年 月 日 まで

※工事の締結までに提出すること。
※契約書には本通知書により通知した工期（工期の始期及び終期）を記載する。

【遠隔臨場に関する基礎調査様式】

●基本情報

工事名	
会社名	
担当者名	
連絡先	
アドレス	

●遠隔臨場を適用した項目

No.	適用種別 (選択)	工 種 (自由記述)	細 別 (自由記述)	確認時期 (自由記述)	確認項目 (自由記述)	適用理由 (自由記述)	その他意見 (自由記述)
記入例	段階確認	矢板工	鋼矢板	打込時	長さ	・ 検尺及び目視確認が可能だったため ・ 確認頻度が多くあり、現場作業の調整の効率化を図るために実施	

※行が不足する場合は、適宜行を追加願います。

●遠隔臨場を適用せず、従来の現場臨場とした項目

No.	適用種別 (選択)	工 種 (自由記述)	細 別 (自由記述)	確認時期 (自由記述)	確認項目 (自由記述)	適用理由 (自由記述)	その他意見 (自由記述)
記入例	段階確認	掘削工		土質の変化した時	土質、変化位置	・ 土(岩)質の確認は映像では困難のため	

※行が不足する場合は、適宜行を追加願います。

●遠隔臨場に使用した機器

No.	機器構成 (選択)	遠隔臨場システムの名称 (自由記述)	遠隔臨場システムのメーカー名 (自由記述)	監督職員ＰＣとのセキュリティ上の通信可否 (つながる or つながらない)
記入例	パッケージシステム	Generation-eye	(株) Atos	つながらない

※行が不足する場合は、適宜行を追加願います。

工 事 数 量 総 括 表

工 事 名 R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事

国土交通省 関東地方整備局
横浜国道事務所 工務課

工事数量総括表

工事名	R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
橋梁下部		式		1		
工場製作工		式		1		
アンカーフレーム製作工		式		1		
製作加工	SM400A、SM490YB	t		0.98		
アンカーボルト (1)	φ 65×1040	組		16		
アンカーボルト (2)	φ 60×790	組		32		
アンカーボルト (3)	φ 50×930	組		16		
間接労務費		式		1		
工場純工事費		式		1		
工場管理費		式		1		
(工場製作原価)		式		1		

工事数量総括表

工事名	R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
橋梁下部		式		1		
工場製品輸送工		式		1		
輸送工		式		1		
輸送	アンカーフレーム	t		2.6		
作業ヤード整備工		式		1		
作業ヤード整備工		式		1		
掘削	土砂 オープンカット 押土無 障害無 5,000 m3未満	m3		2,900		
積込(ルーズ)	土砂	m3		3,100		
土砂等運搬 (現場~UCR)	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3		2,900		
土砂等運搬 (ヤード~UCR)	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3		3,100		
残土等処分		m3		6,000		

工事数量総括表

工事名	R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
歩道橋本体工		式		1		
作業土工		式		1		
床掘り (1)	土砂	式		1		
床掘り (2)	土砂 小規模	式		1		
埋戻し (1)	土砂	式		1		
埋戻し (2)	土砂 小規模	式		1		
基面整正		式		1		
土砂等運搬 (1) (現場~UCR)	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	式		1		
土砂等運搬 (2) (現場~UCR)	土砂(岩塊・玉石混り土含む) 小規模	式		1		
残土等処分		式		1		
UCR基本料		式		1		

工事数量総括表

工事名	R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
既製杭工		式		1		
既製コンクリート杭 (1)	PHC杭 杭径 600mm 杭長 29m 杭の 打込長(掘削長) 30.3m	本		6		
既製コンクリート杭 (2)	PHC杭 杭径 600mm 杭長 27m 杭の 打込長(掘削長) 30m	本		4		
既製コンクリート杭 (3)	PHC杭 杭径 600mm 杭長 27m 杭の 打込長(掘削長) 30m	本		4		
鋼管杭 (1)	鋼管径(杭径) 500mm 鋼管長さ(杭 長) 26.5m	本		4		
鋼管杭 (2)	鋼管径(杭径) 500mm 鋼管長さ(杭 長) 28m	本		4		
積込(ルーズ) (1)	土砂	式		1		
積込(ルーズ) (2)	土砂 小規模	式		1		
土砂等運搬 (1) (現場~UCR)	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	式		1		
土砂等運搬 (2) (現場~UCR)	土砂(岩塊・玉石混り土含む) 小規模	式		1		
残土等処分		式		1		

工事数量総括表

工事名	R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
殻運搬	コンクリート殻 (鉄筋)	m3		1		
殻処分	コンクリート殻 (鉄筋)	m3		1		
現場取卸 (PHC杭)		t		146.2		
現場取卸 (鋼管杭)		t		24.8		
橋脚フーチング工		式		1		
基礎材	再生グラッサラン40～0 17.5cmを超え20.0 cm以下	m2		34		
均しコンクリート	18-8-25 (20) (高炉) 敷厚 10 c m	m2		34		
アンカーフレーム架設		基		4		
型枠	一般型枠	式		1		
箱抜型枠	円形型枠	式		1		
鉄筋 (1)	SD345 D13	t		0.02		

工事数量総括表

工事名	R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
鉄筋 (2)	SD345 D16～25	t		2.17		
鉄筋 (3)	SD345 D16～25	t		0.76		
機械式鉄筋定着 (1)	D13 1m<L≦2m	箇所		12		
機械式鉄筋定着 (2)	D22 1m<L≦2m	箇所		148		
コンクリート	24-12-25(20)(高炉) 一般養生 コンクリート 夜間割増無	m3		49		
橋台躯体工(構造物単位)		式		1		
逆T式橋台	5m以上7m未満 50m3以上90m3未満 24-12-25(20)(高炉)	m3		52		
鉄筋 (1)	SD345 D13	t		0.5		
鉄筋 (2)	SD345 D16～25	t		1.32		
機械式鉄筋定着 (1)	D13 1m<L≦2m	箇所		56		
機械式鉄筋定着 (2)	D16 1m<L≦2m	箇所		16		

工事数量総括表

工事名	R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
円筒型枠	φ 150	式		1		
橋台躯体工		式		1		
基礎材	再生クワッシャー40～0 17.5cmを超え20.0 cm以下	m2		11		
均しコンクリート	18-8-25 (20) (高炉) 敷厚 10 c m	m2		11		
コンクリート	24-12-25 (20) (高炉) 一般養生 コンクリート夜間割増無	m3		9		
鉄筋 (1)	SD345 D13	t		0.02		
鉄筋 (2)	SD345 D16～25	t		0.49		
機械式鉄筋定着	D13 1m<L≤2m	箇所		16		
型枠	一般型枠	式		1		
円筒型枠	φ 125 L=320mm	式		1		
橋台工		式		1		

工事数量総括表

工事名	R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
作業土工		式		1		
床掘り (1)	土砂 小規模	式		1		
床掘り (2)	土砂	式		1		
埋戻し		式		1		
積込(ルーズ)	土砂 土量50,000m3未満	式		1		
土砂等運搬 (1) (現場~UCR)	土砂(岩塊・玉石混り土含む) 小規模	式		1		
土砂等運搬 (2) (現場~UCR)	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	式		1		
残土等処分		式		1		
場所打杭工		式		1		
場所打杭 (1)	杭径 1200mm 杭長(設計長) 35.5m	本		2		
場所打杭 (2)	杭径 1200mm 杭長(設計長) 26.5m	本		4		

工事数量総括表

工事名	R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
積込(ルーズ)	土砂	式		1		
土砂等運搬 (現場~UCR)	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	式		1		
残土等処分		式		1		
殻運搬	コンクリート殻(無筋)	m3		7		
殻処分	コンクリート殻(無筋)	m3		7		
橋台躯体工		式		1		
基礎材	再生クラッシュラン40~0 17.5cmを超え20.0 cm以下	m2		39		
均しコンクリート	18-8-25(20)(高炉) 敷厚 10 c m	m2		39		
コンクリート	24-12-25(20)(高炉) 一般養生 コンクリート 夜間割増無	m3		172		
鉄筋 (1)	SD345 D13	t		1.08		
鉄筋 (2)	SD345 D16~25	t		7.17		

工事数量総括表

工事名	R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
鉄筋 (3)	SD345 D29~32	t		5.16		
鉄筋 (4)	SD345 D35	t		1.88		
機械式鉄筋定着 (1)	D13 1m<L≦2m	箇所		67		
機械式鉄筋定着 (2)	D16 1m<L≦2m	箇所		12		
機械式鉄筋定着 (3)	D16 2m<L≦3m	箇所		20		
機械式鉄筋定着 (4)	D22 1m<L≦2m	箇所		40		
型枠	一般型枠	式		1		
円筒型枠	φ 150 L=520, 560mm	式		1		
支保 (1)	f≦40kN/m2[t≦120cm]	式		1		
支保 (2)	40kN/m2<f≦80kN/m2[120<t≦250cm]	式		1		
足場	安全ネット必要	式		1		

工事数量総括表

工事名	R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
区画線工		式		1		
区画線工 【夜間】		式		1		
溶融式区画線 (1)	溶融式手動 実線 15cm 厚1.5mm 排水 性舗装無	m		280		
溶融式区画線 (2)	溶融式手動 破線 15cm 厚1.5mm 排水 性舗装無	m		59		
区画線消去	削取り式	m		627		
歩道切回し工		式		1		
路体盛土工		m3		1		
路体(築堤)盛土	2.5m以上4.0m未満	式		1		
透水性舗装工		式		1		
下層路盤(歩道部)	再生クッシャー RC-40 仕上り厚 100m m	m2		121		
表層	開粒度アスコン 13 1.4m以上2.4m未満 舗 装厚 40mm	m2		121		

工事数量総括表

工事名	R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
コンクリート舗装工		式		1		
下層路盤(歩道部)	再生クラッシュラン RC-40 仕上り厚 100m m	m2		3		
コンクリート舗装	18-8-25(20)(高炉) 舗装厚 100mm	m2		3		
階段工		式		1		
コンクリート	18-8-25(20)(高炉)	m3		2		
型枠	一般型枠	式		1		
基礎材	再生クラッシュラン40～0 敷厚 0.1m	m2		12		
転落(横断)防止柵	柵高 1.1m コンクリート建込	m		12		
土のう工		式		1		
土のう (1)		式		1		
土のう (2)	大型土のう	式		1		

工事数量総括表

工事名	R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
防護施設工		式		1		
仮囲い	設置 丸ハ 47° 土中打込式 高さ 3m	式		1		
仮設工		式		1		
土留・仮締切工		式		1		
鋼矢板 (1) P1	III型 平均鋼矢板長さ 7m 鋼矢板打込長 6.5m 平均鋼矢板引抜長 0m	式		1		
鋼矢板 (2) P2	III型 平均鋼矢板長さ 6.5m 鋼矢板打込長 6m 平均鋼矢板引抜長 0m	式		1		
鋼矢板 (3) P4	III型 平均鋼矢板長さ 7m 鋼矢板打込長 6.5m 平均鋼矢板引抜長 0m	式		1		
鋼矢板 (4) A2	III型 平均鋼矢板長さ 8.5m 鋼矢板打込長 8m 平均鋼矢板引抜長 0m	式		1		
鋼矢板 (5) A3	III型 平均鋼矢板長さ 9m 鋼矢板打込長 8.5m 平均鋼矢板引抜長 8.5m	式		1		
鋼矢板 (6) E7ンブ	III型 平均鋼矢板長さ 8.5m 鋼矢板打込長 8m 平均鋼矢板引抜長 8m	式		1		
切梁・腹起し (1) P1		式		1		

工事数量総括表

工事名	R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
切梁・腹起し (2) P2		式		1		
切梁・腹起し (3) P4		式		1		
交通管理工		式		1		
交通誘導警備員 (1)	A	式		1		
交通誘導警備員 (2)	B	式		1		
交通誘導警備員 (3) 【夜間】	A	式		1		
交通誘導警備員 (4) 【夜間】	B	式		1		
引継ぎ賃料		式		1		
引継賃料		式		1		
直接工事費		式		1		
共通仮設費		式		1		

工事数量総括表

工事名	R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
共通仮設費		式		1		
運搬費		式		1		
重建設機械分解組立費		式		1		
重建設機械分解組立輸送費		式		1		
仮設材運搬費		式		1		
技術管理費		式		1		
土質等試験費		式		1		
現場環境改善費 (率計上)		式		1		
共通仮設費 (率計上)		式		1		
純工事費		式		1		
現場管理費		式		1		

工事数量総括表

工事名	R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
(現場原価)		式		1		
工事原価		式		1		
一般管理費等		式		1		
工事価格		式		1		
消費税相当額		式		1		
工事費計		式		1		

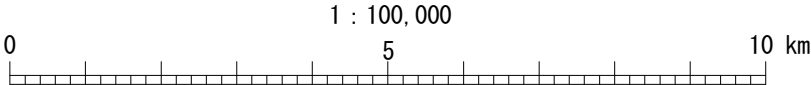
位置図 S=1:100,000

一般国道一号 工事平面図

横浜国道事務所

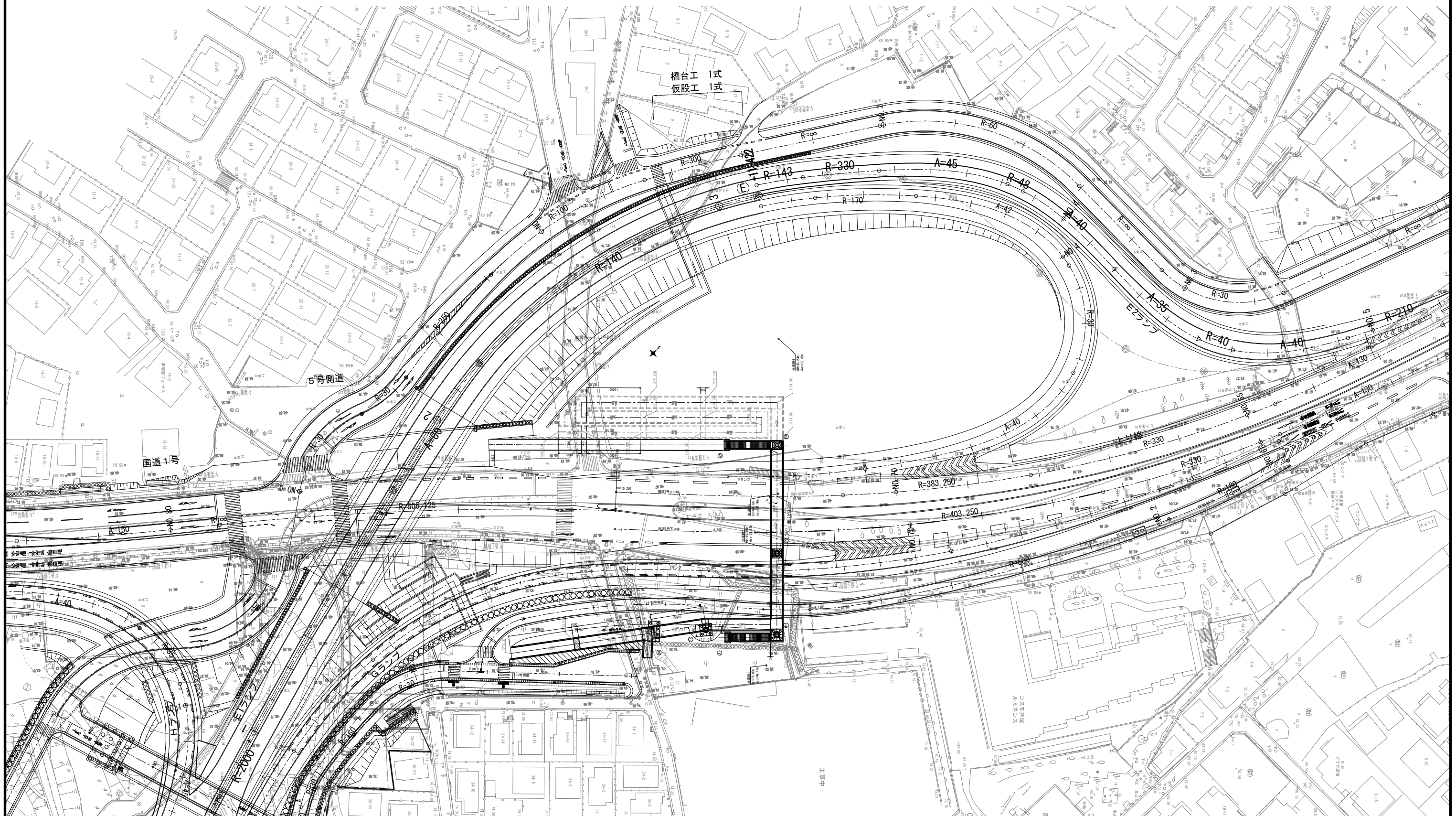


工事箇所：神奈川県横浜市戸塚区汲沢町地先



工 事 名		R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事									
図 面 名		位 置 図									
縮 尺		1:100,000			図面番号			1 / 59			
年 月 日		令和 7 年 1 2 月									
設計会社名		株式会社 総合技術コンサルタント									
所 長		副 所 長		課 長		建設専門官		係 長		担 当	
事務所名		国土交通省 横浜国道事務所									

平面図 S=1:200



歩道橋本体工 1式
仮設工 1式

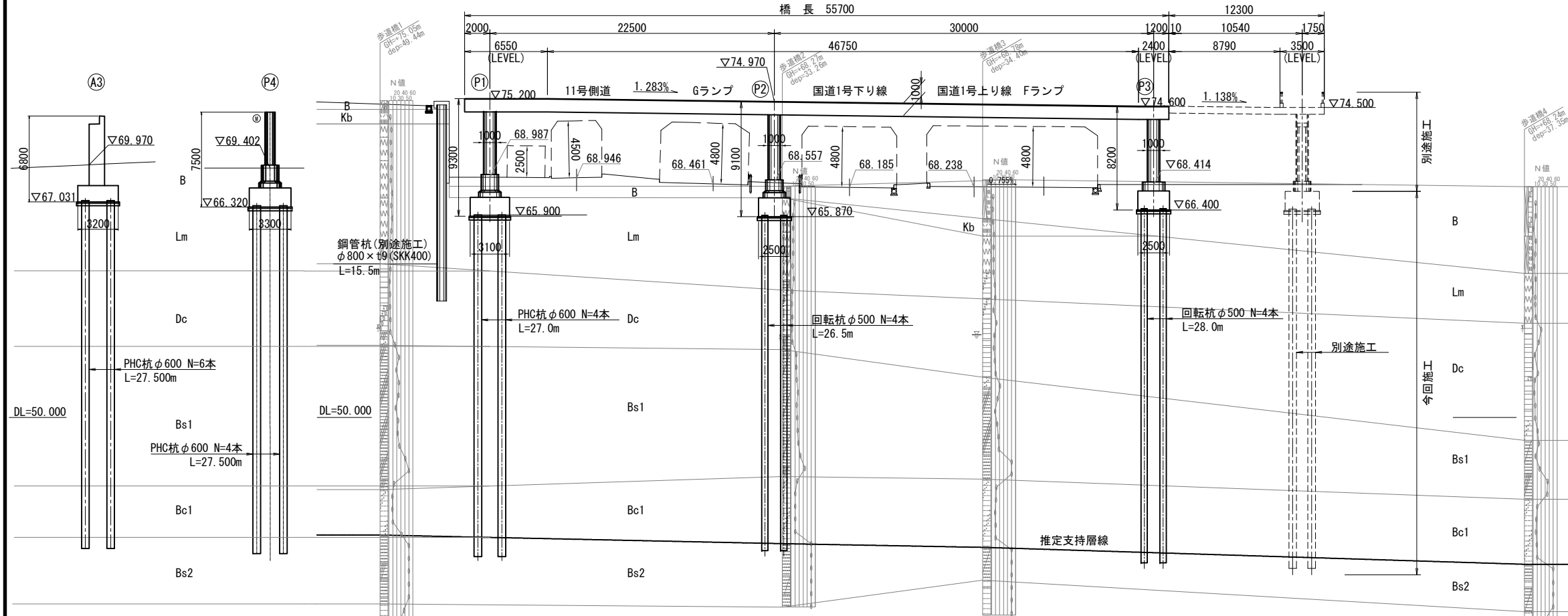
区画線工 1式

工 事 名	R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事		
図 面 名	平面図		
縮 尺	1:500	図面番号	2 / 59
年 月 日	令和 7 年 12 月 日		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

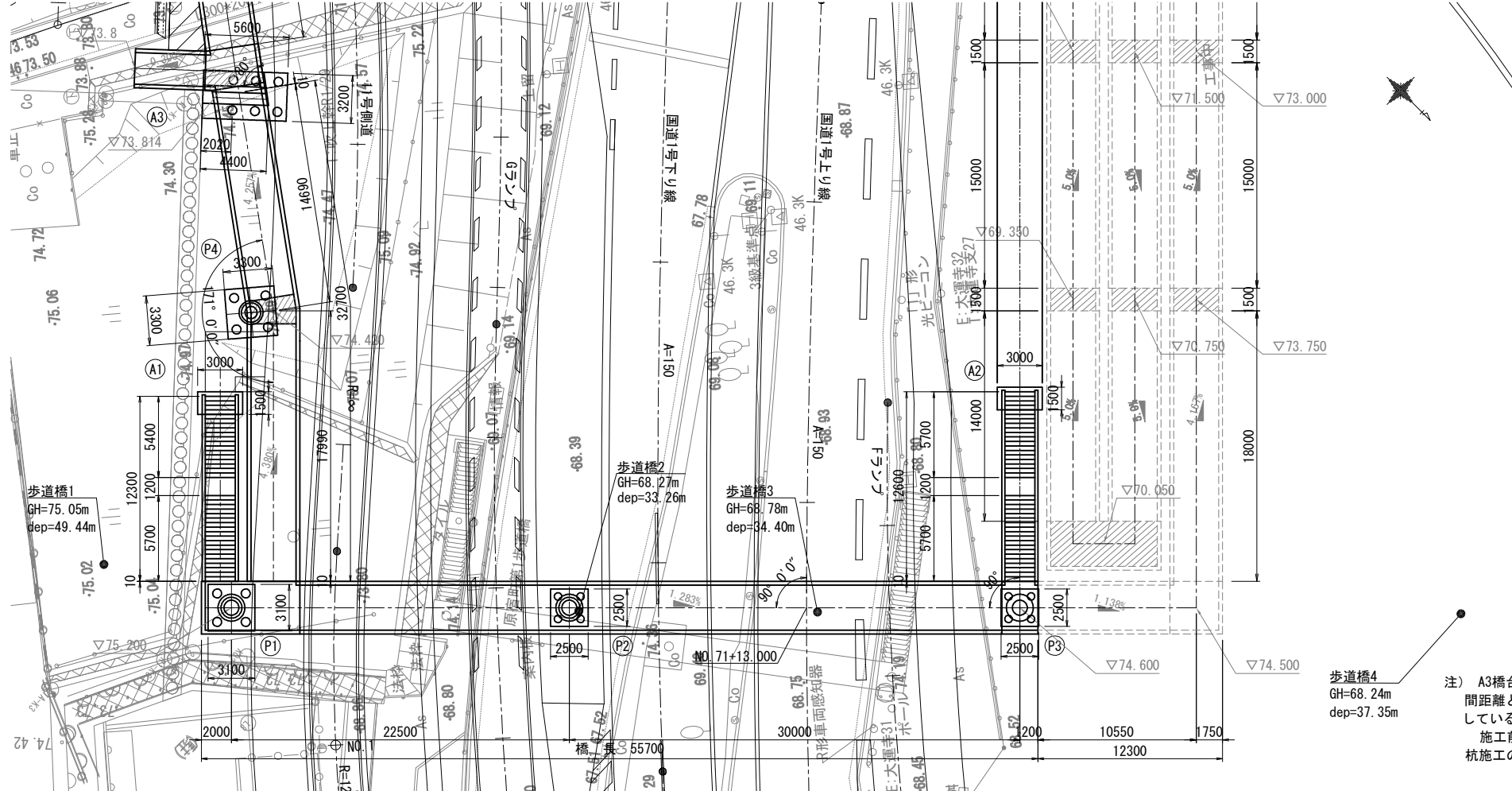
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

国道1号歩道橋一般図(1)

側面図 S=1:200

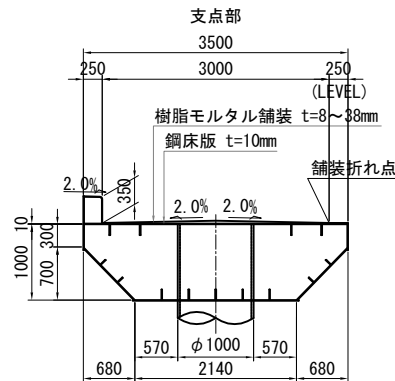


平面図 S=1:200

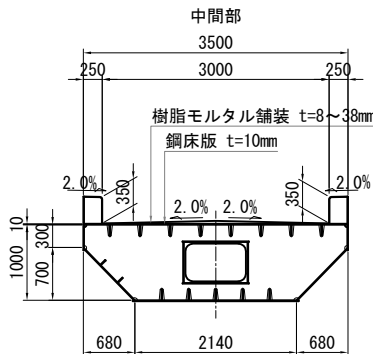


標準断面図 S=1:50

通路桁(別途施工)



通路桁(別途施工)



設計条件

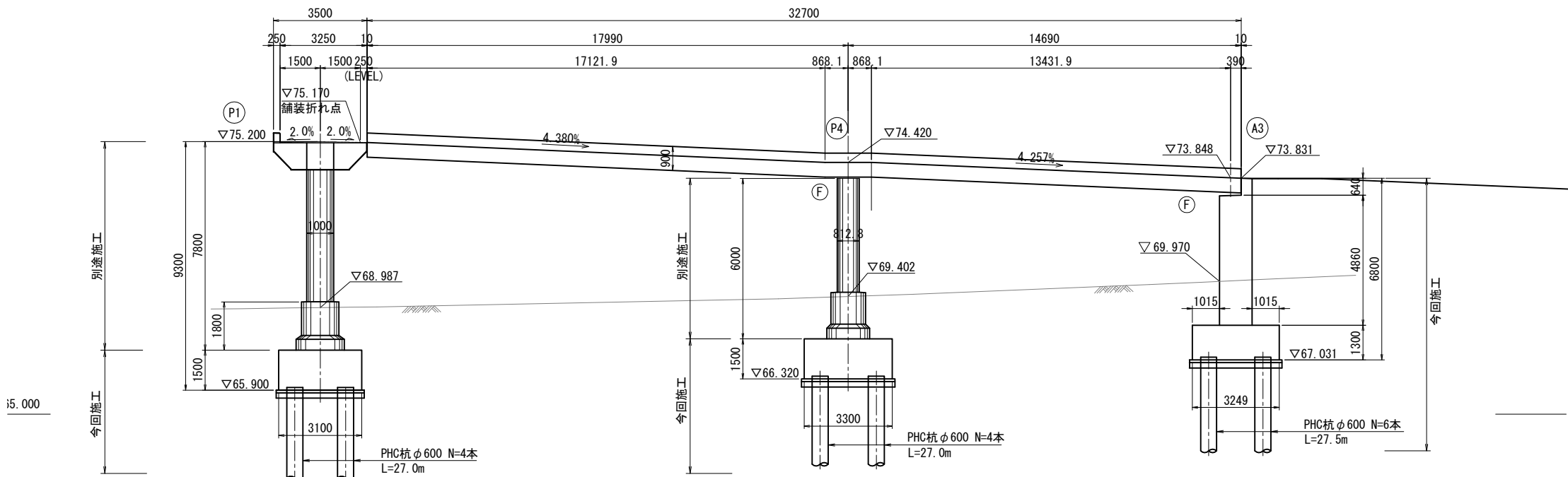
設計条件	
橋種	横断歩道橋
設計荷重	群集荷重
構造形式	跨道部: 2径間連続鋼床版桁橋ラーメン橋
	階段部: 中路式単純桁橋
橋長	跨道部: 中路式2径間連続桁橋
	跨道部: L = 55.700 m
支間長	跨道部: L = 22.500 + 30.000 m
	P1側 階段部: L = 12.400 m
有効幅員	P3側 階段部: L = 12.700 m
	P1側 斜路部: L = 17.990 + 14.300 m
総幅員	跨道部: 3.000 m 階段部: 2.000 m 斜路部: 3.000 m
	跨道部: 3.500 m 階段部: 2.400 m 斜路部: 3.500 m
斜角	P1側 階段: 90° 00' 00"
	P3側 階段: 90° 00' 00"
平面曲線	R = ∞
縦断勾配	跨道部: i = 1.283 % 斜路部: i = 4.380 %, 4.257 %
横断勾配	2.0 % 坪み勾配
舗装	樹脂モルタル舗装 t = 8 mm
床版	跨道部: 鋼床版 t = 10 mm
	階段部: 踏み板 t = 4.5 mm
設計水平震度	斜路部: 鋼床版 t = 6 mm
	跨道部: レベル1 kh=0.25
使用材料	レベル2 khc0=1.30(タイプI) khc0=1.75(タイプII)
	階段部: レベル1 kh = 0.25
基礎工形式	斜路部: レベル1 kh = 0.25
	上部工 鋼材 SS400, SM400, SM490Y, STK490, S10T
地盤種別	下部工 鉄筋 コンクリート σck = 24 N/mm ² (根巻きコンクリート)
	下部工 鉄筋 コンクリート σck = 24 N/mm ²
主な適用基準	基礎工形式 P1, P4橋脚: PHC杭φ600 P2, P3橋脚: 回転杭φ500
	A3橋台: PHC杭φ600
建設省制定土木構造物標準設計第5巻 (S59) : 全日本建設技術協会	道路橋示方書・同解説 (H24.3 : 日本道路協会)
	立体横断施設技術基準・同解説 (S54.1 : 日本道路協会)

注) A3橋台の杭心位置は、施工可能な最小離間距離として既設鋼管杭擁壁から2mを確保している。
施工前に既設鋼管杭擁壁の位置を測量し、杭施工の可否を確認すること。
本図面は縮小図のため縮尺は表示と異なります

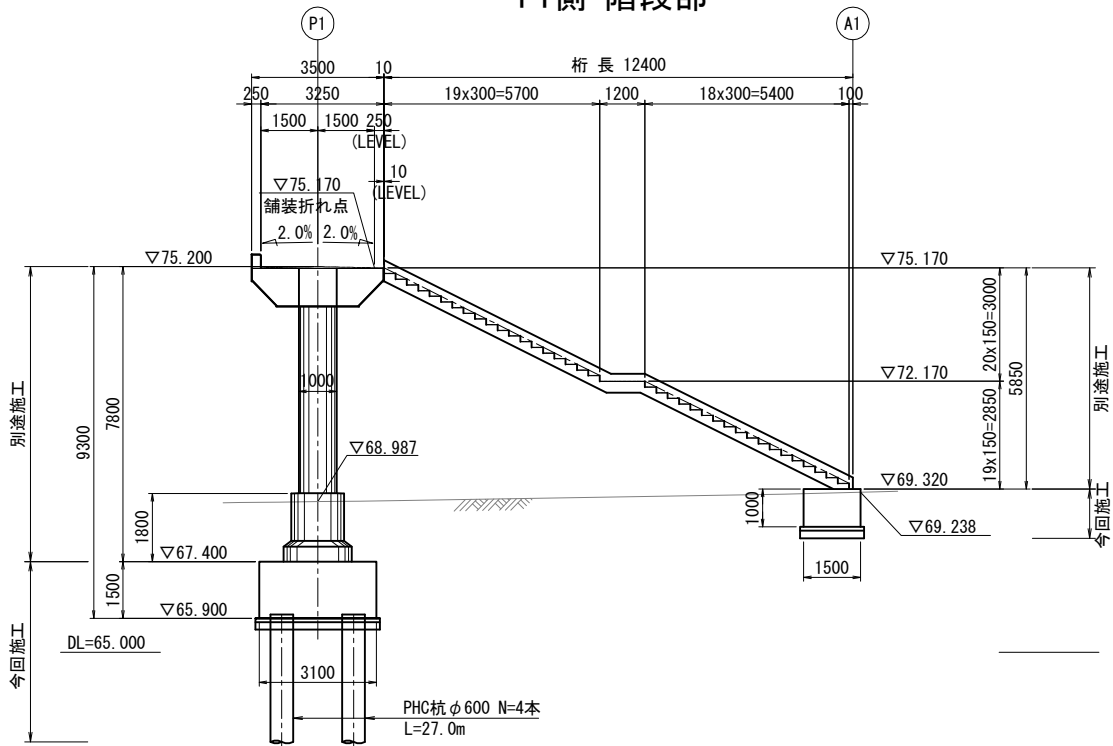
工事名	R7横環南国道1号外歩道橋下部工事		
図面名	国道1号歩道橋一般図(1)		
縮尺	図示	図面番号	3 / 59
年月日	令和7年12月日		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

国道1号歩道橋一般図(2) S=1:100

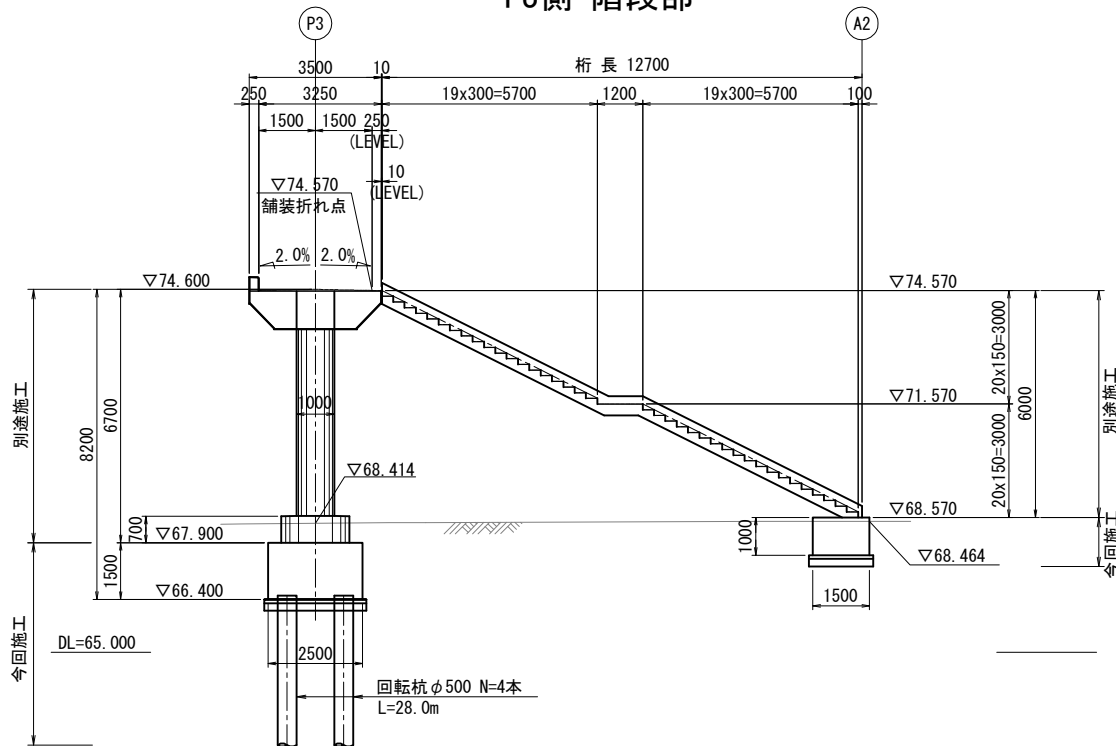
P1側 斜路部



P1側 階段部

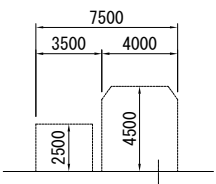


P3側 階段部

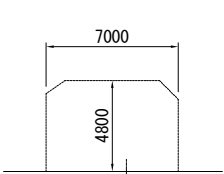


交差条件 S=1:200

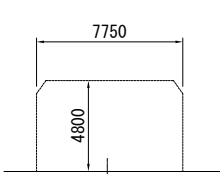
11号側道



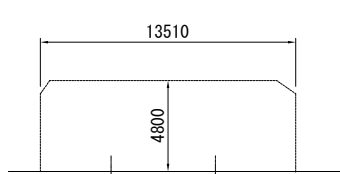
Gランプ



国道1号下り線



国道1号上り線 Fランプ

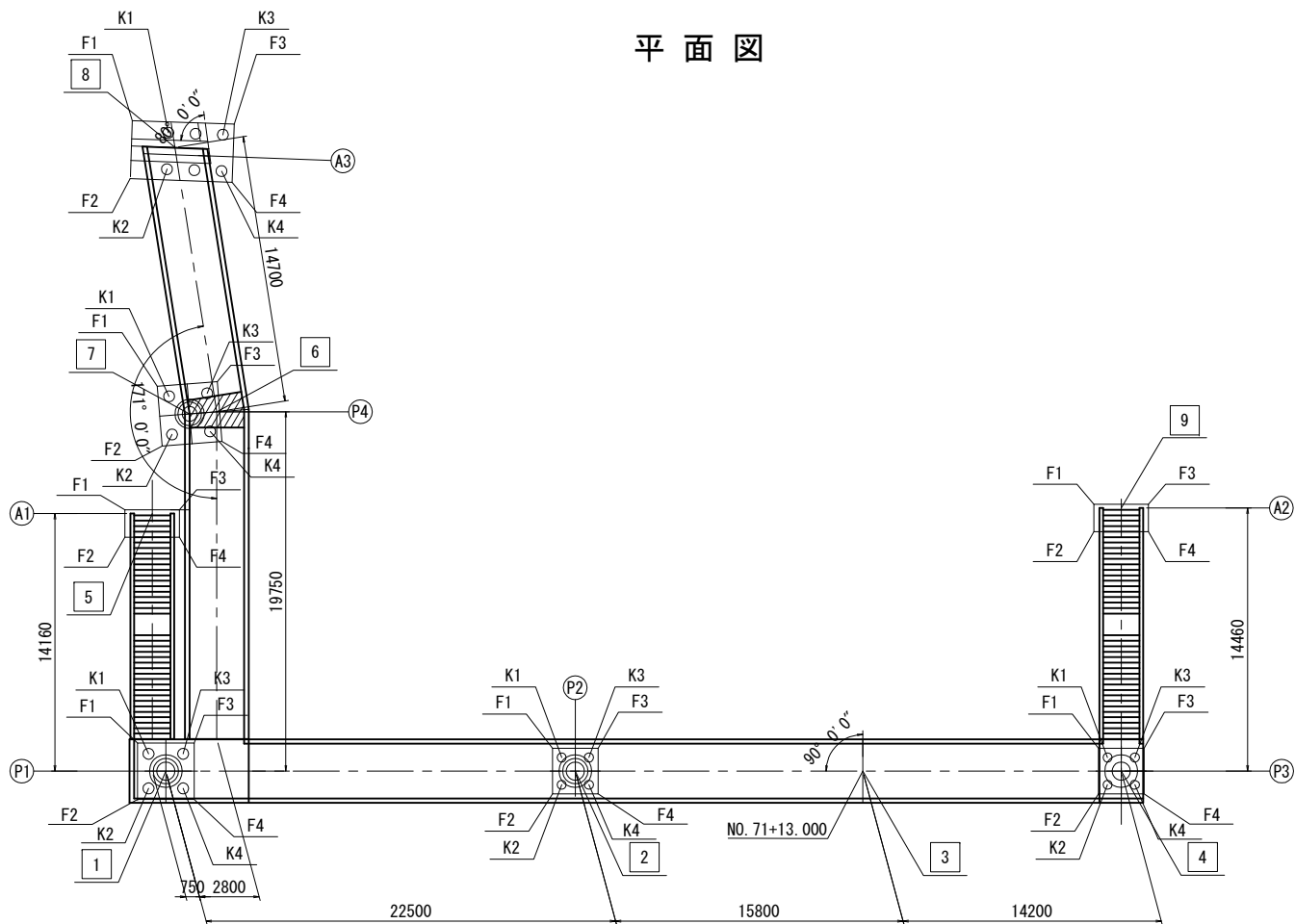


本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R7横環南国道1号外歩道橋下部工事		
図面名	国道1号歩道橋一般図(2)		
縮尺	図示	図面番号	4 / 59
年月日	令和7年12月 日		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

国道1号歩道橋線形図 S=1:200

平面図



座標値

	大座標値		小座標値	
	X	Y	x	y
1	-68893.2236	-28729.9985	0.0000	0.0000
2	-68877.3623	-28745.9568	22.5000	0.0000
3	-68866.2241	-28757.1631	38.3000	0.0000
4	-68856.2138	-28767.2346	52.5000	0.0000
5	-68903.7954	-28739.4486	-0.7500	14.1600
6	-68905.2576	-28745.9072	2.8000	19.7500
7	-68906.2283	-28744.7636	1.3046	19.6323
8	-68917.1764	-28754.5113	0.5004	34.2690
9	-68866.4697	-28777.4281	52.5000	14.4600

座標値

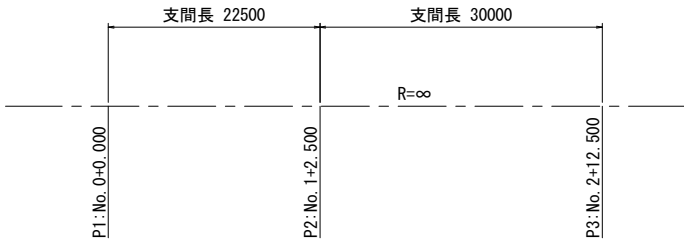
		A1		A2		A3	
		X	Y	X	Y	X	Y
フーチング 4隅座標	F1	-68904.995	-28738.526	-68867.669	-28776.505	-68919.881	-28753.897
	F2	-68903.931	-28737.468	-68866.605	-28775.448	-68917.694	-28751.561
	F3	-68902.880	-28740.654	-68865.554	-28778.633	-68915.793	-28757.724
	F4	-68901.816	-28739.596	-68864.490	-28777.576	-68913.606	-28755.388
杭中心座標	K1	—	—	—	—	-68918.011	-28754.826
	K2	—	—	—	—	-68916.644	-28753.366
	K3	—	—	—	—	-68915.821	-28756.876
	K4	—	—	—	—	-68914.454	-28755.416

座標値

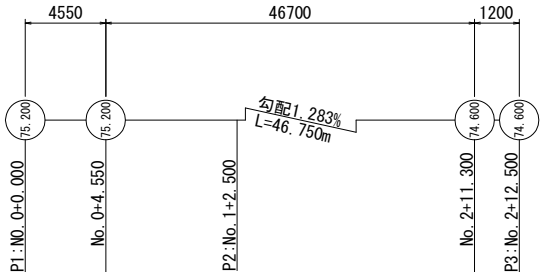
		P1		P2		P3		P4	
		X	Y	X	Y	X	Y	X	Y
フーチング 4隅座標	F1	-68895.416	-28729.992	-68879.130	-28745.951	-68857.982	-28767.229	-68908.554	-28744.573
	F2	-68893.217	-28727.806	-68877.357	-28744.189	-68856.208	-28765.467	-68906.038	-28742.438
	F3	-68893.230	-28732.191	-68877.368	-28747.725	-68856.219	-28769.002	-68906.419	-28747.089
	F4	-68891.032	-28730.005	-68875.595	-28745.962	-68854.446	-28767.240	-68903.903	-28744.954
杭中心座標	K1	-68894.567	-28729.994	-68878.423	-28745.954	-68857.275	-28767.231	-68907.708	-28744.643
	K2	-68893.220	-28728.655	-68877.359	-28744.896	-68856.211	-28766.174	-68906.107	-28743.284
	K3	-68893.228	-28731.342	-68877.366	-28747.018	-68856.217	-28768.295	-68906.349	-28746.244
	K4	-68891.880	-28730.003	-68876.302	-28745.960	-68855.153	-28767.238	-68904.748	-28744.885

通路部

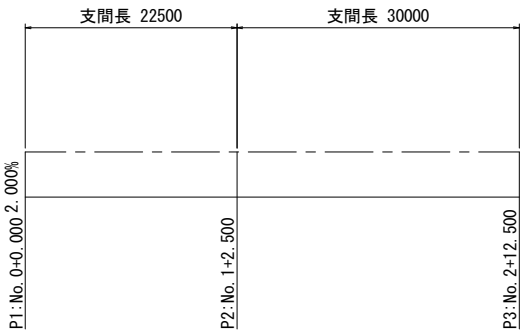
平面線形



縦断線形

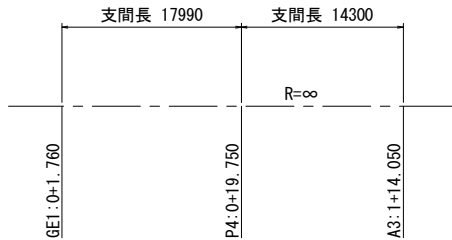


横断勾配

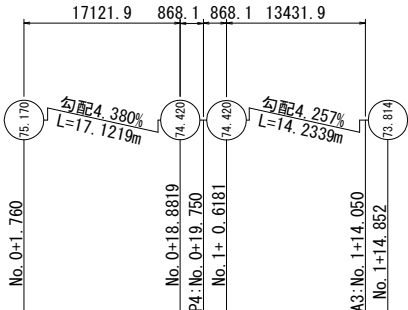


斜路部

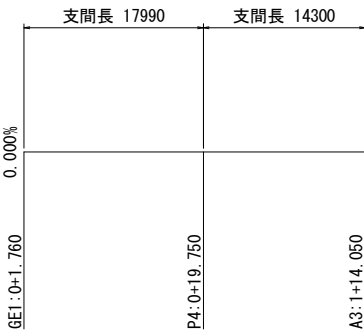
平面線形



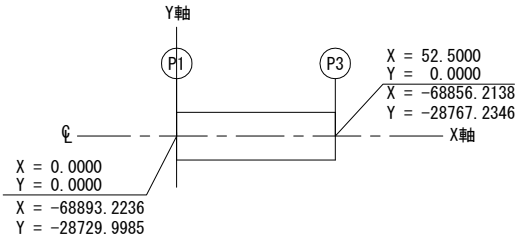
縦断線形



横断勾配



小座標の設定方法



P1と歩道橋中心(CL)との交点を原点(X=0, Y=0)とし、
P3とCLとの交点を結んだ直線をX軸に、X軸に垂直で
原点を通る直線をY軸とする。

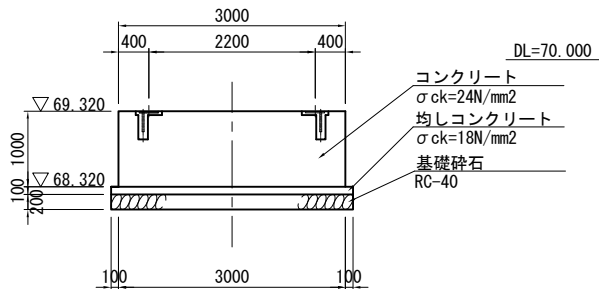
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工 事 名	R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事		
図 面 名	国道1号歩道橋線形図		
縮 尺	1:200	図面番号	5 / 59
年 月 日	令和 7 年 1 2 月 日		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

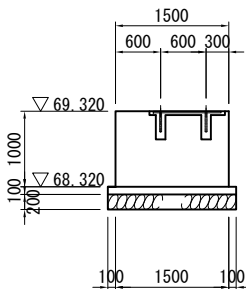
国道1号歩道橋A1・A2橋台構造図 S=1:50

A1橋台

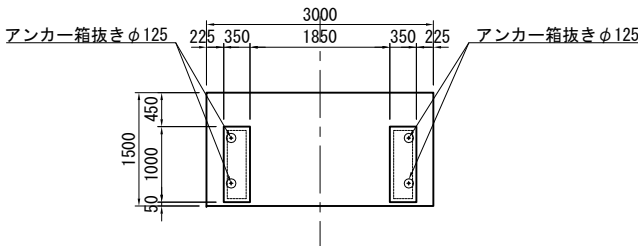
正面図



側面図

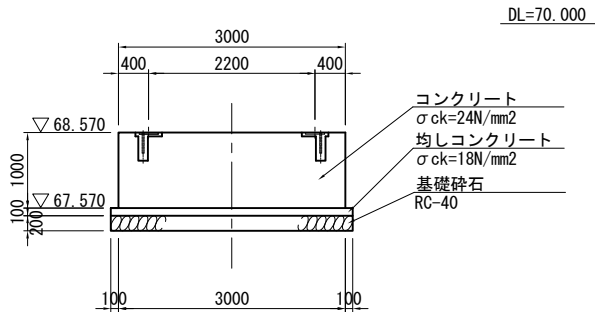


平面図

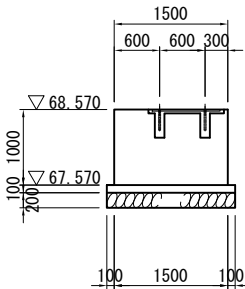


A2橋台

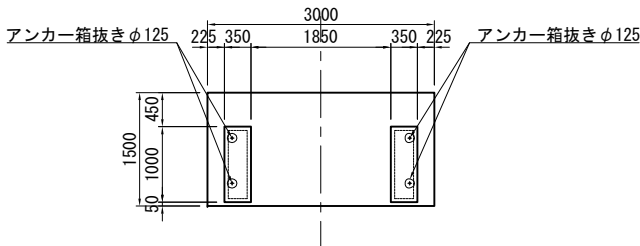
正面図



側面図

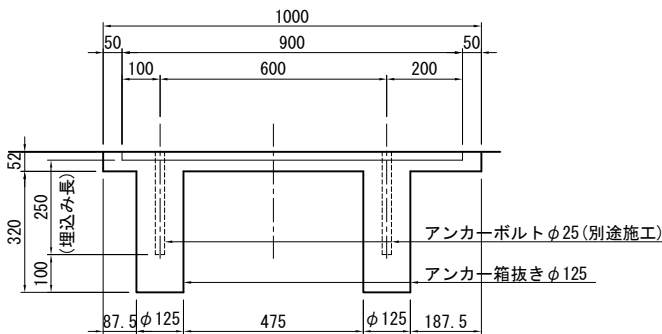


平面図

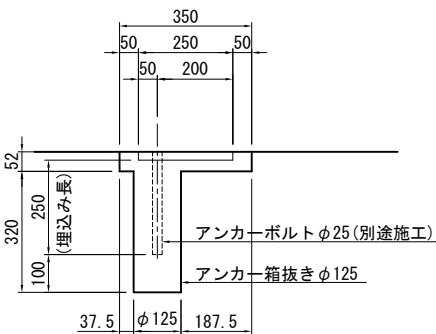


アンカー箱抜き詳細図 S=1:10

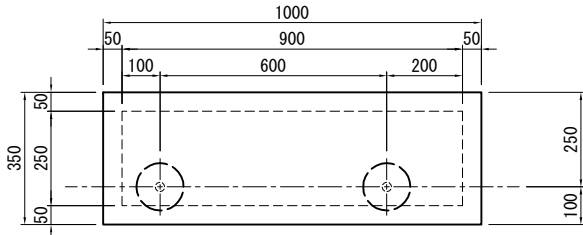
橋軸方向



橋軸直角方向



平面図



材 料 表

名 称	規 格	単 位	数 量	
			A1	A2
基礎材	RC-40	m2	5.4	5.4
均しコンクリート	σck=18N/mm2	m2	5.4	5.4
コンクリート	σck=24N/mm2	m3	4.4	4.4
鉄筋	SD345 D13	t	0.008	0.008
鉄筋	SD345 D16~25	t	0.246	0.246
型枠		式	1	1
型枠	均しコンクリート	式	1	1
箱抜型枠		式	1	1

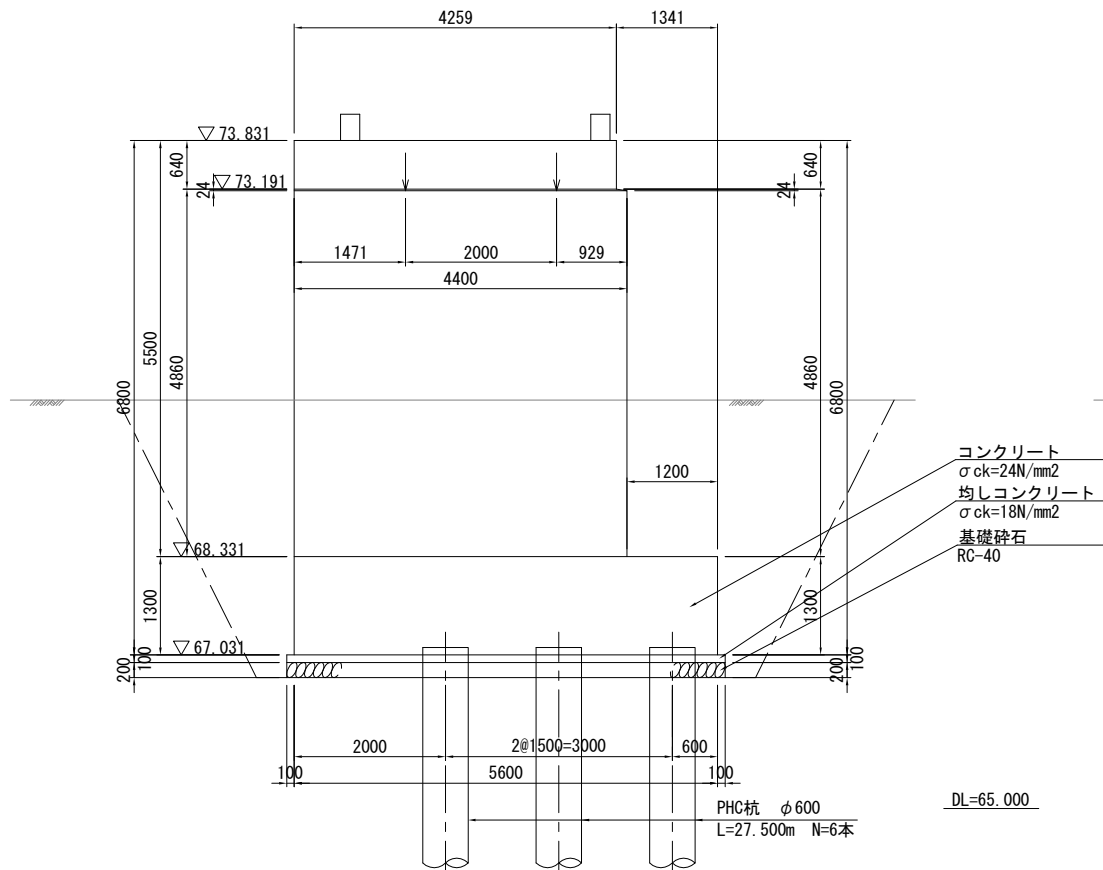
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工 事 名	R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事		
図 面 名	国道1号歩道橋A1・A2橋台構造図		
縮 尺	図示	図面番号	6 / 59
年 月 日	令和 7 年 1 2 月 日		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

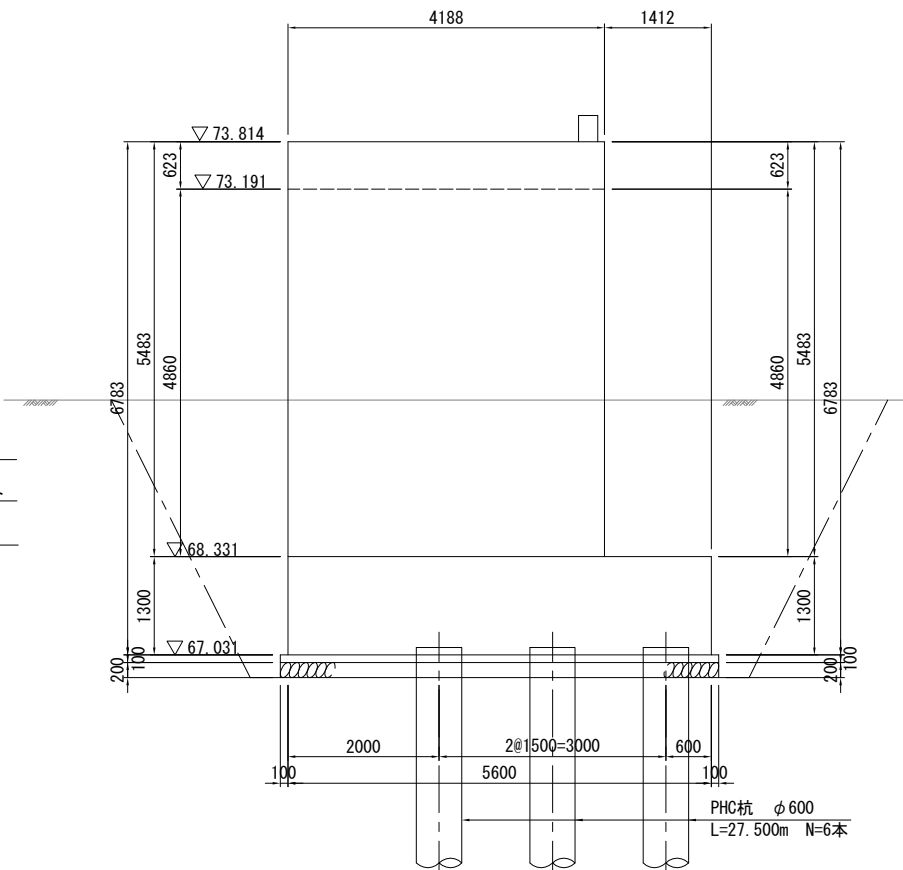
国道1号歩道橋A3橋台構造図(1) S=1:50

A3橋台

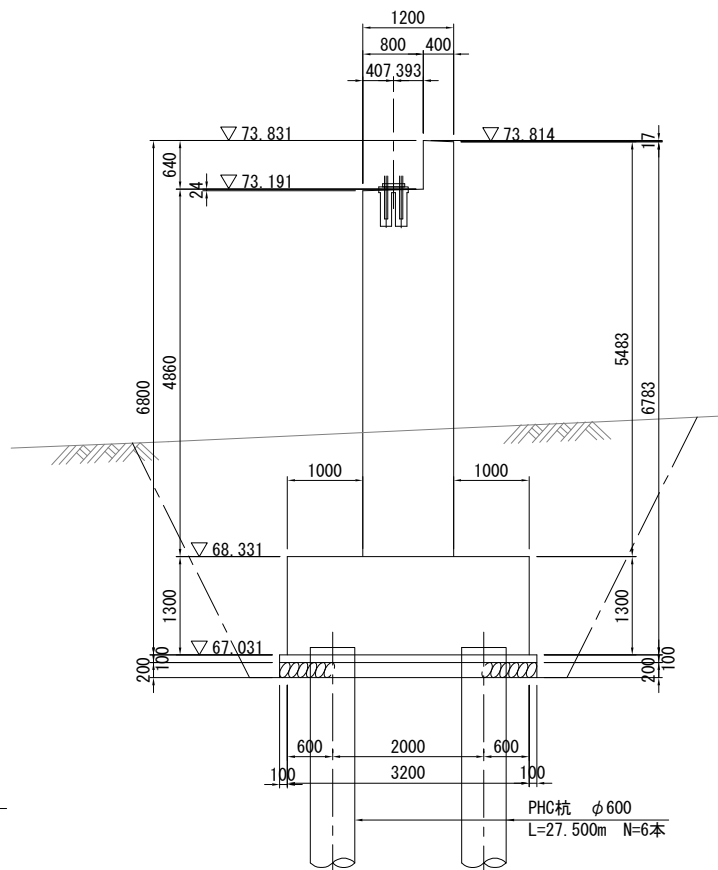
正面図



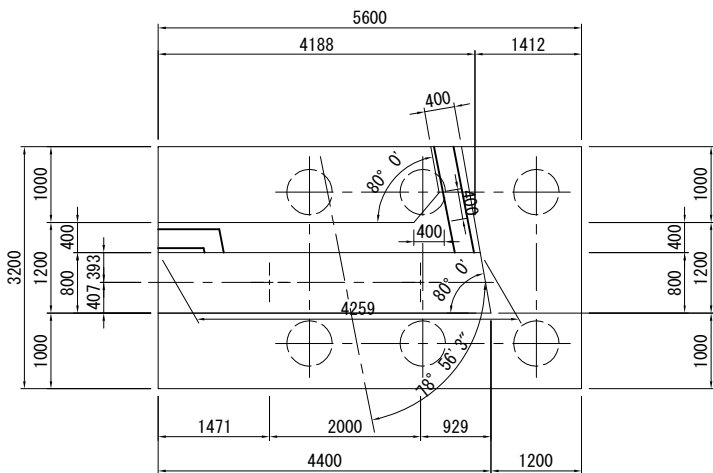
背面図



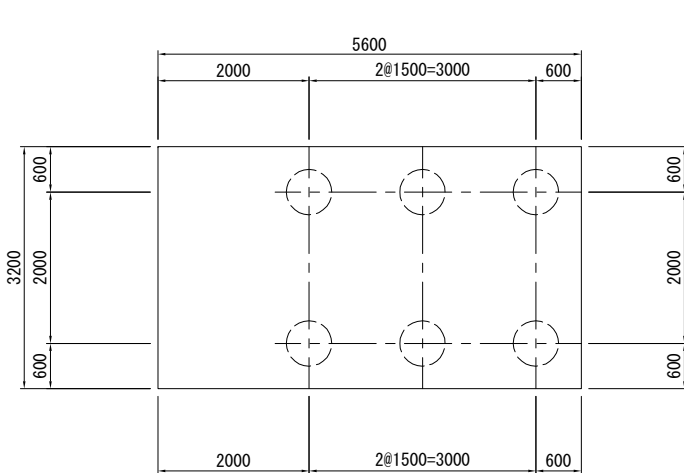
断面図



平面図



杭配置図



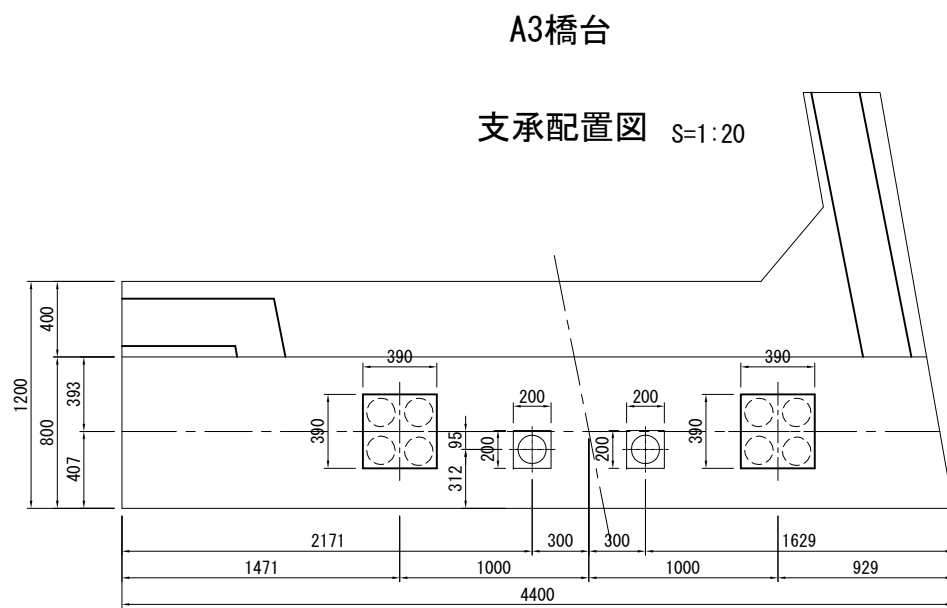
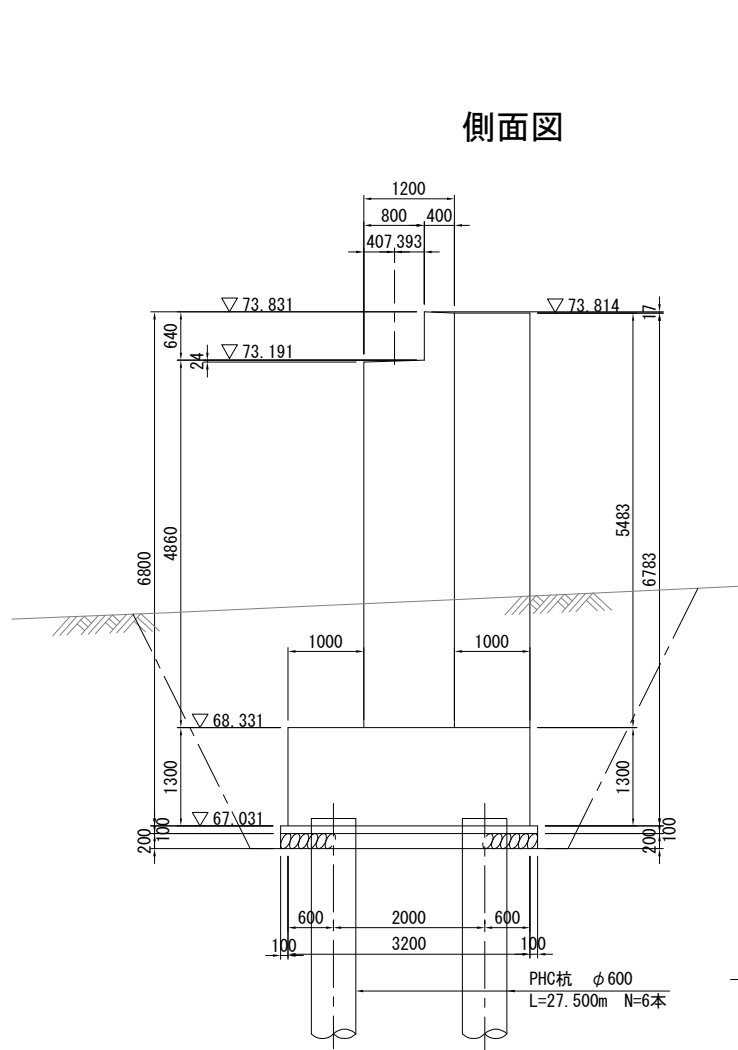
材 料 表

名 称	規 格	単 位	1箇所当り
			数 量
基礎材	RC-40	m ²	18.0
均しコンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m ²	18.0
コンクリート	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$	m ³	52.0
鉄筋	SD345 D13	t	0.500
鉄筋	SD345 D16~25	t	1.321
型枠		式	1
型枠	均しコンクリート	式	1
箱拔型枠		式	1

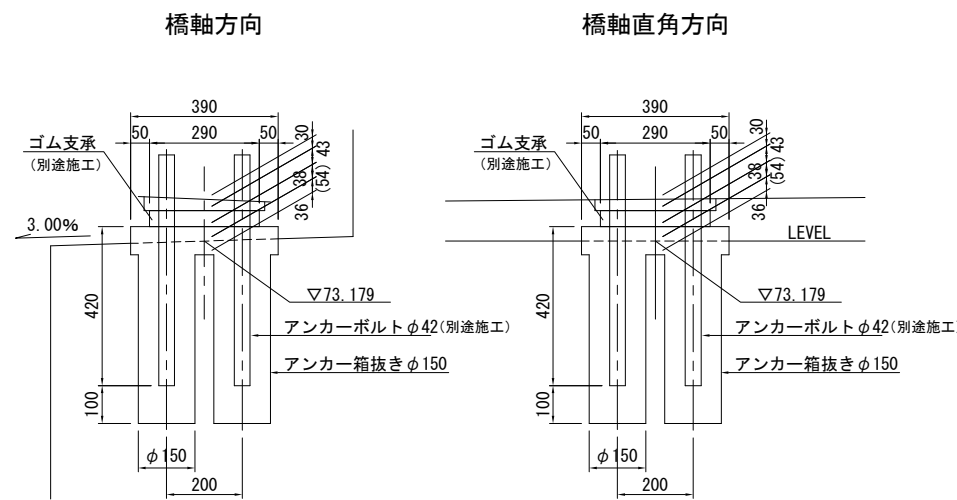
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工 事 名	R 7 横浜南国道 1 号外歩道橋下部工事		
図 面 名	国道1号歩道橋A3橋台構造図(1)		
縮 尺	1:50	図面番号	7 / 59
年 月 日	令和 7 年 1 2 月 日		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

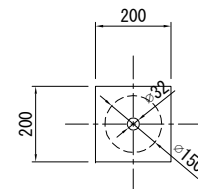
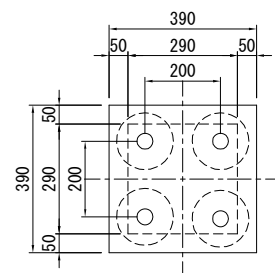
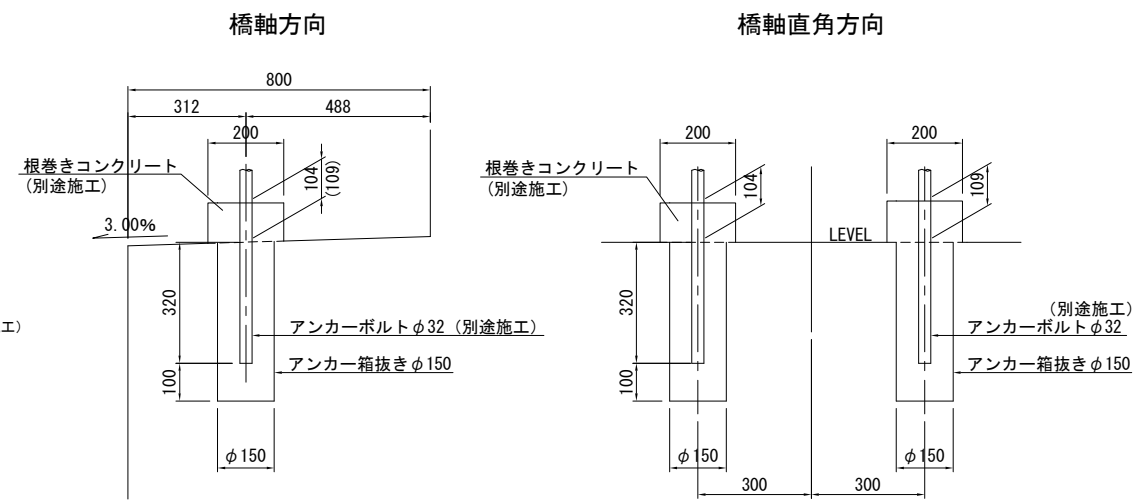
国道1号歩道橋A3橋台構造図(2) S=1:50



支承部詳細図 S=1:10



落橋防止装置詳細図 S=1:10



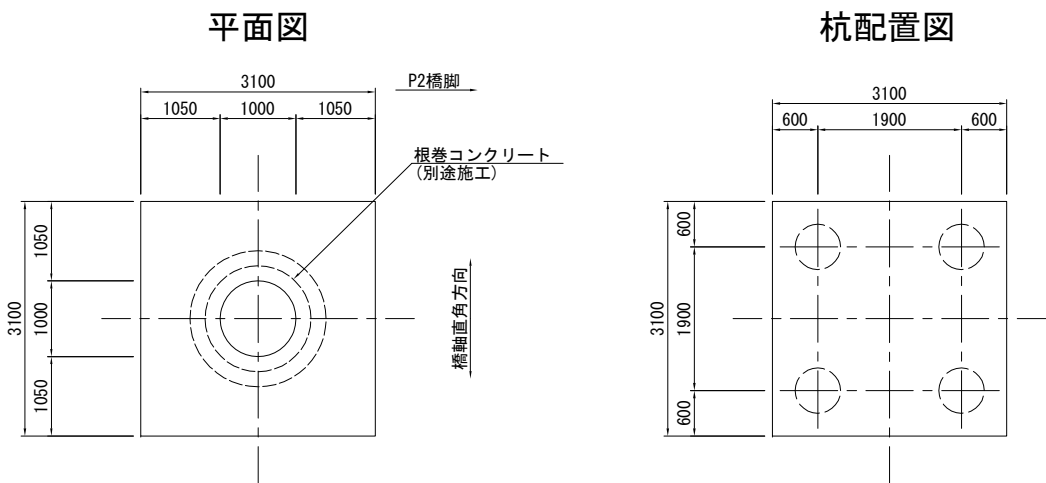
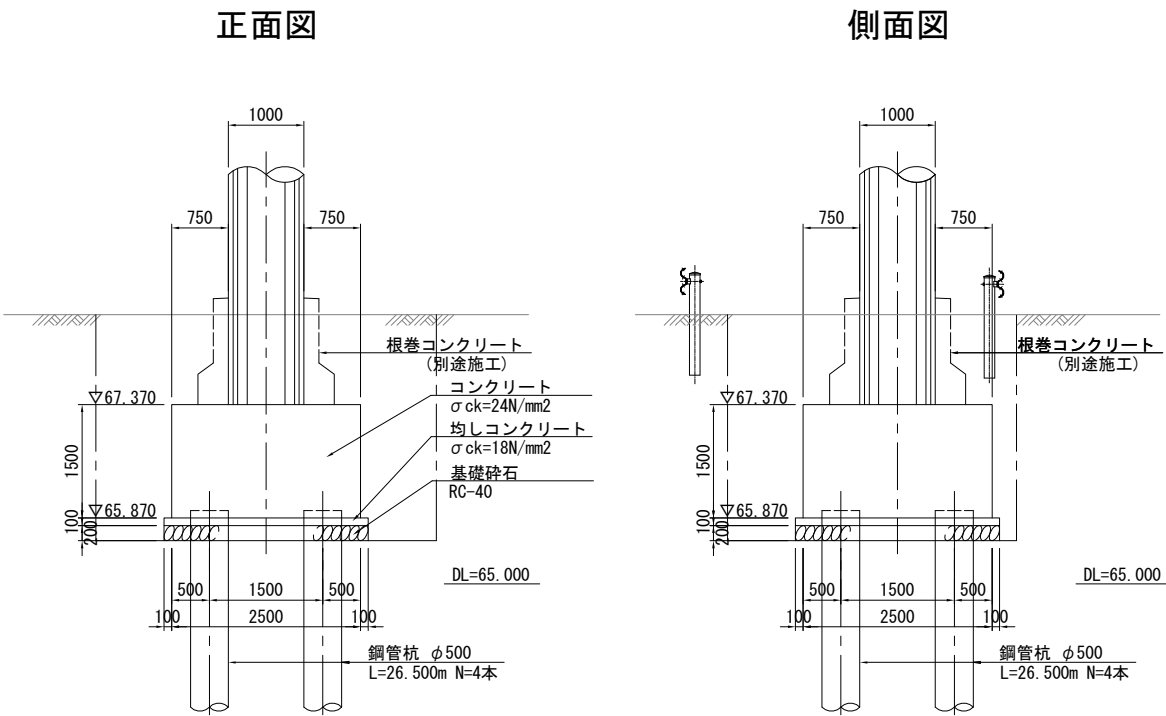
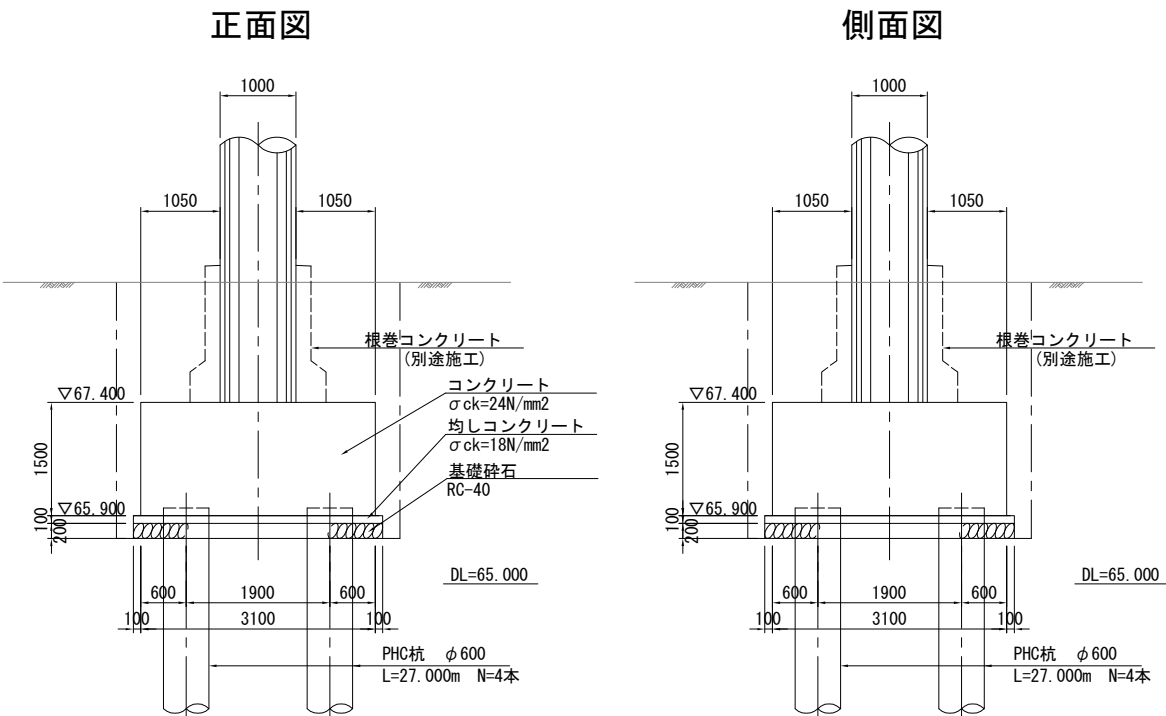
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R7横浜南国道1号外歩道橋下部工事		
図面名	国道1号歩道橋A3橋台構造図(2)		
縮尺	図示	図面番号	8 / 59
年月日	令和7年12月 日		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

国道1号歩道橋P1・P2橋脚構造図 S=1:50

P1橋脚

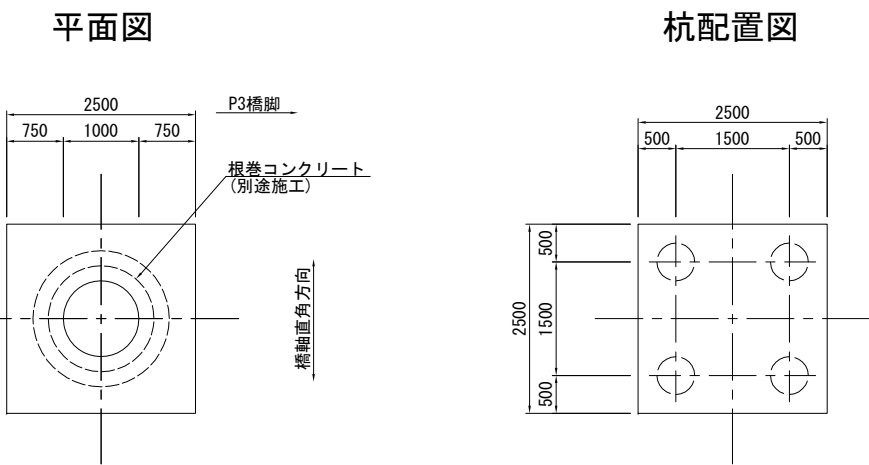
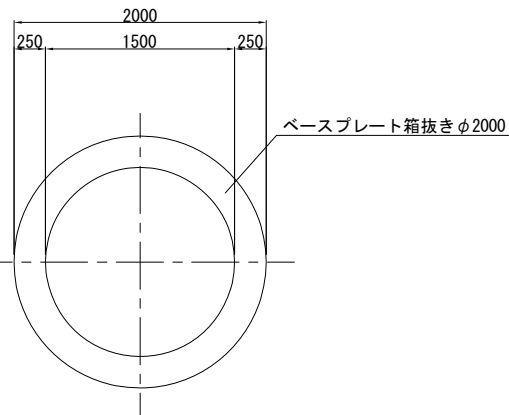
P2橋脚



箱抜き詳細図 S=1:30

断面図

平面図



材 料 表

名 称	規 格	単 位	1箇所当り 数 量	
			P1	P2
基礎材	RC-40	m ²	9.8	6.5
均しコンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m ²	9.8	6.5
アンカーフレーム架設		基	1	1
型枠		式	1	1
型枠	均しコンクリート	式	1	1
箱抜き型枠		式	1	1
鉄筋	SD345 D16~25	t	0.891	0.763
コンクリート	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$	m ³	14.2	9.2

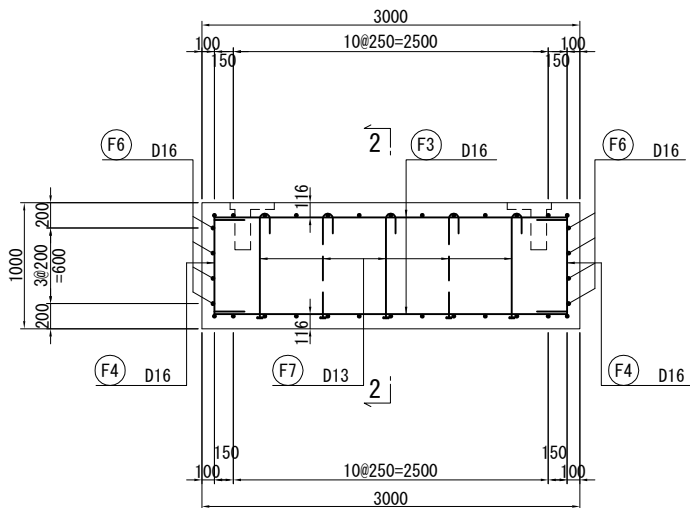
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工 事 名	R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事		
図 面 名	国道1号歩道橋P1・P2橋脚構造図		
縮 尺	図示	図面番号	9 / 59
年 月 日	令和 7 年 1 2 月 日		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

国道1号歩道橋A1橋台配筋図 S=1:30

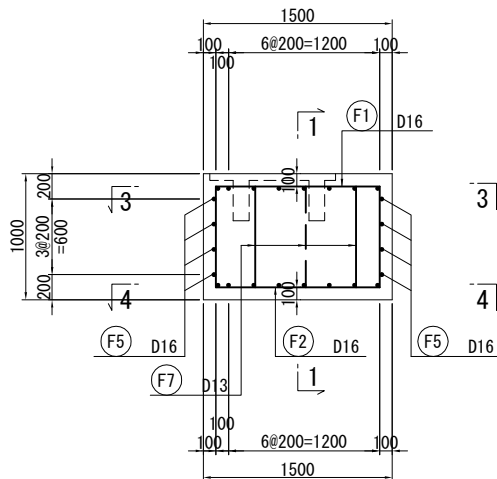
階段橋軸直角方向

1 - 1

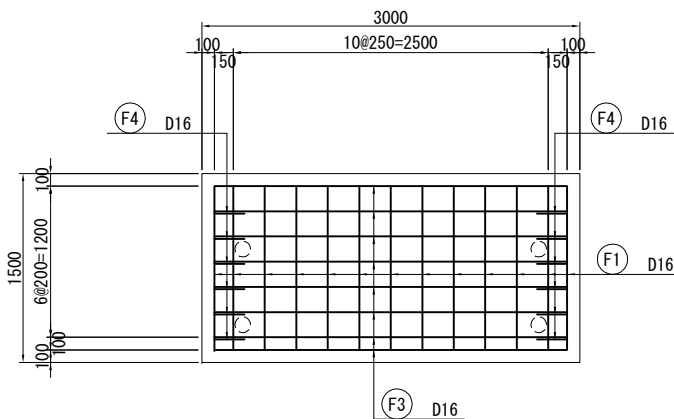


階段橋軸方向

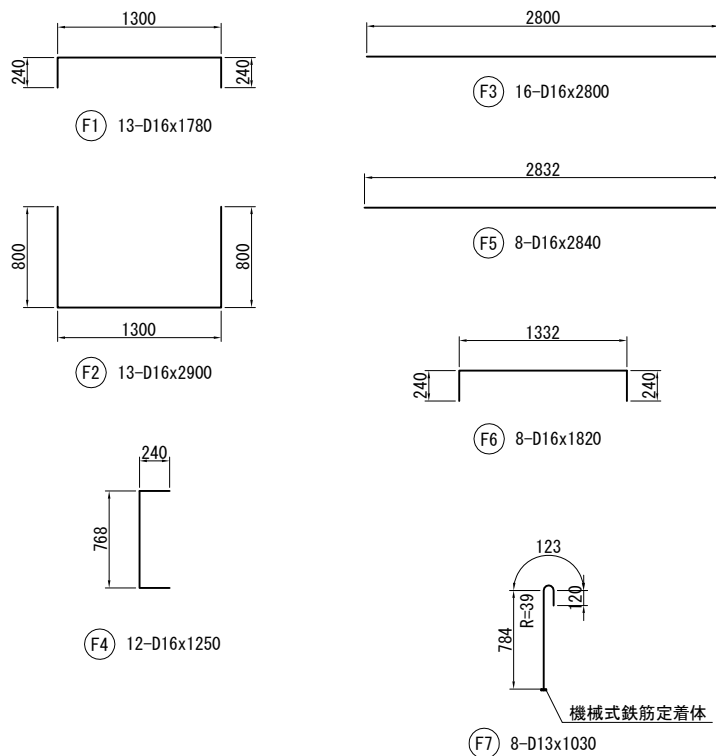
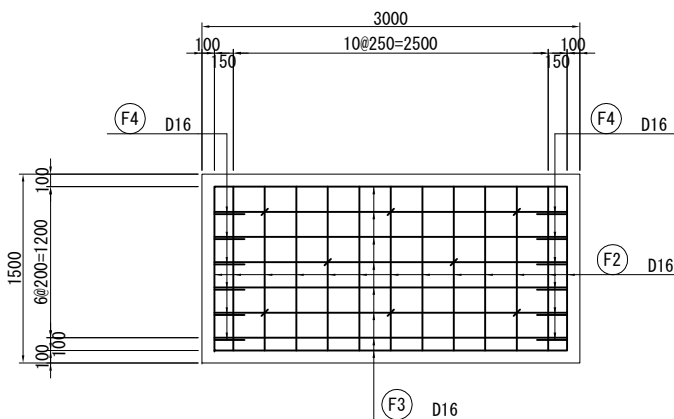
2 - 2



3 - 3



4 - 4



鉄筋表

(SD345)

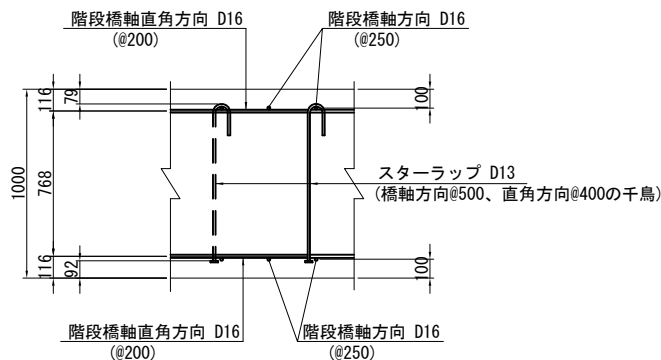
記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当質量	質量	摘要
F1	D16	1780	13	1.56	2.78	36	┌
F2	D16	2900	13	1.56	4.52	59	└
F3	D16	2800	16	1.56	4.37	70	—
F4	D16	1250	12	1.56	1.95	23	└
F5	D16	2840	8	1.56	4.43	35	—
F6	D16	1820	8	1.56	2.84	23	└
F7	D13	1030	8	0.995	1.02	8	└ (機械式定着)
						254	kg
				D13	8	kg	
				D16	246	kg	
				合 計	254	kg	

機械式鉄筋定着工法数量表

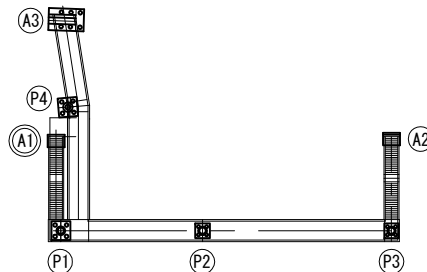
鉄筋径	箇 所 数					
	0<L≤1m	1m<L≤2m	2m<L≤3m	3m<L≤4m	4m<L≤5m	5m<L≤6m
D13	—	8	—	—	—	—
D16	—	—	—	—	—	—
D19	—	—	—	—	—	—
小 計	—	8	—	—	—	—
合 計	8					

かぶり 詳細図 S=1:20

階段橋軸直角方向



位置図



注1) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。
①道路橋示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
②機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

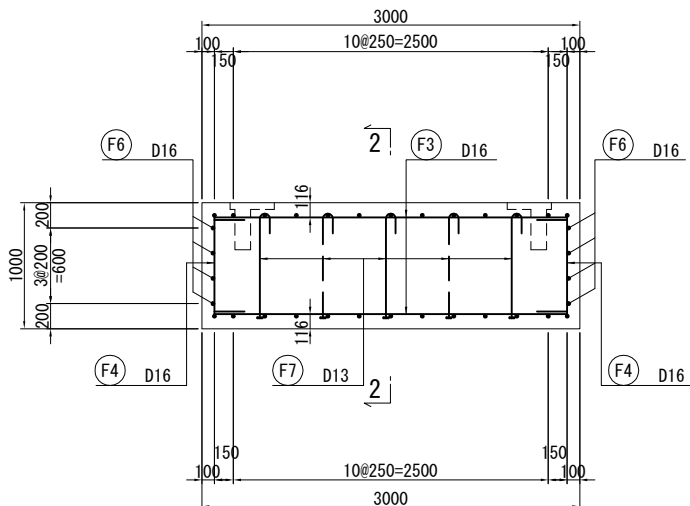
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工 事 名	R7 横浜南国道1号外歩道橋下部工事		
図 面 名	国道1号歩道橋A1橋台配筋図		
縮 尺	図示	図面番号	11 / 59
年 月 日	令和7年12月 日		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

国道1号歩道橋A2橋台配筋図 S=1:30

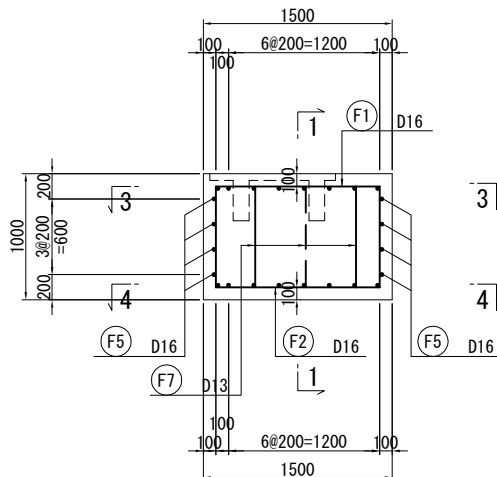
階段橋軸直角方向

1 - 1

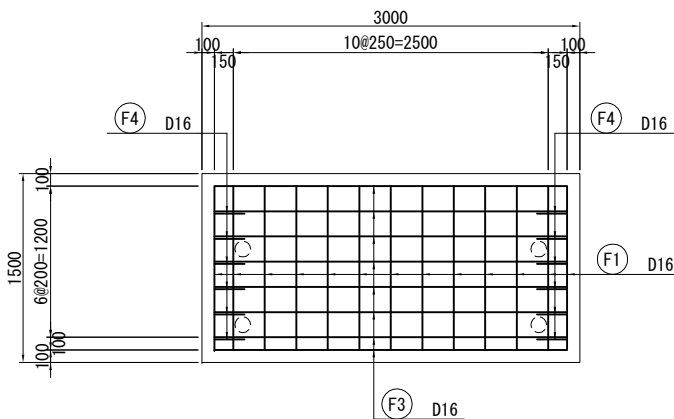


階段橋軸方向

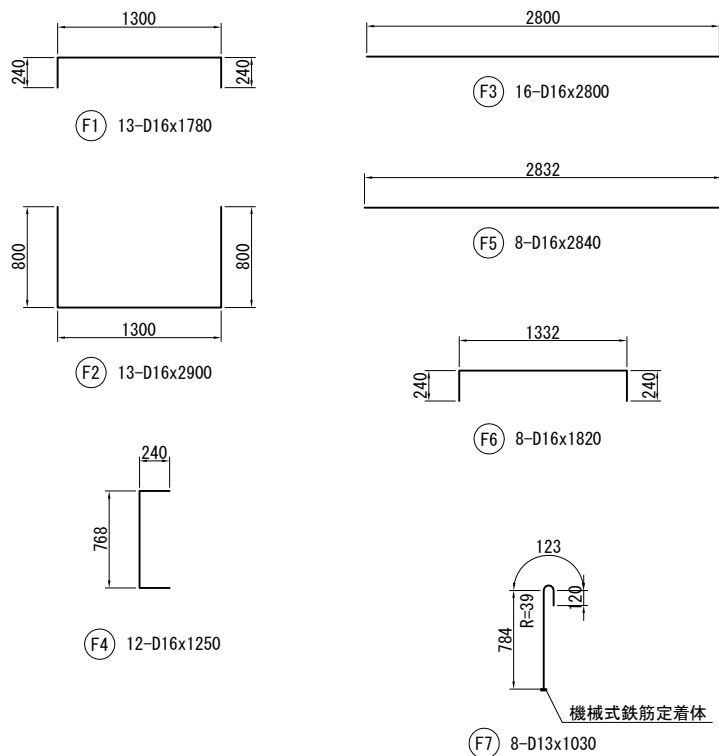
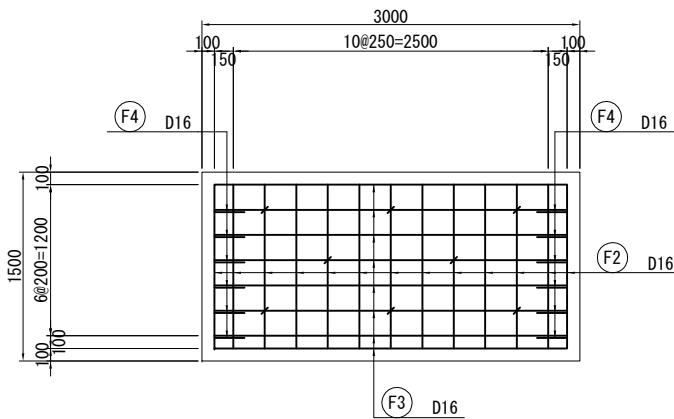
2 - 2



3 - 3



4 - 4



鉄筋表

(SD345)

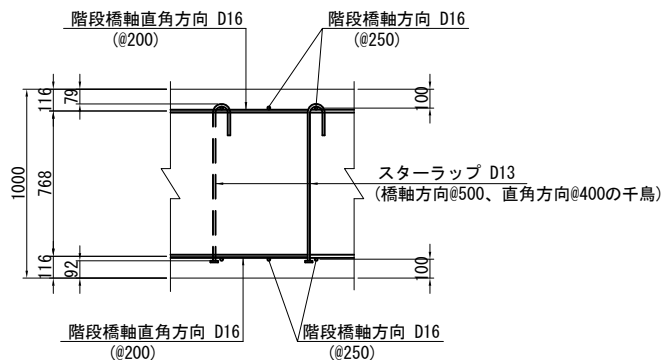
記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当質量	質量	摘要
F1	D16	1780	13	1.56	2.78	36	┌
F2	D16	2900	13	1.56	4.52	59	└
F3	D16	2800	16	1.56	4.37	70	—
F4	D16	1250	12	1.56	1.95	23	└
F5	D16	2840	8	1.56	4.43	35	—
F6	D16	1820	8	1.56	2.84	23	└
F7	D13	1030	8	0.995	1.02	8	└ (機械式定着)
						254	kg
				D13	8	kg	
				D16	246	kg	
				合 計	254	kg	

機械式鉄筋定着工法数量表

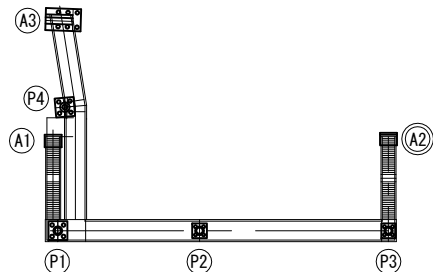
鉄筋径	箇 所 数					
	0<L≤1m	1m<L≤2m	2m<L≤3m	3m<L≤4m	4m<L≤5m	5m<L≤6m
D13	—	8	—	—	—	—
D16	—	—	—	—	—	—
D19	—	—	—	—	—	—
小 計	—	8	—	—	—	—
合 計	8					

かぶり 詳細図 S=1:20

階段橋軸直角方向



位置図



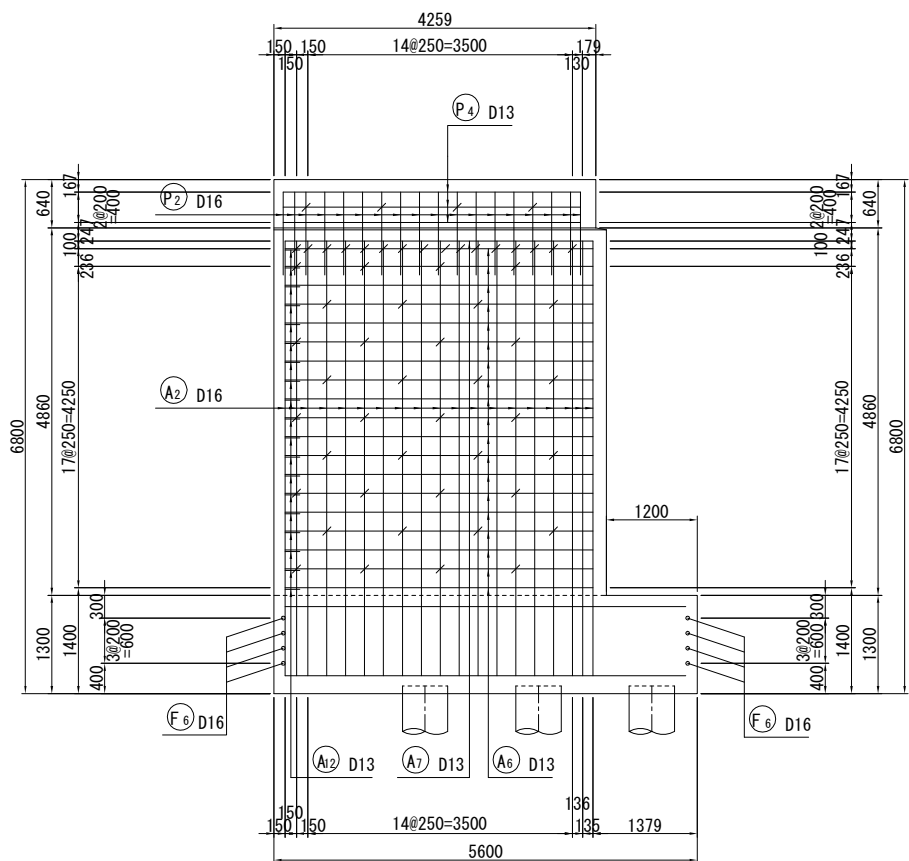
注1) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。
①道路橋示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
②機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

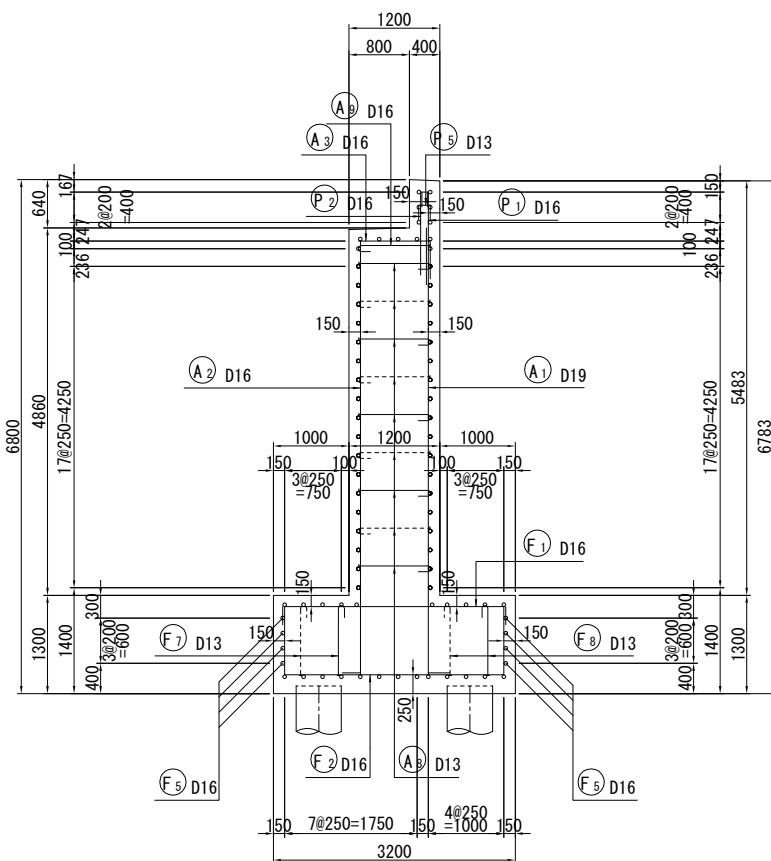
工 事 名	R7 横環南国道1号外歩道橋下部工事		
図 面 名	国道1号歩道橋A2橋台配筋図		
縮 尺	図面縮尺	図面番号	12 / 59
年 月 日	令和7年12月 日		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

国道1号歩道橋A3橋台配筋図(1) S=1:50

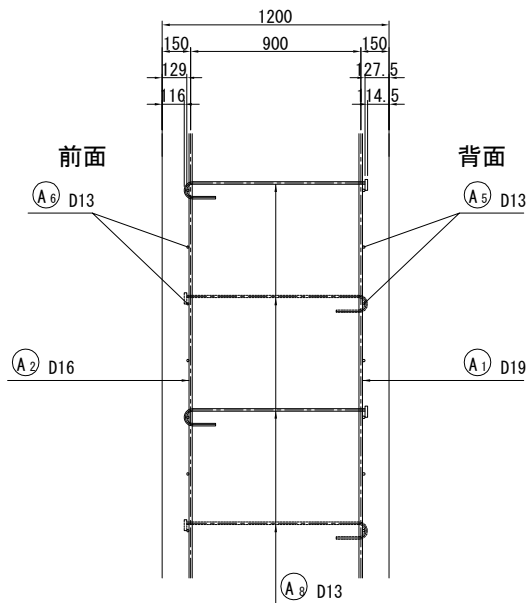
正面図
1-1



断面図
8-8

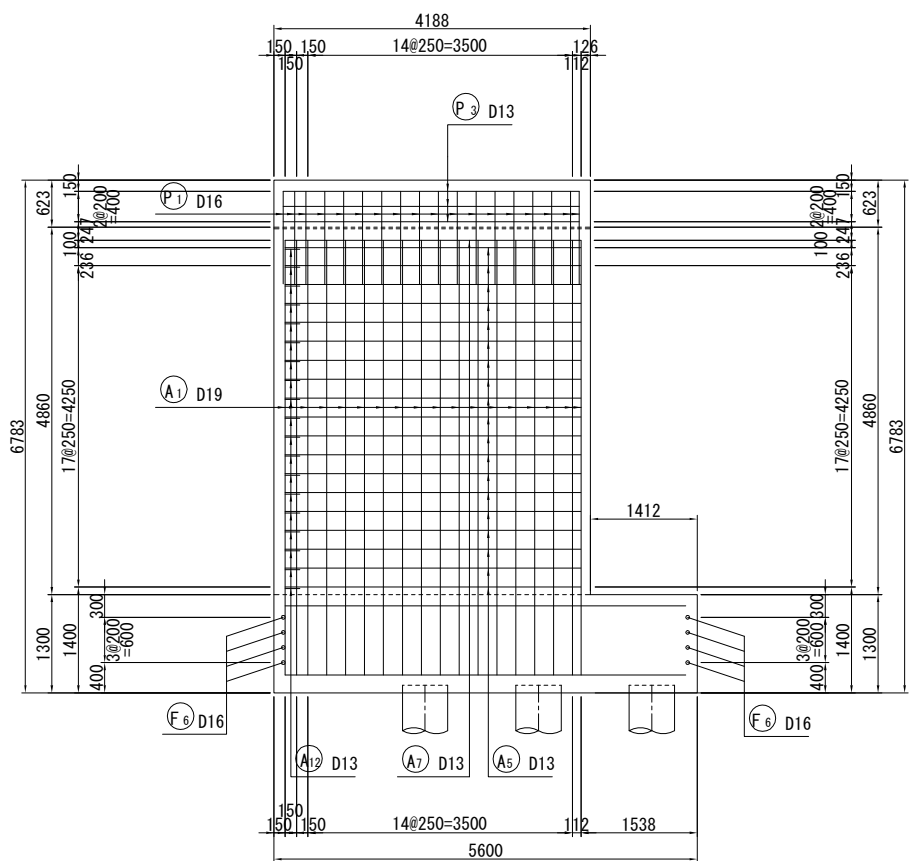


かぶり詳細図 S=1:20

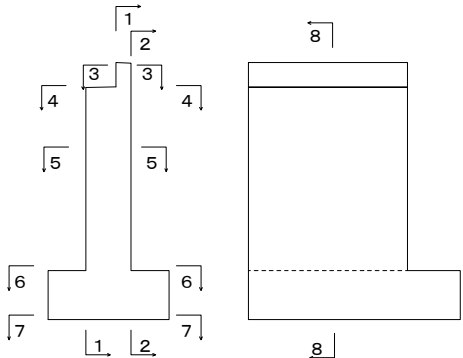
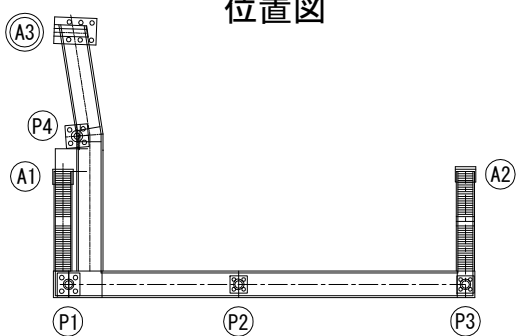


注) スターラップ (A9) は配力筋 (A5) (A6) に半円形フック及び定着体を掛けるものとし、千鳥配置とする。

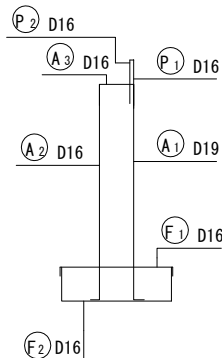
背面図
2-2



位置図



組立図



注1) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。
①道路橋示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
②機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

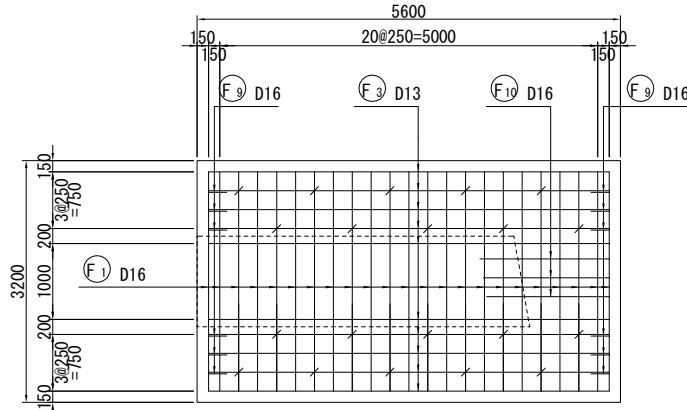
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工 事 名	R7 横環南国道1号外歩道橋下部工事		
図 面 名	国道1号歩道橋A3橋台配筋図(1)		
縮 尺	図示	図面番号	13 / 59
年 月 日	令和7年12月 日		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

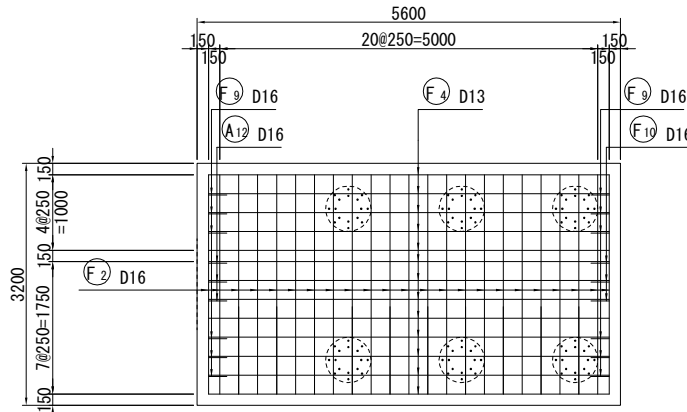
工 事 名	R7横環南国道1号外歩道橋下部工事		
図 面 名	国道1号歩道橋A3橋台配筋図(2)		
縮 尺	図示	図面番号	14 / 59
年 月 日	令和7年12月 日		
設計社社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道路事務所		

国道1号歩道橋A3橋台配筋図(3) S=1:50

底版上面図
6-6



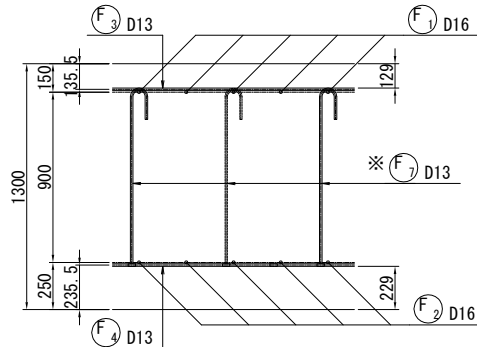
底版下面図
7-7



かぶり詳細図 S=1:20

(橋軸直角方向)

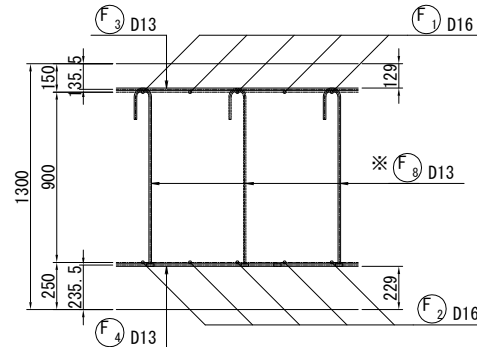
前フーティング



注) 前フーチングのスターラップ(F₇) は上面に半円形フックを配置する。
スターラップは主鉄筋(F₁)(F₂) にフックを掛けること。

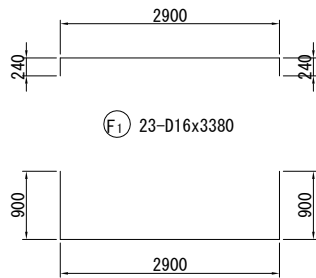
注) 後フーチングのスターラップ(F₈) は上面に半円形フックを配置する。
スターラップは主鉄筋(F₁)(F₂) にフックを掛けること。

後フーチング

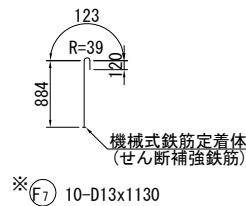


注) 前フーチングのスターラップ(F₇) は上面に半円形フックを配置する。
スターラップは主鉄筋(F₁)(F₂) にフックを掛けること。

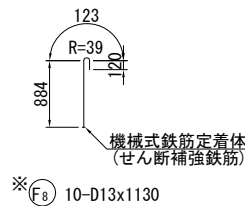
注) 後フーチングのスターラップ(F₈) は上面に半円形フックを配置する。
スターラップは主鉄筋(F₁)(F₂) にフックを掛けること。



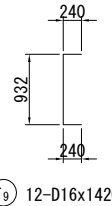
② 23-D16x4700



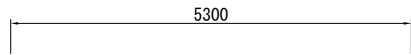
※(F7) 10-D13x1130



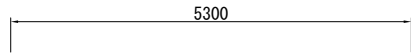
※(F₈) 10-D13x1130



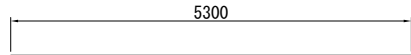
Ⓣ 12-D16x1420



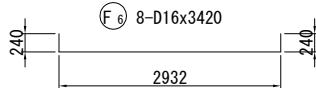
(F₃) 10-D13x5300



(F 4) 13-D13x5300



(F 5) 8-D16x5300



Ⓕ 8-D16x3420

鉄筋表

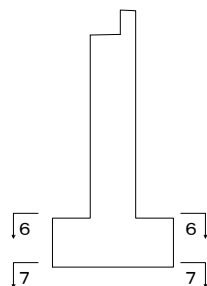
(SD345)

記 号	径	長さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	1本当たり質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
P1	D16	1330	18	1.56	2.07	37	┘
P2	〃	1200	18	〃	1.87	34	┘
P3	D13	3910	3	0.995	3.89	12	――
P4	〃	3940	3	〃	3.92	12	――
P5	〃	550	4	〃	0.55	2	┘
97 kg							
A1	D19	6030	18	2.25	13.57	244	┘
A2	D16	5980	19	1.56	9.33	177	┘
A3	〃	1900	17	〃	2.96	50	┘
A4	〃	1920	2	〃	3.00	6	┘
A5	D13	3920	19	0.995	3.90	74	――
A6	〃	4080	19	〃	4.06	77	――
A7	〃	4000	5	〃	3.98	20	―― (平場形)
A8	〃	1160	36	〃	1.15	41	―― (楕円形定形)
A9	D16	1190	16	1.56	1.86	30	―― (楕円形定形)
A10	〃	5980	3	〃	9.33	28	┘
A11	〃	5980	3	〃	9.33	28	┘
A12	D13	1330	19	0.995	1.32	25	┘
800 kg							
F1	D16	3380	23	1.56	5.27	121	┘
F2	〃	4700	23	〃	7.33	169	┘
F3	D13	5300	10	0.995	5.27	53	――
F4	〃	5300	13	〃	5.27	69	――
F5	D16	5300	8	1.56	8.27	66	――
F6	〃	3420	8	〃	5.34	43	┘
F7	D13	1130	10	0.995	1.12	11	┘ (楕円形定形)
F8	〃	1130	10	〃	1.12	11	┘ (楕円形定形)
F9	D16	1420	12	1.56	2.22	27	┘
F10	〃	2840	3	〃	4.43	13	┘ (平場形)
583 kg							
H1	D16	990	6	1.56	1.54	9	┘
H2	〃	990	6	〃	1.54	9	┘
H3	〃	1890	2	〃	2.95	6	┘
24 kg							
D19				244 kg			
D16				853 kg			
D13				407 kg			
合計				1504 kg			

機械式鉄筋定着工法数量表

鉄筋径	箇 所 数					
	$0 < L \leq 1m$	$1m < L \leq 2m$	$2m < L \leq 3m$	$3m < L \leq 4m$	$4m < L \leq 5m$	$5m < L \leq 6m$
D13	—	56	—	—	—	—
D16	—	16	—	—	—	—
D19	—	—	—	—	—	—
D22	—	—	—	—	—	—
小 計	—	72	—	—	—	—
合 計	72					

位置図



注1) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。

①道路橋示方書・同解説 (H29. 11 日本道路協会)

②機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28. 7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)

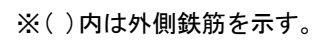
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

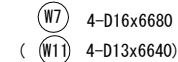
工 事 名	R7 模環南国道 1 号外歩道橋下部工事		
図 面 名	国道1号歩道橋A3橋台配筋図 (3)		
縮 尺	図示	図面番号	15 / 59
年 月 日	令和 7 年 12 月 日		
設計社社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

A3橋台ウイング部

背面図

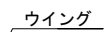
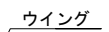
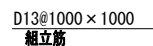


平面図(B-B)



※()内は外側鉄筋を示す。

ウイング



工 事 名	R7横環南国道1号外歩道橋下部工事		
図 面 名	国道1号歩道橋A3橋台配筋図(4)		
縮 尺	図示	図面番号	16 / 59
年 月 日	令和7年12月 日		
設計社社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

A3橋台地覆部

Technical drawing of a mechanical part with dimensions and labels. The drawing shows a cross-section of a component with a total width of 400 and a total height of 630. The top section has a width of 250 and a height of 91. The middle section has a width of 100 and a height of 75. The bottom section has a width of 100 and a height of 75. The part is labeled with J1, J2, J3, J4, and D13. The dimensions are given in millimeters (mm).

Technical drawing of a floor plan with dimensions and labels. The drawing shows a rectangular area with a total width of 4259 and a total height of 630. The width is divided into segments of 611, 255, 3057, 255, and 81. The height is divided into segments of 350 and 630. Two vertical lines are labeled "左側地覆" (Left side floor covering) and "右側地覆" (Right side floor covering). The drawing is a technical drawing of a floor plan, showing a rectangular area with dimensions and labels. The width is 4259, and the height is 630. The width is divided into segments of 611, 255, 3057, 255, and 81. The height is divided into segments of 350 and 630. Two vertical lines are labeled "左側地覆" (Left side floor covering) and "右側地覆" (Right side floor covering).

100
(102)

589

(J1) 1 3-D13x1470
(J1) 2 7-D13x1480

658

148

(J2) 1-D13x810

597

3

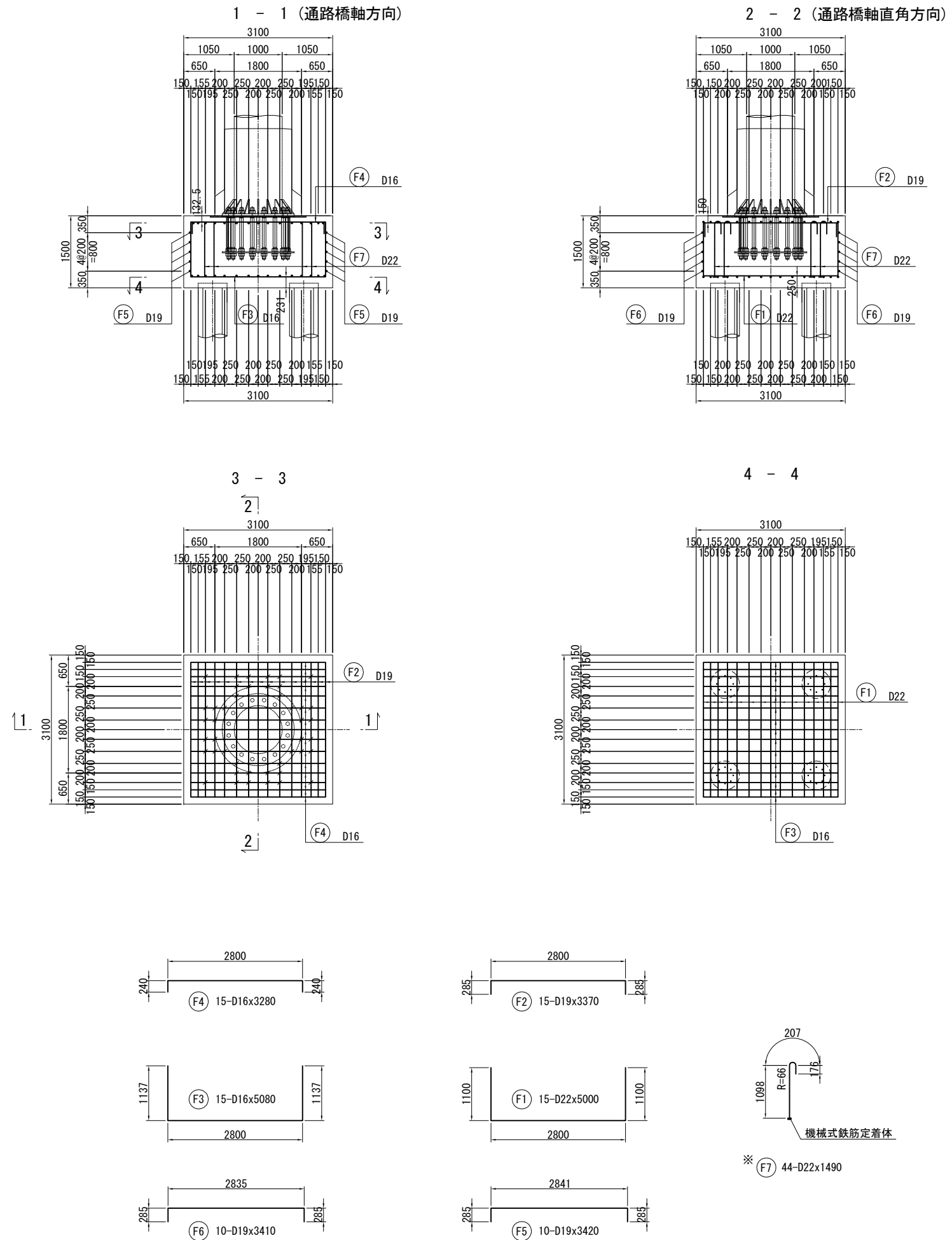
(J3) 1-D13x670

1274

(J4) 2-D13x1280

[illegible]

国道1号歩道橋P1橋脚配筋図 S=1:50



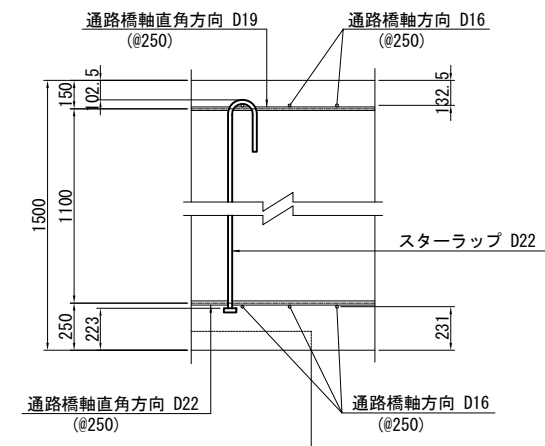
鉄筋表

[illegible]

機械式鉄筋定着工法数量表

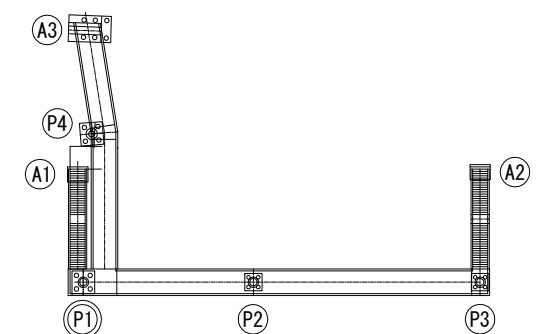
鉄筋径	箇 所 数					
	0<L≤1m	1m<L≤2m	2m<L≤3m	3m<L≤4m	4m<L≤5m	5m<L≤6m
D13	—	—	—	—	—	—
D16	—	—	—	—	—	—
D19	—	—	—	—	—	—
D22	—	44	—	—	—	—
小 計	—	44	—	—	—	—
合 計						44

かぶり 詳細図 S=1:20



注:フーチングのスターラップは、機械式定着鉄筋を使用する。

位置図



注1) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。

- ①道路橋示方書・解説(H29.11 日本道路協会)
- ②機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン(H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)

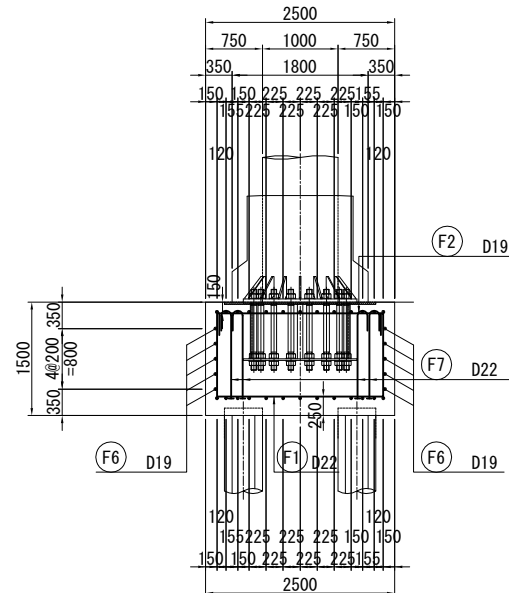
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円フックの設置方向を変更してもよい。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

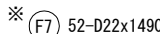
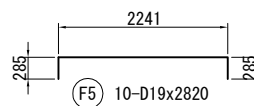
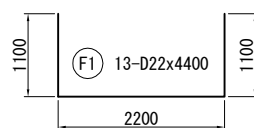
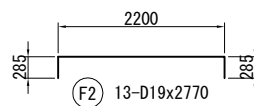
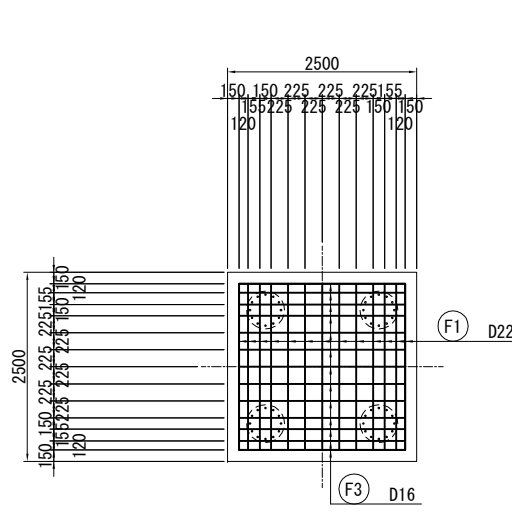
工 事 名	R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事		
図 面 名	国道1号歩道橋PI橋脚配筋図		
縮 尺	図 示	図面番号	18 / 59
年 月 日	令和 7 年 1 2 月 日		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

S=1 : 50

2 - 2 (通路橋軸直角方向)



4 - 4



鉄筋表

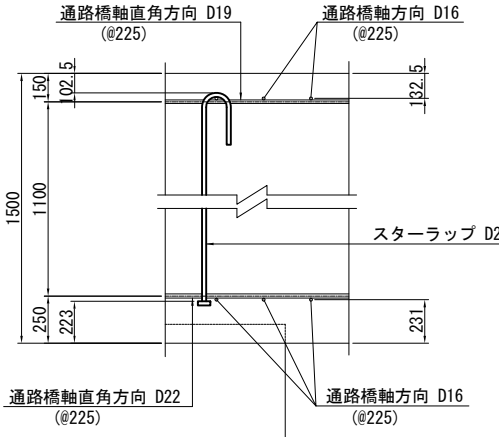
236	I (機械式定着)
760 kg	

機械式鉄筋定着工法数量表

鉄筋径	箇 所 数					
	0<L≤1m	1m<L≤2m	2m<L≤3m	3m<L≤4m	4m<L≤5m	5m<L≤6m
D13	—	—	—	—	—	—
D16	—	—	—	—	—	—
D19	—	—	—	—	—	—
D22	—	52	—	—	—	—
小 計	—	52	—	—	—	—
合 計						52

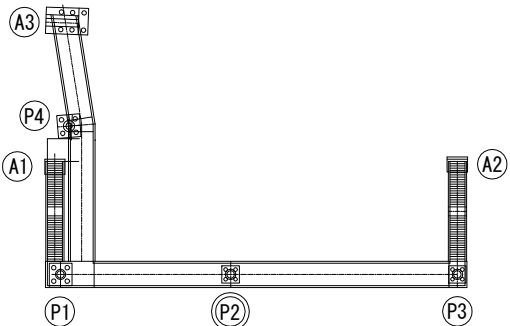
かぶり 詳細図 S=1:20

通路橋軸直角方向



注:フーチングのスターラップは、機械式定着鉄筋を使用する

位置図



①道路橋示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)

②機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン

(H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)

なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定

と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

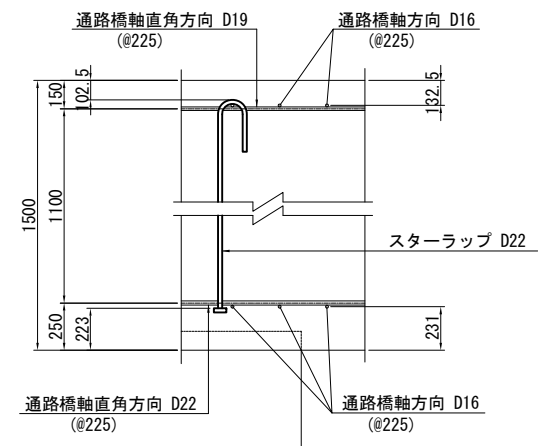
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工 事 名	R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事		
図 面 名	国道1号歩道橋P2橋脚配筋図		
縮 尺	図 示	図面番号	19 / 59
年 月 日	令和 7 年 1 2 月 日		
設計社社名	株式会社 綜合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

S=1 : 50

Technical drawing of a rectangular plate. The overall dimensions are 2500 (width) by 2500 (height). The drawing shows a grid of 10x10 squares. The top edge has dimensions: 150, 150, 225, 225, 225, 150, 150. The right edge has dimensions: 120, 120, 120, 120, 120, 120, 120, 120, 120, 120. The bottom edge has dimensions: 150, 150, 225, 225, 225, 150, 150. The left edge has dimensions: 120, 120, 120, 120, 120, 120, 120, 120, 120, 120. There are four circular features, each with a diameter of 200, located at the corners of the grid. The features are labeled F1, F2, F3, and F4. The feature F1 is at the top right corner, F2 is at the top left corner, F3 is at the bottom left corner, and F4 is at the bottom right corner. The drawing is a technical drawing of a rectangular plate with dimensions and features.

通路橋軸直角方向



注1) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。

- ①道路標示方書・同解説 (H29. 11 日本道路協会)
- ②機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28. 7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)

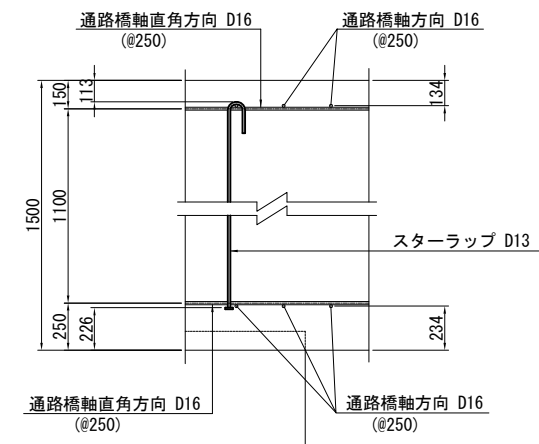
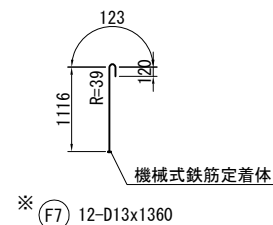
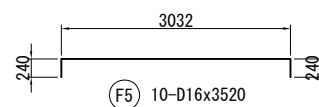
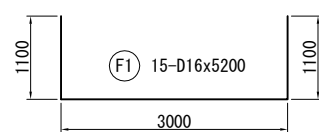
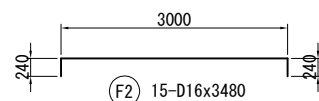
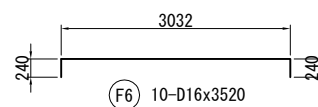
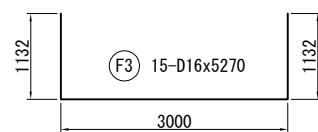
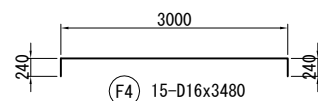
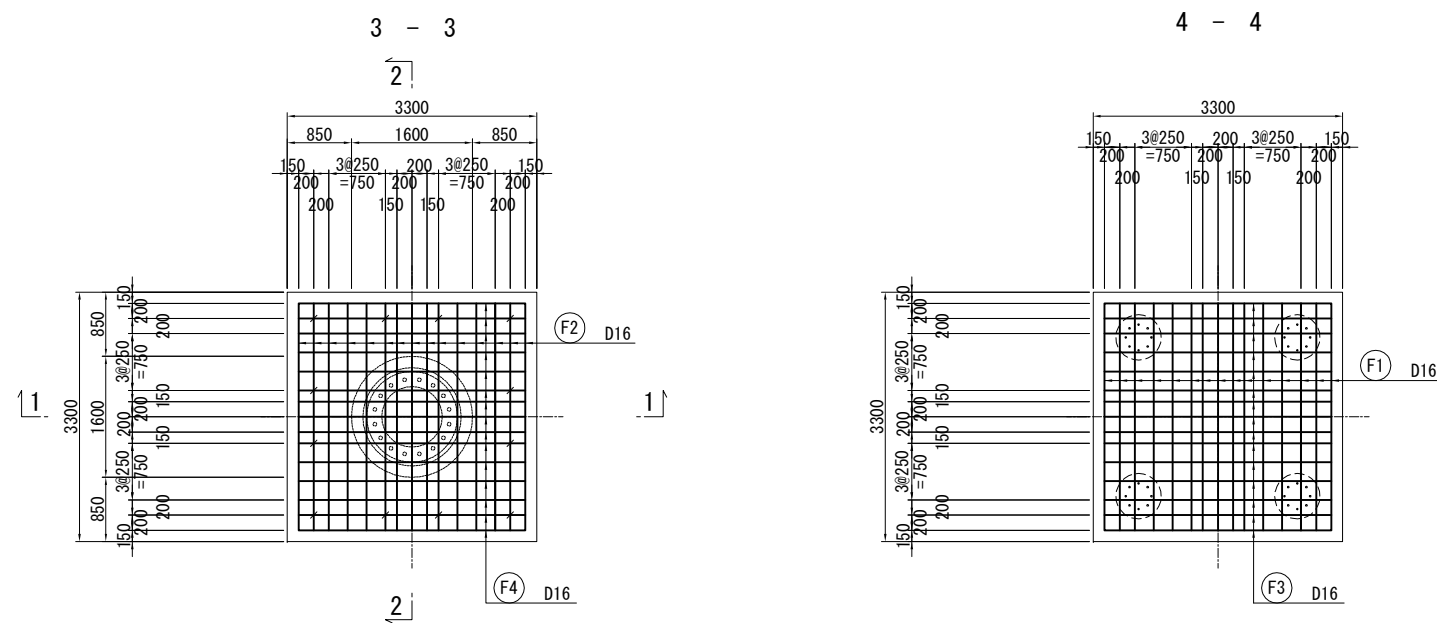
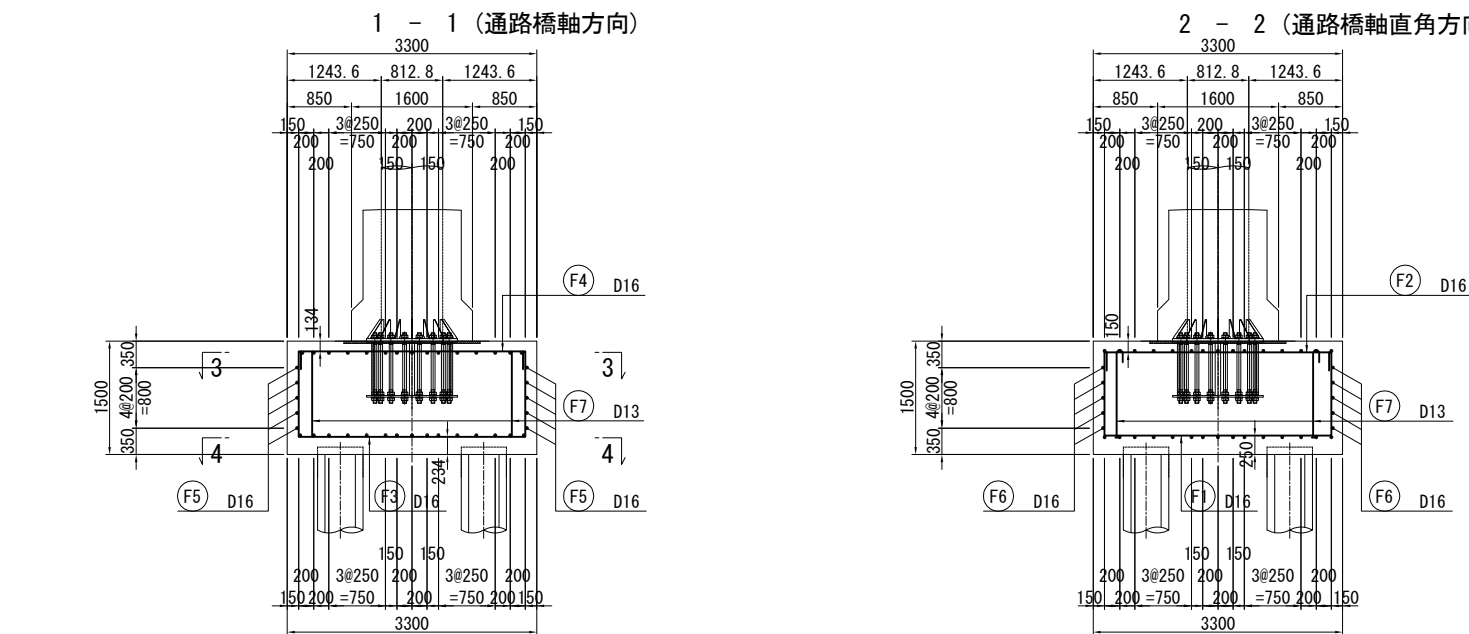
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

[illegible]

鉄筋径	箇 所 数					
	$0 < L \leq 1m$	$1m < L \leq 2m$	$2m < L \leq 3m$	$3m < L \leq 4m$	$4m < L \leq 5m$	$5m < L \leq 6m$
D13	—	—	—	—	—	—
D16	—	—	—	—	—	—
D19	—	—	—	—	—	—
D22	—	52	—	—	—	—
小 計	—	52	—	—	—	—
合 計						52

工 事 名	R7横環南国道1号外歩道橋下部工事		
図 面 名	国道1号歩道橋P3橋脚配筋図		
縮 尺	図 示	図面番号	20 / 59
年 月 日	令和 7 年 12 月 日		
設計社社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

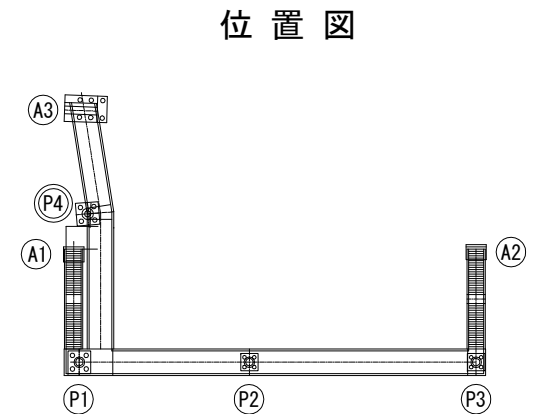
国道1号歩道橋P4橋脚配筋図 S=1:50



注：フーチングのスターラップは、機械式定着鉄筋を使用する。

かぶり 詳細図 S=1:20

通路橋軸直角方向



鉄筋表

[illegible]

機械式鉄筋定着工法数量表

鉄筋径	箇 所 数					
	$0 < L \leq 1m$	$1m < L \leq 2m$	$2m < L \leq 3m$	$3m < L \leq 4m$	$4m < L \leq 5m$	$5m < L \leq 6m$
D13	—	12	—	—	—	—
D16	—	—	—	—	—	—
D19	—	—	—	—	—	—
D22	—	—	—	—	—	—
小 計	—	12	—	—	—	—
合 計	12					

位置図

注1) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。

- ①道路橋示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
- ②機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)

なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工 事 名	R7横環南国道1号外歩道橋下部工事		
図 面 名	国道1号歩道橋P4橋脚配筋図		
縮 尺	図 示	図面番号	21 / 59
年 月 日	令和7年12月 日		
設計社社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

国道1号歩道橋A3橋台PHC杭詳細図

材料表

杭頭補強鉄筋							
種 別	径	長 さ	本 数	単位質量	一本当り質量	質 量	摘要
		(mm)		(kg/m)	(kg/本)	(kg)	
K1	D19	2310	8	2.25	5.20	42	(SD345)
K2	"	2310	8	2.25	5.20	42	(SD345)
K3	D13	2770	7	0.995	2.76	19	○ (SD345)
K4	"	1760	16	0.995	1.75	28	○ (SD345)

131 kg					
D19 84 kg					
D13 47 kg					
合 計 131 kg					

既製コンクリート杭						
種 別	杭 径	規 格	単位長	本 数	長 さ	摘要
	(mm)		(mm)	(本)	(mm)	
上杭	PHC杭	φ600	B種	6000	1	6000 (カットオフ含む)
中杭	PHC杭	φ600	A種	11000	1	11000
下杭	PHC杭	φ600	A種	12000	1	12000
杭 長					29000	mm

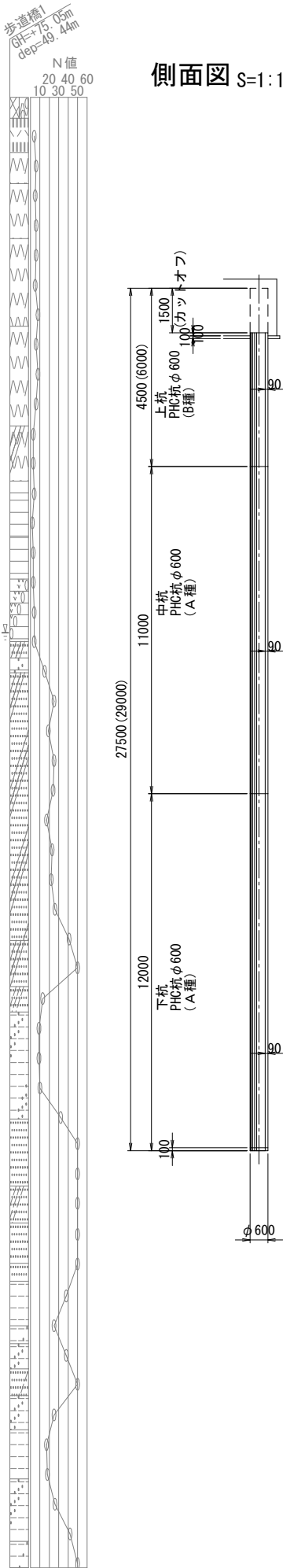
中詰めコンクリート (σ ck=24N/mm2)						
V=		0.420	^2×π×1/4×	1.600	=	0.222 m3
吊り型枠						
A=		0.420	^2×π×1/4	=	0.139 m2	

材料集計表 (杭 6 本当り)

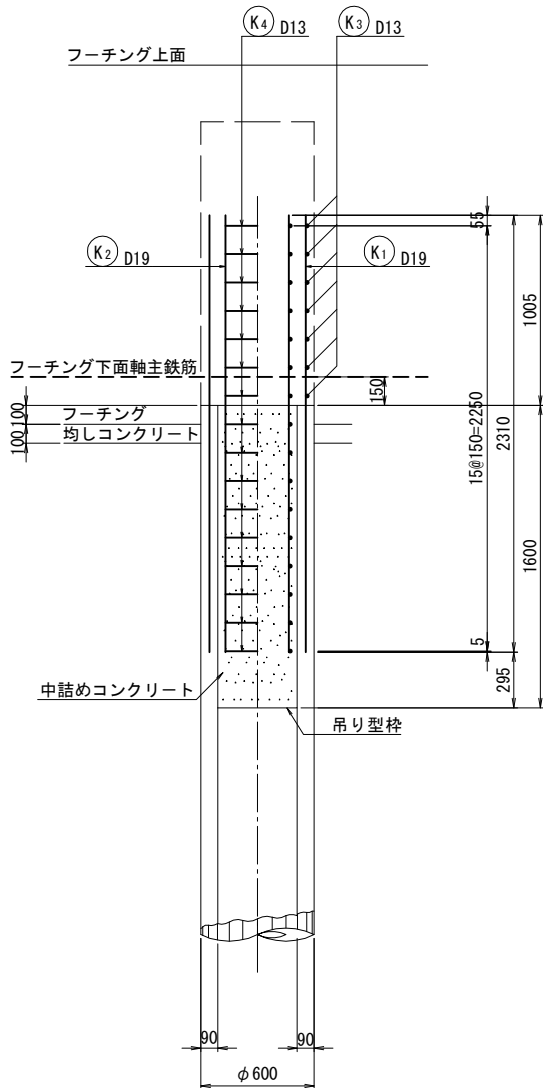
項 目					単位	数 量	摘要
杭頭補強鉄筋		SD345	D19		kg	504	
		SD345	D13		kg	282	
		合 計		kg	786		
上杭	PHC杭	φ600	B種	L= 6000	本	6	(カットオフ含む)
中杭	PHC杭	φ600	A種	L=11000	本	6	
下杭	PHC杭	φ600	A種	L=12000	本	6	
現場溶接					箇所	12	
中詰めコンクリート			σ ck=24N/mm2		m3	1.33	

※ 工法は、セメントミルク噴出攪拌方式とする。
高止まりを考慮し、1m段落ち位置を下げる。

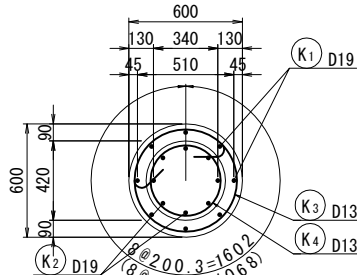
側面図 S=1:100



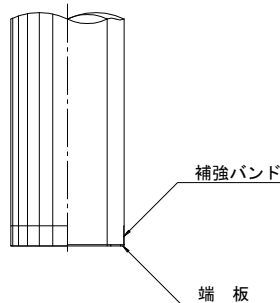
杭頭部詳細図 S=1:20



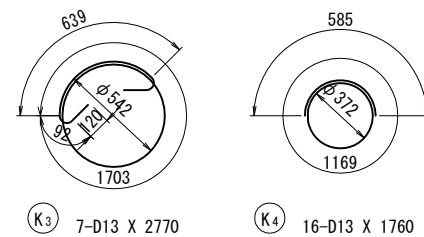
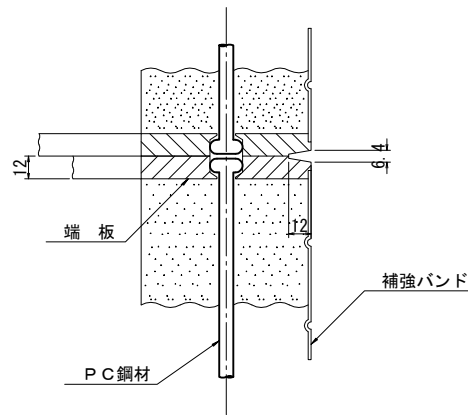
杭頭部断面詳細図 S=1:20



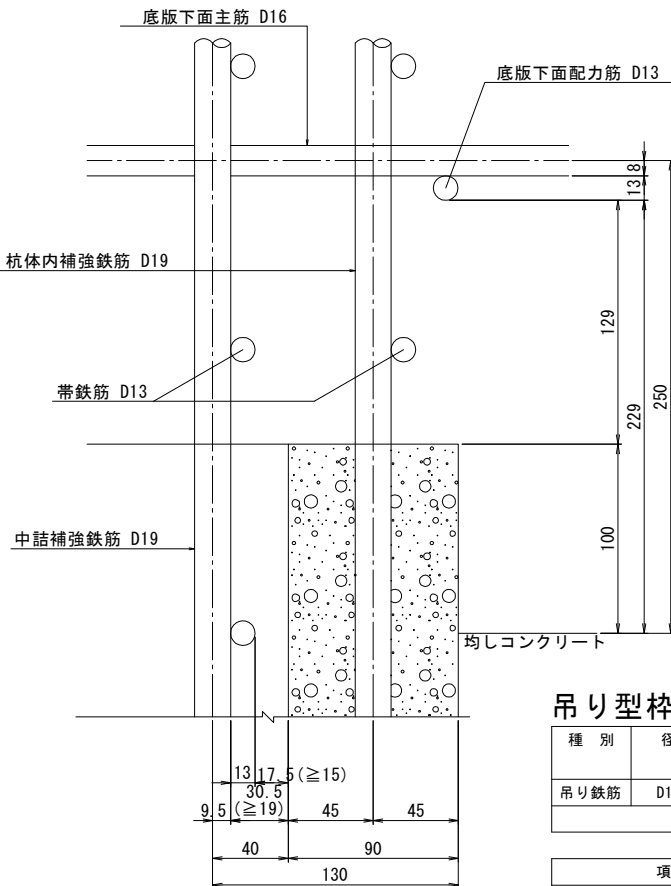
杭先端詳細図 S=1:20



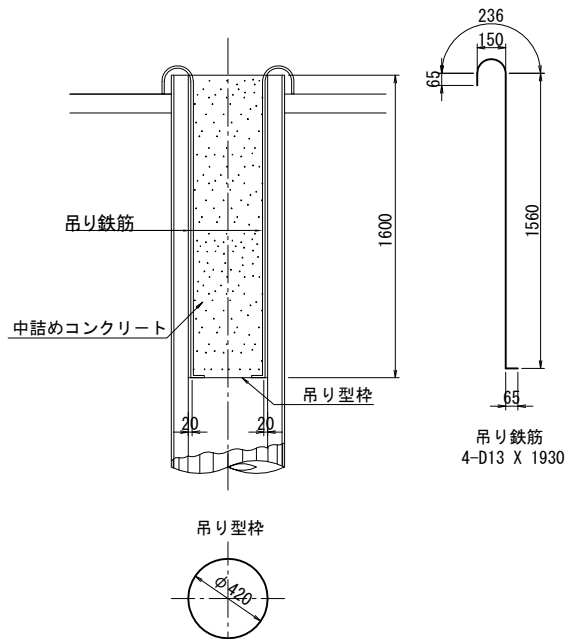
継手詳細図 S=1:2



杭頭鉄筋かぶり詳細図 S=1:2



吊り型枠 (参考) S=1:20



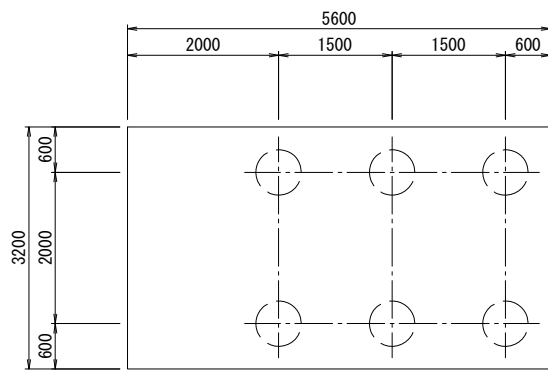
吊り型枠 材料表

種 別	径	長 さ	本 数	単位質量	一本当り質量	質 量	摘要
		(mm)		(kg/m)	(kg/本)	(kg)	
吊り鉄筋	D13	1930	4	0.995	1.92	8	杭1本当り (SD345)
8 kg							

項 目	単位	数 量	摘 要
吊り型枠 PL -φ420 X 3.2	kg	3.48	杭 1本当り (SS400)

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

杭配置図 S=1:50



工 事 名	R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事		
図 面 名	国道1号歩道橋A3橋台PHC杭詳細図		
縮 尺	図 示	図面番号	22 / 59
年 月 日	令和 7 年 1 2 月 日		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

国道1号歩道橋P1橋脚PHC杭詳細図

材料表

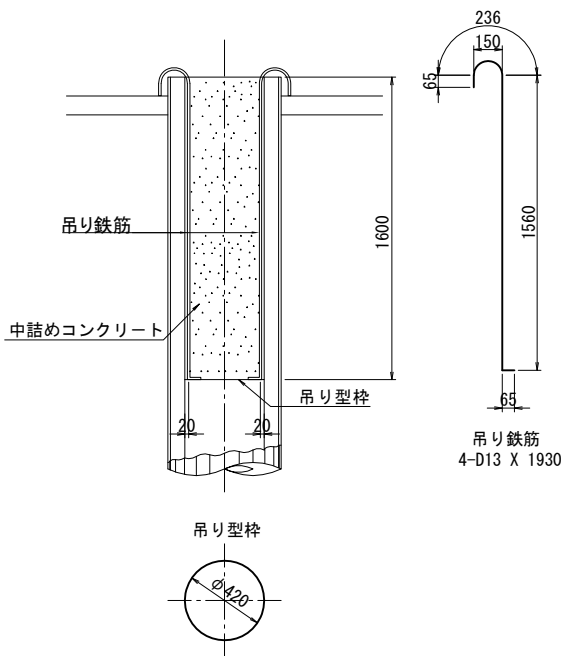
杭頭補強鉄筋							
種 別	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘要
K1	D22	2580	8	3.04	7.84	63	(SD345)
K2	D13	2200	18	0.995	2.19	39	○ (SD345)
						102 kg	
						D22	63 kg
						D13	39 kg
合 計						102 kg	
既製コンクリート杭							
種 別		杭 径 (mm)	規 格	単位長 (mm)	本 数 (本)	長 さ (mm)	摘要
上杭	PHC杭	φ600	C種	5000	1	5000	
中杭	PHC杭	φ600	A種	11000	1	11000	
下杭	PHC杭	φ600	A種	11000	1	11000	
杭 長						27000	mm
中詰めコンクリート (σck=24N/mm2)							
V=		0.420	$\sqrt{2} \times \pi \times 1/4 \times$	1.600	=	0.222	m3
吊り型枠							
A=		0.420	$\sqrt{2} \times \pi \times 1/4$		=	0.139	m2

材料集計表

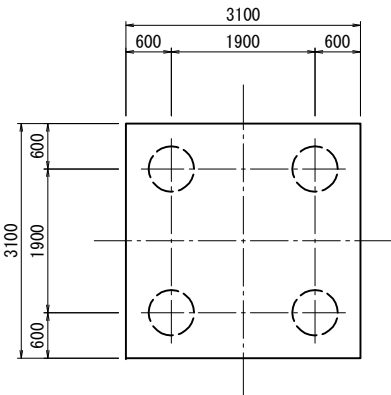
項 目					単位	数 量	摘 要
杭頭補強鉄筋	SD345	D22			kg	252	
	SD345	D13			kg	156	
		合 計			kg	408	
上杭	PHC杭	φ600	C種	L= 5000	本	4	
中杭	PHC杭	φ600	A種	L=11000	本	4	
下杭	PHC杭	φ600	A種	L=11000	本	4	
現場溶接					箇所	8	
中詰めコンクリート					σck=24N/mm2	m3	0.89

※ 工法は、セメントミルク噴出攪拌方式とする。
高止まりを考慮し、1m段落ち位置を下げる。

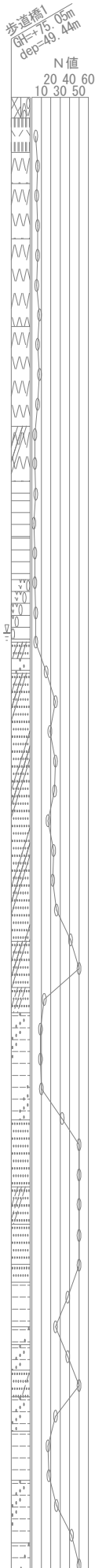
吊り型枠 (参考) S=1:20



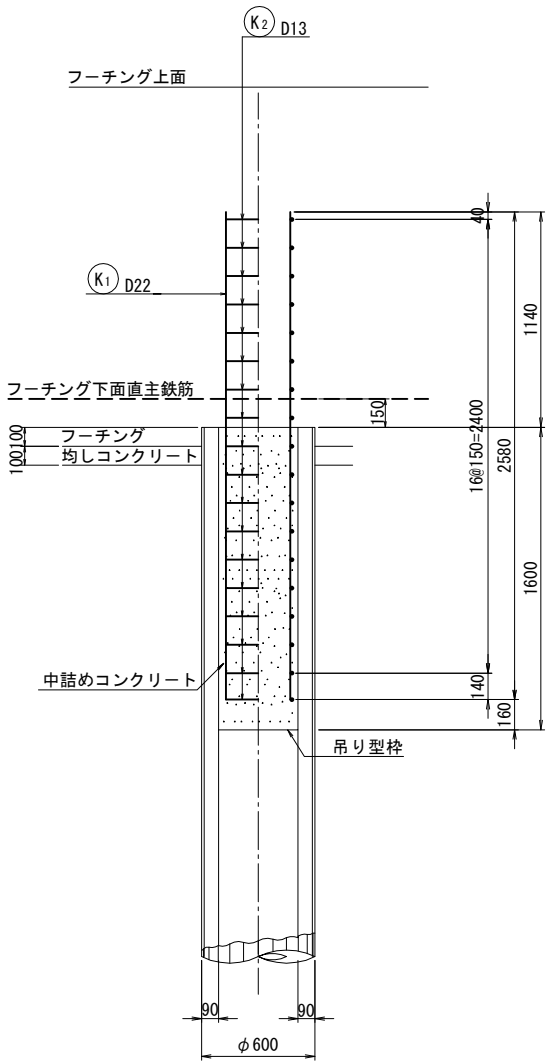
杭配置図 S=1:50



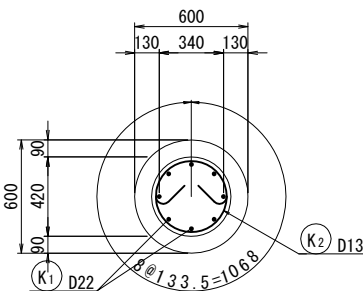
側面図 S=1:100



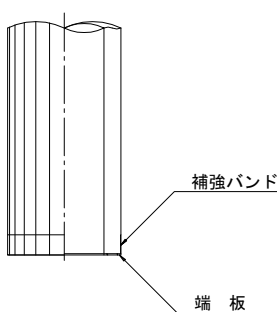
杭頭部詳細図 S=1:20



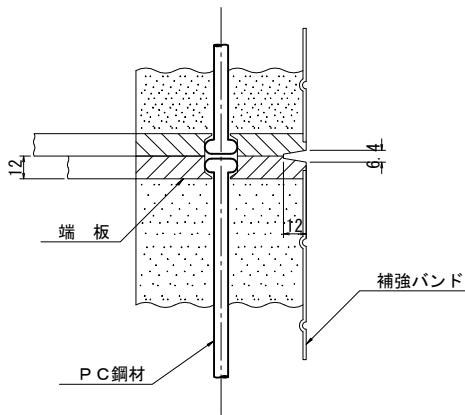
杭頭部断面詳細図 S=1:20



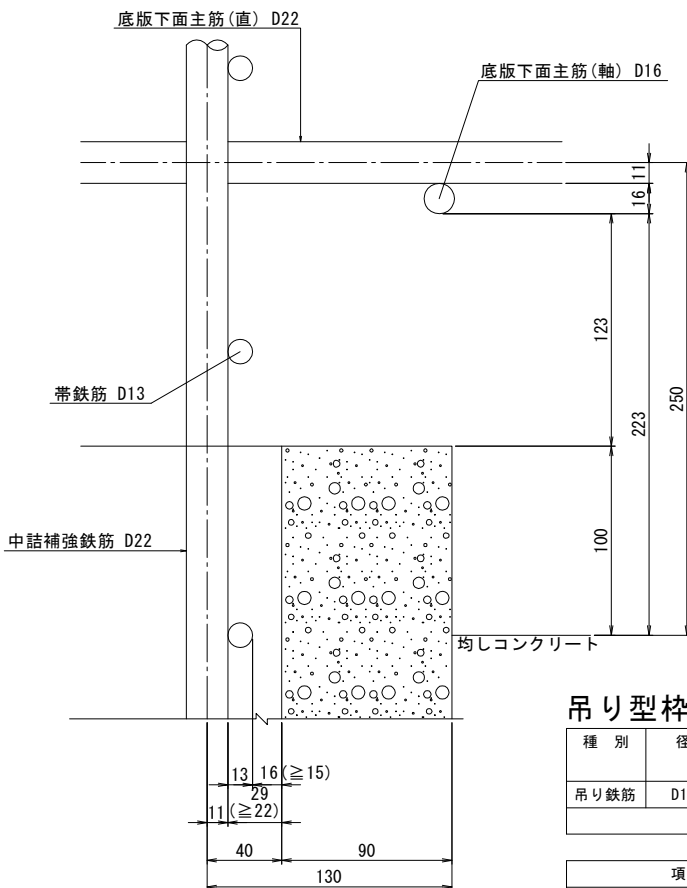
杭先端詳細図 S=1:20



継手詳細図 S=1:2



杭頭鉄筋かぶり詳細図 S=1:5



吊り型枠 材料表

種 別	径	長 さ	本 数	単位質量	一本当り質量	質 量	摘 要
		(mm)		(kg/m)	(kg/本)	(kg)	
吊り鉄筋	D13	1930	4	0.995	1.92	8	杭1本当り (SD345)
						8 kg	

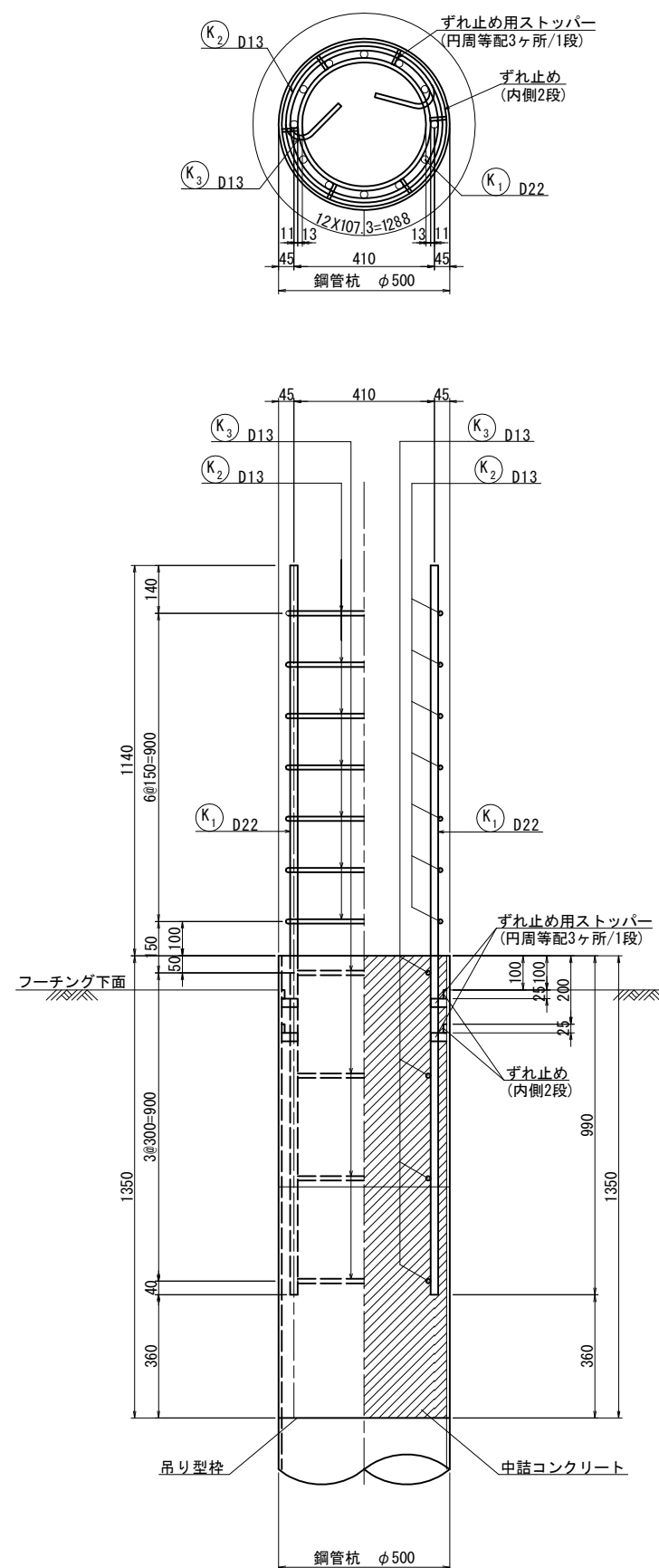
項 目	単位	数 量	摘 要
吊り型枠 PL-φ420 X 3.2	kg	3.48	杭 1本当り (SS400)

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工 事 名	R7横環南国道1号外歩道橋下部工事		
図 面 名	国道1号歩道橋P1橋脚PHC杭詳細図		
縮 尺	図 示	図面番号	23 / 59
年 月 日	令和7年12月 日		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

杭頭詳細図 S=1:10

Technical drawing of a vertical steel column section. The column has a diameter of 500mm. It is divided into four main sections: 6500mm (top), 6500mm (middle), 6500mm (lower middle), and 7000mm (bottom). The bottom section is further divided into 6000mm and 1000mm. The column is supported by a base plate (工場溶接) and has a detail view 'a-a' at the bottom. The column is made of SKK490 steel. The drawing shows various components including 回転金具 (rotating joint), 吊金具 (hanging joint), 現場継手溶接部 (field joint welding part), and 先端羽根部詳細図 (detail view of the tip of the feather root).



(杭1本当り)

種別	形状寸法	長さ (mm)	単位	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	材質	摘要
杭本体									
PILE	φ500×9	6500	kg	1	109	708.5	709	SKK490	鋼管本体 上杭
PILE	φ500×9	6500	kg	1	109	708.5	709	SKK490	鋼管本体 中杭-1
PILE	φ500×9	6500	kg	1	109	708.5	709	SKK490	鋼管本体 中杭-2
PILE	φ500×9	6000	kg	1	109	654.0	654	SKK490	鋼管本体 下杭
PILE	φ500×12	1000	kg	1	144	144.0	144	SKK490	鋼管本体 下杭
							2925 kg		
杭頭、継手、杭先端									
PL	25×9	1451	kg	2	1.77	2.568	5.1	SS400	ずれ止め
PL	25×9	50	kg	6	1.77	0.089	0.5	SS400	ずれ止めストッパー
PL	50×4.5	1500	kg	3	1.77	2.655	8.0	SS400	裏当てリング
PL	6×12	30	kg	12	0.565	0.017	0.2	SS400	裏当てリングストッパー
PL	100×12	120	kg	8	9.42	1.130	9.0	SM490A	吊金具(1)
PL	125×25	1789	kg	1	24.53	43.884	43.9	SM490A	杭先端羽根部
PL	22×150	180	kg	8	25.91	4.664	37.3	SS400	鋼管回転金具(参考)
							104.0 kg		
鉄筋									
K 1	D22	2130	kg	12	3.04	6.48	78	SD345	
K 2	D13	2410	kg	7	0.995	2.40	17	SD345	⊙
K 3	"	1770	kg	4	0.995	1.76	7	SD345	○
							102 kg		
中詰めコンクリート（σ_{ck}=24N/mm²）									
V = 0.482 × π × 1/4 × 1.350 = 0.246 m³									

一基当り 鋼管数量 4本

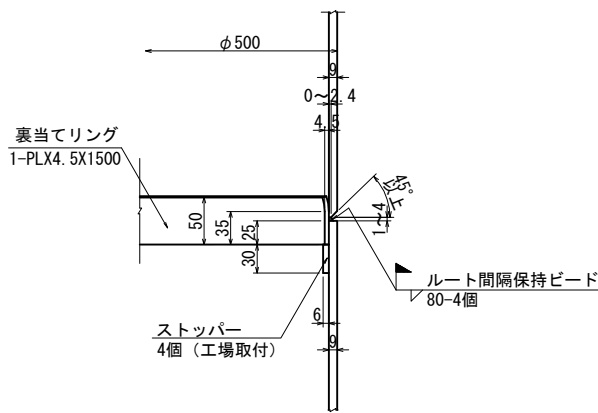
項 目	寸 法	単 位	杭一本当り	数 量 (kg)	摘 要
鋼管本体	φ 500×9	kg	2781	11124	SKK490
	φ 500×12	kg	144	576	SKK490
小計				11700	kg
杭頭鉄筋	D22	kg	78	312	SD345
	D13	kg	24	96	SD345
小計				408	kg
中詰コンクリート		m ³	0.25	1.00	σ _{ck} =24N/mm ²

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

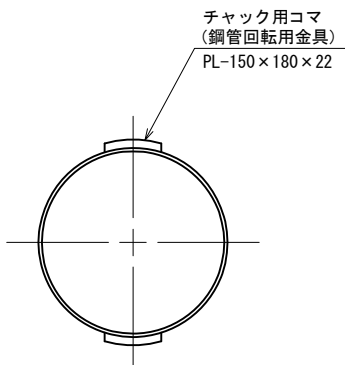
工 事 名	R7横環南国道1号外歩道橋下部工事		
図 面 名	国道1号歩道橋P2橋脚鋼管杭詳細図(1)		
縮 尺	図 示	図面番号	24 / 59
年 月 日	令和7年12月 日		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

国道1号歩道橋P2橋脚鋼管杭詳細図(2)

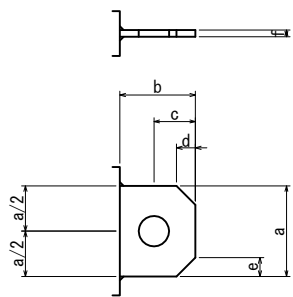
“ a ” 部詳細図 S=1:4



回転金具詳細図 S=1:10

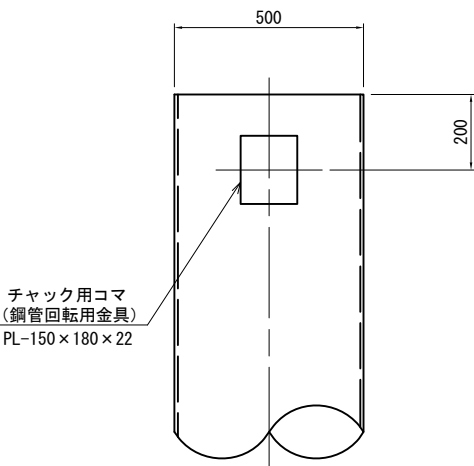
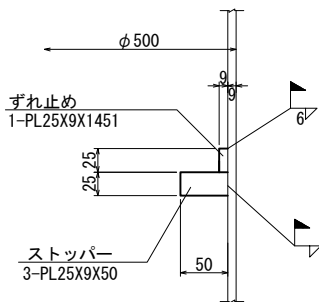


吊金具詳細図 S=1:5

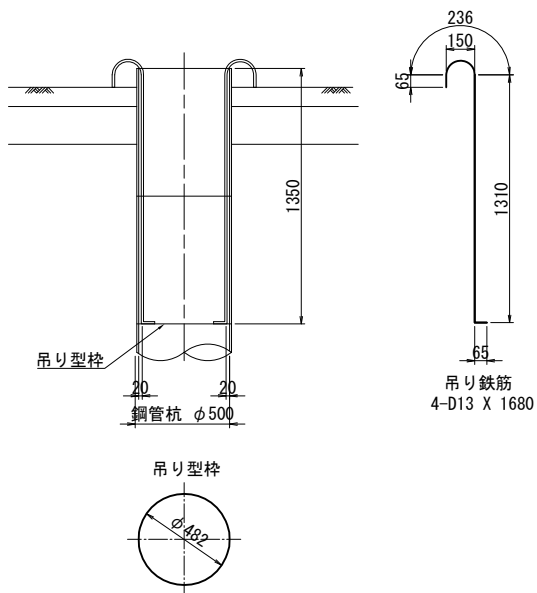


最大吊加重(t)	a	b	c	d	e	f	φ	t'	備 注
3以下	120	100	55	25	25	12	40	6	吊金具(1)
3~5以下	120	100	55	25	25	16	40	9	吊金具(2)
5~10以下	200	150	90	30	30	22	65	15	吊金具(3)

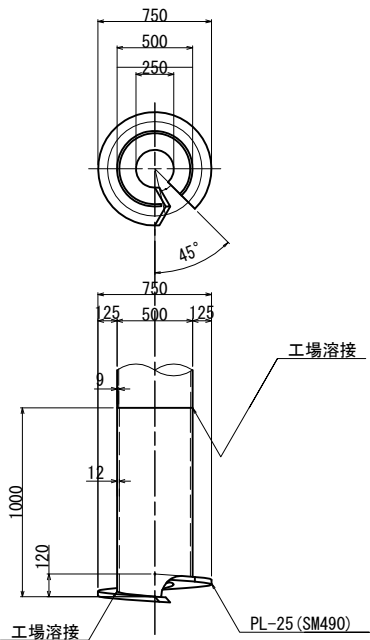
ずれ止め詳細図 S=1:4



吊り型枠 (参考) S=1:20



先端羽根部詳細図 S=1:20



吊り型枠 材料表

種 別	径	長 さ	本 数	単位質量	一本当り質量	質 量	摘 要
		(mm)		(kg/m)	(kg/本)	(kg)	
吊り鉄筋	D13	1680	4	0.995	1.67	7	杭1本当り (SD345)
7 kg							

項 目	単位	数 量	摘 要
吊り型枠 PL -φ482 X 3.2	kg	4.58	杭 1本当り (SS400)

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工 事 名	R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事		
図 面 名	国道1号歩道橋P2橋脚鋼管杭詳細図(2)		
縮 尺	図 示	図面番号	25 / 59
年 月 日	令和 7 年 1 2 月 日		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

国道1号歩道橋P3橋脚鋼管杭詳細図(1)

材 料 表

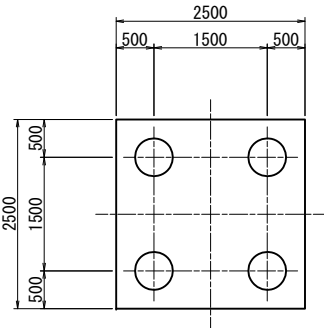
(杭1本当たり)

種 別	形状寸法	長 さ (mm)	単 位	本 数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	材 質	摘 要
杭本体									
PILE	φ 500×9	7000	kg	1	109	763.0	763	SKK490	鋼管本体 上杭
PILE	φ 500×9	7000	kg	1	109	763.0	763	SKK490	鋼管本体 中杭-1
PILE	φ 500×9	7000	kg	1	109	763.0	763	SKK490	鋼管本体 下杭-2
PILE	φ 500×9	6000	kg	1	109	654.0	654	SKK490	鋼管本体 下杭
PILE	φ 500×12	1000	kg	1	144	144.0	144	SKK490	鋼管本体 下杭
							3087 kg		
杭頭、継手、杭先端									
PL	25×9	1451	kg	2	1.77	2.568	5.1	SS400	ずれ止め
PL	25×9	50	kg	6	1.77	0.089	0.5	SS400	ずれ止めストッパー
PL	50×4.5	1500	kg	3	1.77	2.655	8.0	SS400	裏当てリング
PL	6×12	30	kg	12	0.565	0.017	0.2	SS400	裏当てリングストッパー
PL	100×12	120	kg	8	9.42	1.130	9.0	SM490A	吊金具(1)
PL	125×25	1789	kg	1	24.53	43.884	43.9	SM490A	杭先端羽根部
PL	22×150	180	kg	8	25.91	4.664	37.3	SS400	鋼管回転金具(参考)
							104.0 kg		
鉄筋									
K 1	D22	2130	kg	12	3.04	6.48	78	SD345	⊥
K 2	D13	2410	kg	7	0.995	2.40	17	SD345	⊙
K 3	〃	1770	kg	4	0.995	1.76	7	SD345	○
							102 kg		
中詰めコンクリート (σck=24N/mm2)									
V= 0.482					$\sqrt{2} \times \pi \times 1/4 \times 1.350$		=	0.246 m3	

材料集計表

項 目	寸 法	単 位	杭一本当り	一基当り 鋼管数量 4本	
				数 量 (kg)	摘 要
鋼管本体	φ 500×9	kg	2943	11772	SKK490
	φ 500×12	kg	144	576	SKK490
小計				12348 kg	
杭頭鉄筋	D22	kg	78	312	SD345
	D13	kg	24	96	SD345
小計				408 kg	
中詰めコンクリート					σck=24N/mm²
	m³	0.25	1.00		

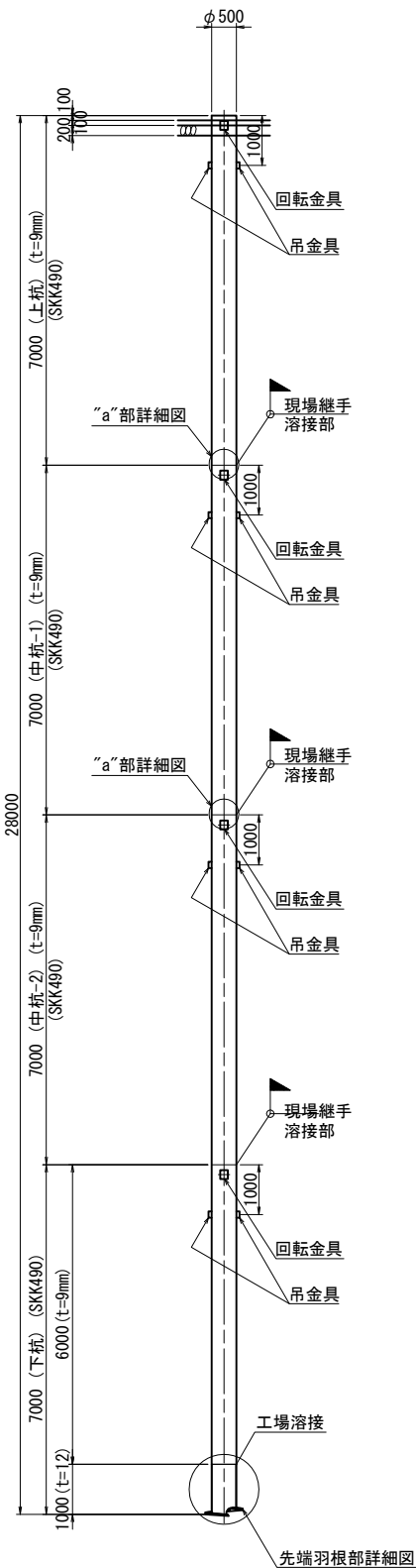
杭配置図 S=1:50



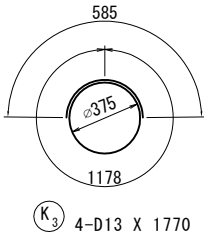
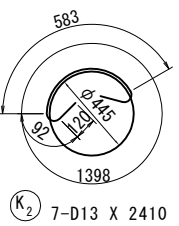
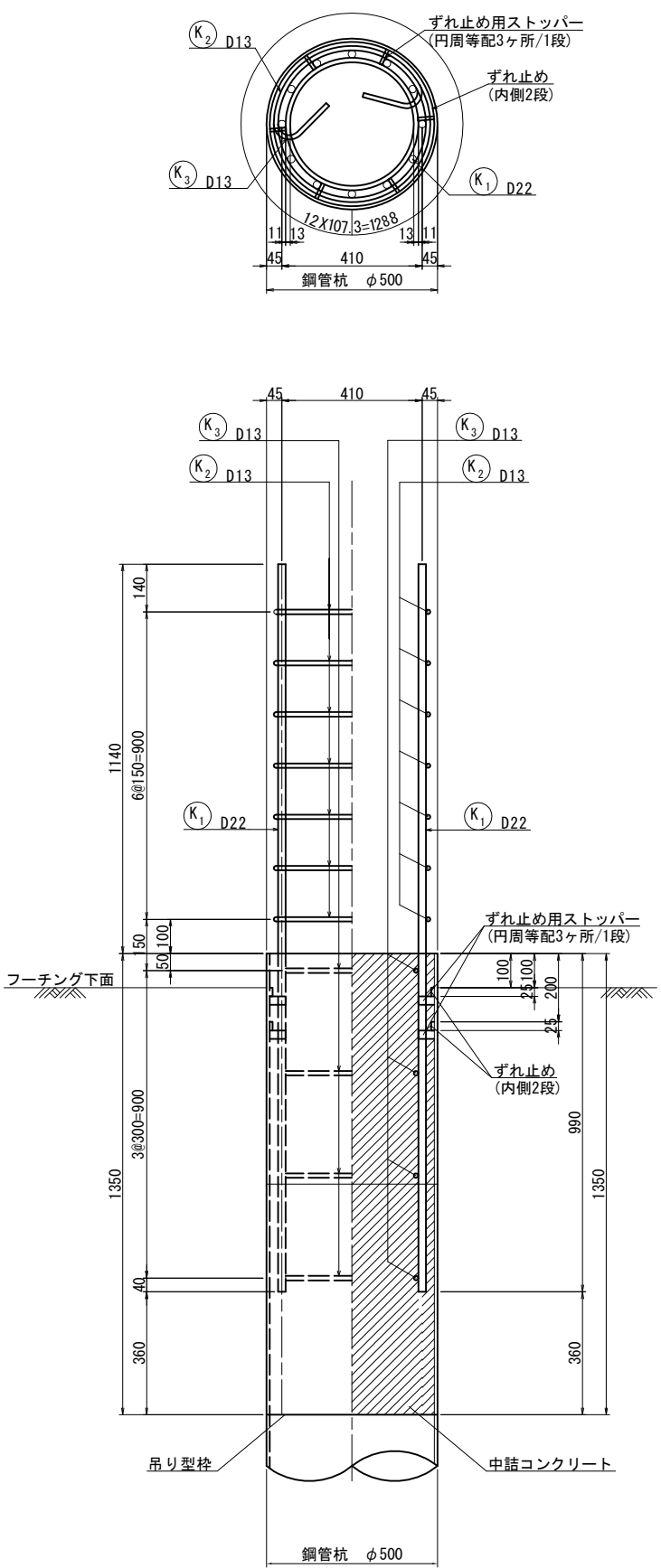
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工 事 名	R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事			
図 面 名	国道1号歩道橋P3橋脚鋼管杭詳細図(1)			
縮 尺	図 示	図面番号	26 / 59	
年 月 日	令和 7 年 1 2 月 日			
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント			
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所			

杭構成図 S=1:75



杭頭詳細図 S=1:10



Ⓚ1 12-D22 X 2130

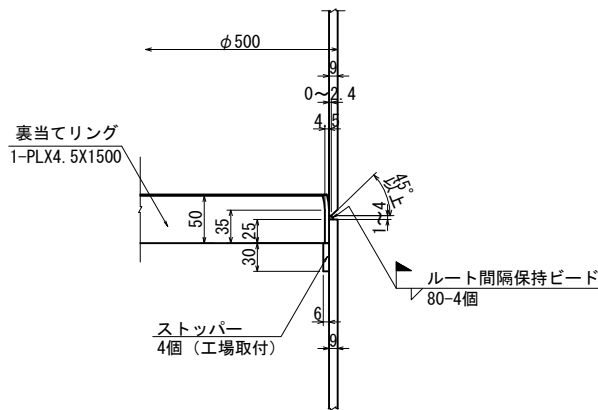
2130

歩道橋3
GH=+66.78m
dep=34.40m

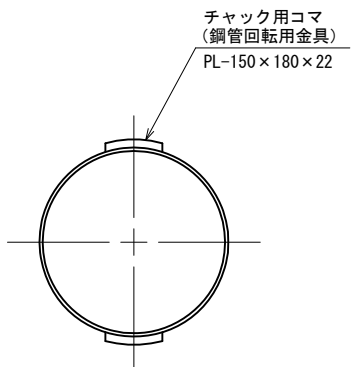
N 値
20 40 60
10 30 50

国道1号歩道橋P3橋脚鋼管杭詳細図(2)

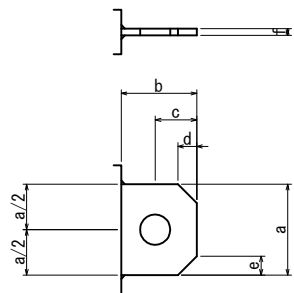
“a”部詳細図 S=1:4



回転金具詳細図 S=1:10

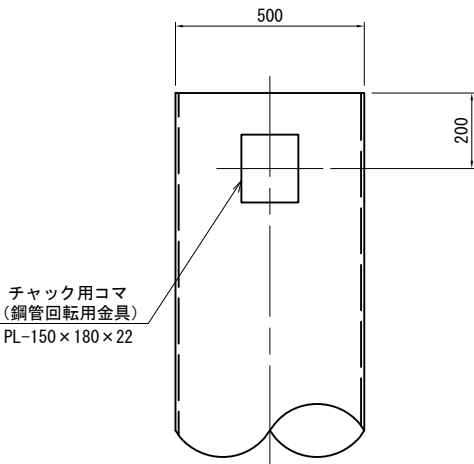
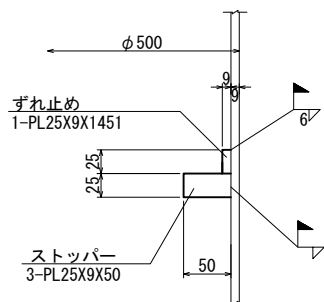


吊金具詳細図 S=1:5

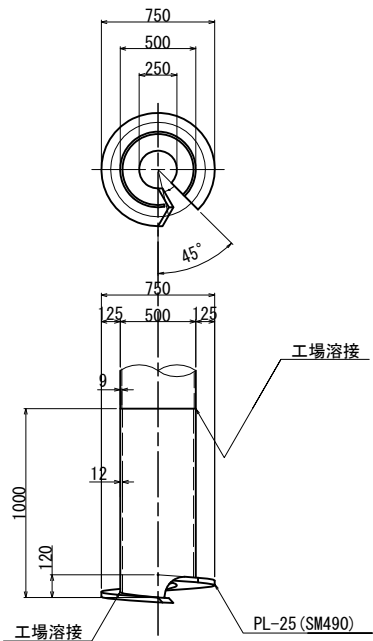


最大吊加重 (t)	a	b	c	d	e	f	φ	t'	備 注
3以下	120	100	55	25	25	12	40	6	吊金具 (1)
3~5以下	120	100	55	25	25	16	40	9	吊金具 (2)
5~10以下	200	150	90	30	30	22	65	15	吊金具 (3)

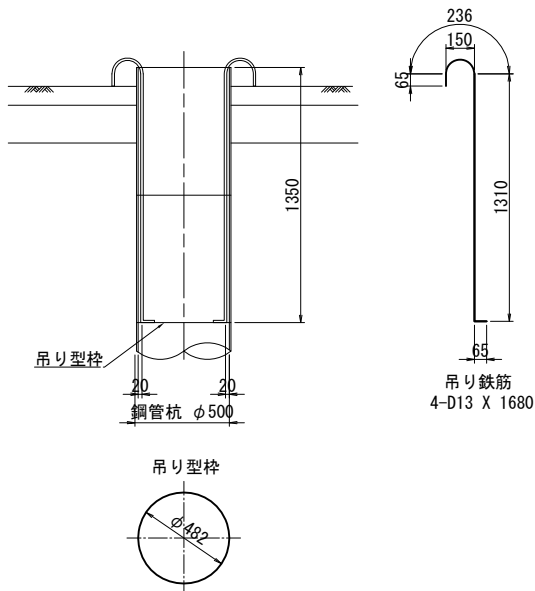
ずれ止め詳細図 S=1:4



先端羽根部詳細図 S=1:20



吊り型枠（参考） S=1:20



吊り型枠 材料表

種 別	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
吊り鉄筋	D13	1680	4	0.995	1.67	7	杭1本当り (SD345)
7 kg							

項 目	単位	数 量	摘 要
吊り型枠 PL - φ482 X 3.2	kg	4.58	杭 1本当り (SS400)

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工 事 名	R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事		
図 面 名	国道1号歩道橋P3橋脚鋼管杭詳細図(2)		
縮 尺	図 示	図面番号	27 / 59
年 月 日	令 和 7 年 1 2 月 日		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

国道1号歩道橋P4橋脚PHC杭詳細図

材料表

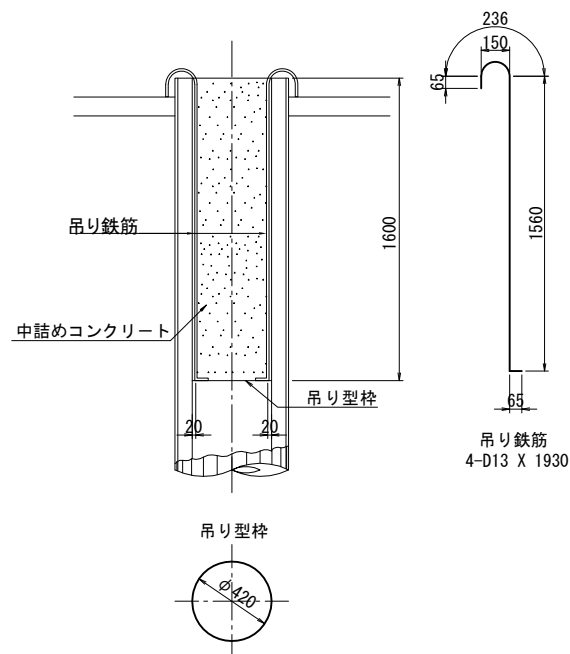
杭頭補強鉄筋							
種 別	径	長 さ	本 数	単位質量	一本当り質量	質 量	摘 要
		(mm)		(kg/m)	(kg/本)	(kg)	
K1	D22	2580	8	3.04	7.84	63	(SD345)
K2	D13	2200	18	0.995	2.19	39	○ (SD345)
						102 kg	
						D22	63 kg
						D13	39 kg
						合 計	102 kg
既製コンクリート杭							
種 別		杭 径	規 格	単位長	本 数	長 さ	摘 要
		(mm)		(mm)	(本)	(mm)	
上杭	PHC杭	φ600	C種	5000	1	5000	
中杭	PHC杭	φ600	A種	11000	1	11000	
下杭	PHC杭	φ600	A種	11000	1	11000	
						杭 長	27000 mm
中詰めコンクリート (σck=24N/mm2)							
V=				0.420	^2×π×1/4×	1.600	= 0.222 m3
吊り型枠							
A=				0.420	^2×π×1/4		= 0.139 m2

材料集計表

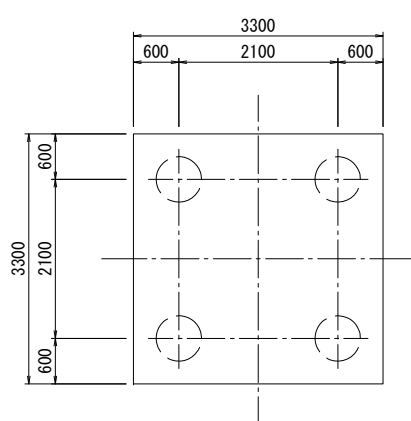
項 目					単位	数 量	摘 要
杭頭補強鉄筋	SD345	D22			kg	252	
	SD345	D13			kg	156	
		合 計			kg	408	
上杭	PHC杭	φ600	C種	L= 5000	本	4	
中杭	PHC杭	φ600	A種	L=11000	本	4	
下杭	PHC杭	φ600	A種	L=11000	本	4	
現場溶接					箇所	8	
中詰めコンクリート					σck=24N/mm2	m3	0.89

※ 工法は、セメントミルク噴出攪拌方式とする。
高止まりを考慮し、1m段落ち位置を下げる。

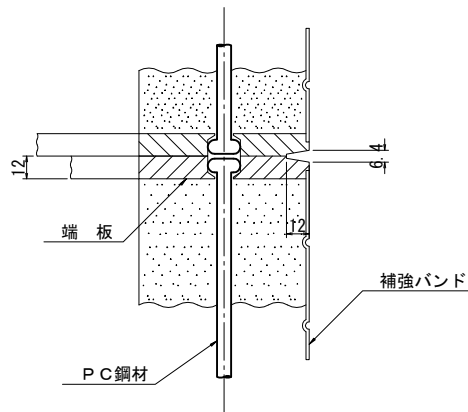
吊り型枠（参考） S=1:20



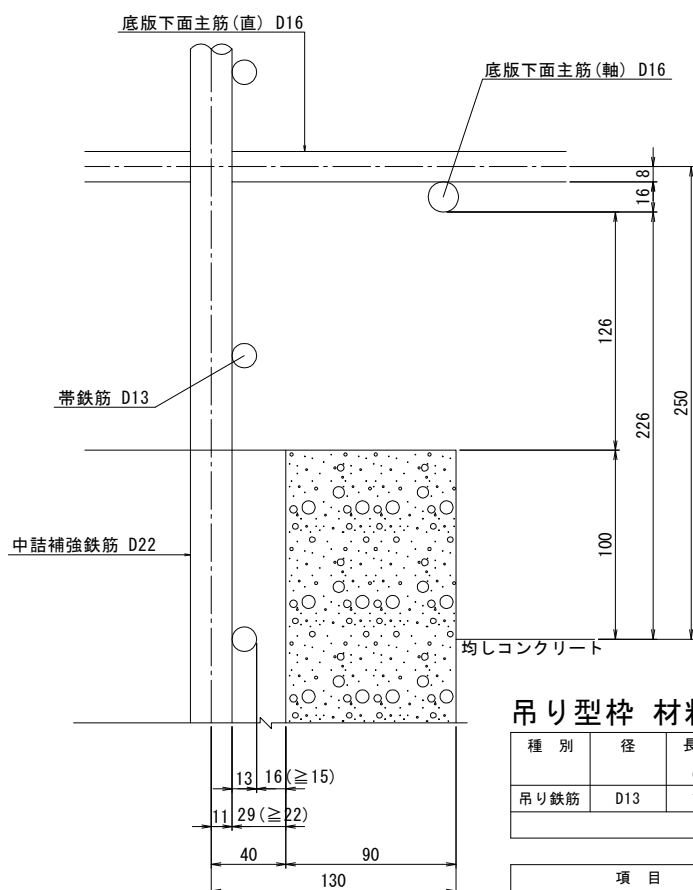
杭配置図 S=1:50



継手詳細図 S=1:2



杭頭鉄筋かぶり詳細図 S=1:5



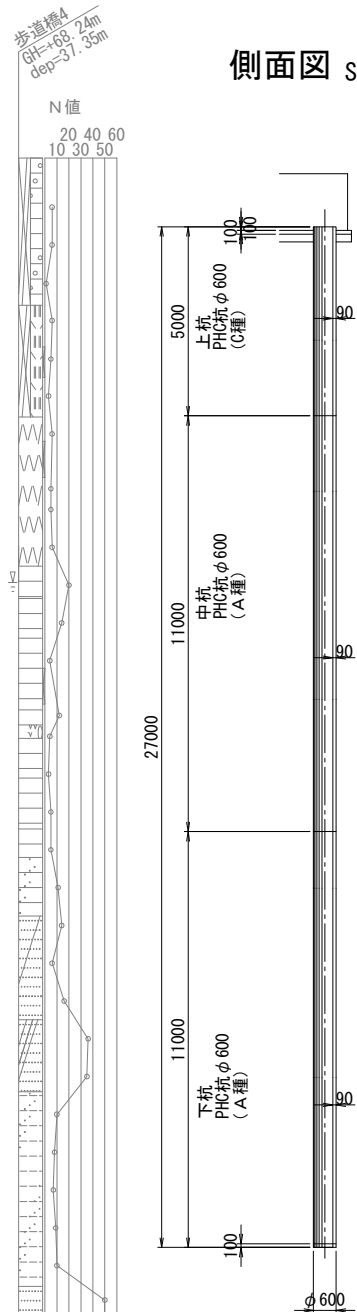
吊り型枠 材料表

種 別	径	長 さ	本 数	単位質量	一本当り質量	質 量	摘 要
		(mm)		(kg/m)	(kg/本)	(kg)	
吊り鉄筋	D13	1930	4	0.995	1.92	8	杭1本当り (SD345)
						8 kg	

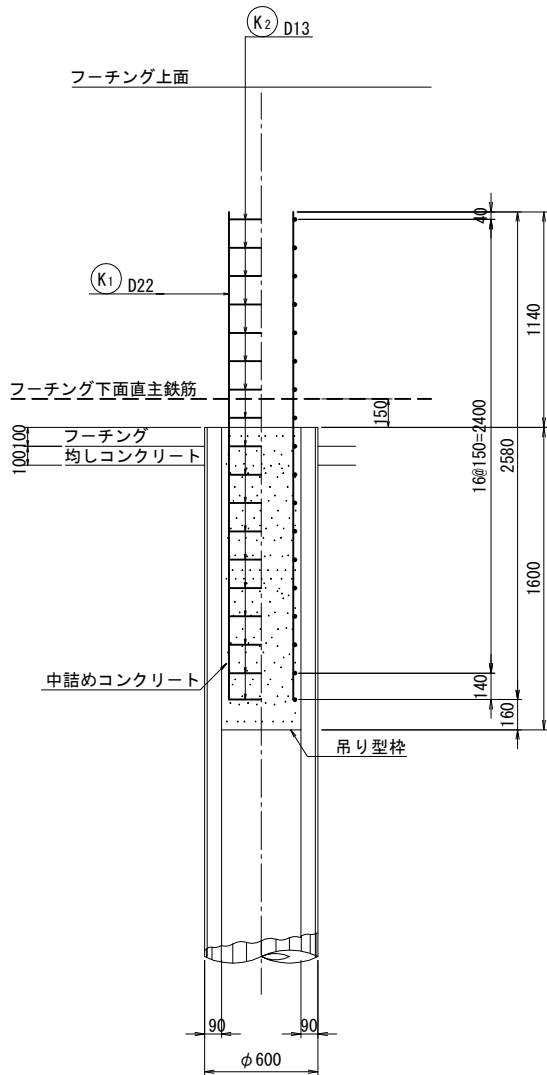
項 目	単位	数 量	摘 要
吊り型枠 PL -φ420 X 3.2	kg	3.48	杭 1本当り (SS400)

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

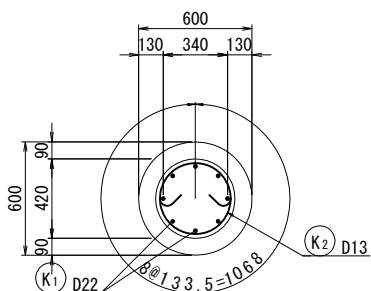
側面図 S=1:100



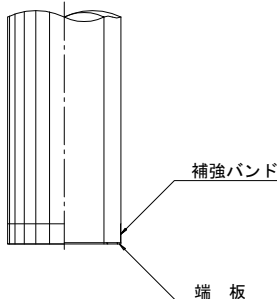
杭頭部詳細図 S=1:20



杭頭部断面詳細図 S=1:20



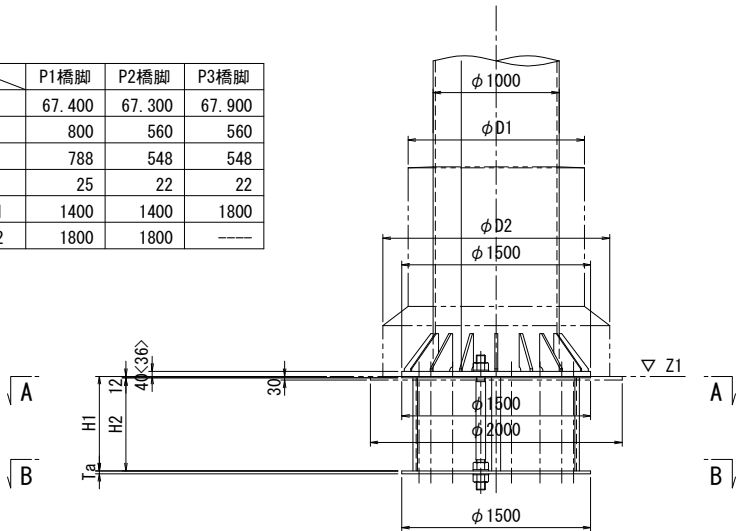
杭先端詳細図 S=1:20



国道1号歩道橋アンカーフレーム詳細図

P1, <P2, P3> 橋脚 S=1:30

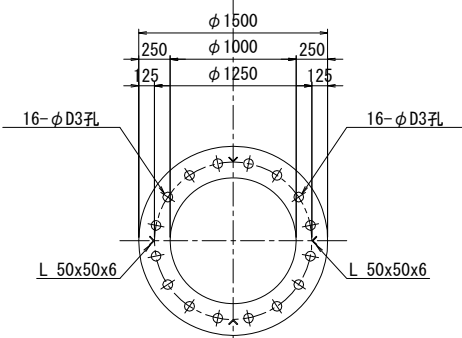
	P1橋脚	P2橋脚	P3橋脚
Z1	67.400	67.300	67.900
H1	800	560	560
H2	788	548	548
Ta	25	22	22
φD1	1400	1400	1800
φD2	1800	1800	---



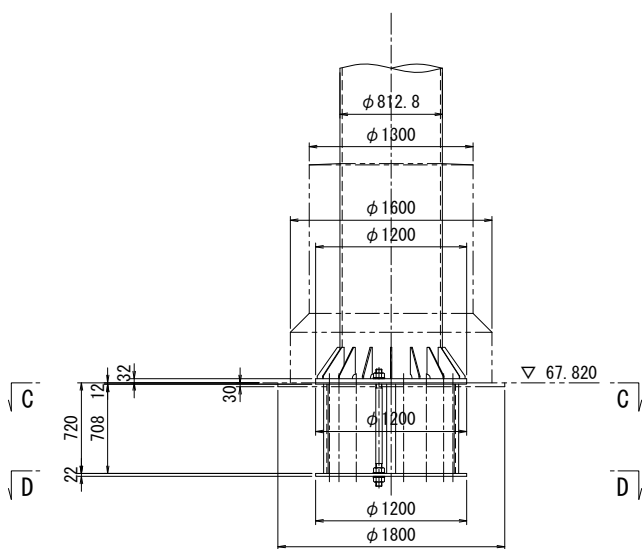
P1 橋脚
1-ANCH PL φ1500x 12 (SM400A)
1-ANCH PL φ1500x 25 (SM490YB)
4-L 50x50x 6x 788 (SS400)
16-ANCH BOLT φ65x1040 (S45CN)
48-NUT M64 (SS400) (1種)
48-WASHER M64 (SS400)

P2, P3 橋脚
1-ANCH PL φ1500x 12 (SM400A)
1-ANCH PL φ1500x 22 (SM490YB)
4-L 50x50x 6x 548 (SS400)
16-ANCH BOLT φ60x 790 (S45CN)
48-NUT M56 (SS400) (1種)
48-WASHER M56 (SS400)

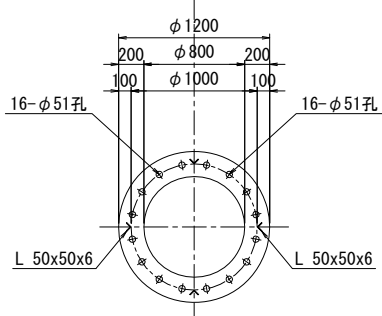
A - A B - B



P4 橋脚 S=1:30



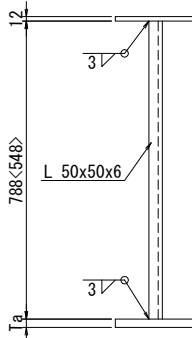
C - C D - D



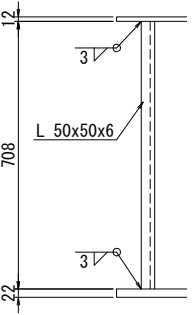
1-ANCH PL φ1200x 12 (SM400A)
1-ANCH PL φ1200x 22 (SM490YB)
4-L 50x50x 6x 708 (SS400)
16-ANCH BOLT φ50x 930 (S45CN)
48-NUT M48 (SS400) (1種)
48-WASHER M48 (SS400)

固定金具詳細 S=1:10

P1, <P2, P3>

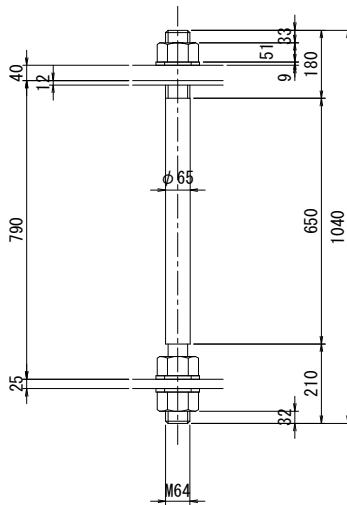


P4

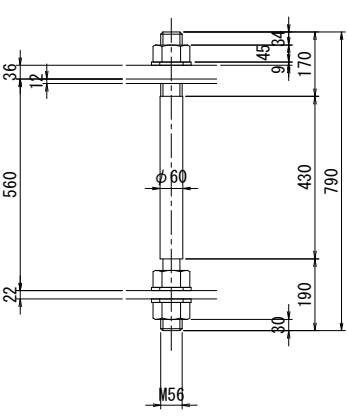


アンカーボルト詳細 S=1:10

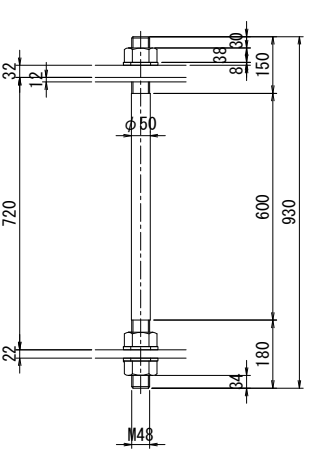
P1
(製作数: 各脚16組)



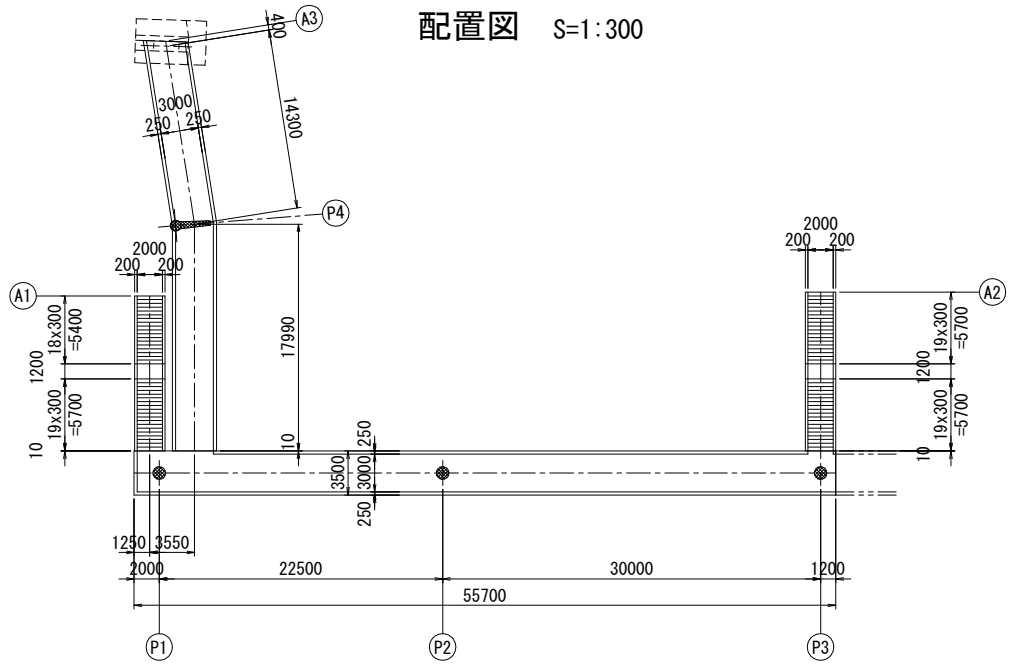
P2, P3
(製作数: 16組)



P4
(製作数: 16組)



配置図 S=1:300



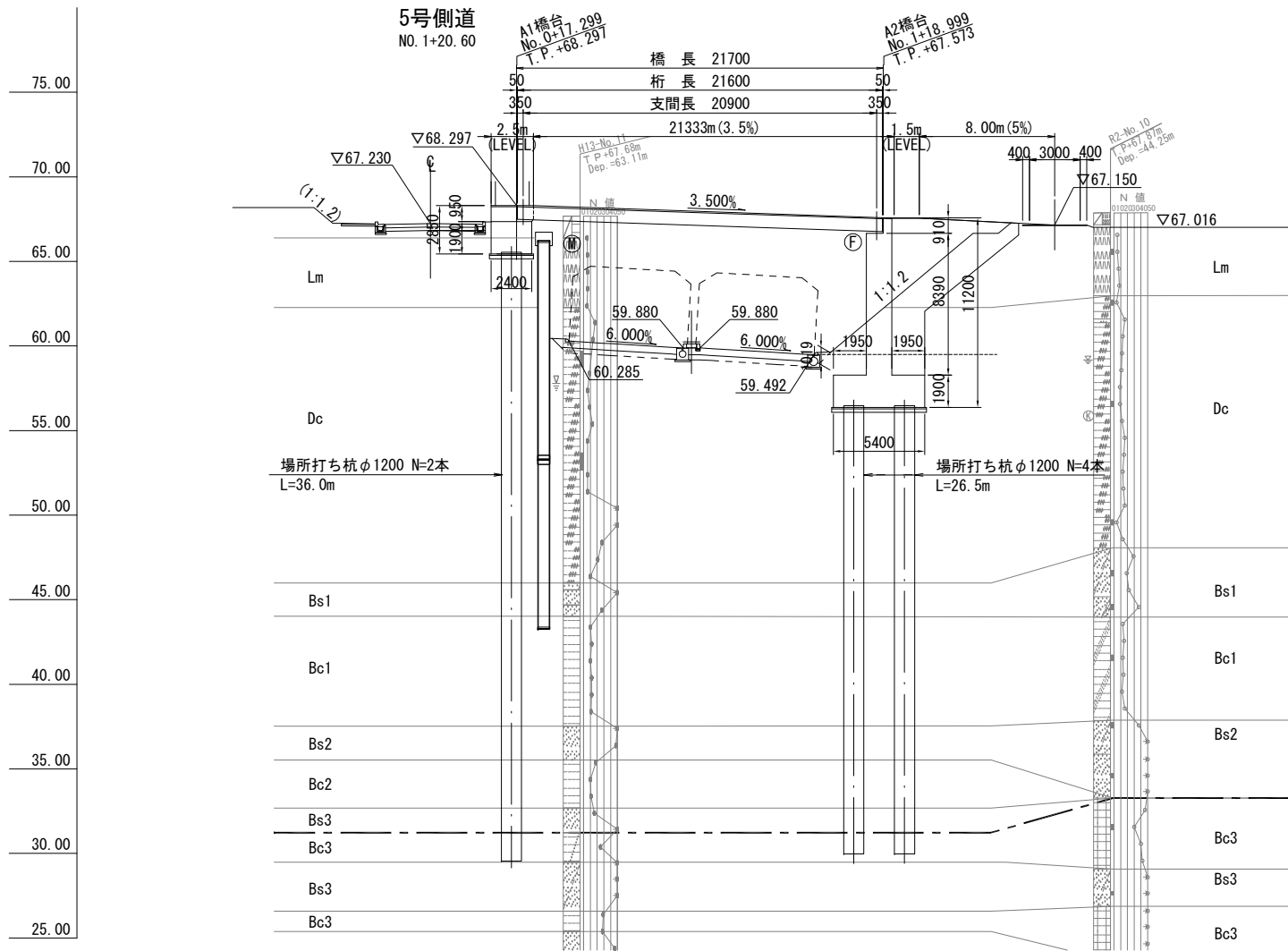
注 記
1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

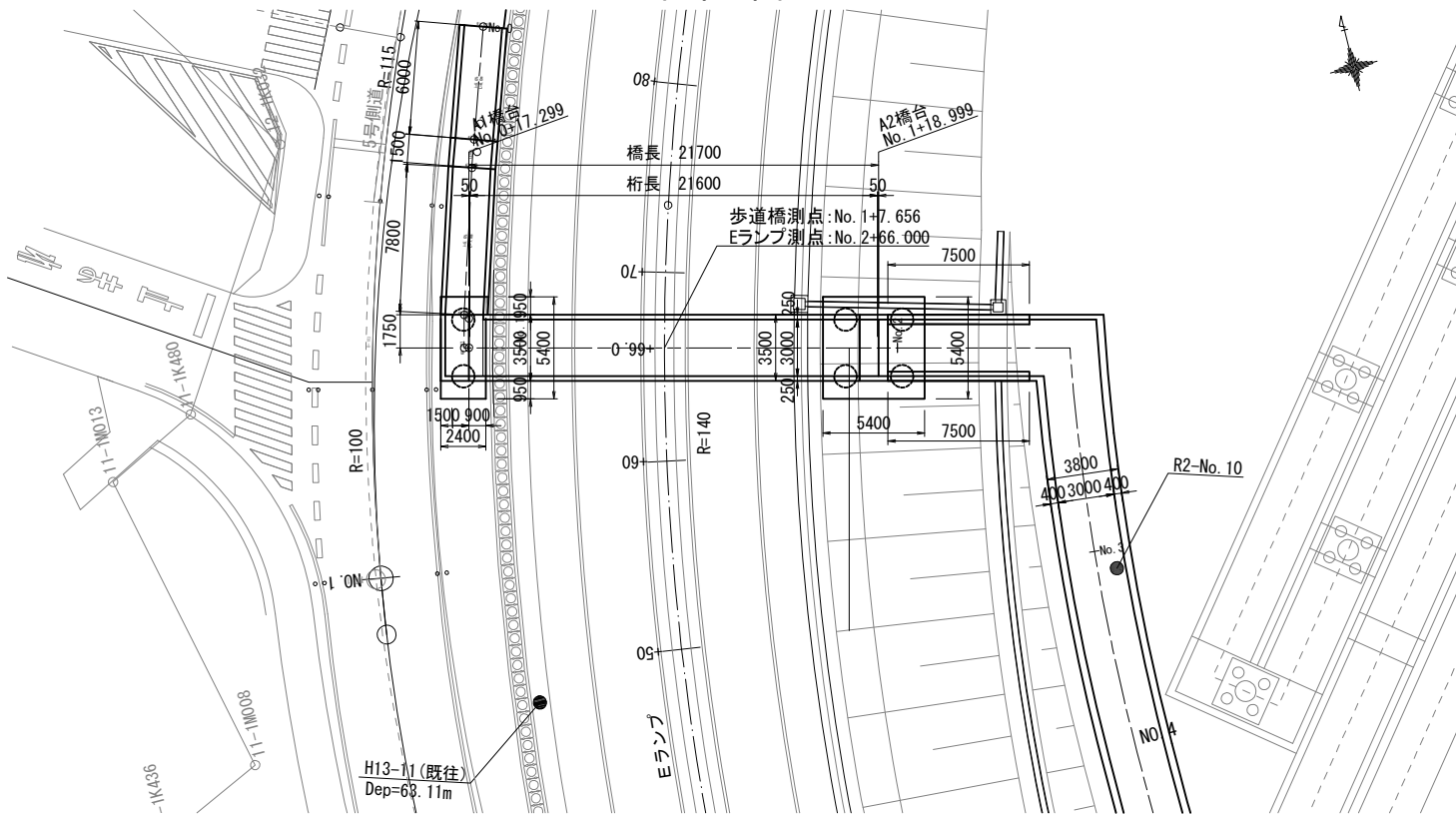
工 事 名	R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事
図 面 名	国道1号歩道橋 アンカーフレーム詳細図
縮 尺	図 示 図面番号 29 / 59
年 月 日	令 和 7 年 1 2 月 日
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所

Eランプ1号歩道橋一般図

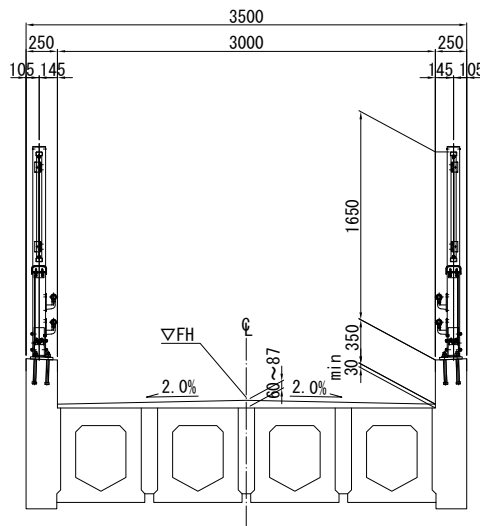
側面図 S=1:200



平面図 S=1:200



断面図 S=1:30



地質構成表

地質時代	地層名	記号	土質区分
—	埋土・盛土	B	粘性土
第四紀 更新世	洪積層	新期ローム層	Lm
		洪積粘性土層	Dc
	相模層群 屏風ヶ浦層	第一砂質土層	Bs1
		第一粘性土層	Bc1
		第二砂質土層	Bs2
		第二粘性土層	Bc2
		第三砂質土層	Bs3
		第三粘性土層	Bc3

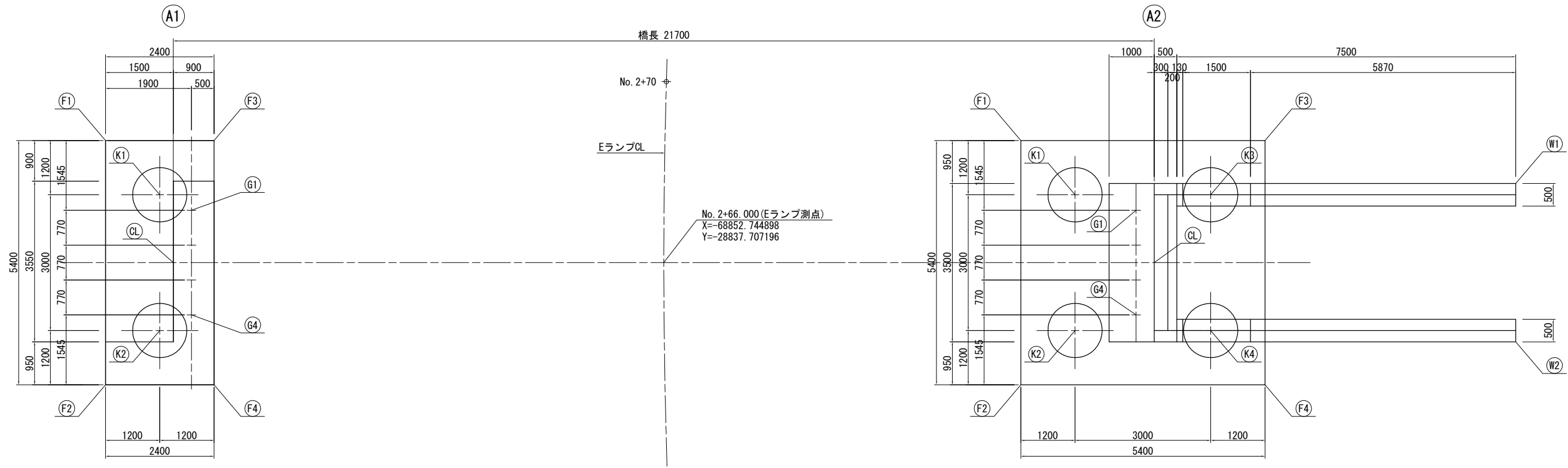
設計条件

設計条件	
橋種	歩道橋
設計荷重	群集荷重
構造形式	PC単純プレテンションホロー桁橋
橋長	L = 21.700 m
支間長	L = 21.600 m
有効幅員	3.000 m
総幅員	3.500 m
斜角	A1側 90° 00' 00" A2側 90° 00' 00"
平面曲線	R = ∞
縦断勾配	i = 3.500 %
横断勾配	2.0 % 拌み勾配
舗装	アスファルト舗装 t = 30 mm
設計水平震度	跨道部: レベル1 kh=0.30
使用材料	上部工 鋼材
	PC鋼上り線: SWPR7BL 1S15.2
	PC鋼橋: A種2号 SBPR 785/1030 φ23
	主桁工: σck = 50 N/mm ²
	横組工: σck = 30 N/mm ²
	鉄筋 SD345
下部工	コンクリート
	σck = 24 N/mm ²
基礎工形式	SD345
	A1橋台: 場所打ち杭φ1200
	A2橋台: 場所打ち杭φ1200
地盤種別	皿種地盤
主な適用基準	道路橋示方書・同解説 (H24.3: 日本道路協会)
	立体横断施設技術基準・同解説 (S54.1: 日本道路協会)

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R7横環南国道1号外歩道橋下部工事		
図面名	Eランプ1号歩道橋一般図		
縮尺	図示	図面番号	30 / 59
年月日	令和7年12月 日		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

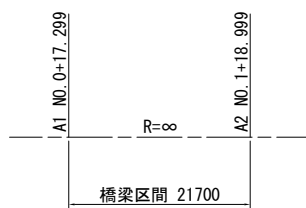
Eランプ1号歩道橋下部工座標図 S=1:50



大座標値(世界測地系)

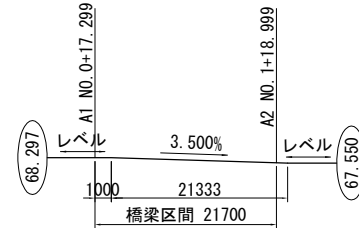
下部工位置		A1橋台		A2橋台	
		X	Y	X	Y
道路中心線	CL	-68850.2329	-28847.7553	-68855.4959	-28826.7032
底版	F1	-68847.2497	-28848.5556	-68852.1611	-28828.9102
	F2	-68852.4884	-28849.8653	-68857.3998	-28830.2199
	F3	-68847.8318	-28846.2273	-68853.4708	-28823.6715
	F4	-68853.0705	-28847.5370	-68858.7095	-28824.9812
杭	K1	-68848.7049	-28847.6825	-68853.6163	-28828.0371
	K2	-68851.6153	-28848.4101	-68856.5267	-28828.7647
	K3	-	-	-68854.3439	-28825.1267
	K4	-	-	-68857.2543	-28825.8543
ウイング	W1	-	-	-68855.7385	-28818.5176
	W2	-	-	-68859.1340	-28819.3665
支承	G1	-68849.2094	-28847.0871	-68854.2784	-28826.8111
	G2	-68849.9564	-28847.2739	-68855.0254	-28826.9979
	G3	-68850.7034	-28847.4606	-68855.7724	-28827.1846
	G4	-68851.4504	-28847.6474	-68856.5194	-28827.3714

平面線形

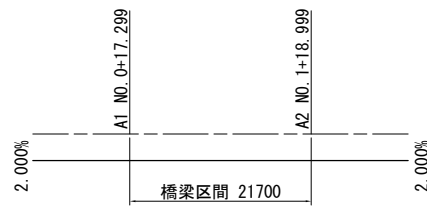


線形要素

縦断線形



横断線形



主要点座大標値(歩道橋)

測点	X座標	Y座標	要素
NO. 0+17.050	-68850.172538	-28847.996537	R= ∞
NO. 2+ 9.137	-68857.954884	-28816.867455	

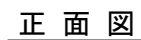
主要点座大標値(Eランプ)

測点	X座標	Y座標	要素
NO. 2+60.000	-68858.595147	-28839.037265	R=140.000
NO. 2+70.000	-68848.878717	-28836.681744	
NO. 2+80.000	-68839.355171	-28833.638790	

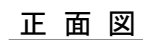
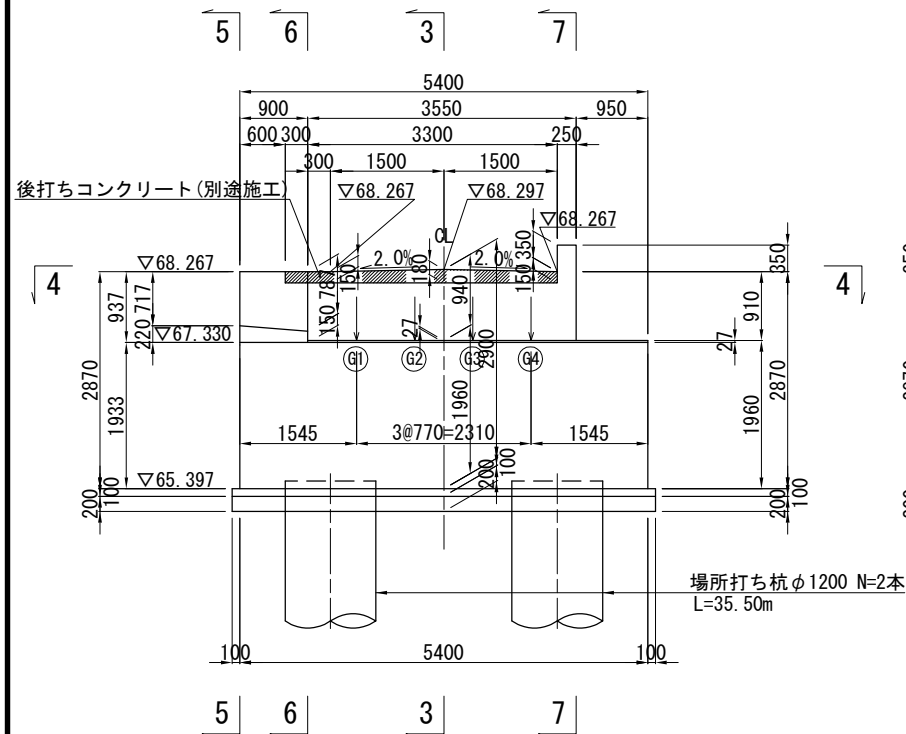
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R7横浜南国道1号外歩道橋下部工事		
図面名	Eランプ1号歩道橋下部工座標図		
縮尺	1:50	図面番号	31 / 59
年月日	令和7年12月 日		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

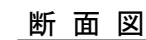
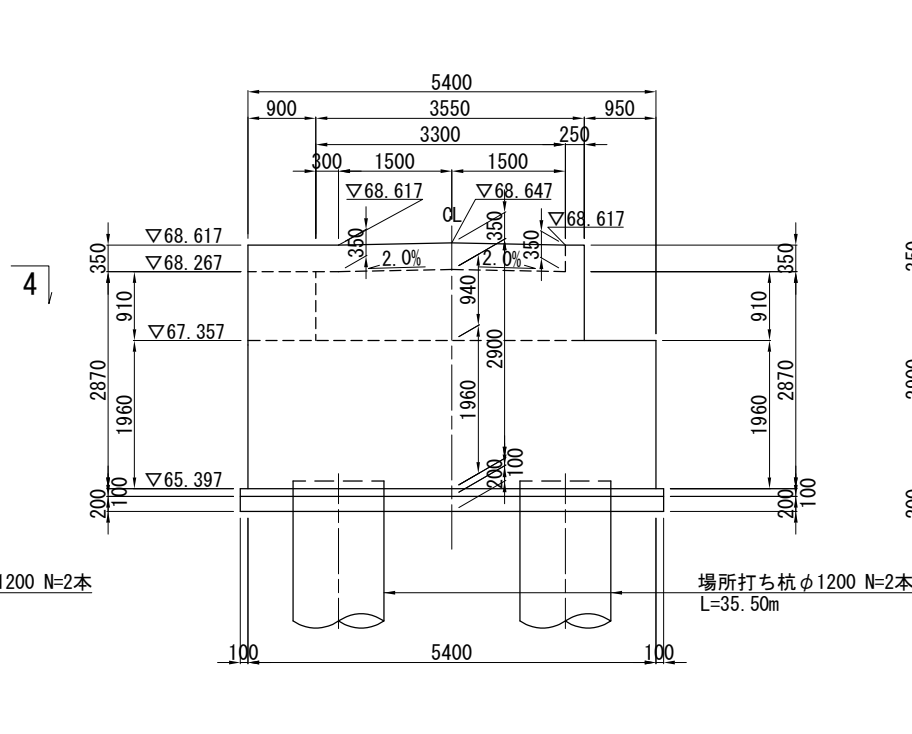
Eランプ1号歩道橋A1橋台構造一般図 S=1:50



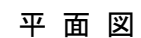
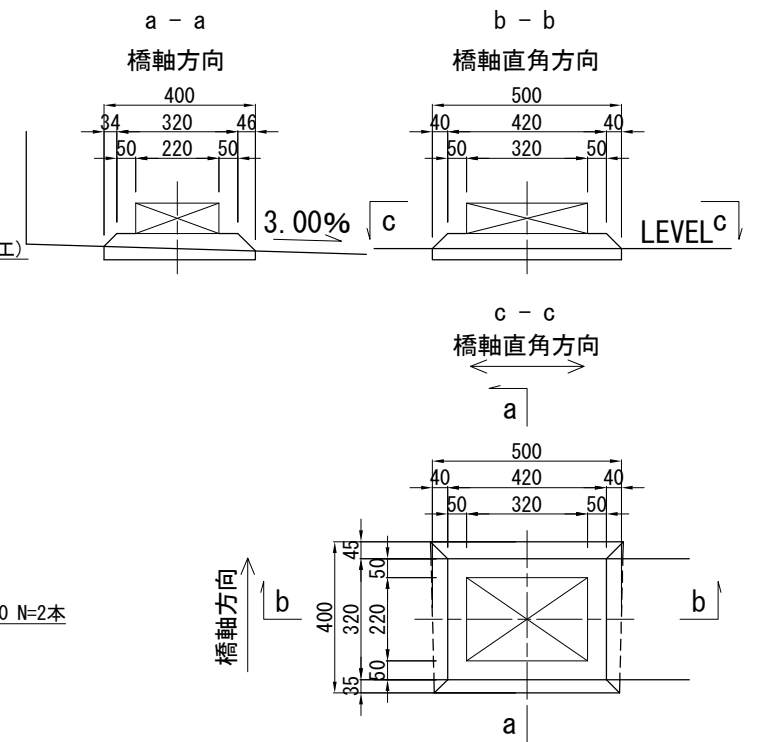
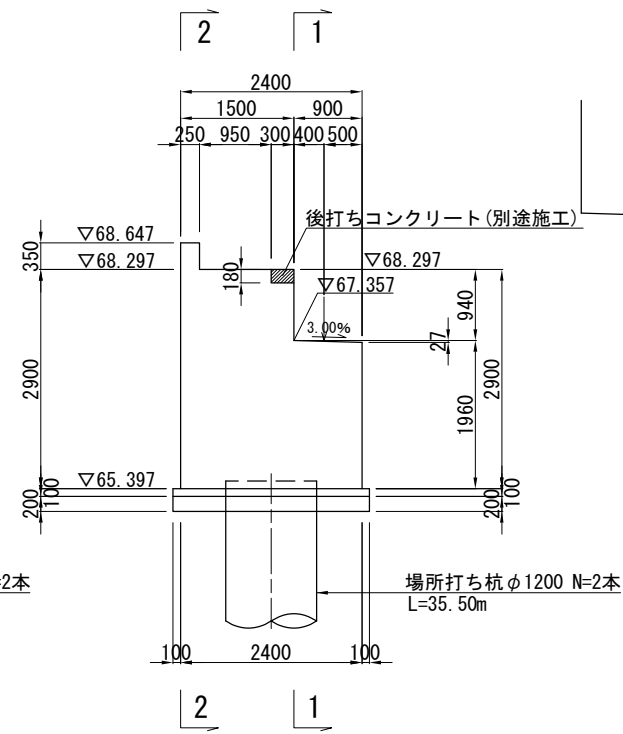
1 - 1



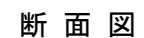
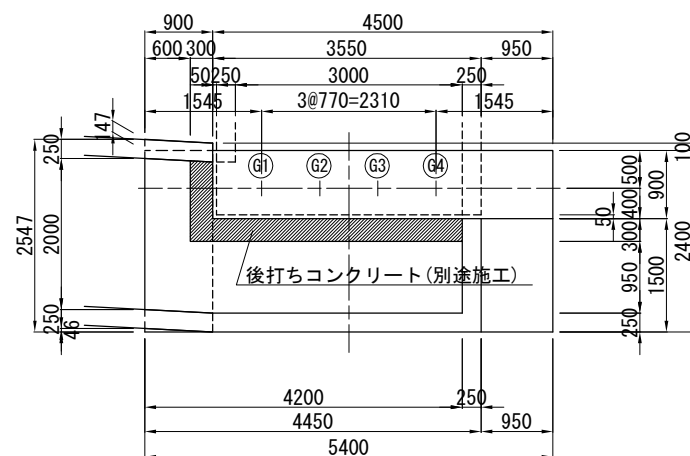
2 - 2



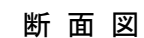
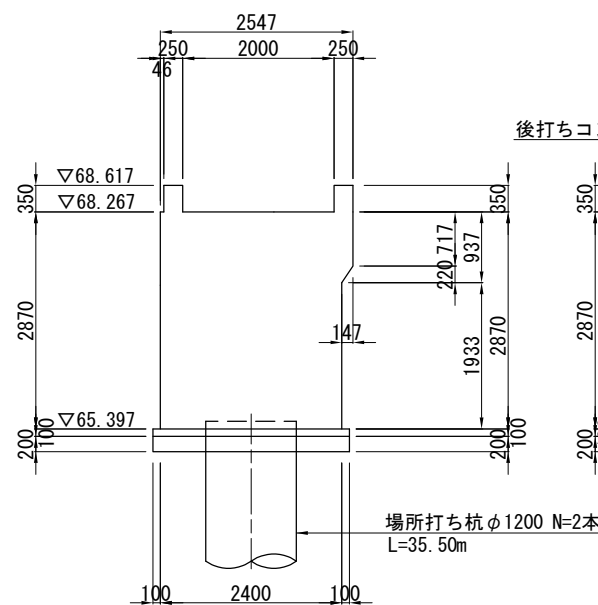
3 - 3



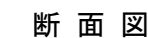
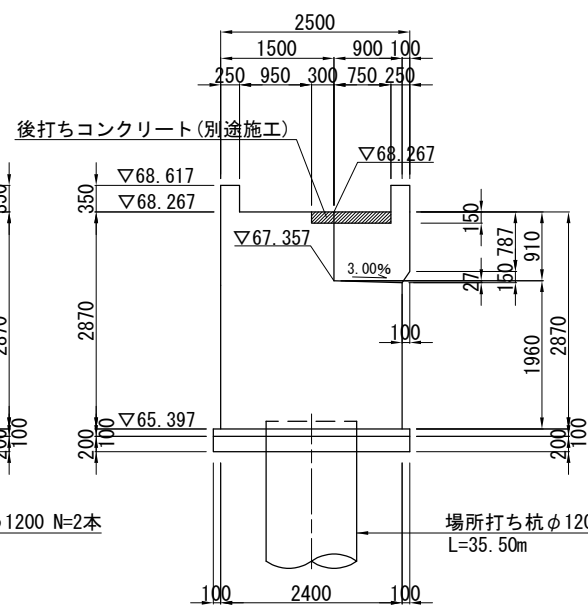
4 - 4



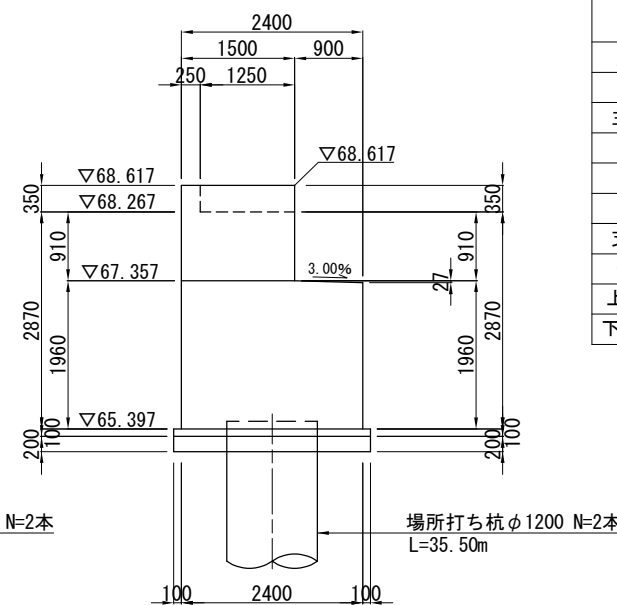
5 - 5



6 - 6



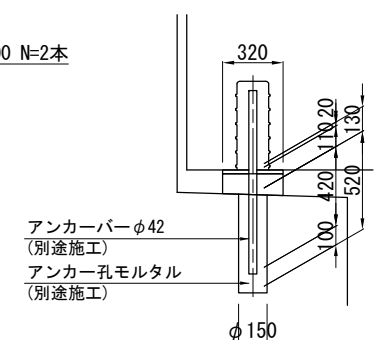
7 - 7



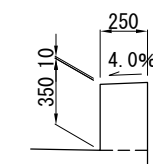
構造高表(支点位置)

	S1 (A1橋台)		
	G1	CL	G4
路面計画高	68.274	68.297	68.274
舗装厚	0.049	0.072	0.049
主桁上面高(EL0)	68.225	68.225	68.225
主桁高	0.750	0.750	0.750
レアー	0.010	0.010	0.010
支承高	0.080	0.080	0.080
支承下面高(EL1)	67.385	67.385	67.385
沓座モルタル厚	0.040	0.040	0.040
上部工構造高合計	0.929	0.952	0.929
下部工天端高(EL2)	67.345	67.345	67.345

アンカーバー詳細図 S=1:20



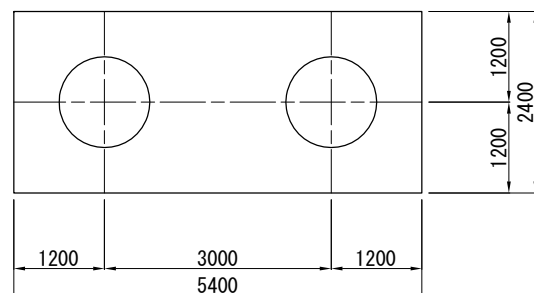
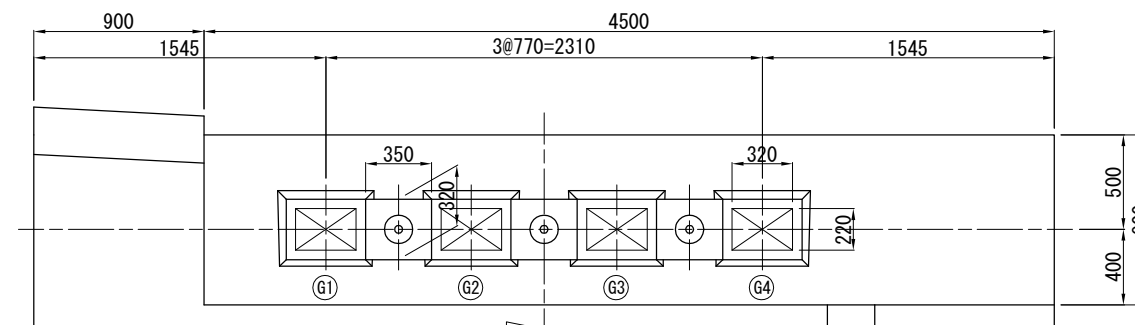
地覆部詳細図 S=1:20



使用材料

軀 体	コンクリート	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$
	鉄 筋	SD345
均しコンクリート	コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります



杭配置図

工 事 名	R7横環南国道1号外歩道橋下部工事		
図 面 名	Eランプ1号歩道橋A1橋台構造一般図		
縮 尺	図示	図面番号	32 / 59
年 月 日	令和7年12月 日		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

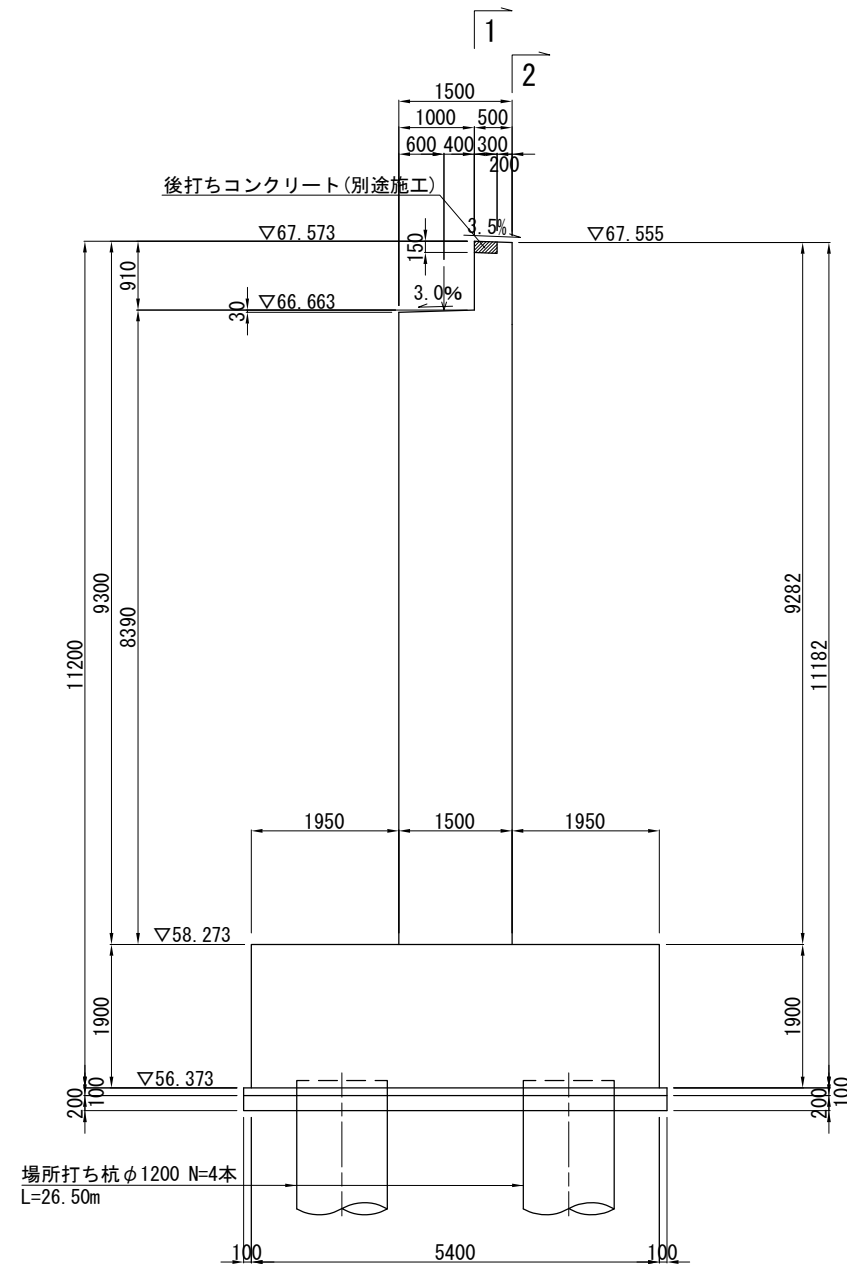
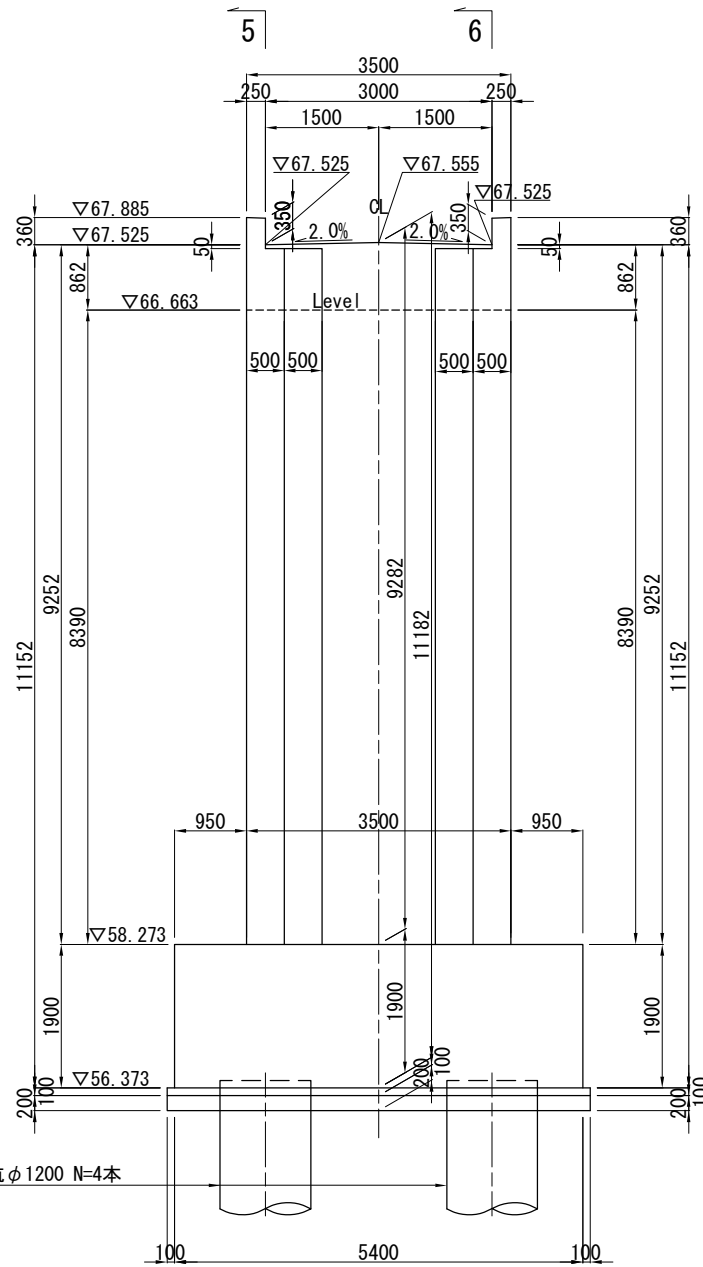
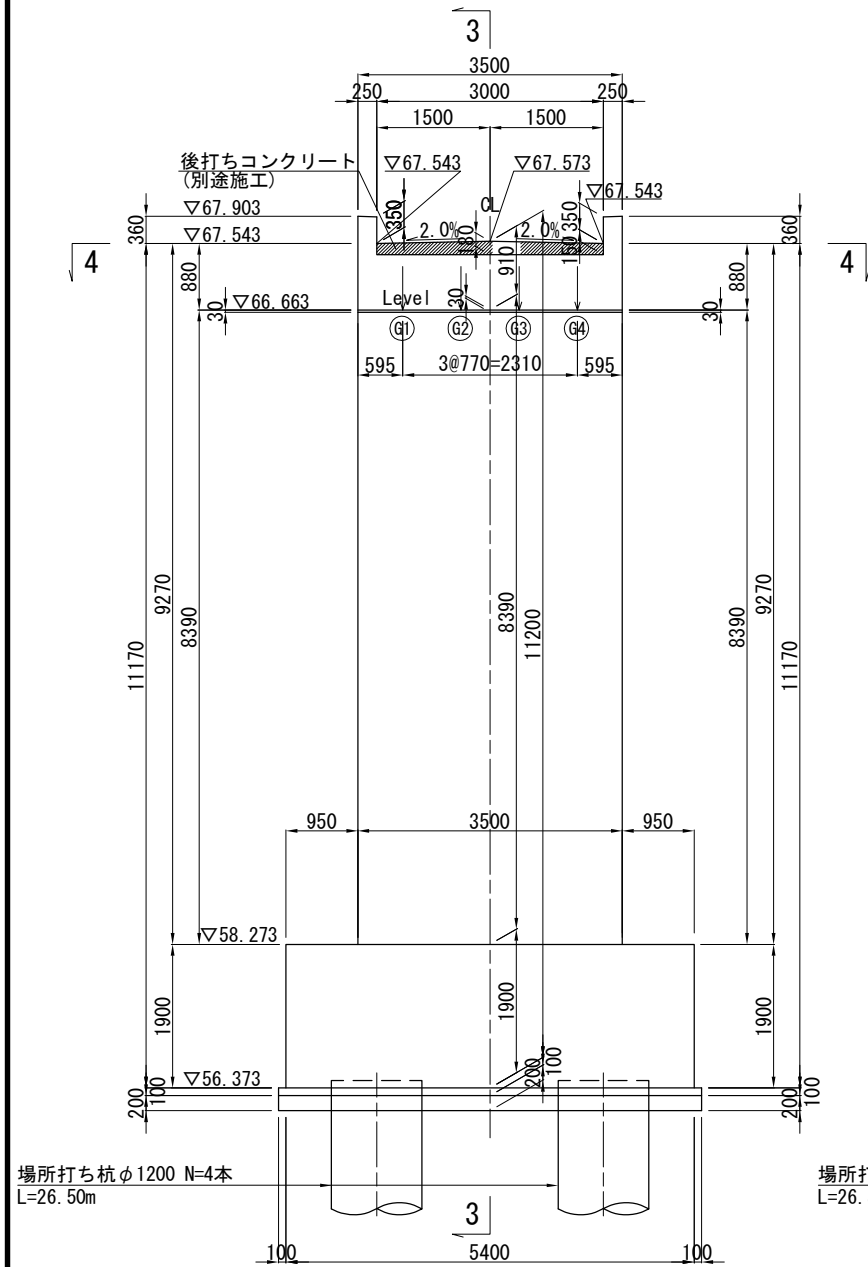
Eランプ1号歩道橋A2橋台構造一般図(1)

S=1:50

正面図(1-1)

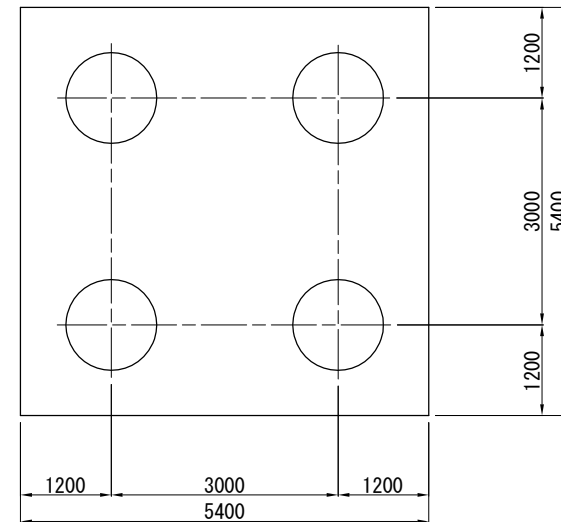
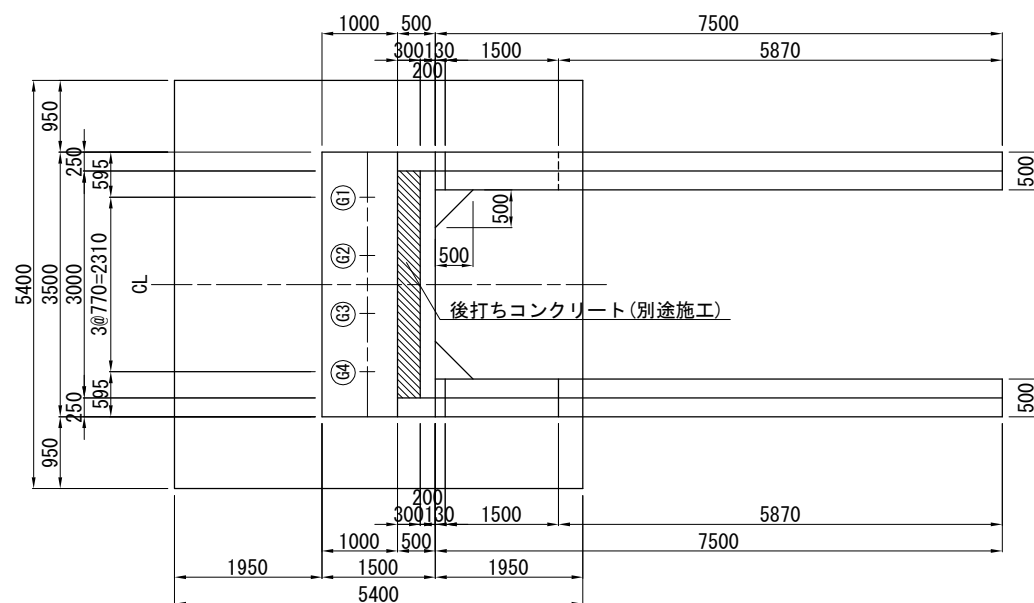
背面図(2-2)

断面図(3-3)



平面図(4-4)

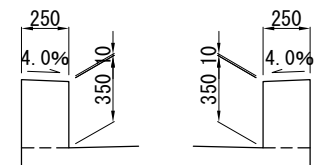
杭配置図



構造高表(支点位置)

	S2 (A2橋台)		
	G1	CL	G4
路面計画高	67.563	67.586	67.563
舗装厚	0.038	0.061	0.038
主桁上面高(EL0)	67.525	67.525	67.525
主桁高	0.750	0.750	0.750
レアー	0.010	0.010	0.010
支承高	0.074	0.074	0.074
支承下面高(EL1)	66.691	66.691	66.691
沓座モルタル厚	0.040	0.040	0.040
上部工構造高合計	0.912	0.936	0.912
下部工天端高(EL2)	66.651	66.651	66.651

地覆部詳細図 S=1:20



使用材料

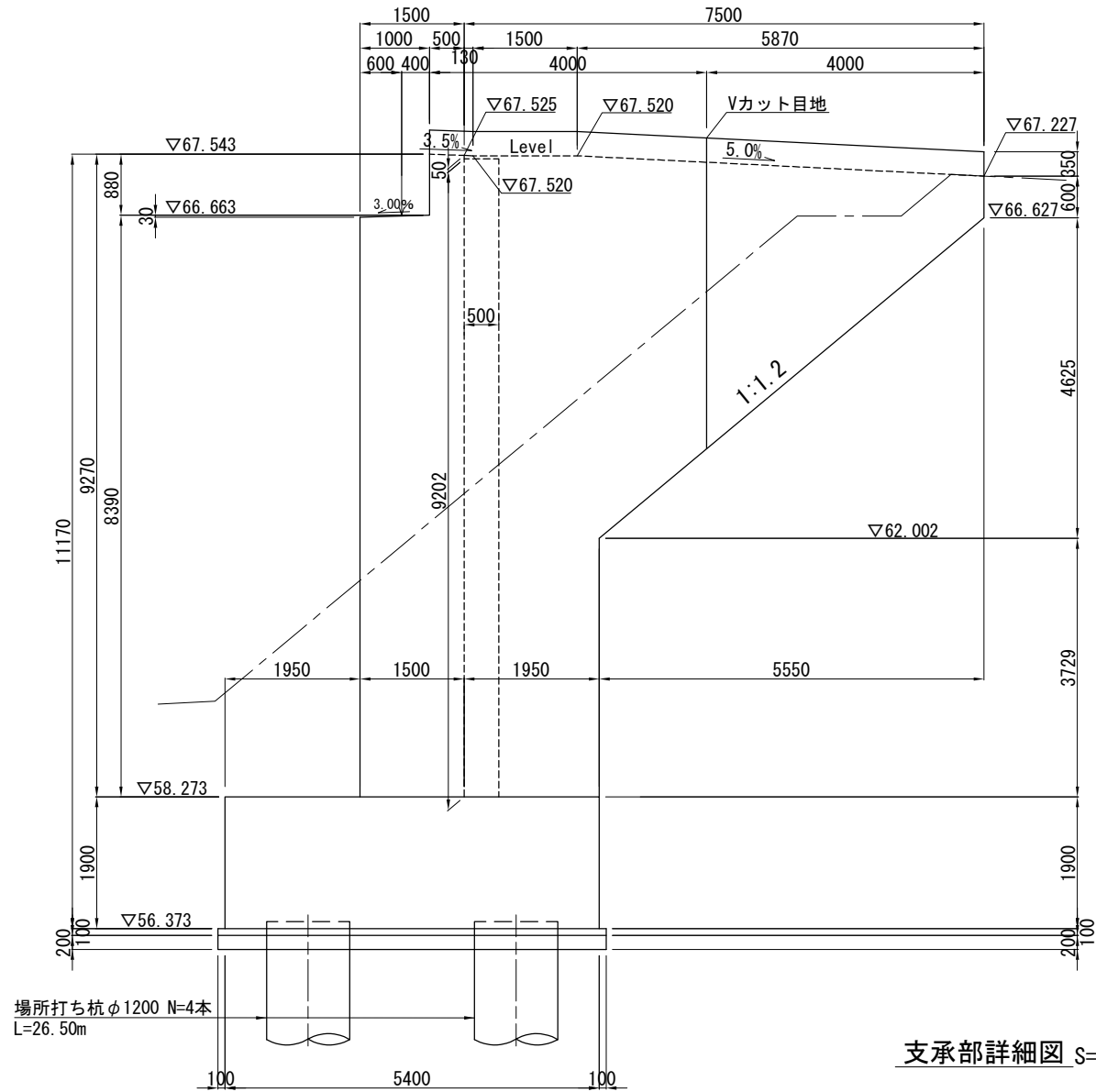
躯体	コンクリート	$\sigma_{ck}=24N/mm^2$
	鉄筋	SD345
均しコンクリート	コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R7横環南国道1号外歩道橋下部工事		
図面名	Eランプ1号歩道橋 A2橋台構造一般図(1)		
縮尺	図示	図面番号	33 / 59
年月日	令和7年12月 日		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

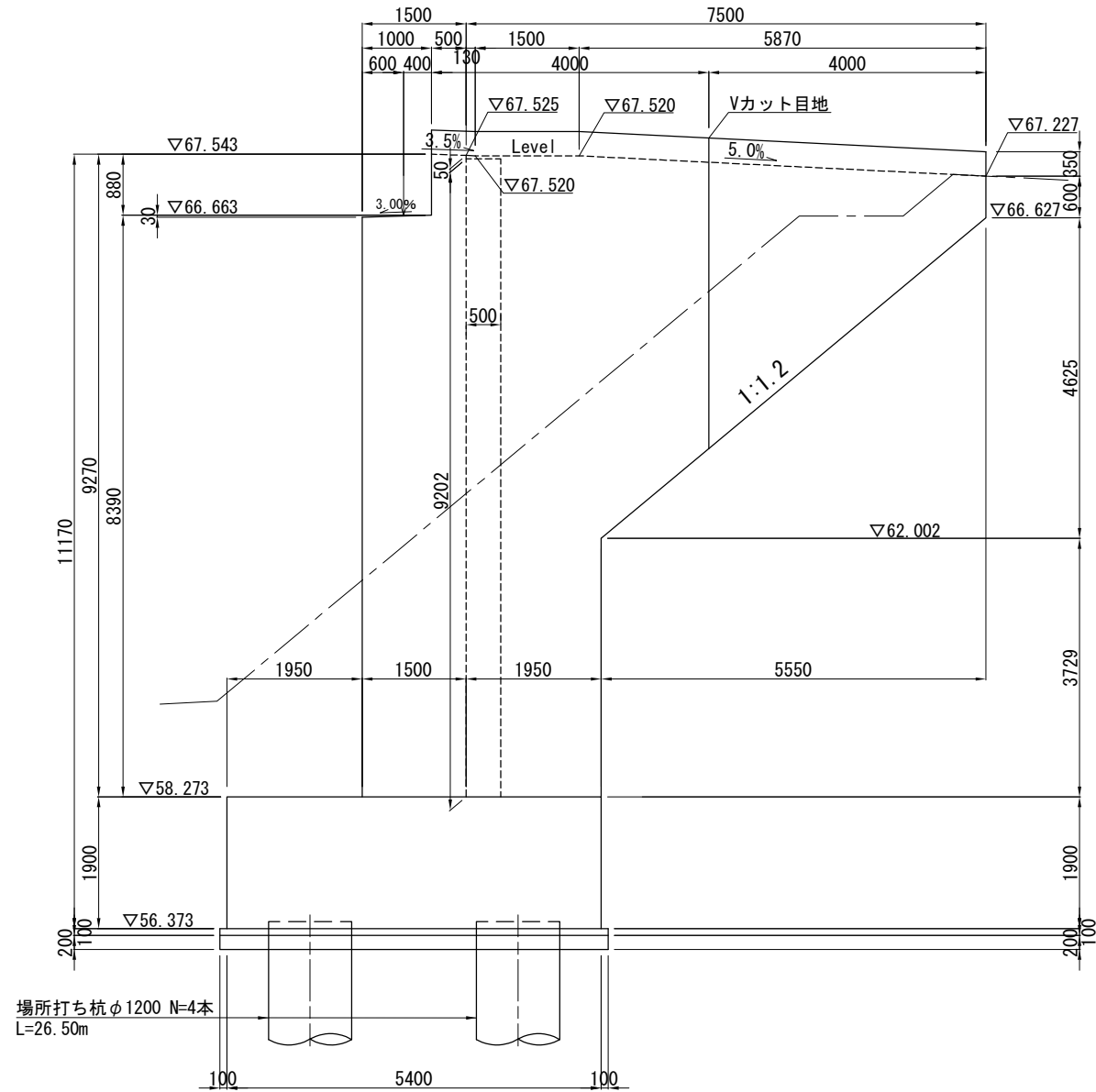
Eランプ1号歩道橋A2橋台構造一般図(2) S=1:50

断面図(5-5)

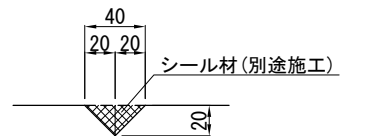


支承部詳細図 S=1:10

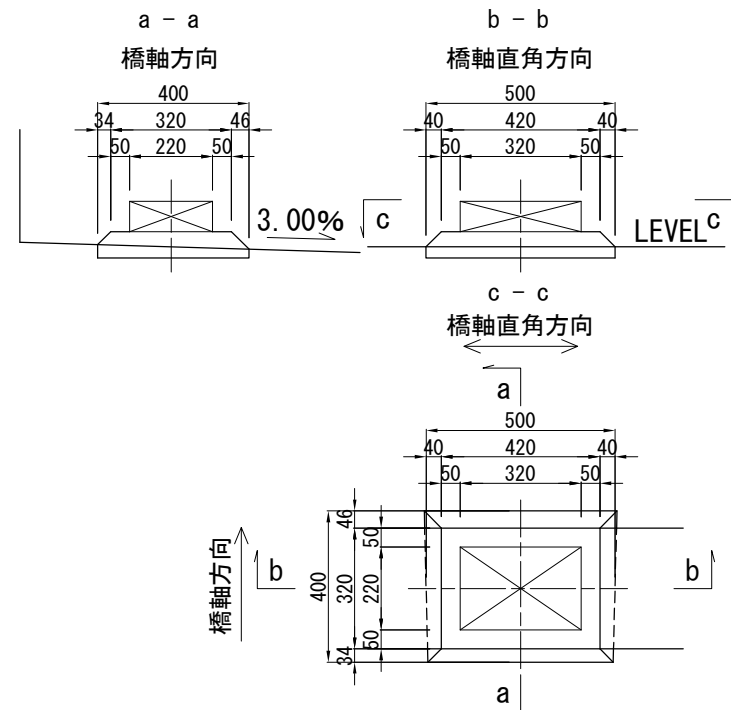
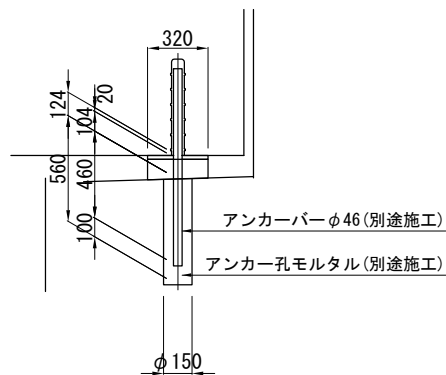
断面図(6-6)



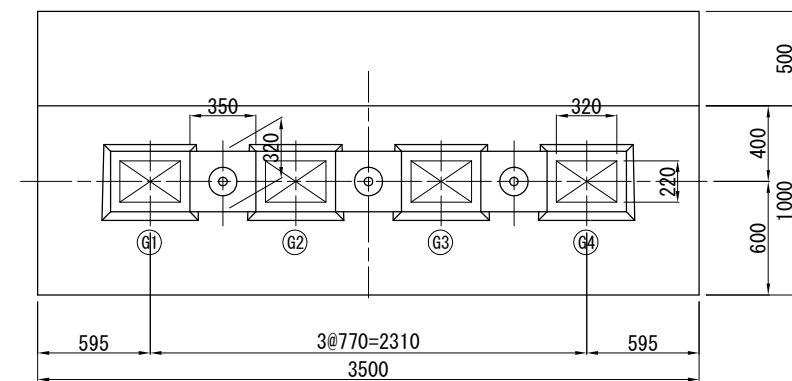
Vカット目地詳細図 S=1:2.5



アンカーバー詳細図 S=1:20



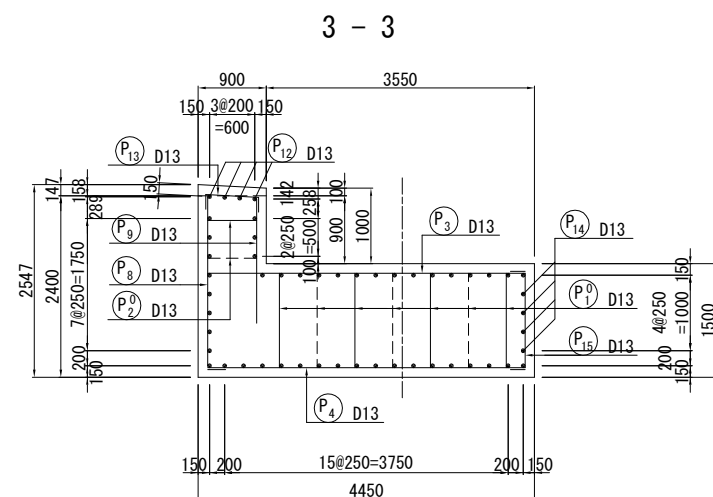
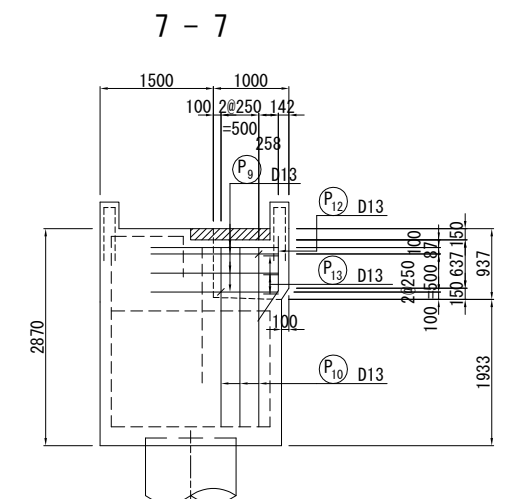
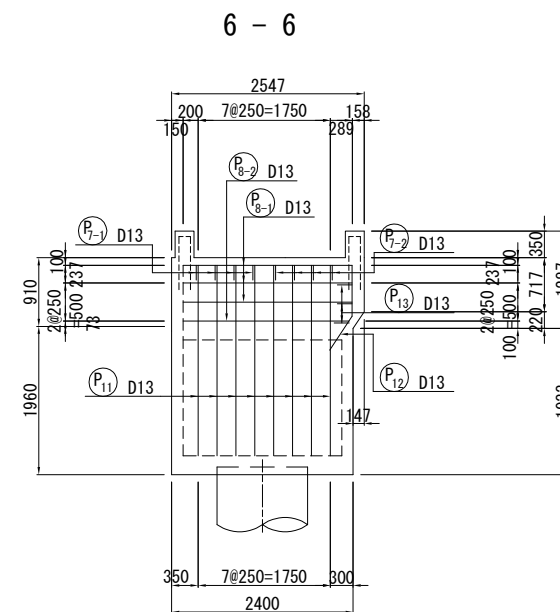
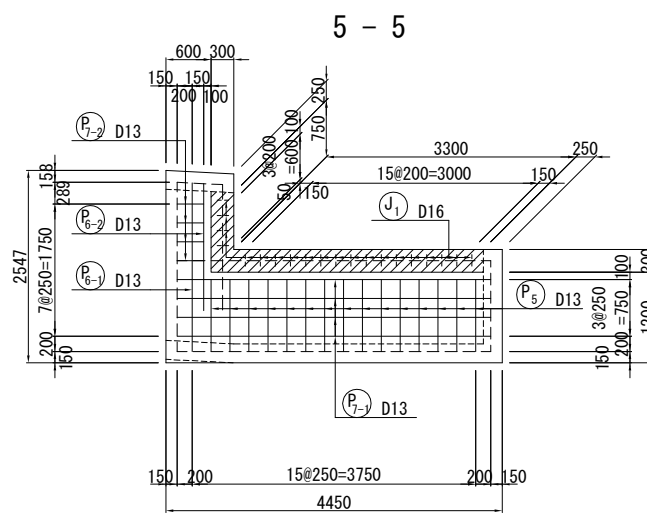
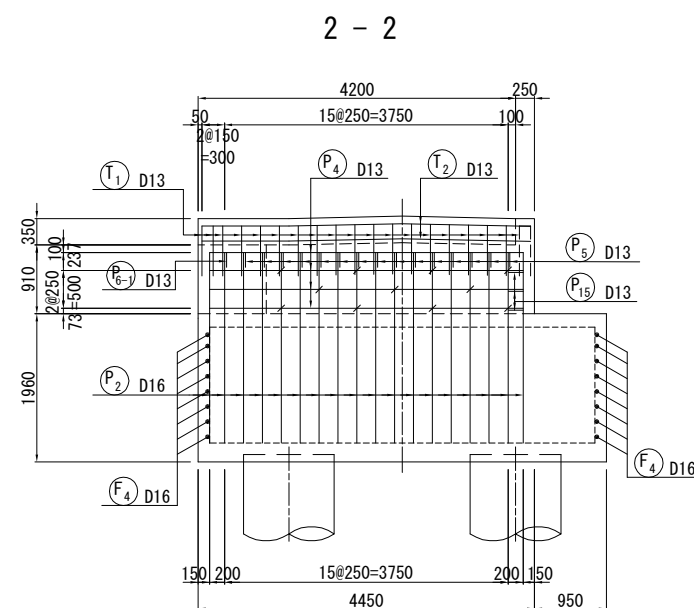
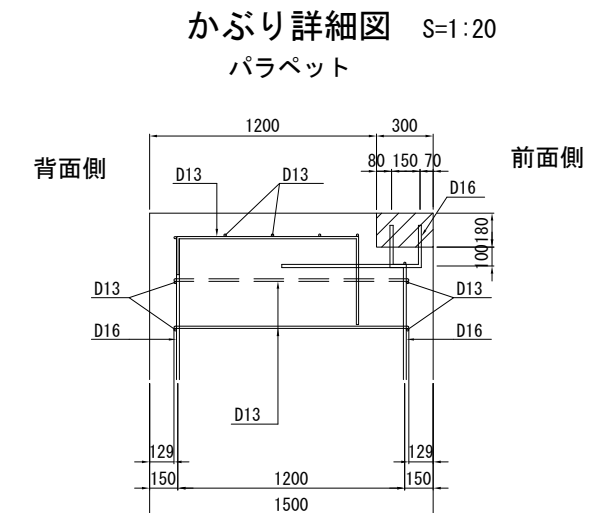
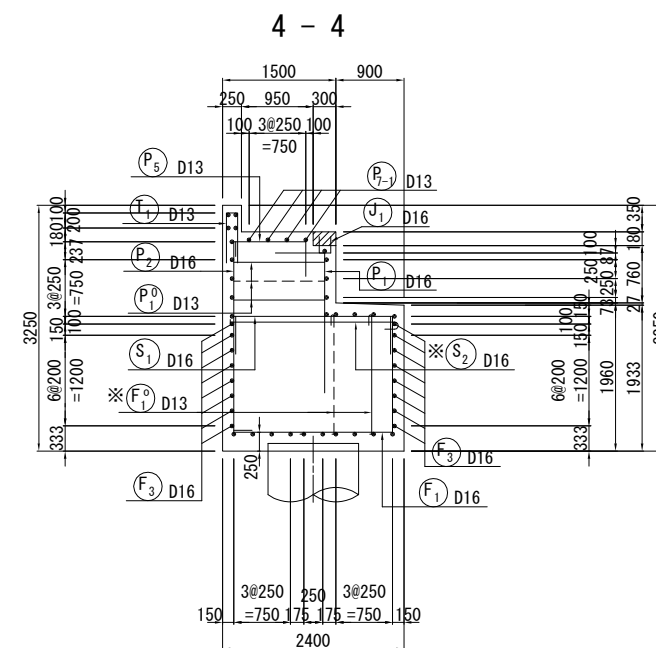
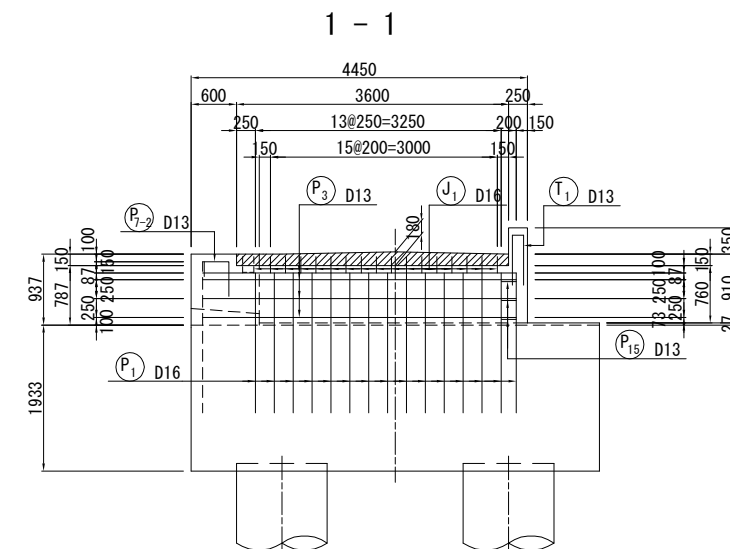
橋座詳細図 S=1:20



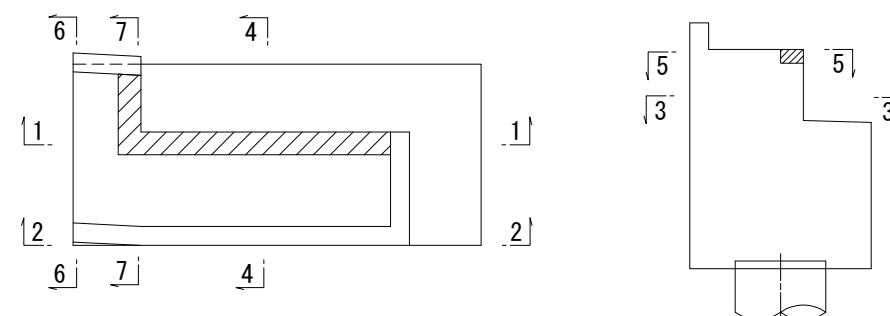
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R7横環南国道1号外歩道橋下部工事		
図面名	Eランプ1号歩道橋 A2橋台構造一般図(2)		
縮尺	図示	図面番号	34 / 59
年月日	令和7年12月 日		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

Eランプ1号歩道橋A1橋台配筋図(1) S=1:50



位置図



注1) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。

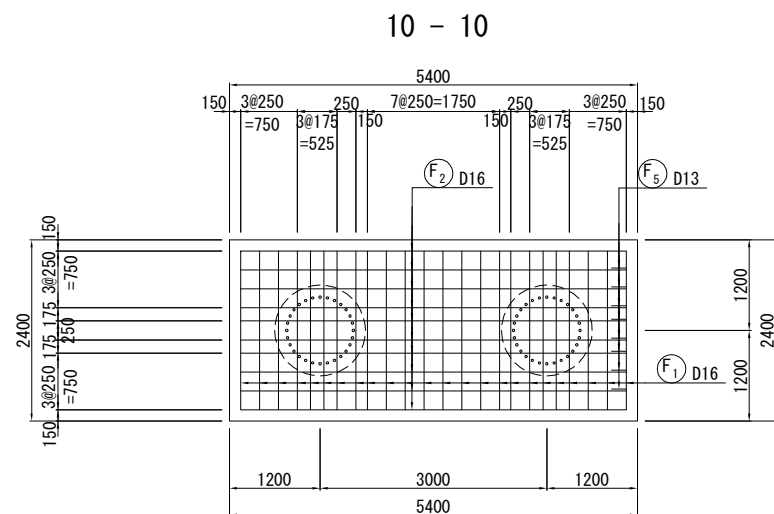
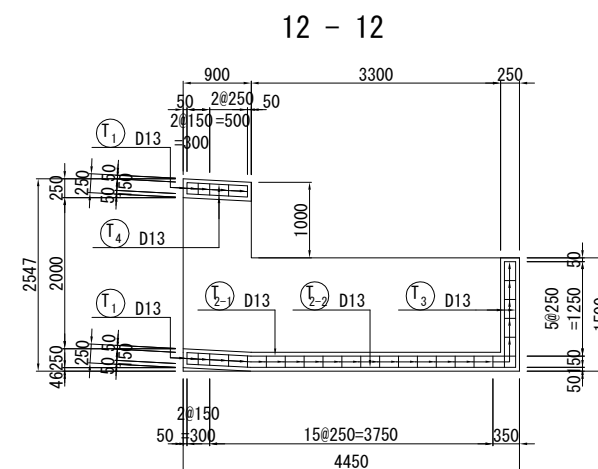
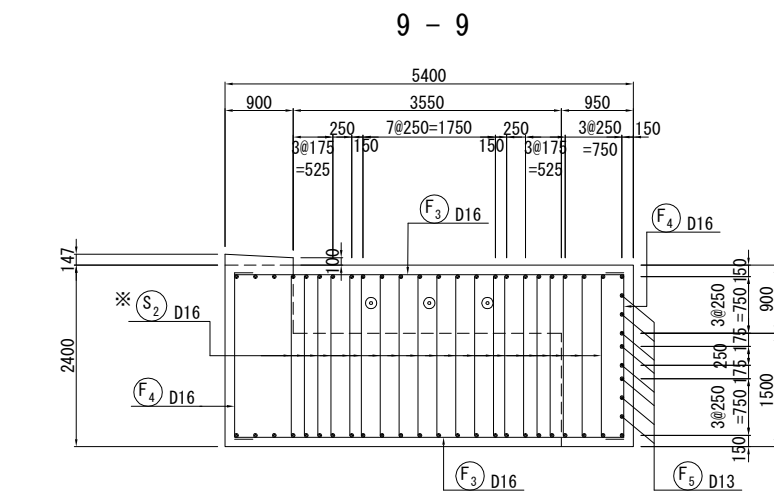
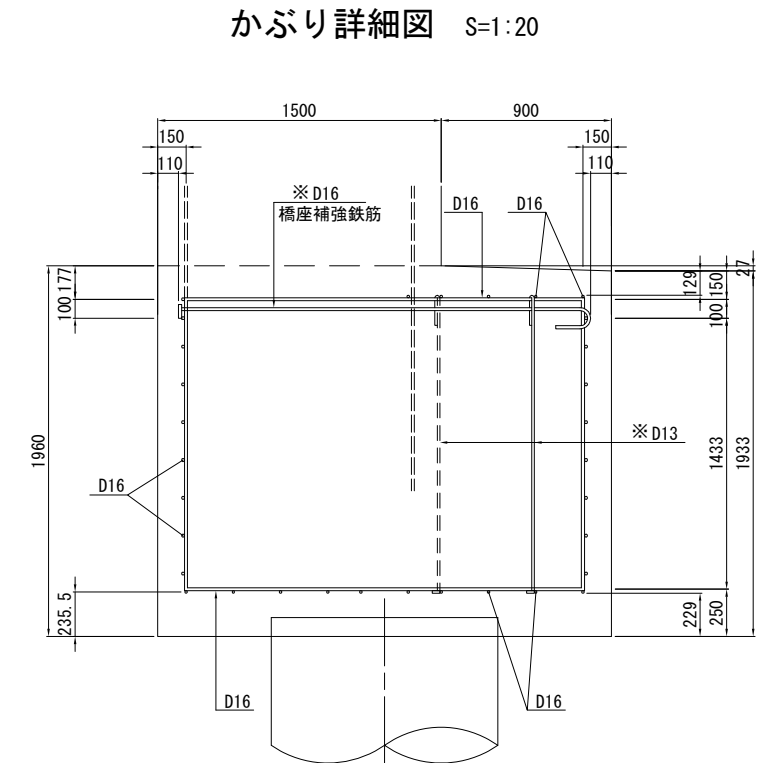
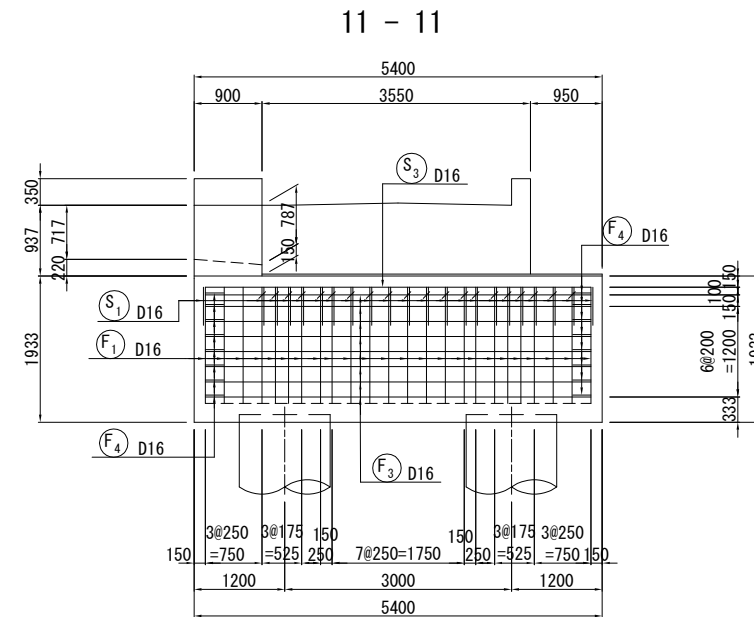
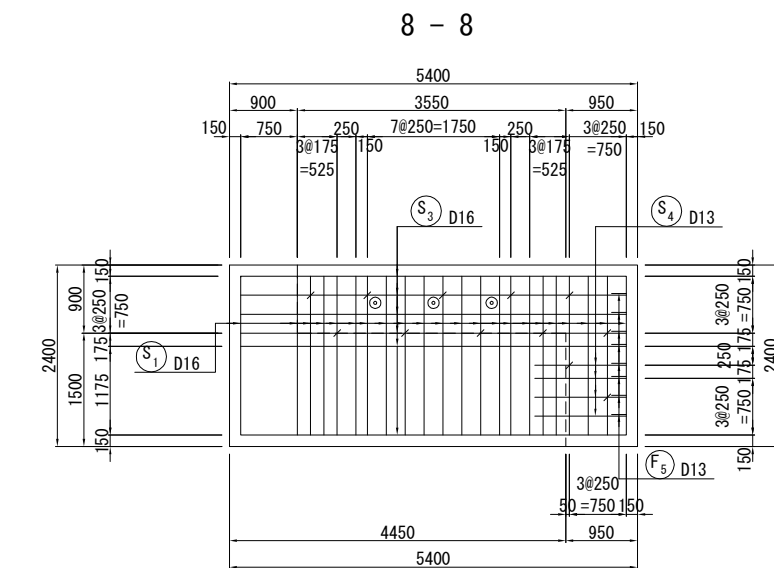
- ①道路橋示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
- ②機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)

なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

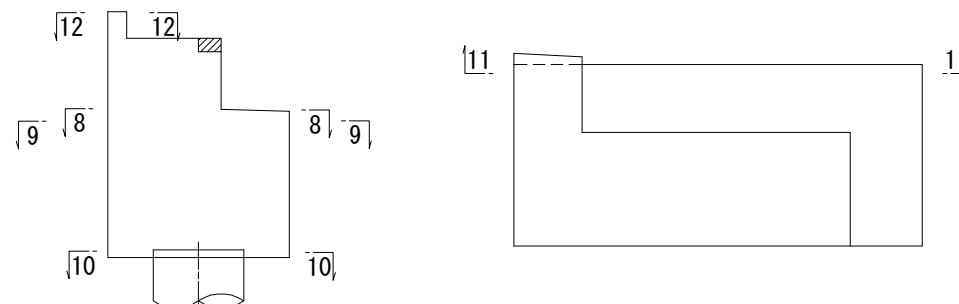
工 事 名	R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事		
図 面 名	ランプ1号歩道橋A1橋台配筋図(Ⅰ)		
縮 尺	図示	図面番号	35 / 59
年 月 日	令和 7 年 1 2 月 日		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

Eランプ1号歩道橋A1橋台配筋図(2) S=1:50



位置図

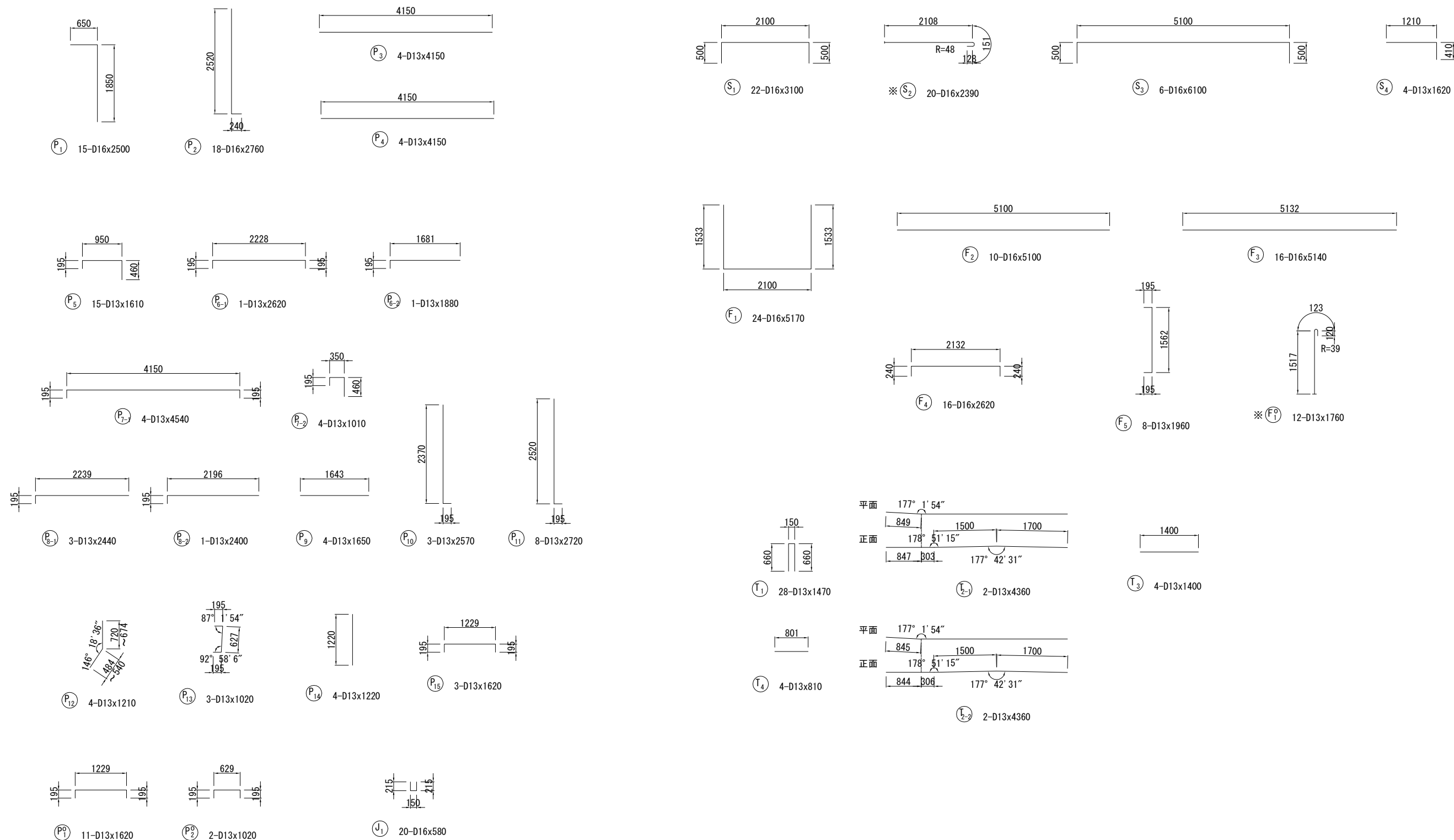


注1) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。
①道路橋示方書・同解説 (H29. 11 日本道路協会)
②機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28. 7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工 事 名	R 7 機環南国道 1 号外歩道橋下部工事		
図 面 名	Eランプ1号歩道橋A1橋台配筋図(2)		
縮 尺	図示	図面番号	36 / 59
年 月 日	令和 7 年 1 2 月 日		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

Eランプ1号歩道橋A1橋台配筋図(3) S=1:50



注1) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、
下記の基準等を満足すること。
①道路橋示方書・同解説 (H29. 11 日本道路協会)
②機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
(H28. 7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体
と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工 事 名	R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事		
図 面 名	Eランプ1号歩道橋A1橋台配筋図(3)		
縮 尺	1:50	図面番号	37 / 59
年 月 日	令和 7 年 1 2 月 日		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

Eランプ1号歩道橋A1橋台配筋図(4)

鉄筋表

記号	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
P 1	D16	2500	15	1.56	3.90	59	┐
P 2	D16	2760	18	1.56	4.31	78	└
P 3	D13	4150	4	0.995	4.13	17	――
P 4	D13	4150	4	0.995	4.13	17	――
P 5	D13	1610	15	0.995	1.60	24	┌
P 6-1	D13	2620	1	0.995	2.61	3	┐
P 6-2	D13	1880	1	0.995	1.87	2	┐
P 7-1	D13	4540	4	0.995	4.52	18	┐
P 7-2	D13	1010	4	0.995	1.00	4	┐
P 8-1	D13	2440	3	0.995	2.43	7	┐
P 8-2	D13	2400	1	0.995	2.39	2	┐
P 9	D13	1650	4	0.995	1.64	7	――
P 10	D13	2570	3	0.995	2.56	8	┘
P 11	D13	2720	8	0.995	2.71	22	┘
P 12	D13	1210	4	0.995	1.20	5	ノ
P 13	D13	1020	3	0.995	1.01	3	┘
P 14	D13	1220	4	0.995	1.21	5	└
P 15	D13	1620	3	0.995	1.61	5	┐
P 〇 1	D13	1620	11	0.995	1.61	18	┐
P 〇 2	D13	1020	2	0.995	1.01	2	┐
306 kg							
J 1	D16	580	20	1.56	0.90	18	┐
18 kg							
T 1	D13	1470	28	0.995	1.46	41	┐
T 2-1	D13	4360	2	0.995	4.34	9	――
T 2-2	D13	4360	2	0.995	4.34	9	――
T 3	D13	1400	4	0.995	1.39	6	――
T 4	D13	810	4	0.995	0.81	3	――
68 kg							
S 1	D16	3100	22	1.56	4.84	106	┐
S 2	D16	2390	20	1.56	3.73	75	┐
S 3	D16	6100	6	1.56	9.52	57	┐
S 4	D13	1620	4	0.995	1.61	6	┐
244 kg							
F 1	D16	5170	24	1.56	8.07	194	┐
F 2	D16	5100	10	1.56	7.96	80	――
F 3	D16	5140	16	1.56	8.02	128	――
F 4	D16	2620	16	1.56	4.09	65	┐
F 5	D13	1960	8	0.995	1.95	16	┘
F 〇 1	D13	1760	12	0.995	1.75	21	┐
504 kg							
				D16	860 kg		
				D13	280 kg		
				合計	1140 kg		

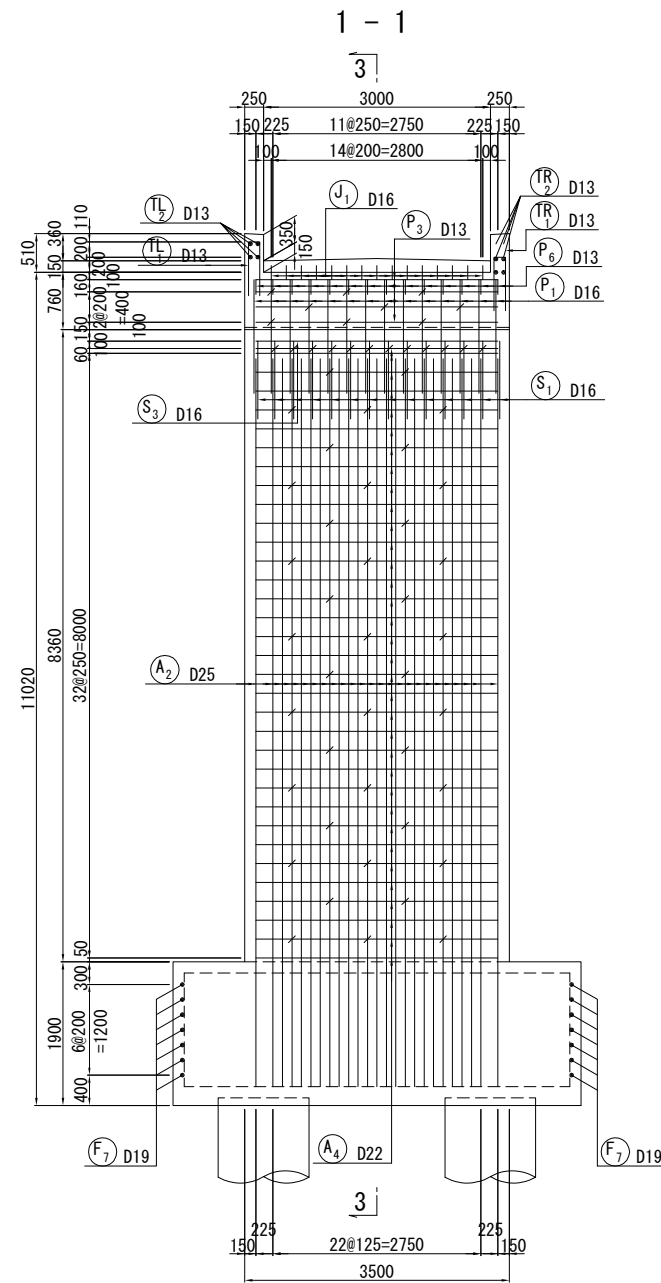
機械式鉄筋定着工法数量表

鉄筋径	箇 所 数					
	0<L≤1m	1m<L≤2m	2m<L≤3m	3m<L≤4m	4m<L≤5m	5m<L≤6m
D13	-	12	-	-	-	-
D16	-	-	20	-	-	-
小計	0	12	20	0	0	0
合計	32					

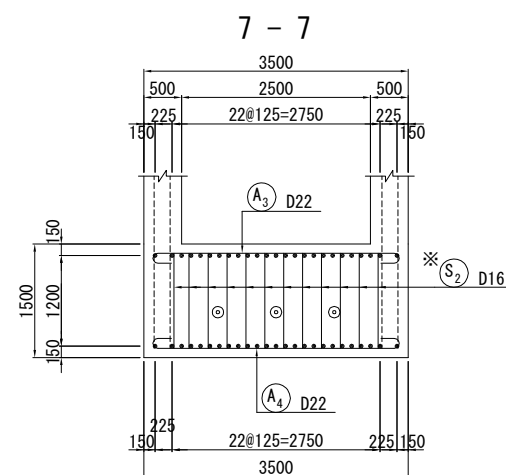
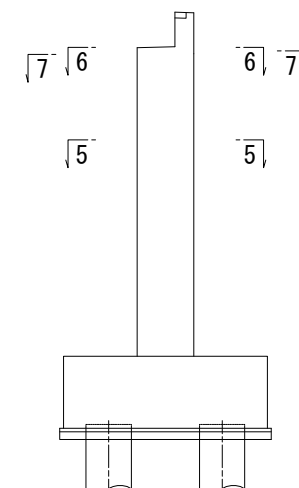
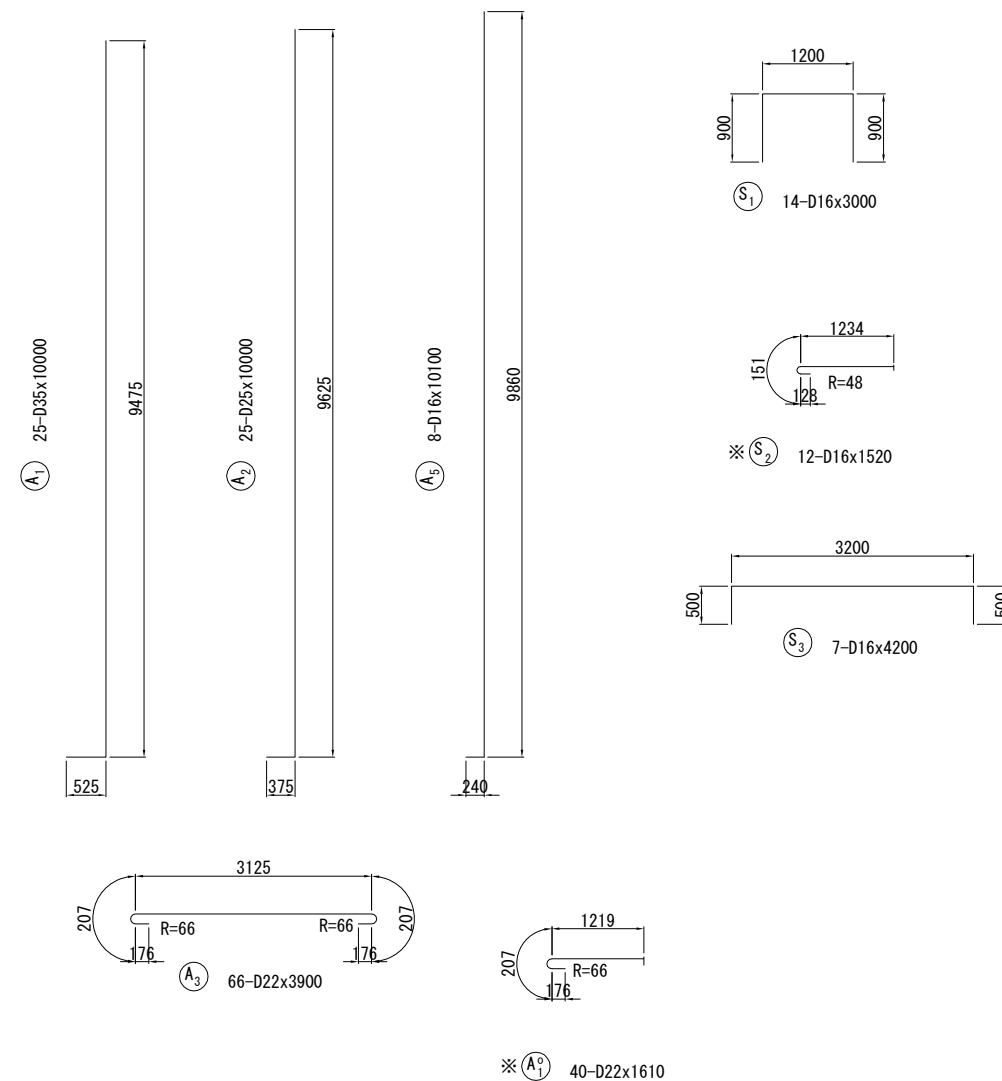
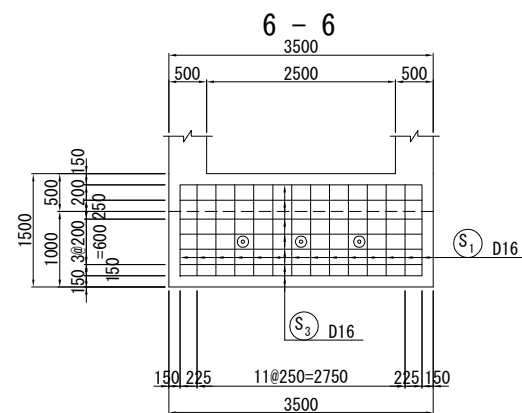
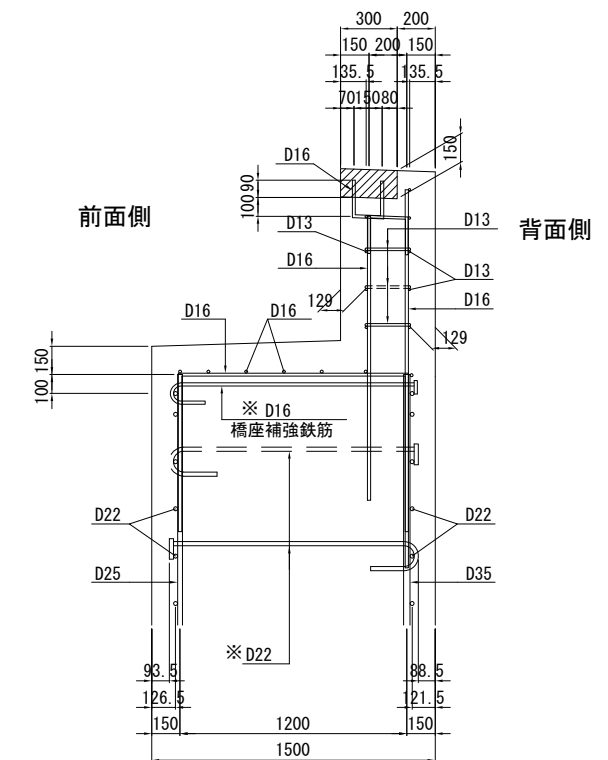
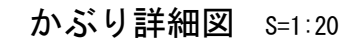
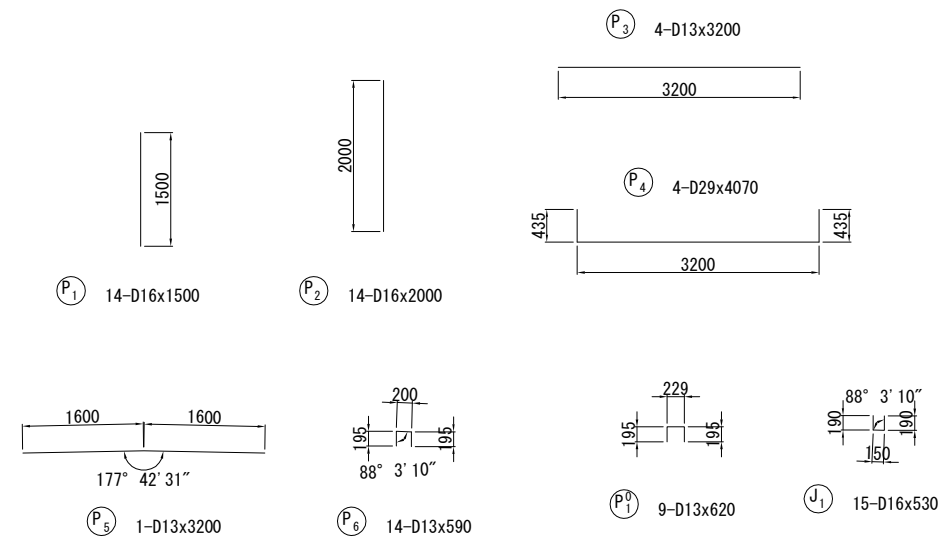
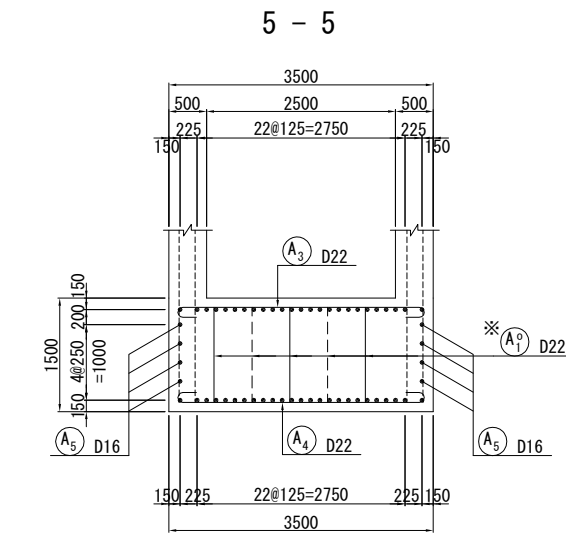
注1) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。
①道路橋示方書・同解説（H29.11 日本道路協会）
②機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン（H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会）
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

工 事 名	R 7 機環南国道 1 号外歩道橋下部工事		
図 面 名	Eランプ1号歩道橋A1橋台配筋図(4)		
縮 尺	-	図面番号	38 / 59
年 月 日	令和 7 年 1 2 月 日		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

Eランプ1号歩道橋A2橋台配筋図(1) S=1:50



Eランプ1号歩道橋A2橋台配筋図(2) S=1:50



注1) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。

- ① 道路橋示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
- ② 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)

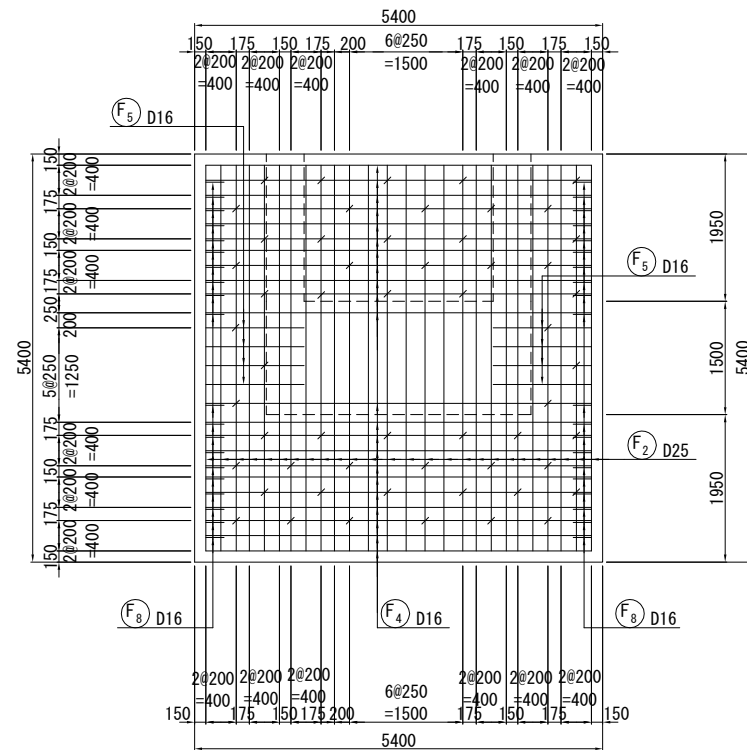
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

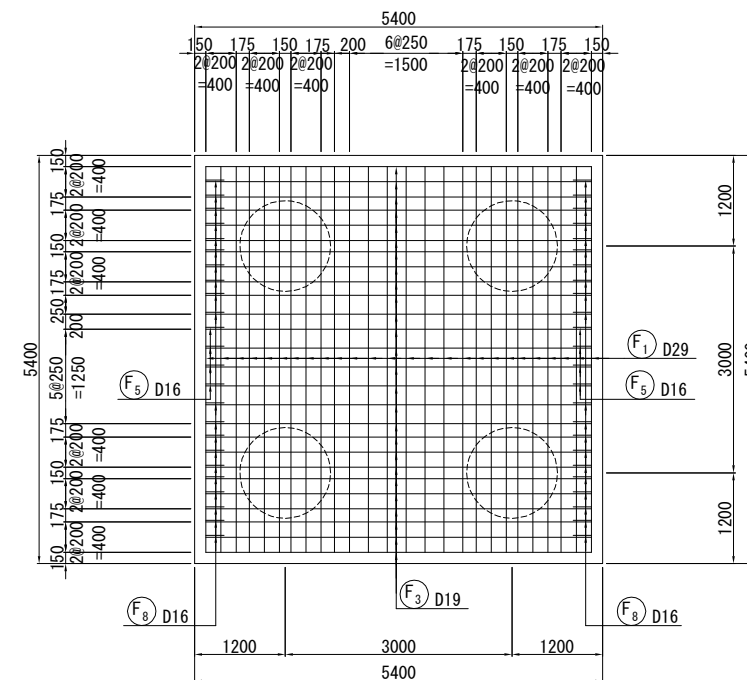
工 事 名	R7横環南国道1号外歩道橋下部工事		
図 面 名	Eランプ1号歩道橋A2橋台筋筋図(2)		
縮 尺	図示	図面番号	40 / 59
年 月 日	令和7年12月 日		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

Eランプ1号歩道橋A2橋台配筋図(3) S=1:50

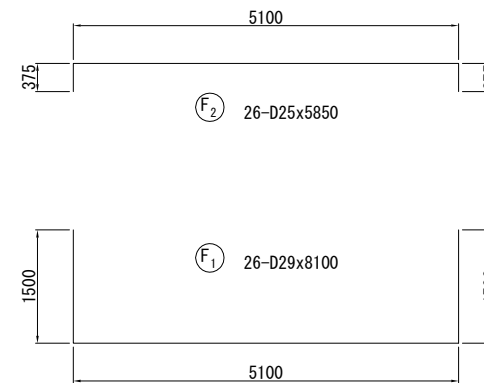
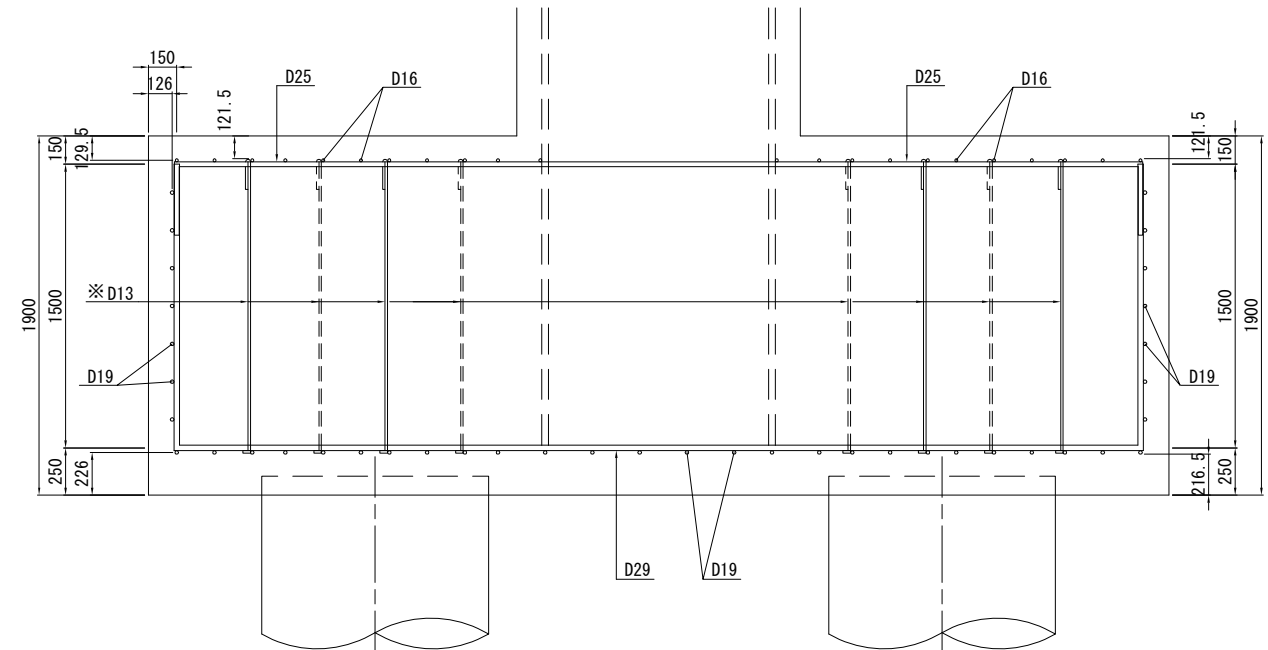
8 - 8



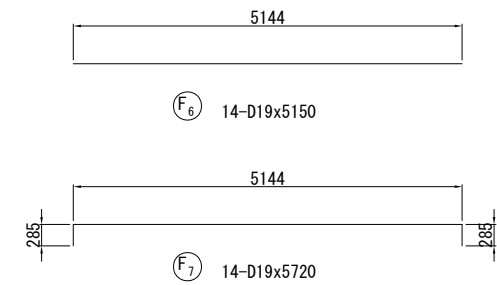
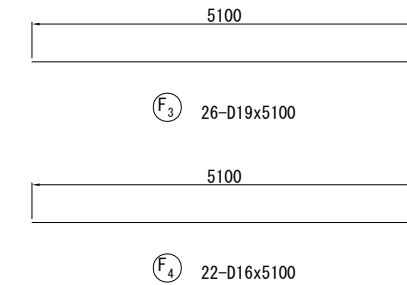
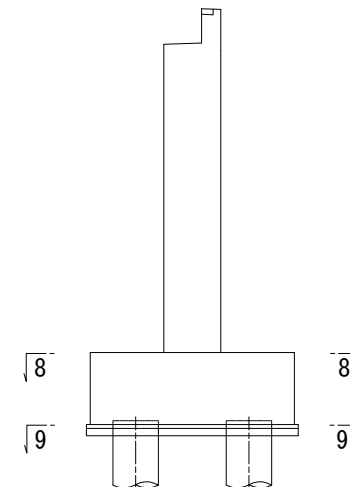
9 - 9



かぶり詳細図 S=1:20



位置図

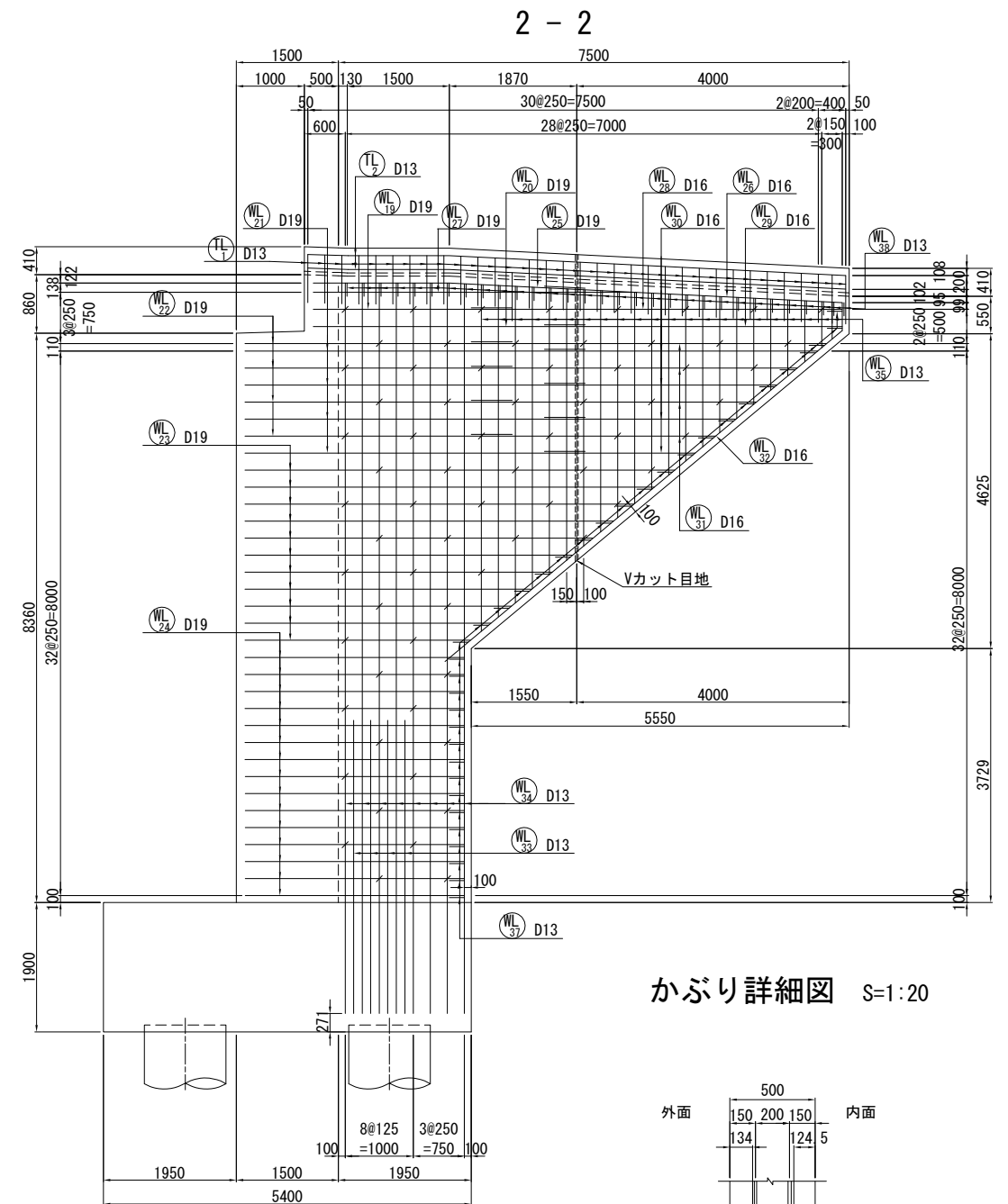
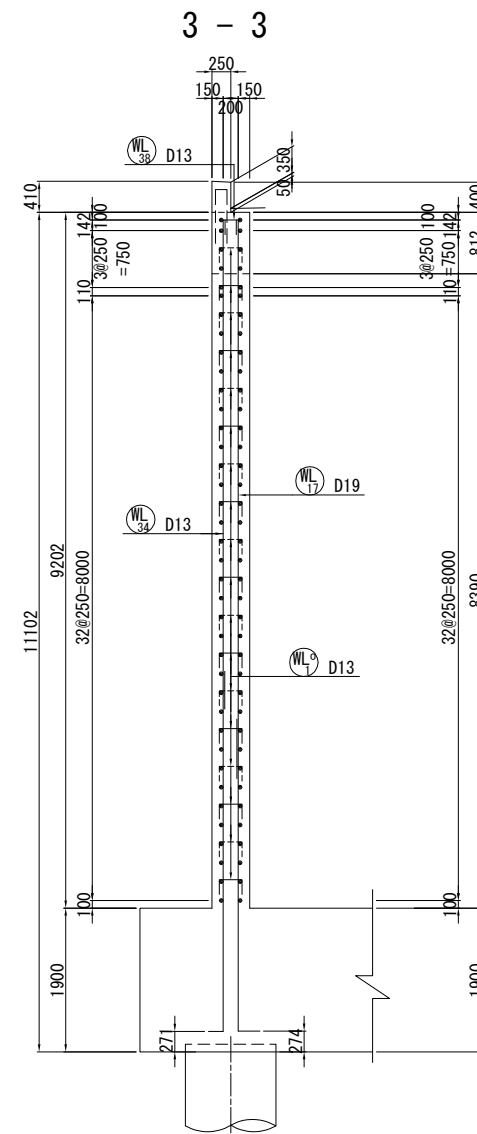
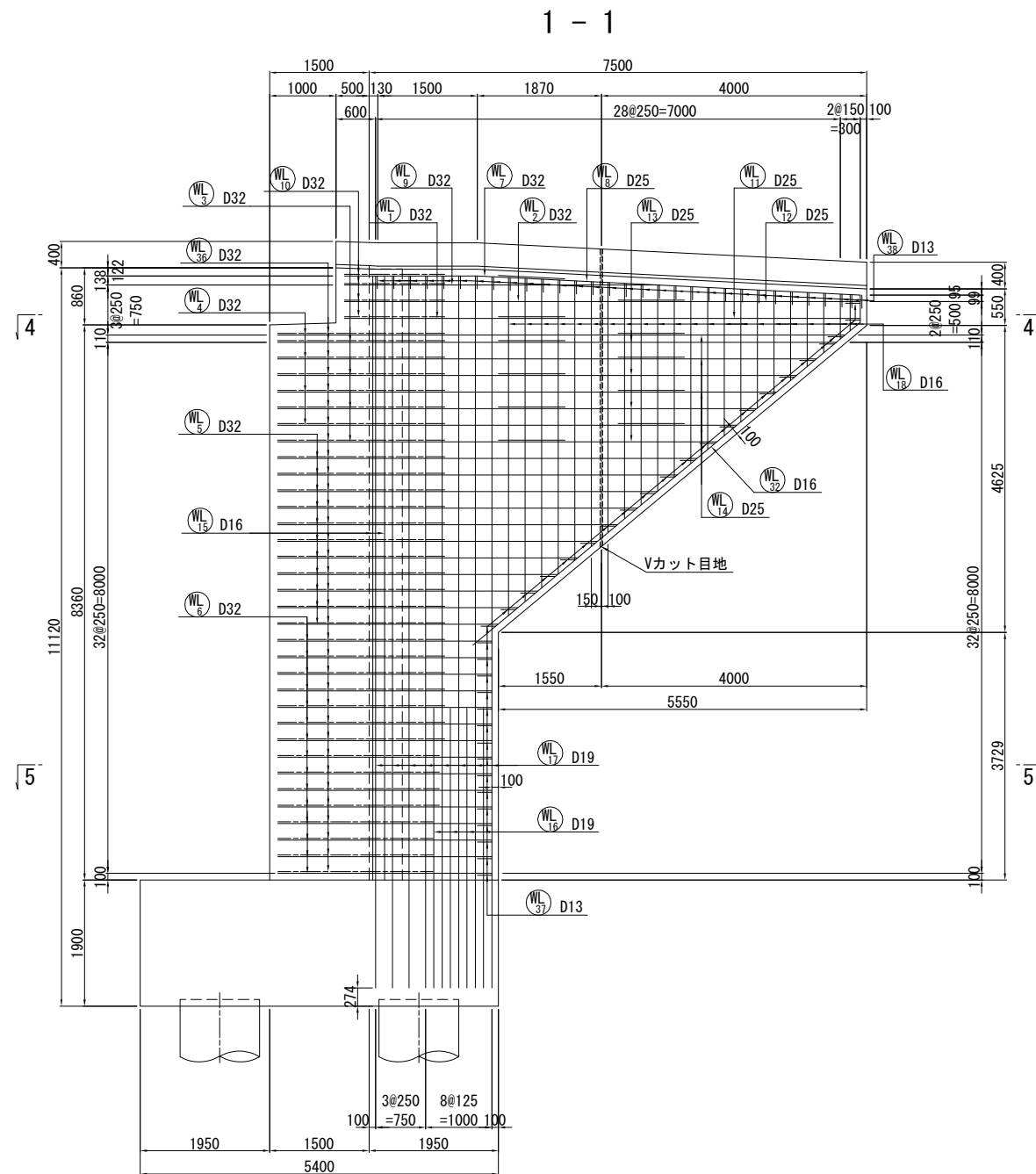


注1) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。
①道路橋示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
②機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

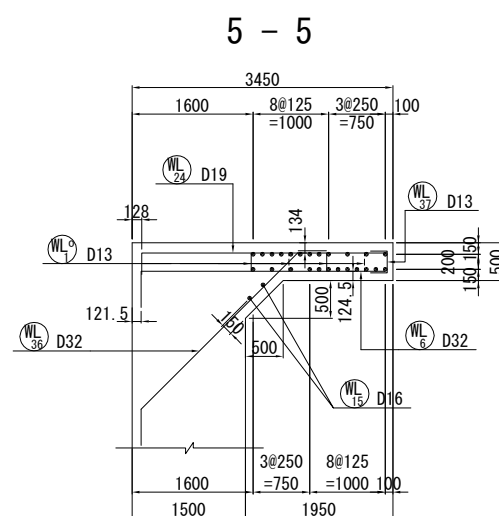
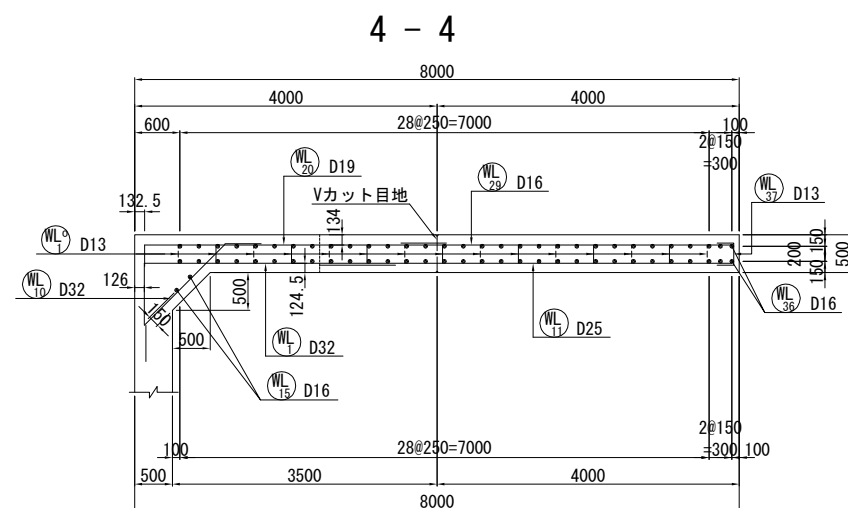
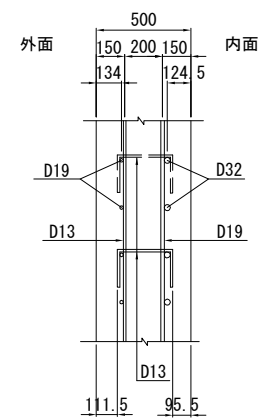
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R7横浜南国道1号外歩道橋下部工事		
図面名	Eランプ1号歩道橋A2橋台配筋図(3)		
縮尺	図示	図面番号	41 / 59
年月日	令和7年12月 日		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

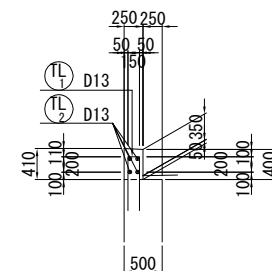
Eランプ1号歩道橋A2橋台配筋図(4) S=1:50



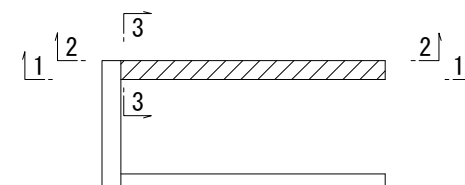
かぶり詳細図 S=1:20



地覆部断面図



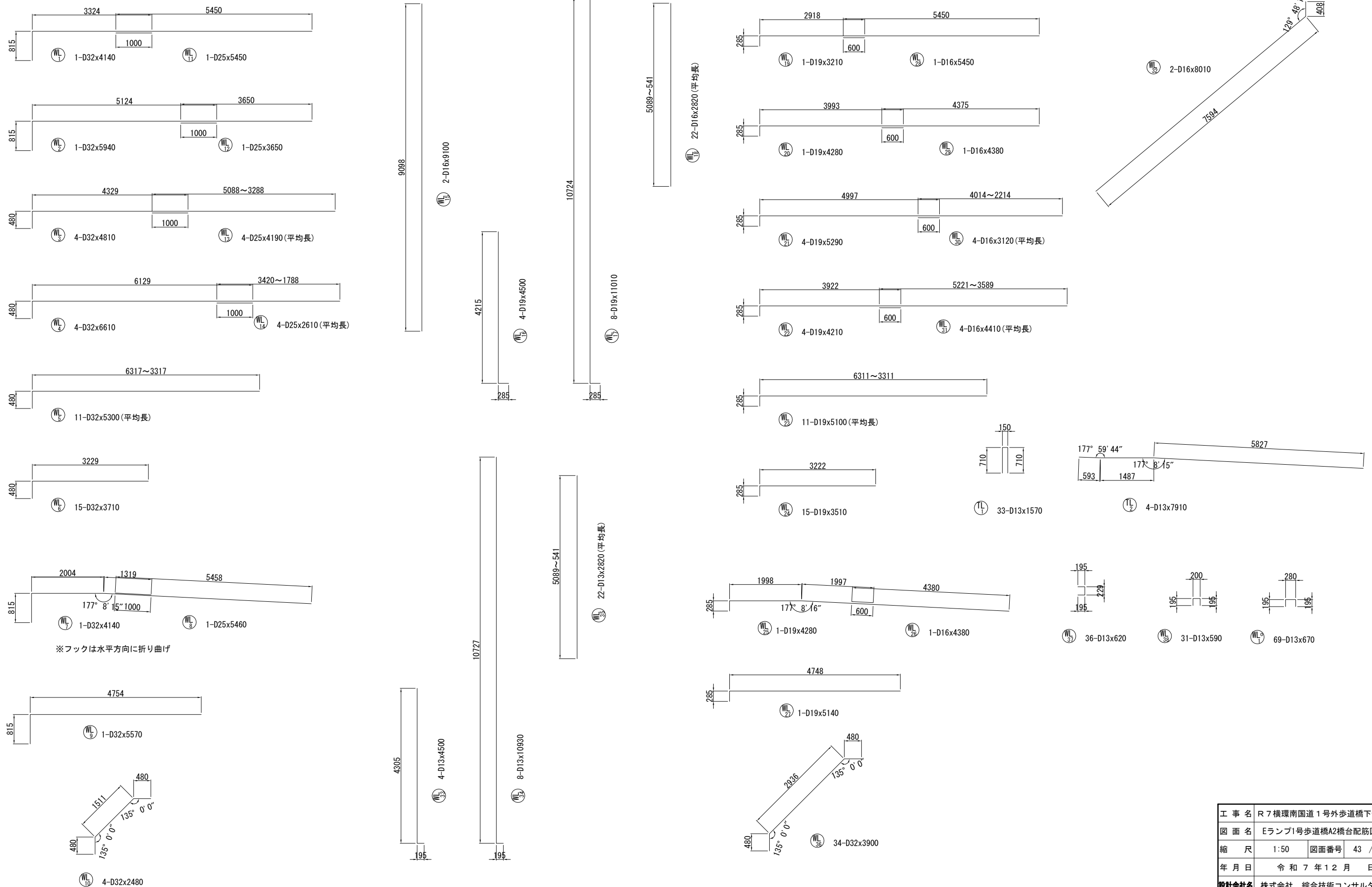
位置図



工 事 名	R7横環南国道1号外歩道橋下部工事		
図 面 名	Eランプ1号歩道橋A2橋台配筋図(4)		
縮 尺	図示	図面番号	42 / 59
年 月 日	令和7年12月 日		
設計社社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

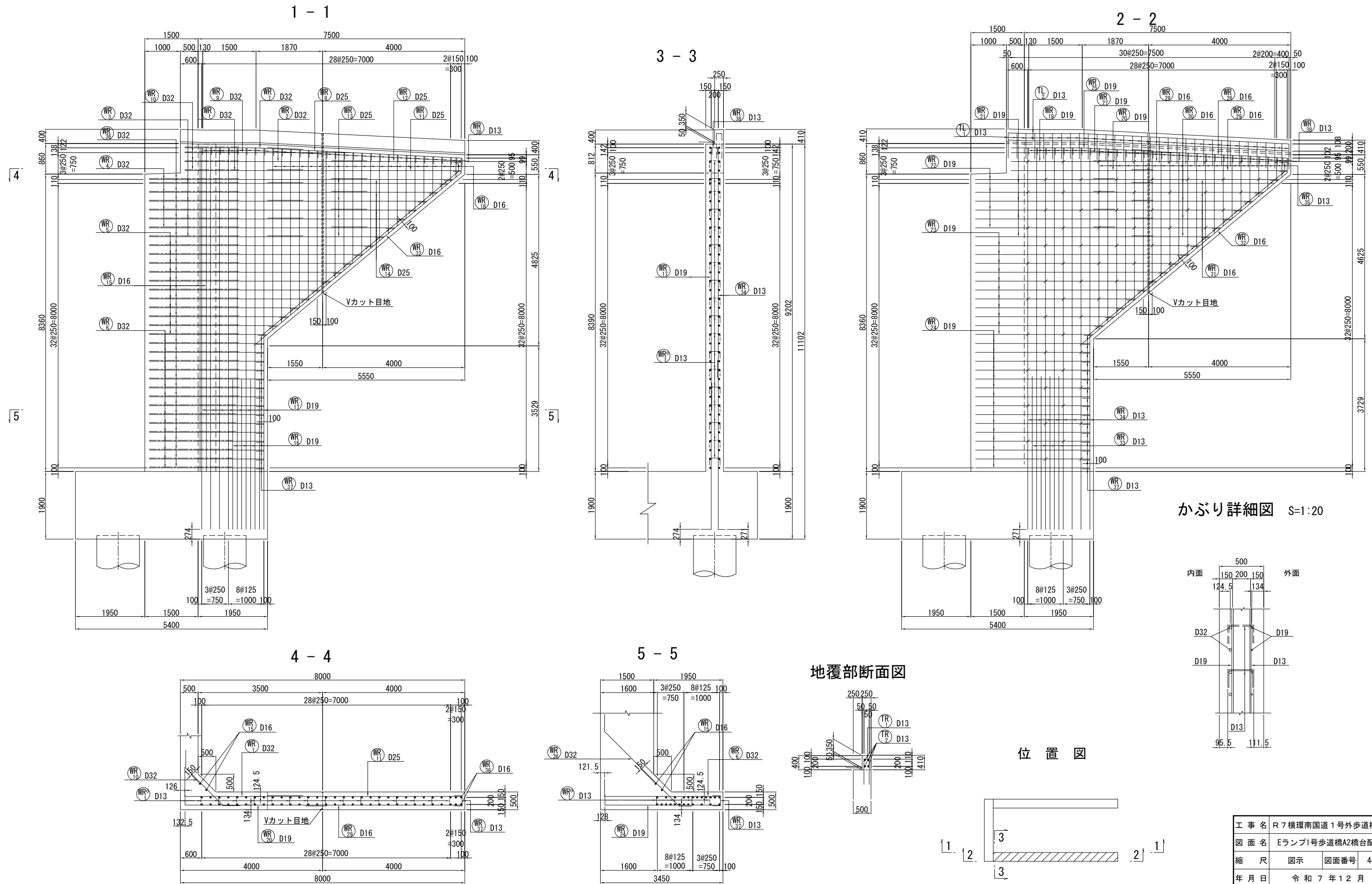
Eランプ1号歩道橋A2橋台配筋図(5) S=1:50



本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工 事 名	R7横環南国道1号外歩道橋下部工事		
図 面 名	Eランプ1号歩道橋A2橋台配筋図(5)		
縮 尺	1:50	図面番号	43 / 59
年 月 日	令和7年12月 日		
設計社社名	株式会社 綜合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

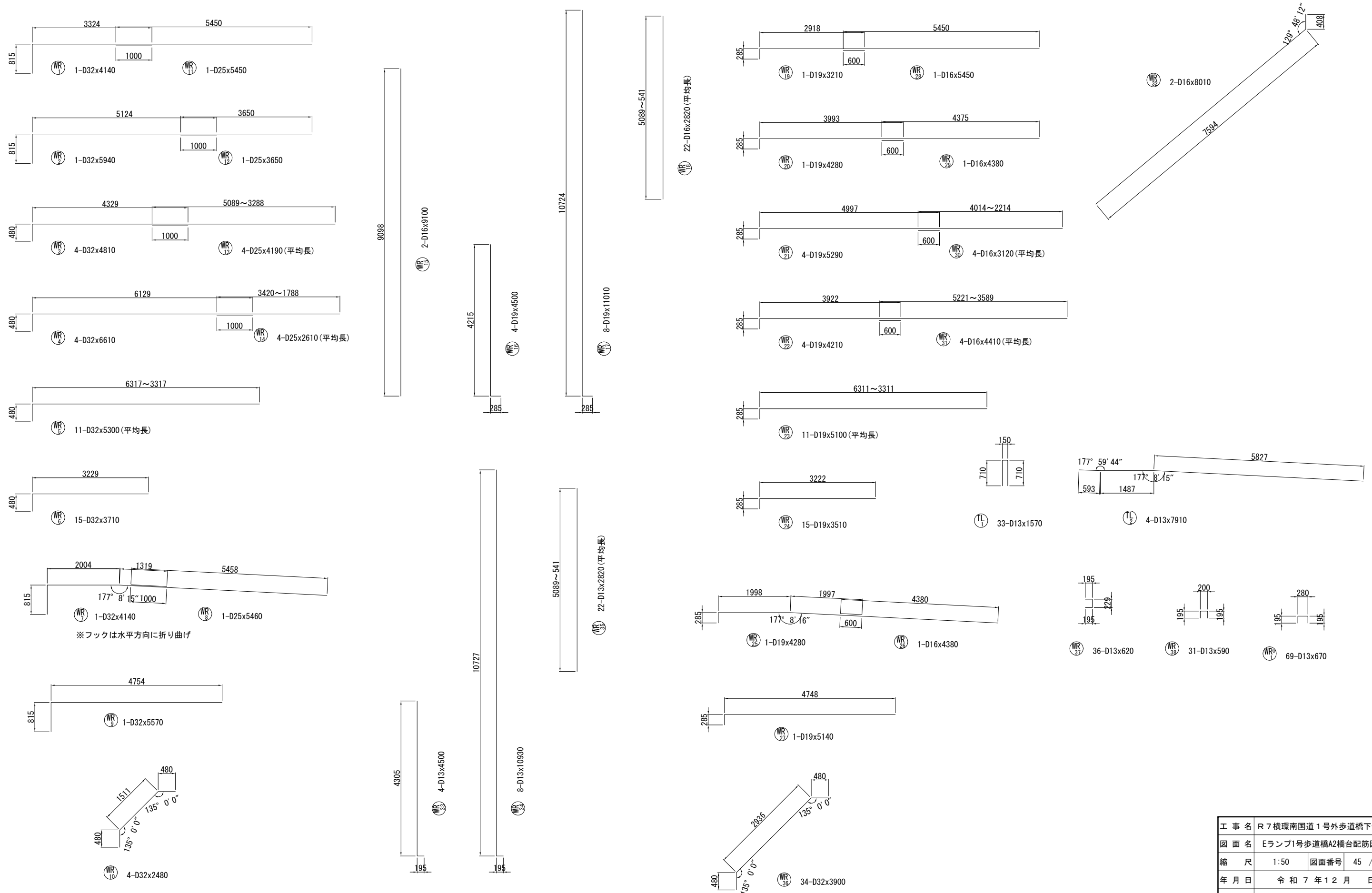
Eランプ1号歩道橋A2橋台配筋図(6) S=1:50



本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工 事 名	R7横環南国道1号外歩道橋下部工事		
図 面 名	Eランプ1号歩道橋A2橋台配筋図(6)		
縮 尺	図示	図面番号	44 / 59
年 月 日	令和7年12月 日		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

Eランプ1号歩道橋A2橋台配筋図(7) S=1:50



本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工 事 名	R7横環南国道1号外歩道橋下部工事		
図 面 名	Eランプ1号歩道橋A2橋台配筋図(7)		
縮 尺	1:50	図面番号	45 / 59
年 月 日	令和7年12月 日		
設計社社名	株式会社 綜合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

Eランプ1号歩道橋A2橋台配筋図(8)

鉄筋表

記号	径	長さ (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	1本当り重量 (kg)	重 量 (kg)	摘 要
P1	D16	1500	14	1.56	2.34	33	┐
P2	〃	2000	14	〃	3.12	44	┐
P3	D13	3200	4	0.995	3.18	13	――
P4	D29	4070	4	5.04	20.51	82	┐
P5	D13	3200	1	0.995	3.18	3	――
P6	〃	590	14	〃	0.59	8	┐
Po1	〃	620	9	〃	0.62	6	┐
189 kg							
A1	D35	10000	25	7.51	75.10	1878	┐
A2	D25	10000	25	3.98	39.80	995	┐
A3	D22	3900	66	3.04	11.86	783	┐
A4	〃	3900	34	〃	11.86	403	┐
A5	D16	10100	8	1.56	15.76	126	┐
※Ao1	D22	1610	40	3.04	4.89	196	┐
4381 kg							
S1	D16	3000	14	1.56	4.68	66	┐
※S2	〃	1520	12	〃	2.37	28	┐
S3	〃	4200	7	〃	6.55	46	┐
140 kg							
F1	D29	8100	26	5.04	40.82	1061	┐
F2	D25	5850	26	3.98	23.28	605	┐
F3	D19	5100	26	2.25	11.48	298	――
F4	D16	5100	22	〃	7.96	175	――
F5	〃	3090	8	〃	4.82	39	┐
F6	D19	5150	14	2.25	11.59	162	――
F7	〃	5720	14	〃	12.87	180	┐
F8	D16	2030	40	1.56	3.17	127	┐
※Fo1	D13	1740	55	0.995	1.73	95	┐
2428 kg							
WL1	D32	4140	1	6.23	25.79	26	┐
WL2	〃	5940	1	〃	37.01	37	┐
WL3	〃	4810	4	〃	29.97	120	┐
WL4	〃	6610	4	〃	41.18	165	┐
WL5	〃	5300	11	〃	33.02	363	┐(平均長)
WL6	〃	3710	15	〃	23.11	347	┐
WL7	〃	4140	1	〃	25.79	26	┐
WL8	D25	5460	1	3.98	21.73	22	――
WL9	D32	5570	1	6.23	34.70	35	┐
WL10	〃	2480	4	〃	15.45	62	┐
WL11	D25	5450	1	3.98	21.69	22	――
WL12	〃	3650	1	〃	14.53	15	――
WL13	〃	4190	4	〃	16.68	67	――(平均長)
WL14	〃	2610	4	〃	10.39	42	――(平均長)
WL15	D16	9100	2	1.56	14.20	28	┐
WL16	D19	4500	4	2.25	10.13	41	┐
WL17	〃	11010	8	〃	24.77	198	┐
WL18	D16	2820	22	1.56	4.40	97	┐(平均長)
WL19	D19	3210	1	2.25	7.22	7	┐
WL20	〃	4280	1	〃	9.63	10	┐
WL21	〃	5290	4	〃	11.90	48	┐
WL22	〃	4210	4	〃	9.47	38	┐
WL23	〃	5100	11	〃	11.48	126	┐(平均長)
WL24	〃	3510	15	〃	7.90	119	┐
WL25	〃	4280	1	〃	9.63	10	┐
WL26	D16	4380	1	1.56	6.83	7	――
WL27	D19	5140	1	2.25	11.57	12	┐
WL28	D16	5450	1	1.56	8.50	9	――
WL29	〃	4380	1	〃	6.83	7	――
WL30	〃	3120	4	〃	4.87	19	――(平均長)
WL31	〃	4410	4	〃	6.88	28	――(平均長)
WL32	〃	8010	2	〃	12.50	25	┐
WL33	D13	4500	4	0.995	4.48	18	┐
WL34	〃	10930	8	〃	10.88	87	┐
WL35	〃	2820	22	〃	2.81	62	┐(平均長)

記号	径	長さ (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	1本当り重量 (kg)	重 量 (kg)	摘 要
WL36	D32	3900	34	6.23	24.30	826	┐
WL37	D13	620	36	0.995	0.62	22	┐
WL38	〃	590	31	〃	0.59	18	┐
WLo1	〃	670	69	〃	0.67	46	┐
3257 kg							
WR1	D32	4140	1	6.23	25.79	26	┐
WR2	〃	5940	1	〃	37.01	37	┐
WR3	〃	4810	4	〃	29.97	120	┐
WR4	〃	6610	4	〃	41.18	165	┐
WR5	〃	5300	11	〃	33.02	363	┐(平均長)
WR6	〃	3710	15	〃	23.11	347	┐
WR7	〃	4140	1	〃	25.79	26	┐
WR8	D25	5460	1	3.98	21.73	22	――
WR9	D32	5570	1	6.23	34.70	35	┐
WR10	〃	2480	4	〃	15.45	62	┐
WR11	D25	5450	1	3.98	21.69	22	――
WR12	〃	3650	1	〃	14.53	15	――
WR13	〃	4190	4	〃	16.68	67	――(平均長)
WR14	〃	2610	4	〃	10.39	42	――(平均長)
WR15	D16	9100	2	1.56	14.20	28	┐
WR16	D19	4500	4	2.25	10.13	41	┐
WR17	〃	11010	8	〃	24.77	198	┐
WR18	D16	2820	22	1.56	4.40	97	┐(平均長)
WR19	D19	3210	1	2.25	7.22	7	┐
WR20	〃	4280	1	〃	9.63	10	┐
WR21	〃	5290	4	〃	11.90	48	┐
WR22	〃	4210	4	〃	9.47	38	┐
WR23	〃	5100	11	〃	11.48	126	┐(平均長)
WR24	〃	3510	15	〃	7.90	119	┐
WR25	〃	4280	1	〃	9.63	10	┐
WR26	D16	4380	1	1.56	6.83	7	――
WR27	D19	5140	1	2.25	11.57	12	┐
WR28	D16	5450	1	1.56	8.50	9	――
WR29	〃	4380	1	〃	6.83	7	――
WR30	〃	3120	4	〃	4.87	19	――(平均長)
WR31	〃	4410	4	〃	6.88	28	――(平均長)
WR32	〃	8010	2	〃	12.50	25	┐
WR33	D13	4500	4	0.995	4.48	18	┐
WR34	〃	10930	8	〃	10.88	87	┐
WR35	〃	2820	22	〃	2.81	62	┐(平均長)
WR36	D32	3900	34	6.23	24.30	826	┐
WR37	D13	620	36	0.995	0.62	22	┐
WR38	〃	590	31	〃	0.59	18	┐
WRo1	〃	670	69	〃	0.67	46	┐
3257 kg							
TL1	D13	1570	33	0.995	1.56	51	┐
TL2	〃	7910	4	〃	7.87	31	――
82 kg							
TR1	D13	1570	33	0.995	1.56	51	┐
TR2	〃	7910	4	〃	7.87	31	――
82 kg							
J1	D16	530	15	1.56	0.83	12	┐
12 kg							

記号	径	長さ (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	1本当り重量 (kg)	重 量 (kg)	摘 要
				D35	1878 kg		
				D32	4014 kg		
				D29	1143 kg		
				D25	1936 kg		
				D22	1382 kg		
				D19	1858 kg		
				D16	1136 kg		
				D13	795 kg		
				合計	14142 kg		

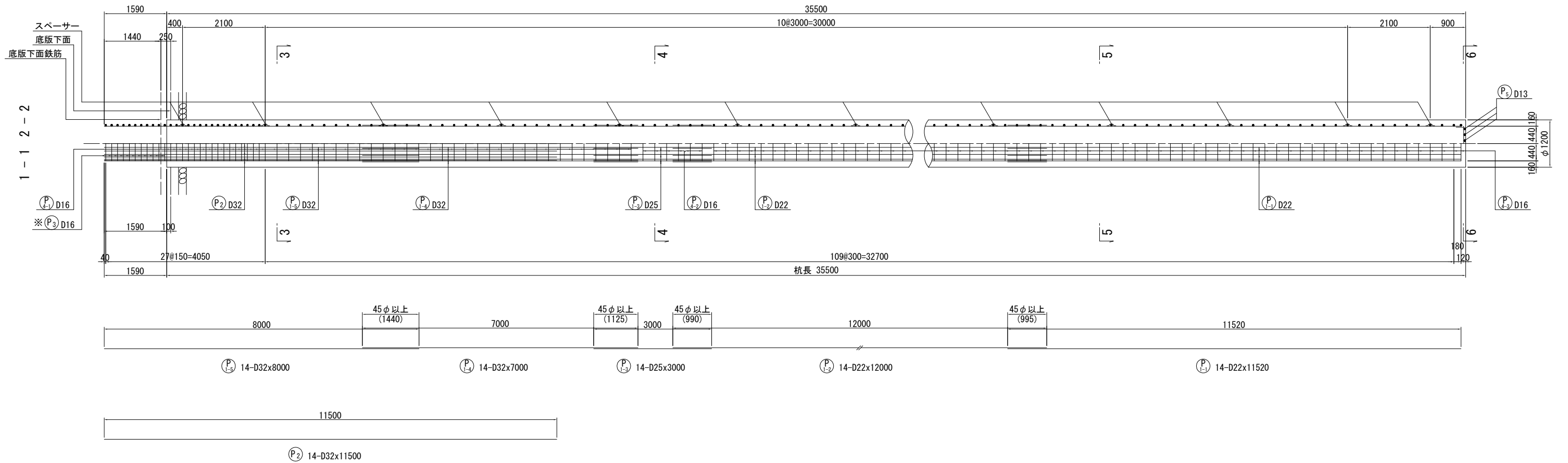
機械式鉄筋定着工法数量表

鉄筋径	箇 所 数					
	0<L≤1m	1m<L≤2m	2m<L≤3m	3m<L≤4m	4m<L≤5m	5m<L≤6m
D13	－	55	－	－	－	－
D16	－	12	－	－	－	－
D19	－	－	－	－	－	－
D22	－	40	－	－	－	－
小計	－	107	－	－	－	－
合計	107					

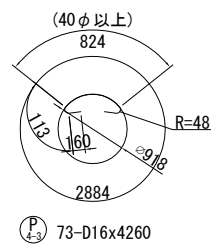
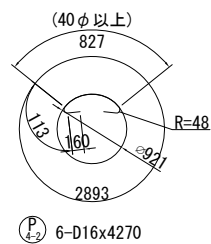
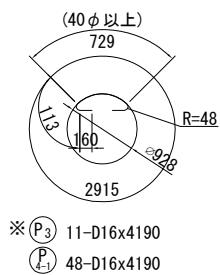
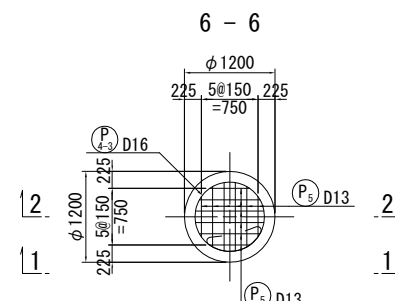
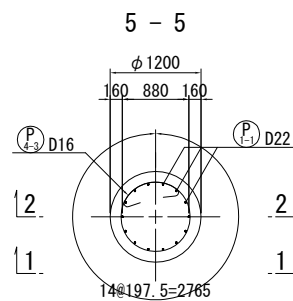
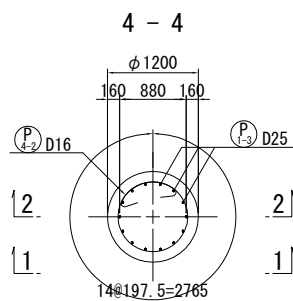
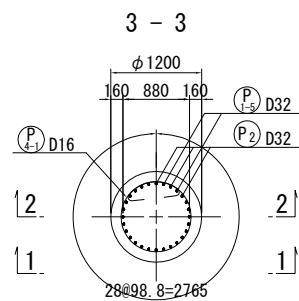
注1) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。
①道路橋示方書・同解説（H29.11 日本道路協会）
②機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン（H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会）
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

工 事 名	R7 横浜南国道1号外歩道橋下部工事		
図 面 名	Eランプ1号歩道橋A2橋台配筋図(8)		
縮 尺	－	図面番号	46 / 59
年 月 日	令和7年12月 日		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

Eランプ1号歩道橋A1橋台場所打杭配筋図(1) S=1:50

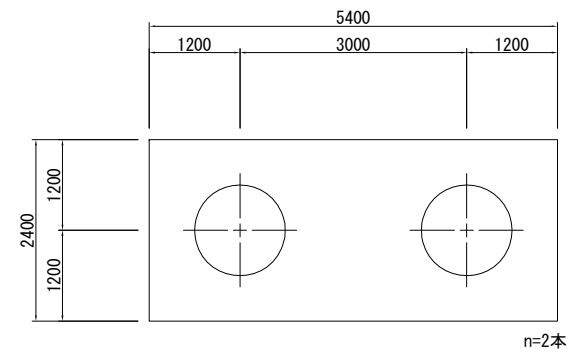


断面図



P5 12-D13x1140 (平均長)				
記号	径	本数	l	L
P5-1	D13	4	529	920
2	D13	4	800	1190
3	D13	4	906	1300
平均長		12		1140

杭配置図



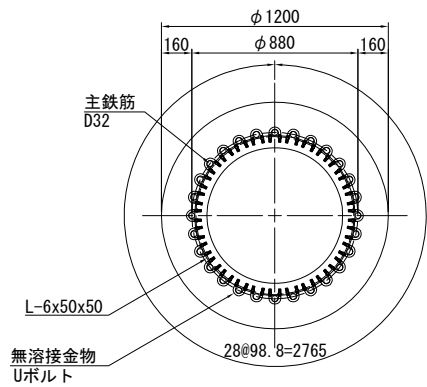
- 注) 1. スペーサーは、1段毎に45°ずらして配置すること。
2. 隣り合う帯鉄筋継手部は同一箇所集中しないように、千鳥上に配置する。
3. 鉄筋の組立てにおいては、組立て上の形状保持のための溶接は行わないこと。
4. 主鉄筋と帯鉄筋の交差箇所は、4本おきに番線結束するものとし、固定金具は使用しないこと。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

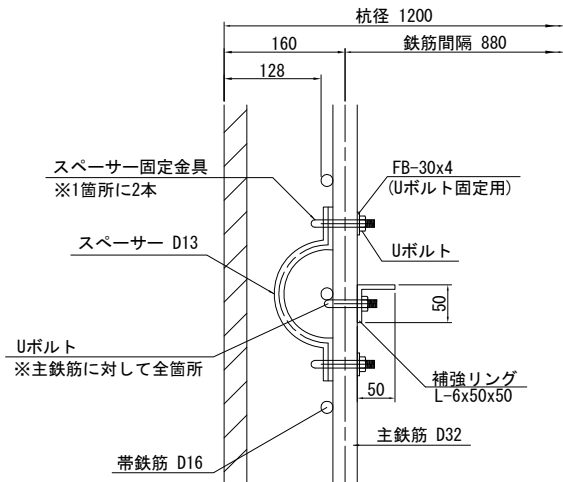
工 事 名	R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事		
図 面 名	Eランプ1号歩道橋 A1橋台場所打杭配筋図(1)		
縮 尺	1:50	図面番号	47 / 59
年 月 日	令和 7 年 1 2 月 日		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

Eランプ1号歩道橋A1橋台場所打杭配筋図(2)

主鉄筋固定金具詳細図 S=1:20

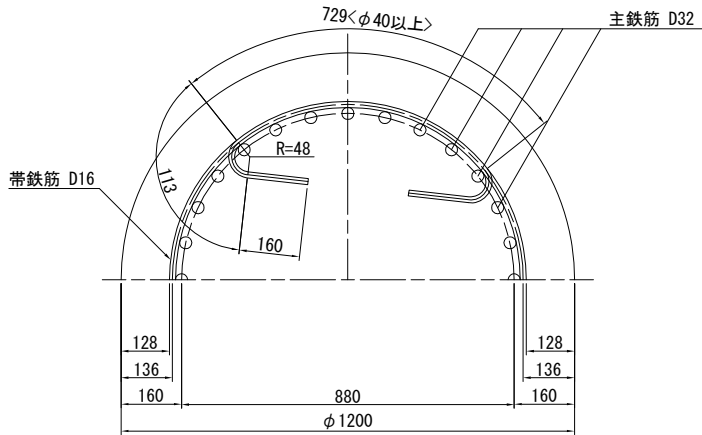


スペーサー詳細図 S=1:5

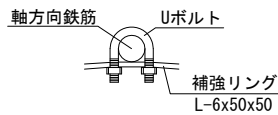


- 注) 1. スペーサーは1断面当り4箇所(1段目は6箇所)に配置する。
1交差箇所につき、上下1箇所ずつ金具で固定。
2. 主鉄筋と補強リングは、全数金具で固定。

かぶり詳細図 S=1:10

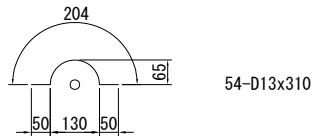


Uボルト部詳細図 S=1:5



- 注) Uボルト又は同等品
主筋と補強リングは、全数金具で固定。

スペーサー詳細図 S=1:10



鉄筋表

記号	径	長さ (mm/本)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
一般構造物 (SD345)							
P1-1	D22	11520	14	3.04	35.02	490	—
P1-2	〃	12000	14	〃	36.48	511	—
P1-3	D25	3000	14	3.98	11.94	167	—
P1-4	D32	7000	14	6.23	43.61	611	—
P1-5	〃	8000	14	〃	49.84	698	—
P2	〃	11500	14	〃	71.65	1003	—
P4-1	D16	4190	48	〃	6.54	314	○
P4-2	〃	4270	6	〃	6.66	40	○
P4-3	〃	4260	73	〃	6.65	485	○
P5	D13	1140	12	0.995	1.13	14	┘ (平均長)
							4333 kg
一般構造物 鉄筋集計 (SD345)							
				1本当たり	1基当たり		
D32				2312 kg	x	2	= 4624 kg
D25				167 kg	x	2	= 334 kg
D22				1001 kg	x	2	= 2002 kg
D16				839 kg	x	2	= 1678 kg
D13				14 kg	x	2	= 28 kg
合計				4333 kg	x	2	= 8666 kg
場所打杭用かご筋 (SD345)							
※ P3	D16	4190	11	1.56	6.54	72	○
							72 kg
場所打杭用かご筋 鉄筋集計 (SD345)							
				1本当たり	1基当たり		
D16				72 kg	x	2	= 144 kg
合計				72 kg	x	2	= 144 kg

補強リング、固定金具

種別	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
L-6x50x50	2645	5	4.43	11.7	59	補強リング (D32用)
L-6x50x50	2677	8	4.43	11.9	95	補強リング (D22用)
Uボルト	—	126	—	—	—	主鉄筋と補強リングの固定 (D32用)
Uボルト	—	112	—	—	—	主鉄筋と補強リングの固定 (D22用)

注) Uボルト規格
D32、D22、SS440、変形時荷重30kN以上
場所打ちコンクリート杭の鉄筋かご無溶接工法 設計・施工に関するガイドラインに準拠

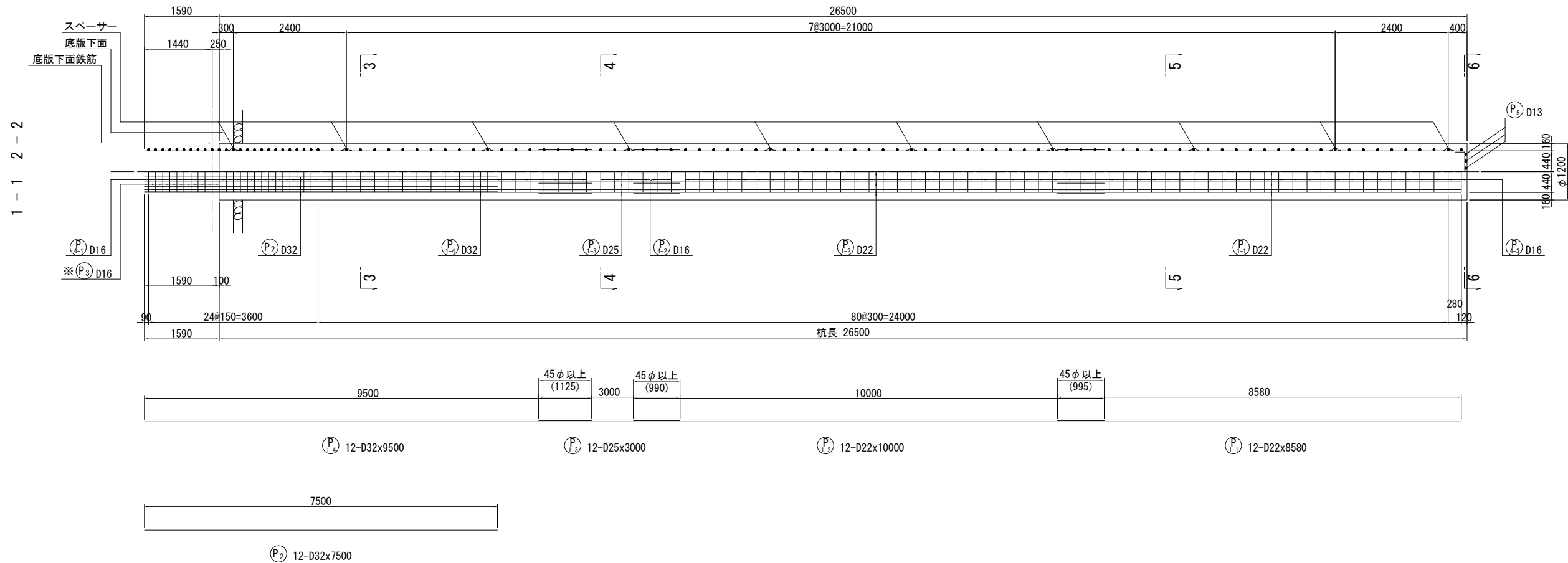
スペーサー、固定金具

種別	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
スペーサー-D13	310	54	0.995	0.308	17	SD345
Uボルト	—	44	—	—	—	スペーサーと主鉄筋の固定 (D32用)
Uボルト	—	64	—	—	—	スペーサーと主鉄筋の固定 (D22用)
FB-30x4	80	108	0.942	0.075	8	Uボルト固定用

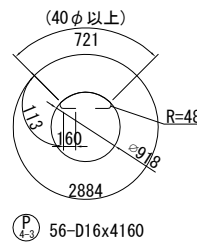
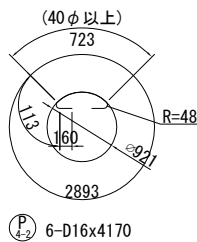
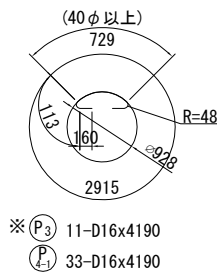
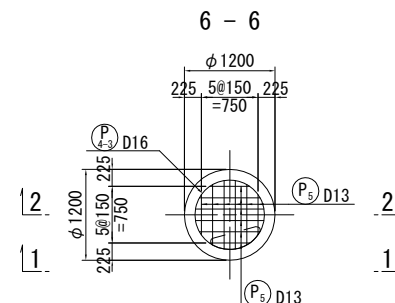
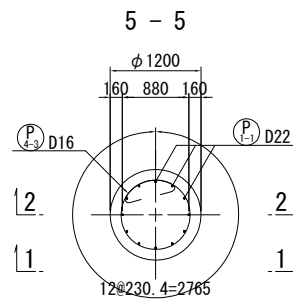
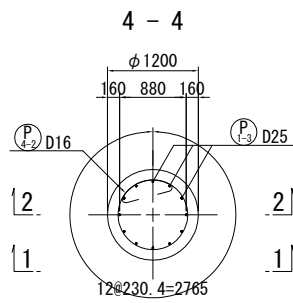
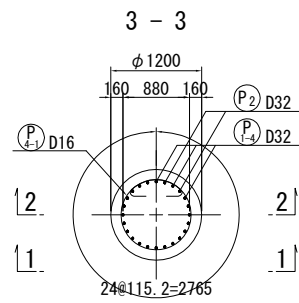
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R7横環南国道1号外歩道橋下部工事		
図面名	Eランプ1号歩道橋 A1橋台場所打杭配筋図(2)		
縮尺	図示	図面番号	48 / 59
年月日	令和7年12月 日		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

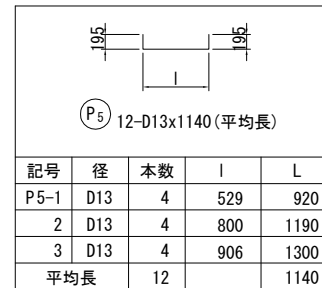
Eランプ1号歩道橋A2橋台場所打杭配筋図(1) S=1:50



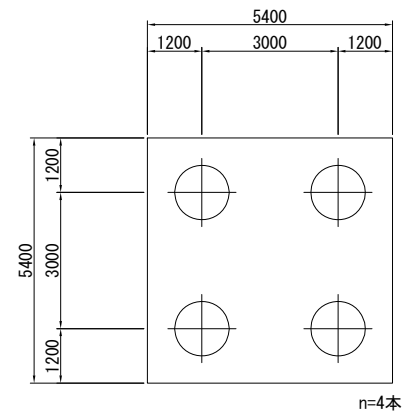
断面図



底面図



杭配置図

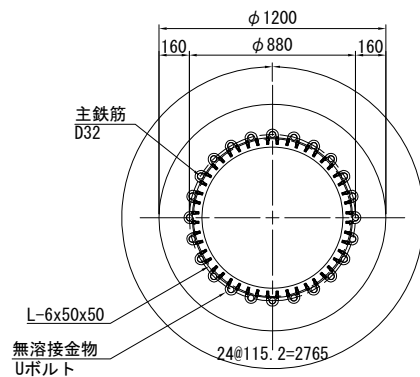


- 注) 1. スパーサーは、1段毎に45°ずらして配置すること。
2. 隣り合う帯鉄筋継手部は同一箇所に集中しないように、千鳥上に配置する。
3. 鉄筋の組立てにおいては、組立て上の形状保持のための溶接は行わないこと。
4. 主鉄筋と帯鉄筋の交差箇所は、4本おきに番線結束するものとし、固定金具は使用しないこと。
- 本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

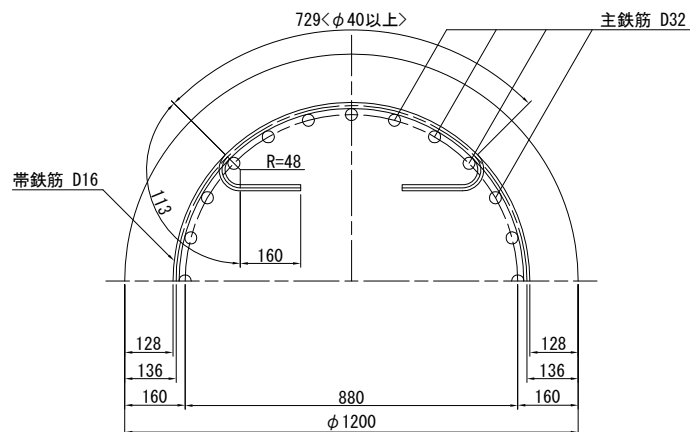
工事名	R7横環南国道1号外歩道橋下部工事		
図面名	Eランプ1号歩道橋 A2橋台場所打杭配筋図(1)		
縮尺	1:50	図面番号	49 / 59
年月日	令和7年12月 日		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

Eランプ1号歩道橋A2橋台場所打杭配筋図(2)

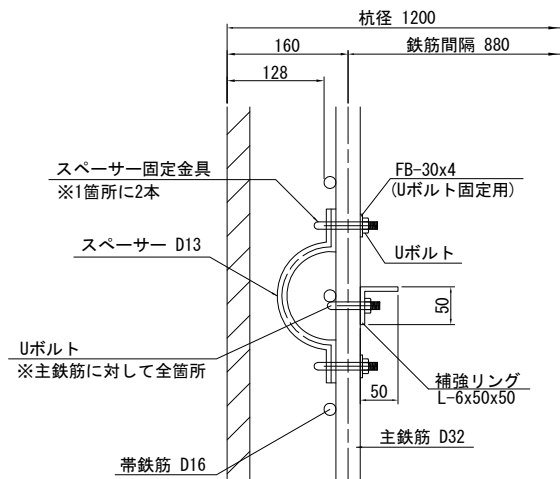
主鉄筋固定金具詳細図 S=1:20



かぶり詳細図 S=1:10

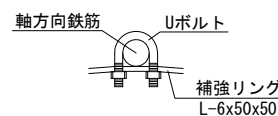


スぺーサ-詳細図 S=1:5



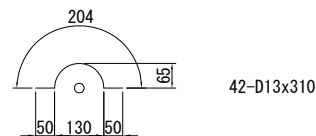
- 注) 1. スペースは1断面当り4箇所(1段目は6箇所)に配置する。
1交差箇所につき、上下1箇所ずつ金具で固定。
2. 主鉄筋と補強リングは、全数金具で固定。

Uボルト部詳細図 S=1:5



- 注) Uボルト又は同等品
主筋と補強リングは、全数金具で固定。

スぺーサー詳細図 S=1:10



鉄筋表

記号	径	長さ (mm/本)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
一般構造物 (SD345)							
P1-1	D22	8580	12	3.04	26.1	313	—
P1-2	〃	10000	12	〃	30.4	365	—
P1-3	D25	3000	12	3.98	11.9	143	—
P1-4	D32	9500	12	6.23	59.2	710	—
P2	〃	7500	12	〃	46.7	560	—
P4-1	D16	4190	33	1.56	6.54	216	○
P4-2	〃	4170	6	〃	6.51	39	○
P4-3	〃	4160	56	〃	6.49	363	○
P5	D13	1140	12	0.995	1.13	14	┘ (平均長)
						2723 kg	
一般構造物 鉄筋集計 (SD345)							
				1本当たり	1基当たり		
				D32	1270 kg	x 4 =	5080 kg
				D25	143 kg	x 4 =	572 kg
				D22	678 kg	x 4 =	2712 kg
				D16	618 kg	x 4 =	2472 kg
				D13	14 kg	x 4 =	56 kg
				合計	2723 kg	x 4 =	10892 kg
場所打杭用かご筋 (SD345)							
P3	D16	4190	11	1.56	6.54	72	○
						72 kg	
場所打杭用かご筋 鉄筋集計 (SD345)							
				1本当たり	1基当たり		
				D16	72 kg	x 4 =	288 kg
				合計	72 kg	x 4 =	288 kg

補強リング、固定金具

種 別	長 さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
L-6x50x50	2645	3	4. 43	11. 7	35	補強リング (D32用)
L-6x50x50	2667	1	4. 43	11. 8	12	補強リング (D25用)
L-6x50x50	2677	6	4. 43	11. 9	71	補強リング (D22用)
Uボルト	-	72	-	-	-	主鉄筋と補強リングの固定 (D32用)
Uボルト	-	12	-	-	-	主鉄筋と補強リングの固定 (D25用)
Uボルト	-	72	-	-	-	主鉄筋と補強リングの固定 (D22用)

注)Uボルト規格

D32、D25、D22、SS440、變形時荷重30kN以上

場所打ちコンクリート杭の鉄筋がご無溶接工法 設計・施工に関するガイドラインに準拠

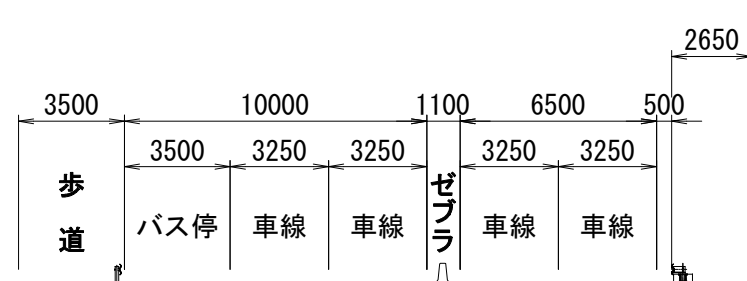
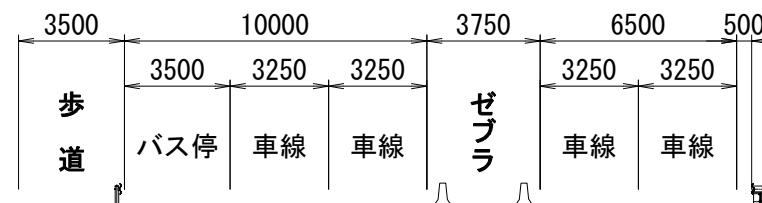
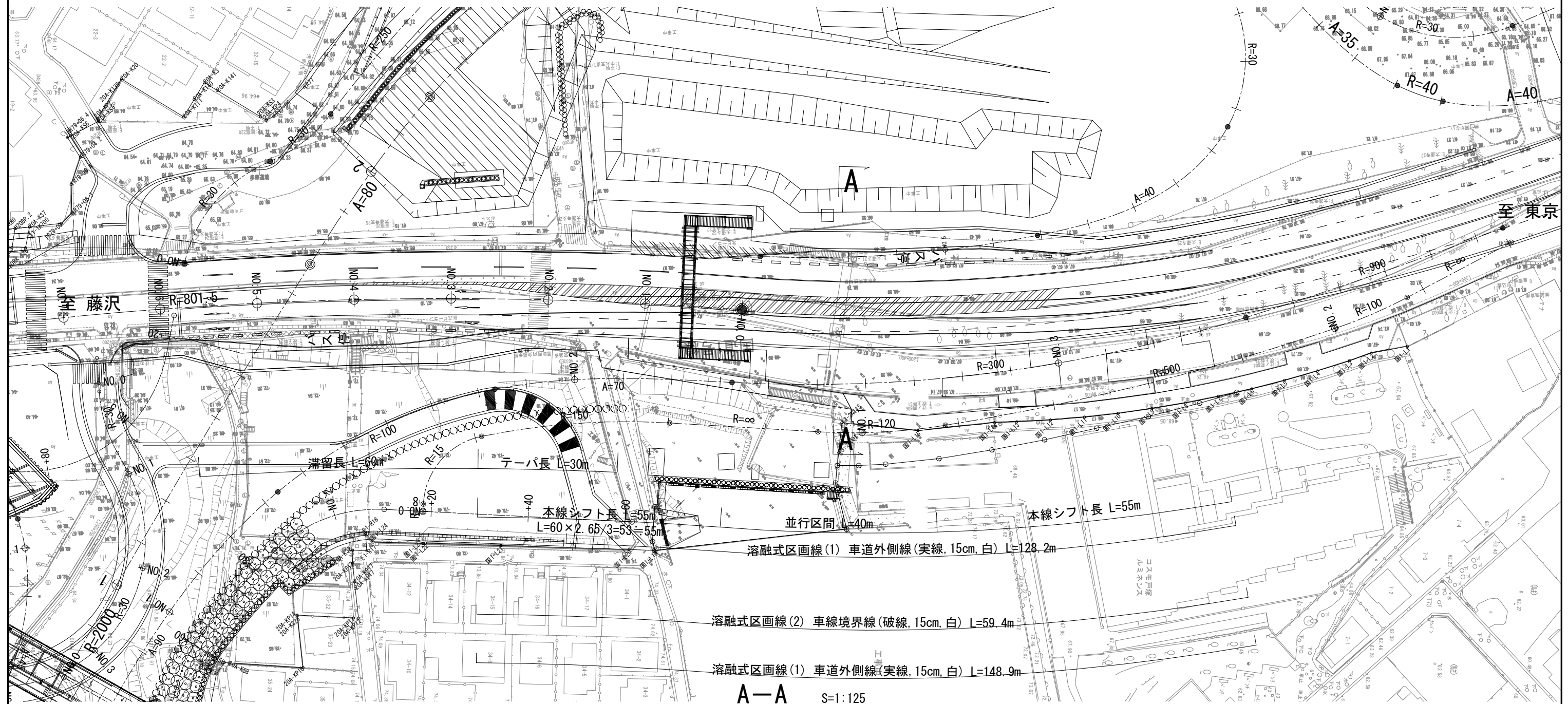
スぺーサー、固定金具

種 別	長 さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
スぺーサーD13	310	42	0.995	0.308	13	SD345
Uボルト	-	28	-	-	-	スぺーサーと主鉄筋の固定 (D32用)
Uボルト	-	8	-	-	-	スぺーサーと主鉄筋の固定 (D25用)
Uボルト	-	48	-	-	-	スぺーサーと主鉄筋の固定 (D22用)
FB-30x4	80	84	0.942	0.075	6	Uボルト 固定用

工 事 名	R7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事		
図 面 名	Eランプ1号歩道橋 A2橋台場所打杭配筋図(2)		
縮 尺	図示	図面番号	50 / 59
年 月 日	令和 7 年 12 月 日		
設計社社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

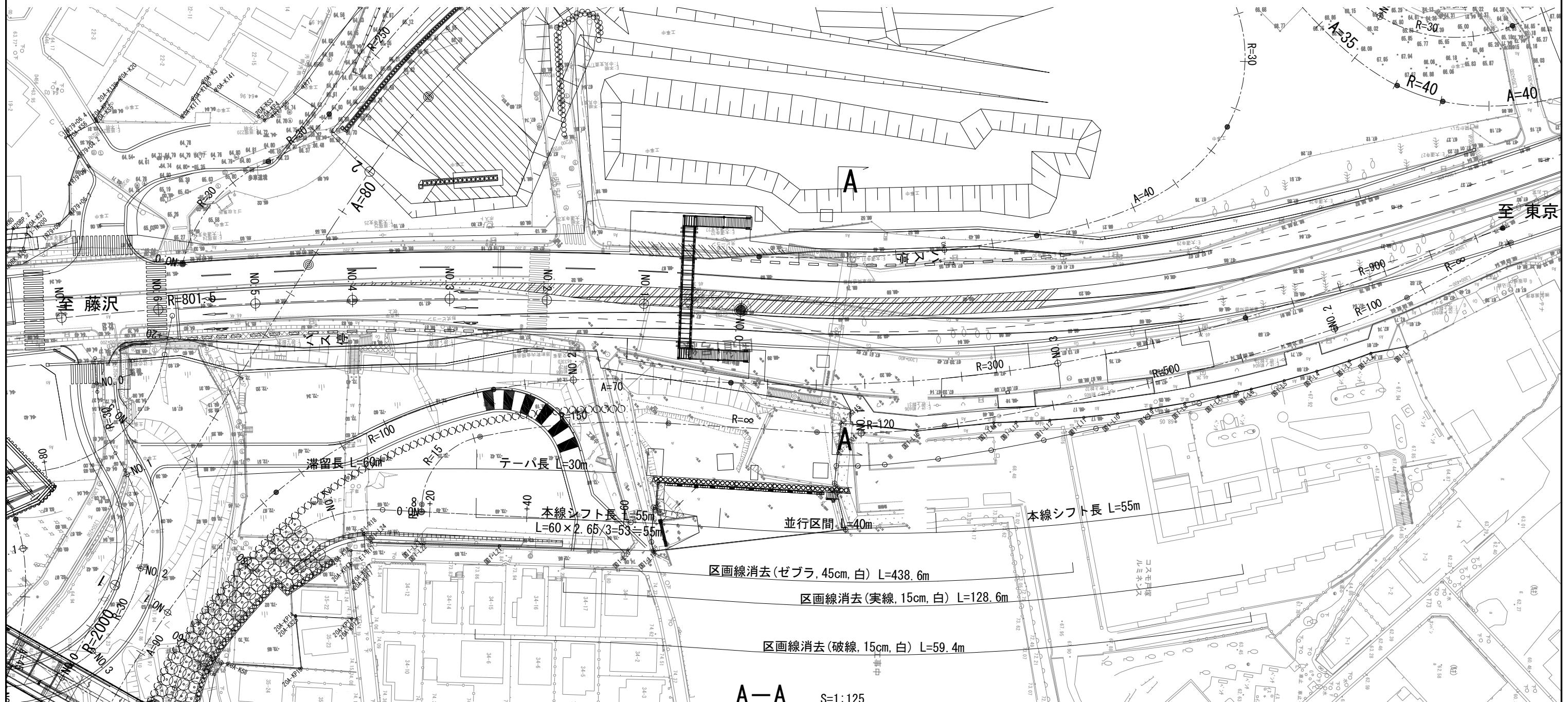
区画線工平面図 S=1:400



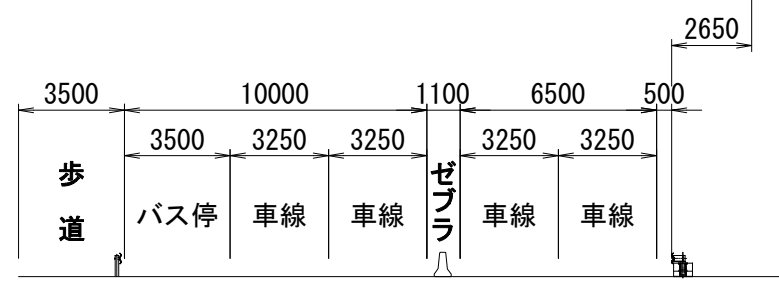
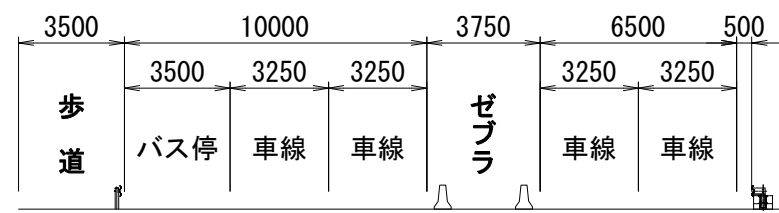
工 事 名	R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事		
図 面 名	区画線工平面図		
縮 尺	図示	図面番号	51 / 59
年 月 日	令和 7 年 1 2 月 日		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

区画線消去平面図 S=1:400



A-A S=1:125

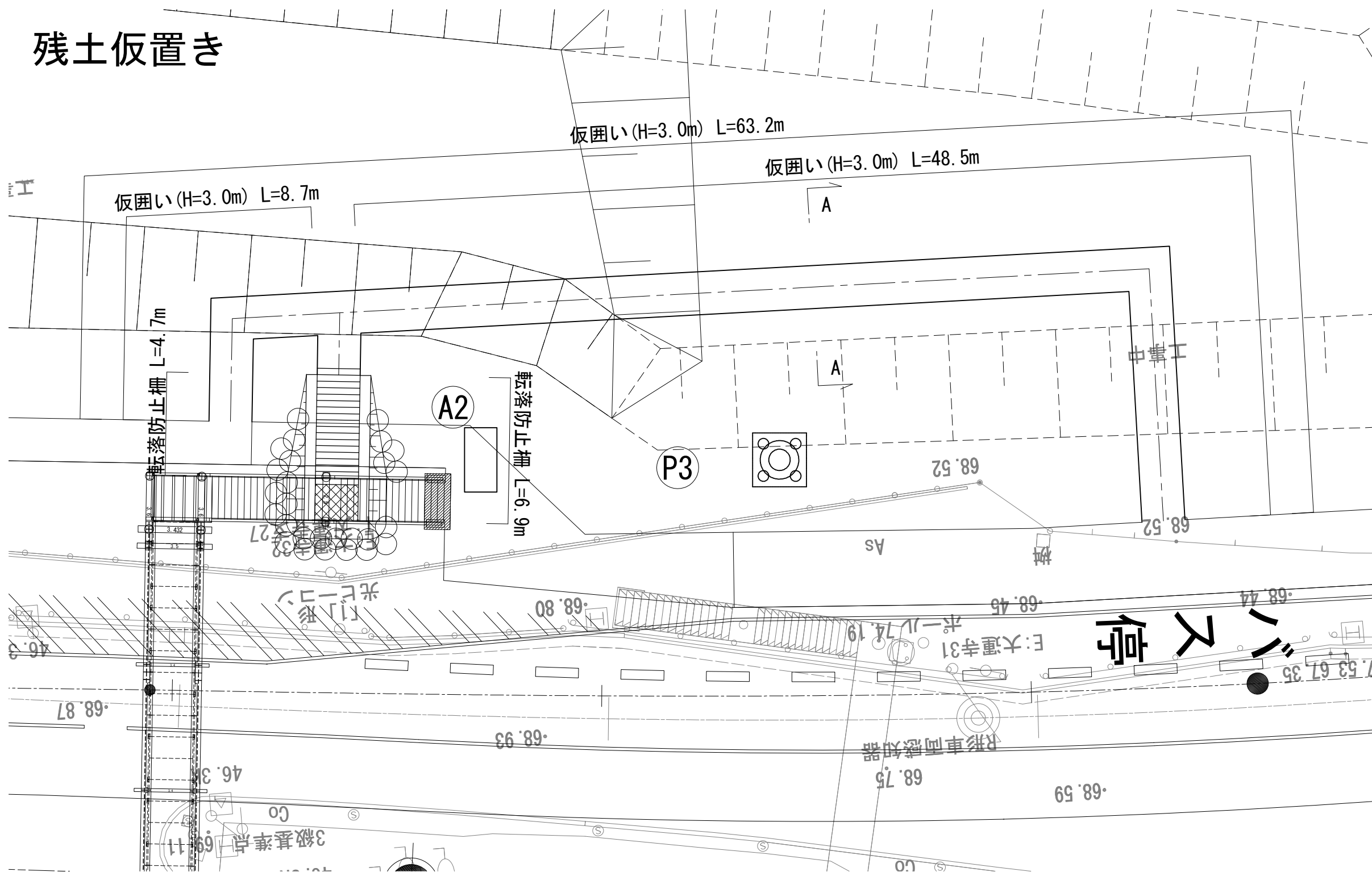


本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

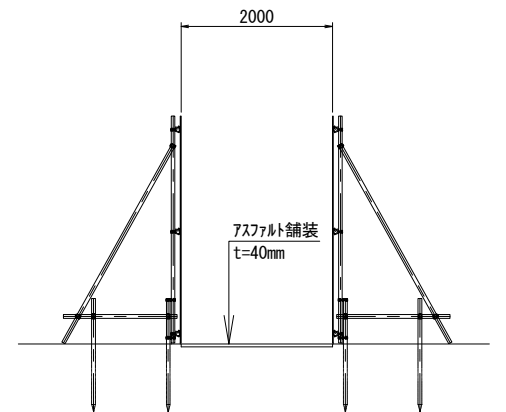
工 事 名	R7 横環南国道1号外歩道橋下部工事		
図 面 名	区画線消去平面図		
縮 尺	図示	図面番号	52 / 59
年 月 日	令和7年12月 日		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

$S=1:100$

残土仮置き



S=1 : 50

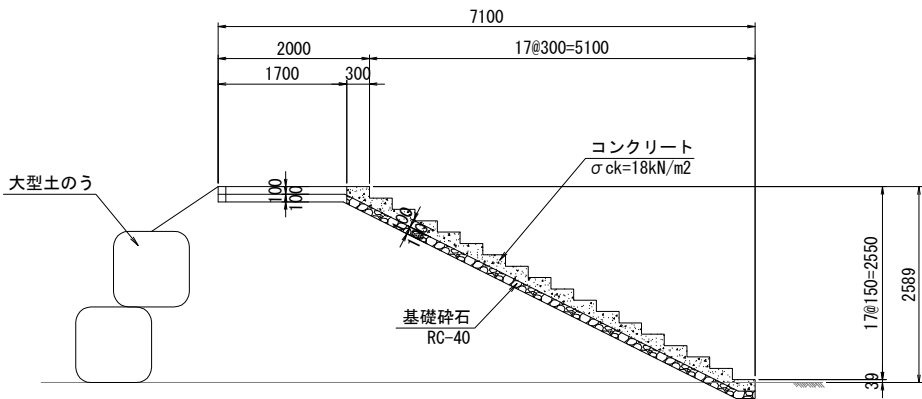


工 事 名	R7横環南国道1号外歩道橋下部工事		
図 面 名	歩道切回し工平面図		
縮 尺	図 示	図面番号	53 / 59
年 月 日	令和7年12月 日		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

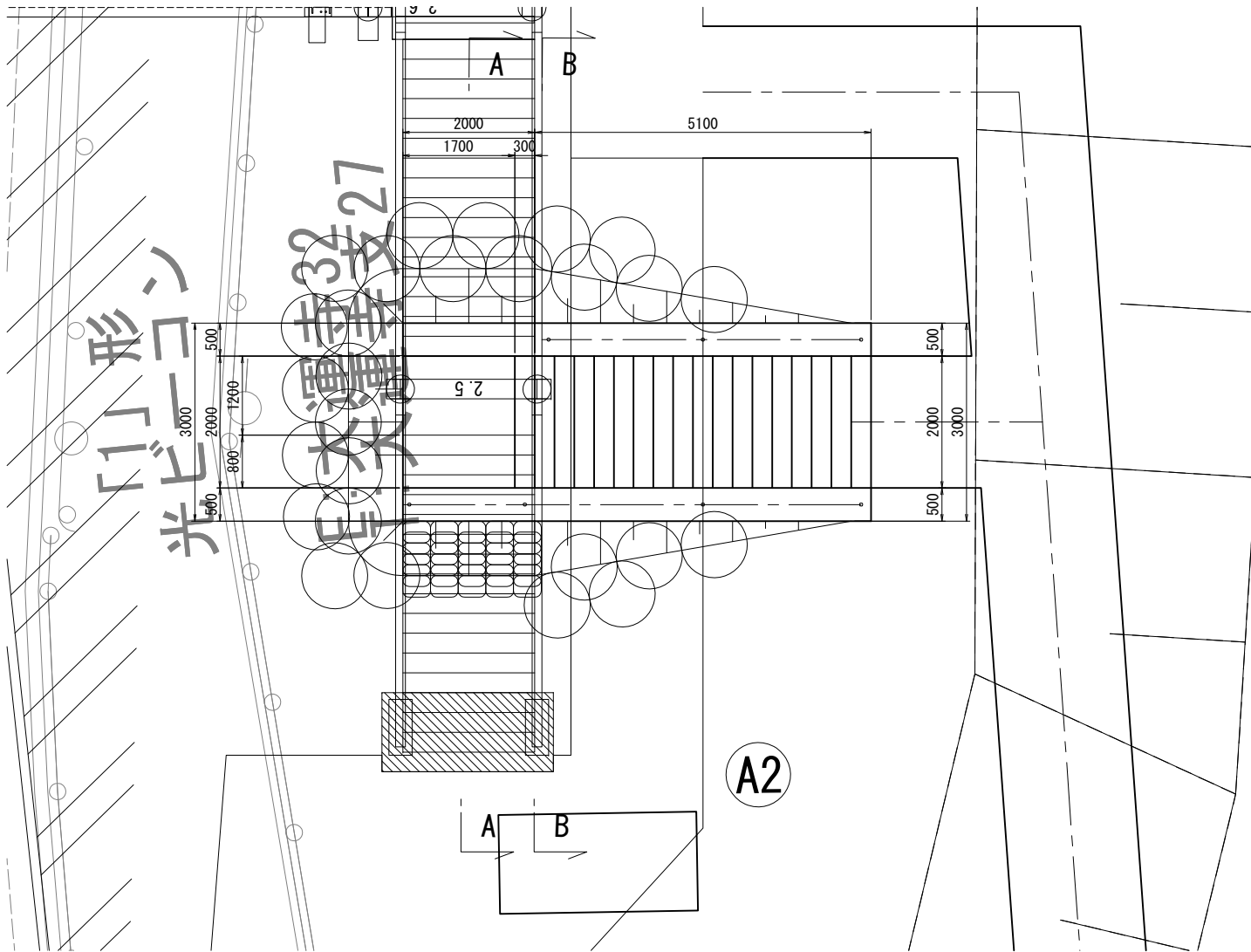
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

階段工一般図 S=1:50

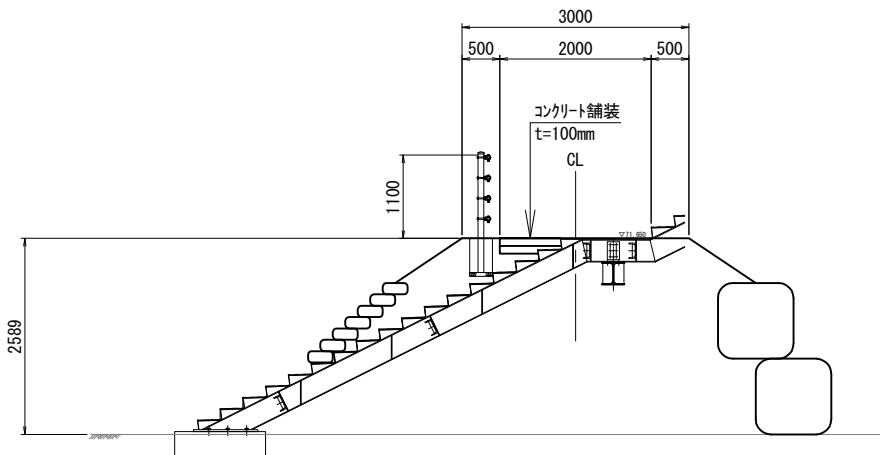
側面図



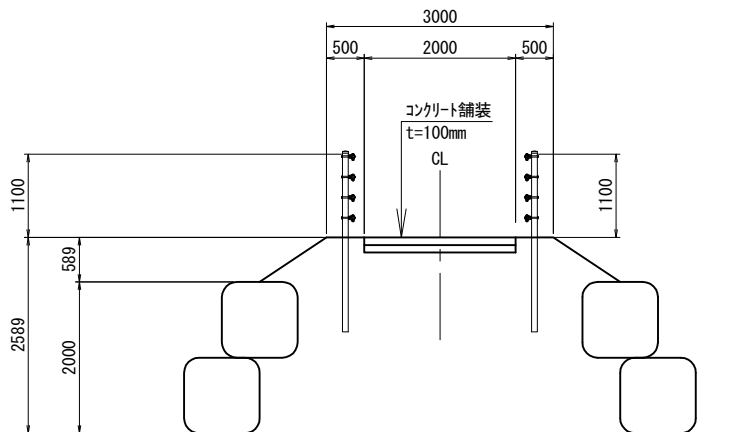
平面図



A-A 断面図



B-B 断面図

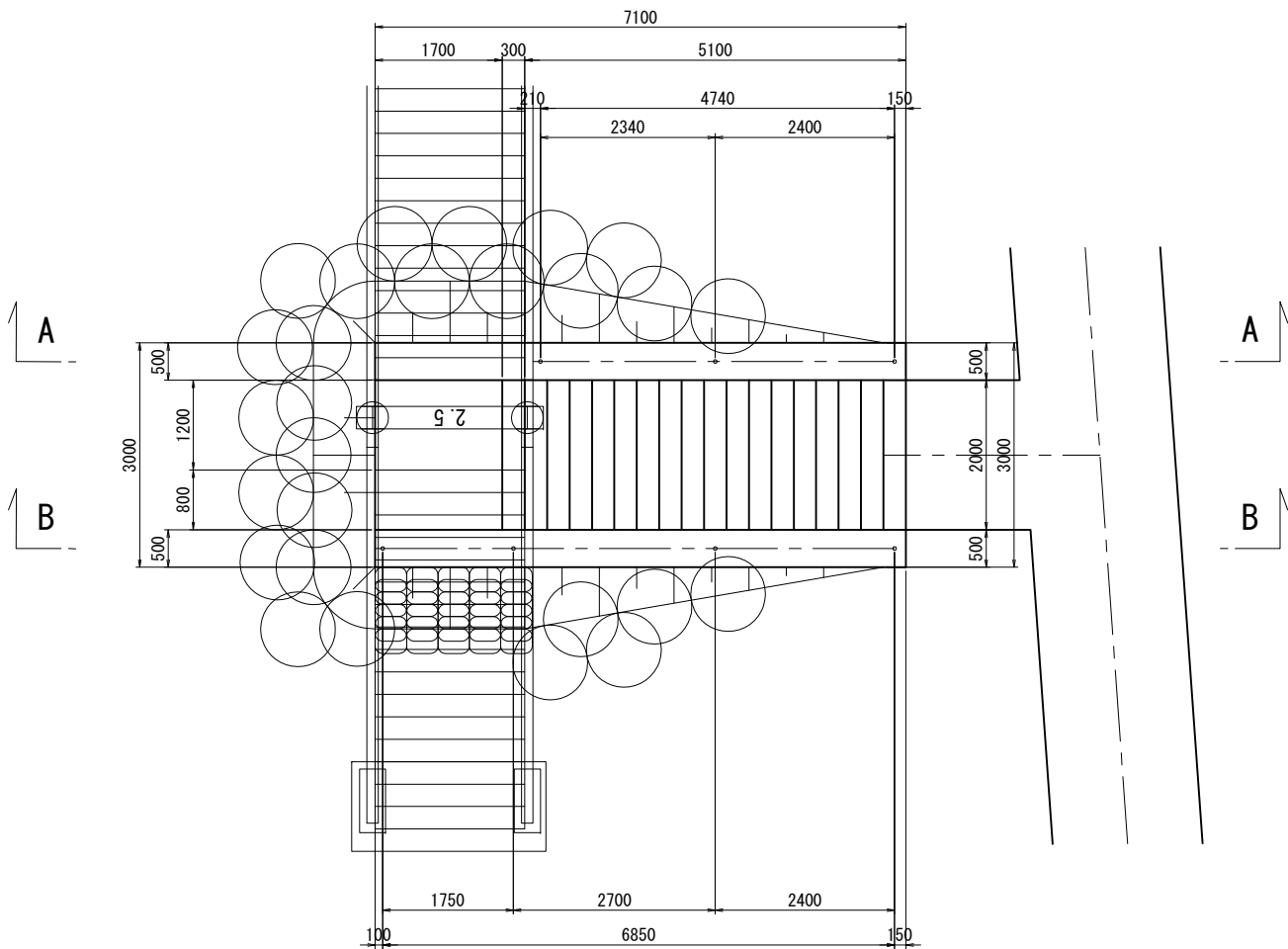


工 事 名	R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事		
図 面 名	階段工一般図		
縮 尺	1:50	図面番号	54 / 59
年 月 日	令和 7 年 12 月 日		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

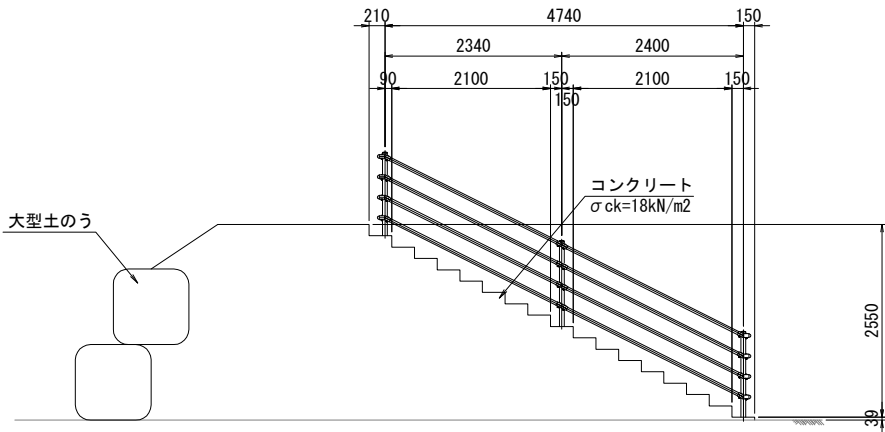
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

階段工詳細図 S=1:50

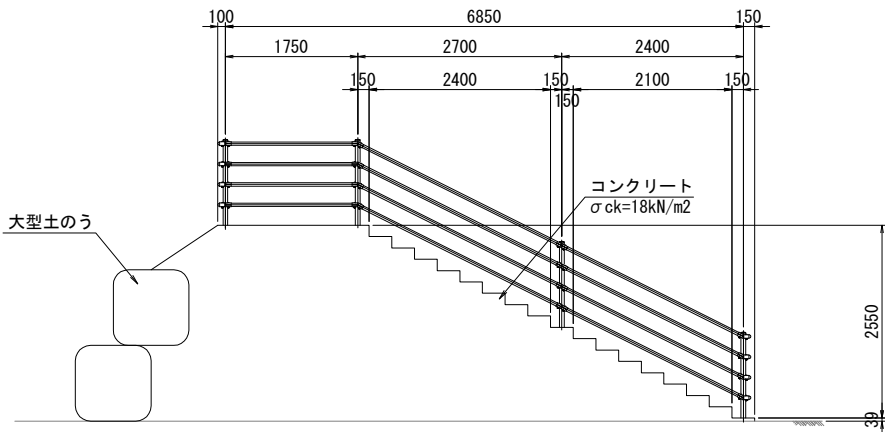
転落防止柵配置平面図



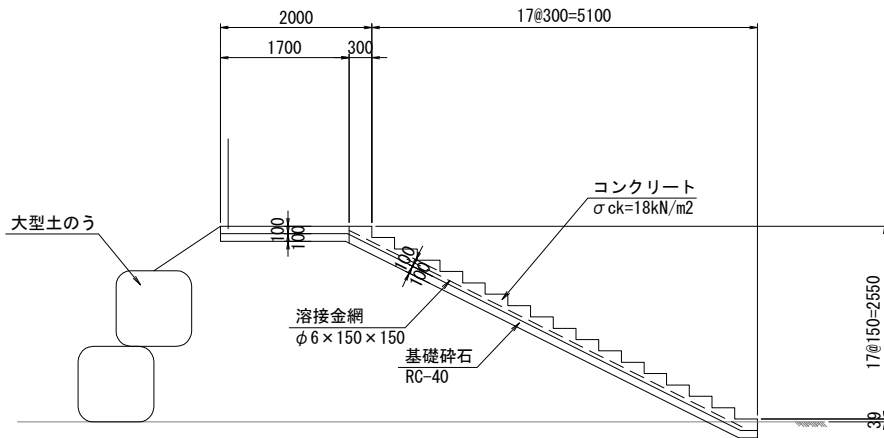
転落防止柵配置断面図



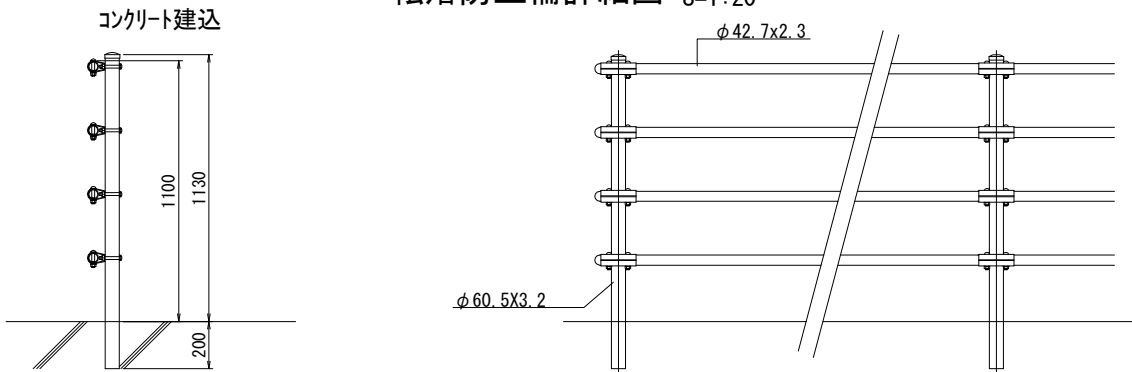
B - B



階段工断面図



転落防止柵詳細図 S=1:20



数量表		(10m当り)		
名称	規格・寸法	単位	数量	摘要
転落(横断)防止柵	H=1100 コンクリート建込	m	10	

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R7横環南国道1号外歩道橋下部工事		
図面名	階段工詳細図		
縮尺	図示	図面番号	55 / 59
年月日	令和7年12月 日		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

舗装構成図 S=1:10

透水性舗装工

表層：開粒度アスコン(13)	t= 40mm
下層路盤：再生クラッシャーラン(RC-40)	t=100mm

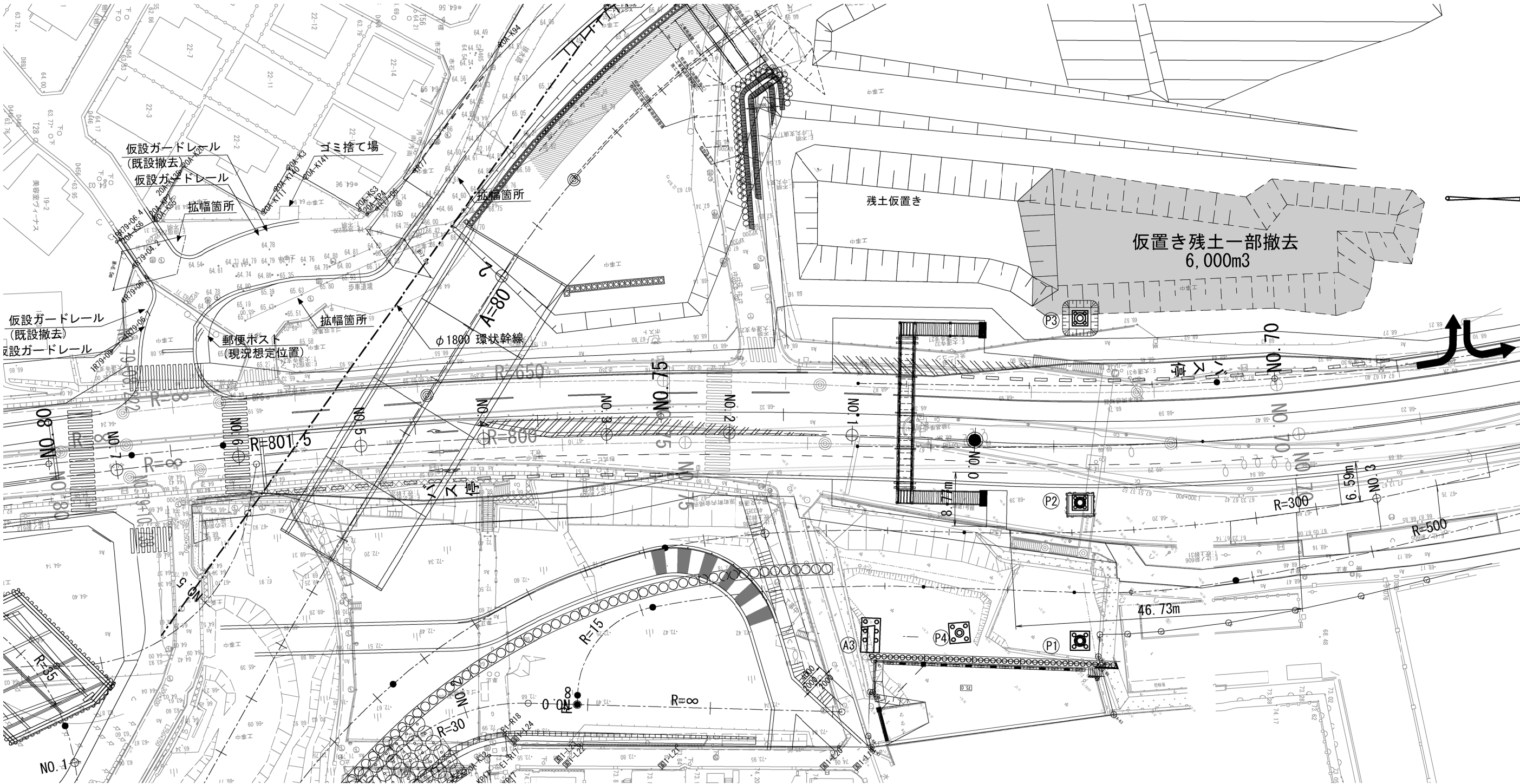
コンクリート舗装工

コンクリート(18-8-25 高炉)	t=100mm
下層路盤：再生クラッシャーラン(RC-40)	t=100mm

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工 事 名	R 7 横浜南国道 1 号外歩道橋下部工事		
図 面 名	舗装構成図		
縮 尺	1:10	図面番号	56 / 59
年 月 日	令和 7 年 1 2 月 日		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

作業ヤード整備計画平面図 S=1:300



注記) ・高床式セミトレーラは、鋼矢板、および鉄筋搬入を想定している。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工 事 名	R7横環南国道1号外歩道橋下部工事		
図 面 名	作業ヤード整備計画平面図		
縮 尺	1:300	図面番号	57 / 59
年 月 日	令和7年12月 日		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

数量総括表(1)

工事区分	工種	種別	細別	規格	単位	数量
橋梁下部	工場製作工	アンカーフレーム製作工	製作加工	SM400A、SM490YB	t	0.98
			アンカーボルト (1)	φ65×1040	組	16
			アンカーボルト (2)	φ60×790	組	32
			アンカーボルト (3)	φ50×930	組	16
	工場製品輸送工	輸送工	輸送	アンカーフレーム	t	2.6
	作業ヤード整備工	作業ヤード整備工	掘削	土砂 オープンカット 押土無 障害無 5,000m3未満	m3	2,900
			積込(ルース)	土砂	m3	3,100
			土砂等運搬(現場~UCR)	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	2,900
			土砂等運搬(ヤード~UCR)	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	3,100
			残土等処分		m3	6,000
	歩道橋本体工	作業土工	床掘り (1)	土砂	式	1
			床掘り (2)	土砂 小規模	式	1
			埋戻し (1)	土砂	式	1
			埋戻し (2)	土砂 小規模	式	1
			基面整正		式	1
		残土処理工	土砂等運搬 (1) (現場~UCR)	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	式	1
			土砂等運搬 (2) (現場~UCR)	土砂(岩塊・玉石混り土含む) 小規模	式	1
			残土等処分		式	1
			UCR基本料		式	1
		既製杭工	既製コンクリート杭 (1)	PHC杭 杭径 600mm 杭長 29m 杭の打込長(掘削長) 30.3m	本	6
			既製コンクリート杭 (2)	PHC杭 杭径 600mm 杭長 27m 杭の打込長(掘削長) 30m	本	4
			既製コンクリート杭 (3)	PHC杭 杭径 600mm 杭長 27m 杭の打込長(掘削長) 30m	本	4
			鋼管杭 (1)	鋼管径(杭径) 500mm 鋼管長さ(杭長) 26.5m	本	4
			鋼管杭 (2)	鋼管径(杭径) 500mm 鋼管長さ(杭長) 28m	本	4
			積込(ルース) (1)	土砂	式	1
			積込(ルース) (2)	土砂 小規模	式	1
			土砂等運搬 (1) (現場~UCR)	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	式	1
			土砂等運搬 (2) (現場~UCR)	土砂(岩塊・玉石混り土含む) 小規模	式	1
			残土等処分		式	1
			殻運搬	コンクリート殻(鉄筋)	m3	1
			殻処分	コンクリート殻(鉄筋)	m3	1
			現場取卸(PHC杭)		t	146.2
			現場取卸(鋼管杭)		t	24.8
		橋脚フーチング工	基礎材	再生クラッシュラン40~0 17.5cmを超え20.0cm以下	m2	34
			均しコンクリート	18-8-25(20)(高炉) 敷厚 10cm	m2	34
			アンカーフレーム架設		基	4
			型枠	一般型枠	式	1
			箱抜型枠	円筒型枠	式	1
			鉄筋 (1)	SD345 D13	t	0.02

工事区分	工種	種別	細別	規格	単位	数量
			鉄筋 (2)	SD345 D16~25	t	2.17
			鉄筋 (3)	SD345 D16~25	t	0.76
			機械式鉄筋定着 (1)	D13 1m<L≤2m	箇所	12
			機械式鉄筋定着 (2)	D22 1m<L≤2m	箇所	148
			コンクリート	24-12-25(20)(高炉) 一般養生 コンクリート夜間割増無	m3	49
		橋台躯体工(構造物単位)	逆T式橋台	5m以上7m未満 50m3以上90m3未満 24-12-25(20)(高炉)	m3	52
			鉄筋 (1)	SD345 D13	t	0.50
			鉄筋 (2)	SD345 D16~25	t	1.32
			機械式鉄筋定着 (1)	D13 1m<L≤2m	箇所	56
			機械式鉄筋定着 (2)	D16 1m<L≤2m	箇所	16
			円筒型枠	φ 150	式	1
		橋台躯体工	基礎材	再生クラッシュラン40~0 17.5cmを超え20.0cm以下	m2	11
			均しコンクリート	18-8-25(20)(高炉) 敷厚 10cm	m2	11
			コンクリート	24-12-25(20)(高炉) 一般養生 コンクリート夜間割増無	m3	9
			鉄筋 (1)	SD345 D13	t	0.02
			鉄筋 (2)	SD345 D16~25	t	0.49
			機械式鉄筋定着	D13 1m<L≤2m	箇所	16
			型枠	一般型枠	式	1
			円筒型枠	φ 125 L=320mm	式	1
	橋台工	作業土工	床掘り (1)	土砂 小規模	式	1
			床掘り (2)	土砂	式	1
			埋戻し		式	1
			積込(ルース)	土砂 土量50,000m3未満	式	1
			土砂等運搬 (1) (現場~UCR)	土砂(岩塊・玉石混り土含む) 小規模	式	1
			土砂等運搬 (2) (現場~UCR)	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	式	1
			残土等処分		式	1

工 事 名	R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事		
図 面 名	数量総括表 (1)		
縮 尺	-	図面番号	58 / 59
年 月 日	令和 7 年 1 2 月 日		
設計会社名	-		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

数量総括表(2)

工事区分	工種	種別	細別	規格	単位	数量
		場所打杭工	場所打杭(1)	杭径 1200mm 杭長(設計長) 35.5m	本	2
			場所打杭(2)	杭径 1200mm 杭長(設計長) 26.5m	本	4
			積込(ルース)	土砂	式	1
			土砂等運搬(現場`UCR)	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	式	1
			残土等処分		式	1
			殻運搬	コンクリート殻(無筋)	m3	7
			殻処分	コンクリート殻(無筋)	m3	7
		橋台躯体工	基礎材	再生クラッシュラン40〜0 17.5cmを超え20.0cm以下	m2	39
			均しコンクリート	18-8-25(20)(高炉) 敷厚 10cm	m2	39
			コンクリート	24-12-25(20)(高炉) 一般養生 コンクリート夜間割増無	m3	172
			鉄筋(1)	SD345 D13	t	1.08
			鉄筋(2)	SD345 D16〜25	t	7.17
			鉄筋(3)	SD345 D29〜32	t	5.16
			鉄筋(4)	SD345 D35	t	1.88
			機械式鉄筋定着(1)	D13 1m<L≤2m	箇所	67
			機械式鉄筋定着(2)	D16 1m<L≤2m	箇所	12
			機械式鉄筋定着(3)	D16 2m<L≤3m	箇所	20
			機械式鉄筋定着(4)	D22 1m<L≤2m	箇所	40
			型枠	一般型枠	式	1
			円筒型枠	φ150 L=520.560mm	式	1
			支保(1)	f≤40kN/m2[t≤120cm]	式	1
			支保(2)	40kN/m2<f≤80kN/m2[120<t≤250cm]	式	1
			足場	安全ネット必要	式	1
	区画線工	区画線工【夜間】	熔融式区画線(1)	熔融式手動 実線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m	280
			熔融式区画線(2)	熔融式手動 破線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m	59
			区画線消去	削取り式	m	627
	歩道切回し工	路体盛土工	路体(築堤)盛土	2.5m以上4.0m未満	式	1
		透水性舗装工	下層路盤(歩道部)	再生クラッシュラン RC-40 仕上り厚 100mm	m2	121
			表層	開粒度アスコン 13 1.4m以上2.4m未満 舗装厚 40mm	m2	121
		コンクリート舗装工	下層路盤(歩道部)	再生クラッシュラン RC-40 仕上り厚 100mm	m2	3
			コンクリート舗装	18-8-25(20)(高炉) 舗装厚 100mm	m2	3
		階段工	コンクリート	18-8-25(20)(高炉)	m3	2
			型枠	一般型枠	式	1
			基礎材	再生クラッシュラン40〜0 敷厚 0.1m	m2	12
			転落(横断)防止柵	柵高 1.1m コンクリート建込	m	12
		土のう工	土のう(1)		式	1
			土のう(2)	大型土のう	式	1
		防護施設工	仮囲い	設置 丸パイプ土中打込式 高さ3m	式	1
	仮設工	土留・仮締切工	鋼矢板(1)P1	III型 平均鋼矢板長さ7m 鋼矢板打込長 6.5m 平均鋼矢板引抜長 0m	式	1

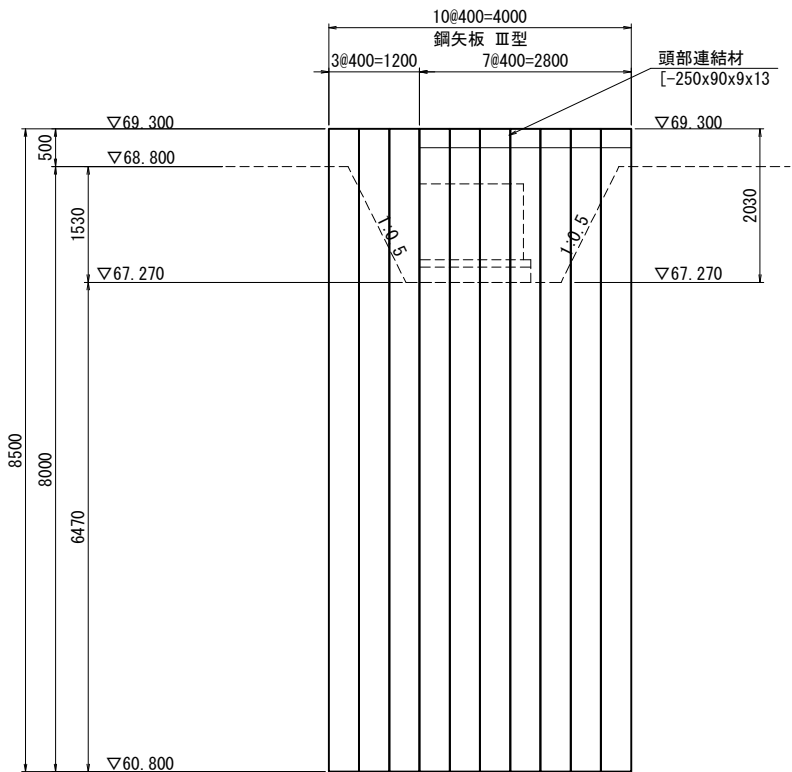
工事区分	工種	種別	細別	規格	単位	数量
			鋼矢板(2)P2	III型 平均鋼矢板長さ 6.5m 鋼矢板打込長 6m 平均鋼矢板引抜長 0m	式	1
			鋼矢板(3)P4	III型 平均鋼矢板長さ 7m 鋼矢板打込長 6.5m 平均鋼矢板引抜長 0m	式	1
			鋼矢板(4)A2	III型 平均鋼矢板長さ 8.5m 鋼矢板打込長 8m 平均鋼矢板引抜長 0m	式	1
			鋼矢板(5)A3	III型 平均鋼矢板長さ 9m 鋼矢板打込長 8.5m 平均鋼矢板引抜長 8.5m	式	1
			鋼矢板(6)E7αβ	III型 平均鋼矢板長さ 8.5m 鋼矢板打込長 8m 平均鋼矢板引抜長 0m	式	1
			切梁・腹起し(1)P1		式	1
			切梁・腹起し(2)P2		式	1
			切梁・腹起し(3)P4		式	1
		交通管理工	交通誘導警備員(1)	A	式	1
			交通誘導警備員(2)	B	式	1
			交通誘導警備員(3)【夜間】	A	式	1
			交通誘導警備員(4)【夜間】	A	式	1
		引継ぎ賃料	引継賃料		式	1

工 事 名	R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事		
図 面 名	数量総括表(2)		
縮 尺	-	図面番号	59 / 59
年 月 日	令和 7 年 1 2 月 日		
設計会社名	-		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

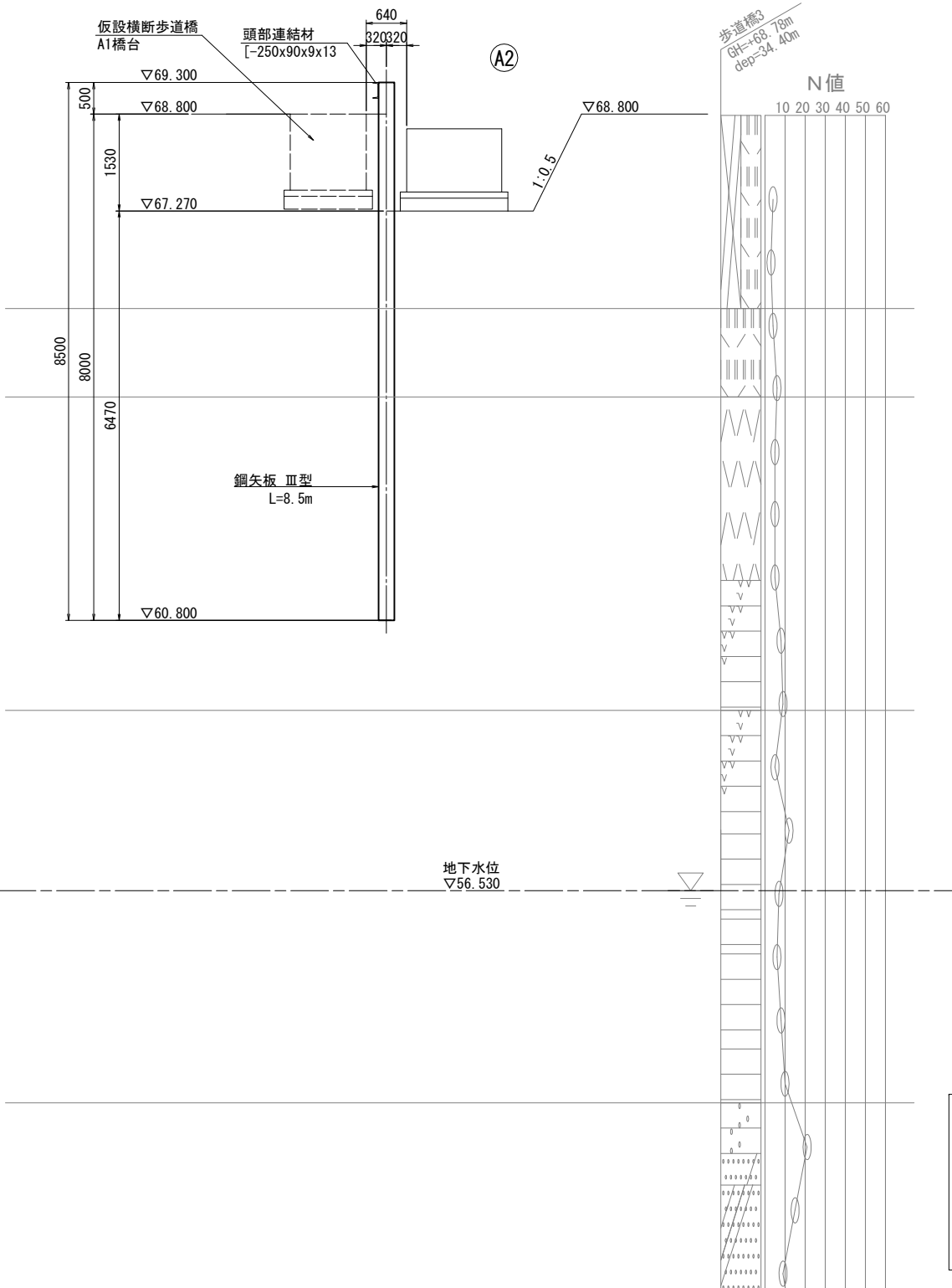
国道1号歩道橋A2橋台仮設土留め工図 S=1:50

参考図 - 1

展開図
A - A



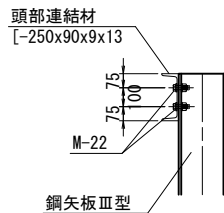
側面図
B - B



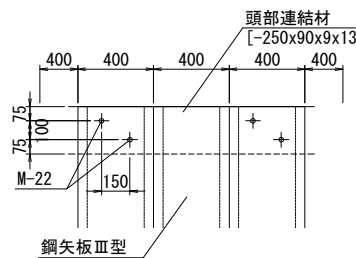
頭部連結材詳細図

S=1:20

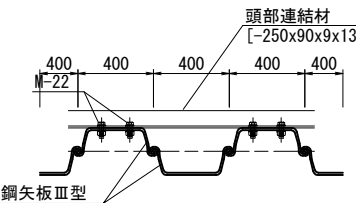
断面図



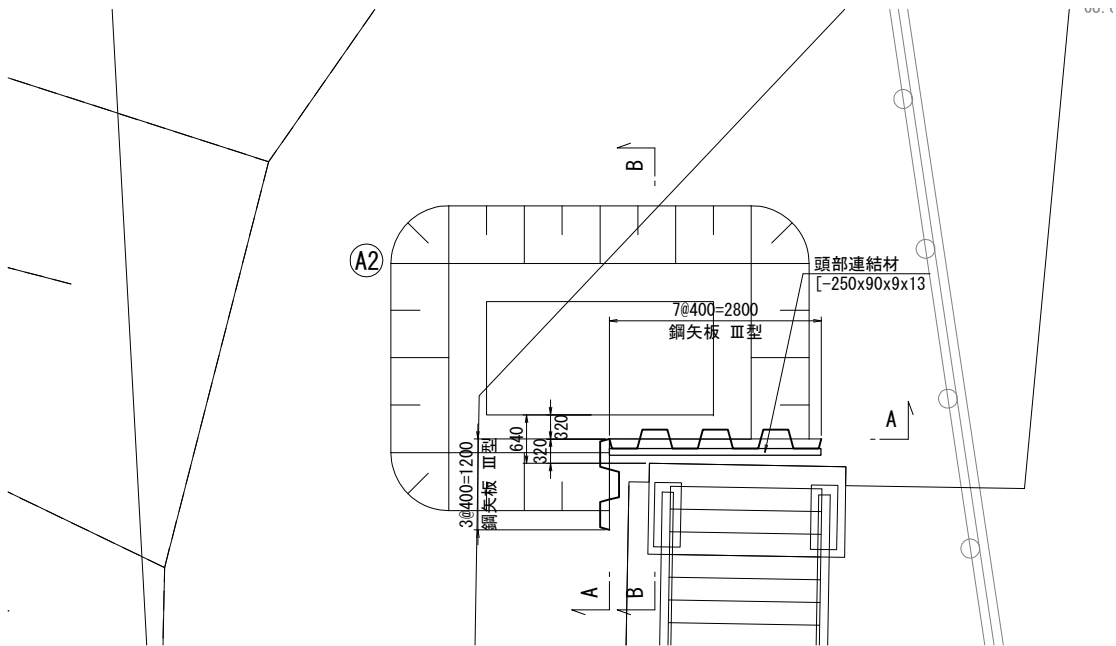
側面図



平面図



平面図



数量表

名称	断面	長さ (mm)	単位重量 (kg/m)	数量 (本, 枚)	一本当たり質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
鋼矢板	Ⅲ型	8500	60.0	10	510.0	5100	残置
継手箇所数	0	箇所			鋼矢板合計	5100	kg
頭部連結材	[-250x90x9x13]	2800	34.6	1	96.9	97	
副部材B	97	0.04			合計	4	kg
						101	kg

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

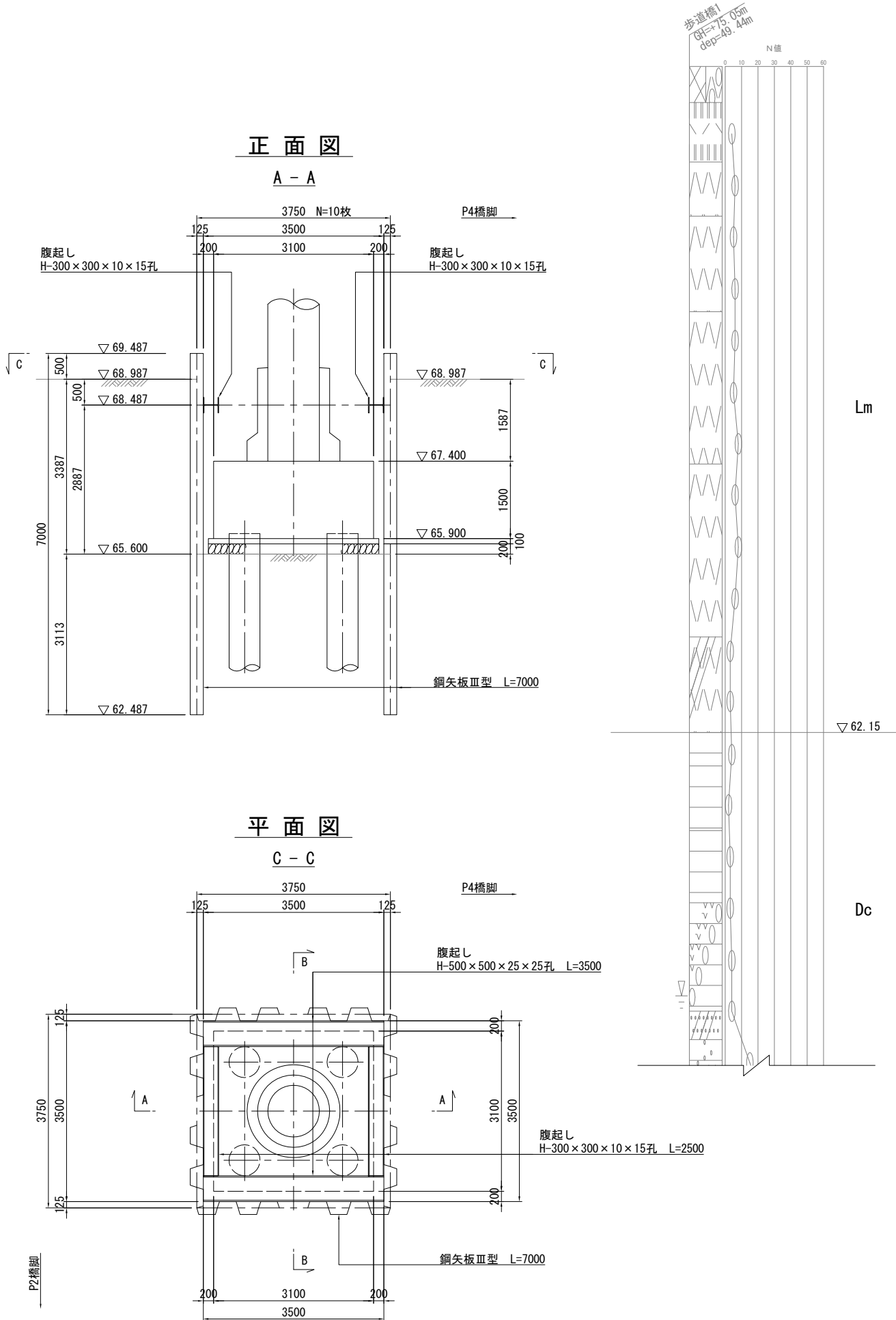
この「参考図」は、入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。
従って、「参考図」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。
なお、この「参考図」の有効期限は、この工事の入札日までとする。

工事名	R7横環南国道1号外歩道橋下部工事		
図面名	国道1号歩道橋A2橋台仮設土留め工図		
縮尺	1:50	図面番号	参考図 - 1
年月日	令和7年12月 日		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

国道1号歩道橋P1橋脚仮設土留工計画図

S=1:50

参考図 - 3



材料表

部材	規格	長さ (m)	員数	単位質量 (kg/m)	質量 (kg)	摘要	
鋼矢板	Ⅲ型	7. 000	40	60. 0	16800	リース材	
	合計					16800	
腹起し	H-500×500×25×25孔	3. 500	2	300. 0	2100	SS400リース 加工製品	
	H-300×300×10×15孔	2. 500	2	100. 0	500	SS400リース 加工製品	
	合計					2600	
	鋼矢板打抜集計表 (パイプロ工法)						
種別	規格	打設長 (m)	員数	打設延長 (m)	加重平均 N値	最大地盤 N値	摘要
鋼矢板 打込長	Ⅲ型	6. 50	40	260. 0	5. 2	7. 5	
	合計					260. 0	
鋼矢板 引抜長	Ⅲ型	6. 50	40	260. 0	5. 2	7. 5	
	合計					260. 0	

この「参考図」は、入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。
従って、「参考図」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。
なお、この「参考図」の有効期限は、この工事の入札日までとする。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工 事 名	R7 横浜南国道1号外歩道橋下部工事		
図 面 名	国道1号歩道橋P1橋脚 仮設土留工計画図		
縮 尺	1:50	図面番号	参考図 -3
年 月 日	令和 7 年 12 月 日		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

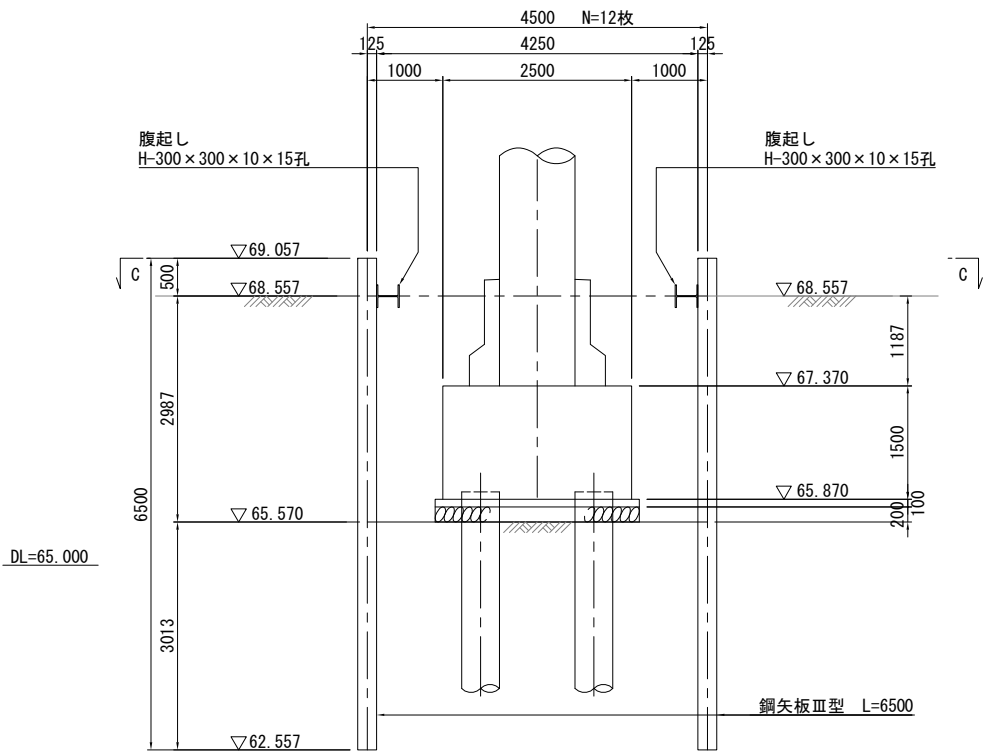
国道1号歩道橋P2橋脚仮設土留工計画図

S=1:50

参考図 - 4

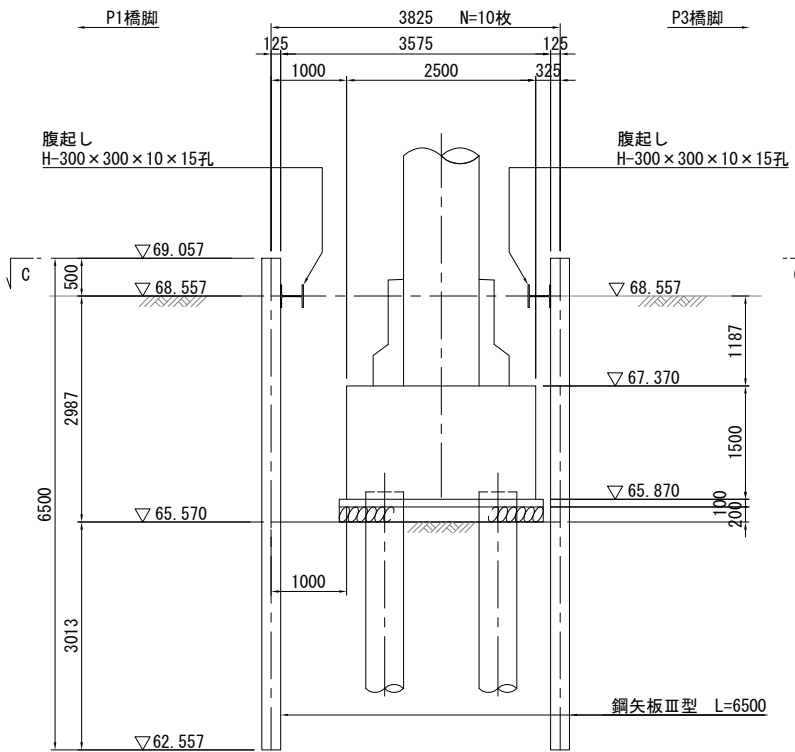
正面図

A - A



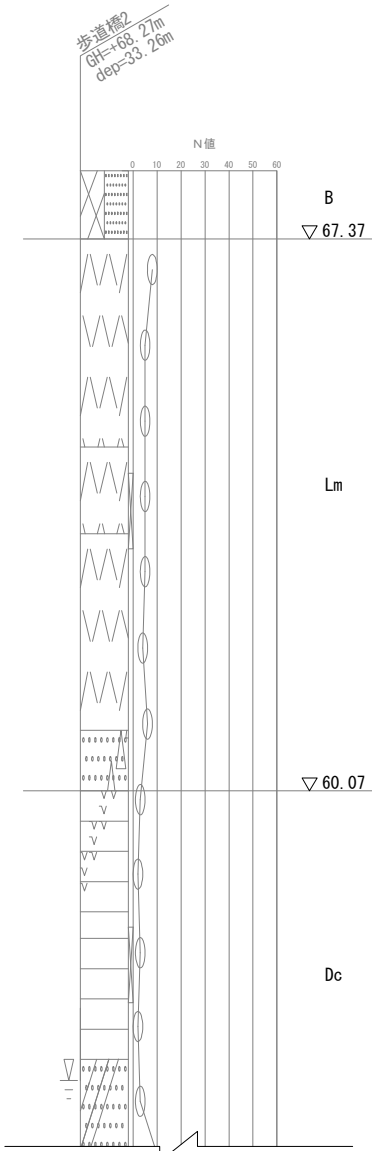
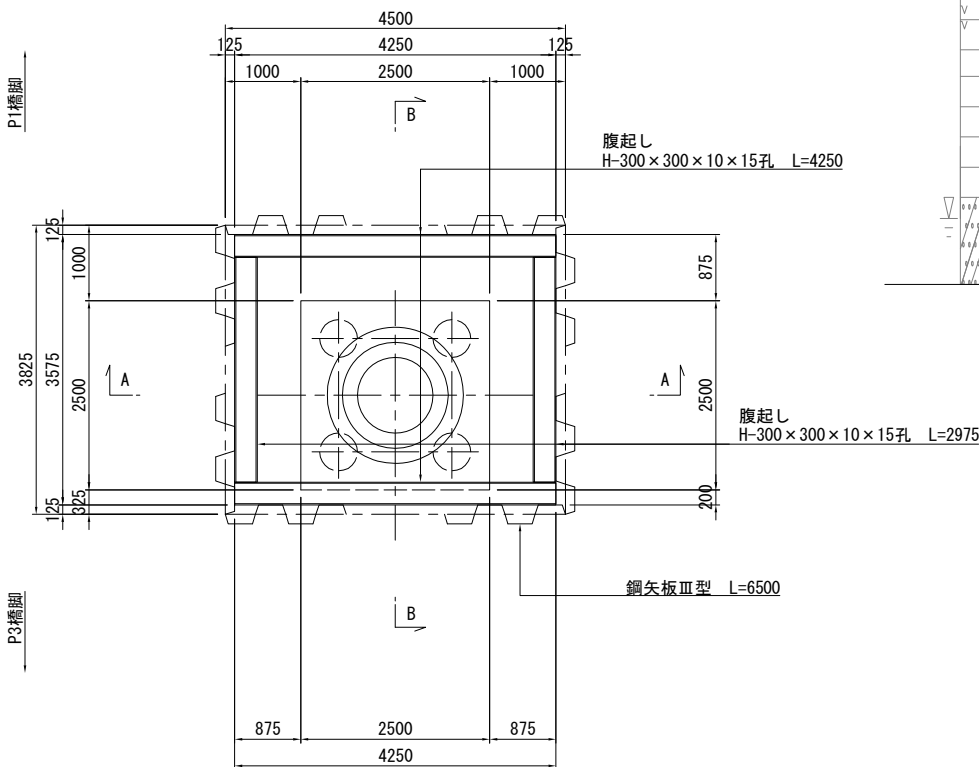
側面図

B - B



平面図

C - C



材料表

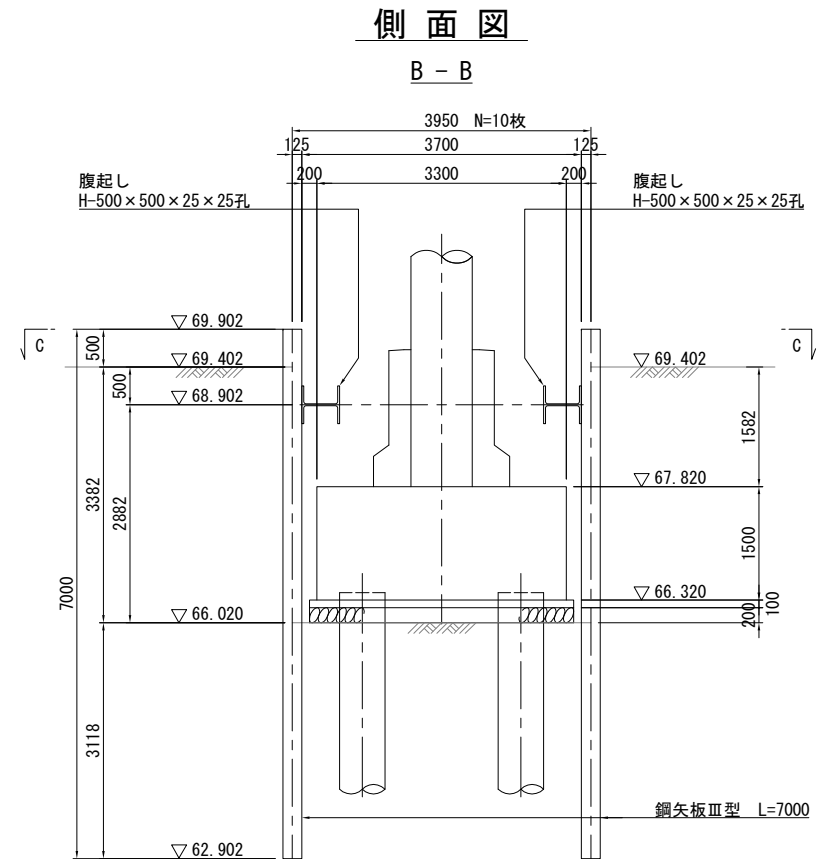
部材	規格	長さ (m)	員数	単位質量 (kg/m)	質量 (kg)	摘要	
鋼矢板	Ⅲ型	6.500	44	60.0	17160	リース材	
	合計					17160	
腹起し	H-300×300×10×15孔	4.250	2	100.0	850	SS400リース 加工製品	
	H-300×300×10×15孔	2.975	2	100.0	595	SS400リース 加工製品	
	合計					1445	
	鋼矢板打抜き集計表(パイプロ工法)						
種別	規格	打設長 (m)	員数	打設延長 (m)	加重平均 N値	最大地盤 N値	摘要
鋼矢板 打込長	Ⅲ型	6.00	44	264.0	5.4	7.7	
	合計				264.0		
鋼矢板 引抜き長	Ⅲ型	6.00	44	264.0	5.4	7.7	
	合計				264.0		

この「参考図」は、入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。
従って、「参考図」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。
なお、この「参考図」の有効期限は、この工事の入札日までとする。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R7横環南国道1号外歩道橋下部工事		
図面名	国道1号歩道橋P2橋脚 仮設土留工計画図		
縮尺	1:50	図面番号	参考図-4
年月日	令和7年12月 日		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

参考図 - 5



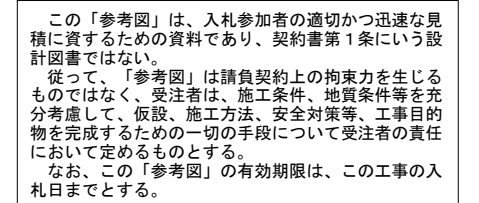
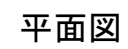
部材	規格	長さ (m)	員数	単位質量 (kg/m)	質量 (kg)	摘要	
鋼矢板	Ⅲ型	7.000	40	60.0	16800	リース材	
	合計					16800	
腹起し	H-500×500×25×25孔	3.700	2	300.0	2220	SS400リース 加工製品	
	H-300×300×10×15孔	2.700	2	100.0	540	SS400リース 加工製品	
	合計					2760	
鋼矢板打抜き集計表(パイプ工法)							
種別	規格	打設長 (m)	員数	打設延長 (m)	加重平均 N値	最大地盤 N値	摘要
鋼矢板 打込長	Ⅲ型	6.50	40	260.0	5.6	7.5	
		合計				260.0	
鋼矢板 引拔長	Ⅲ型	6.50	40	260.0	5.6	7.5	
		合計				260.0	

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工 事 名	R7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事		
図 面 名	国道1号歩道橋P4橋脚 仮設土留工計画図		
縮 尺	1:50	図面番号	参考図 -5
年 月 日	令和 7 年 12 月 日		
設計社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

S=1 : 300

側面図



工 事 名	R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事		
図 面 名	国道1号歩道橋施工計画図(1)		
縮 尺	1:300	図面番号	参考図 -6
年 月 日	令和 7 年 1 2 月 日		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

国道1号歩道橋施工計画図(2)

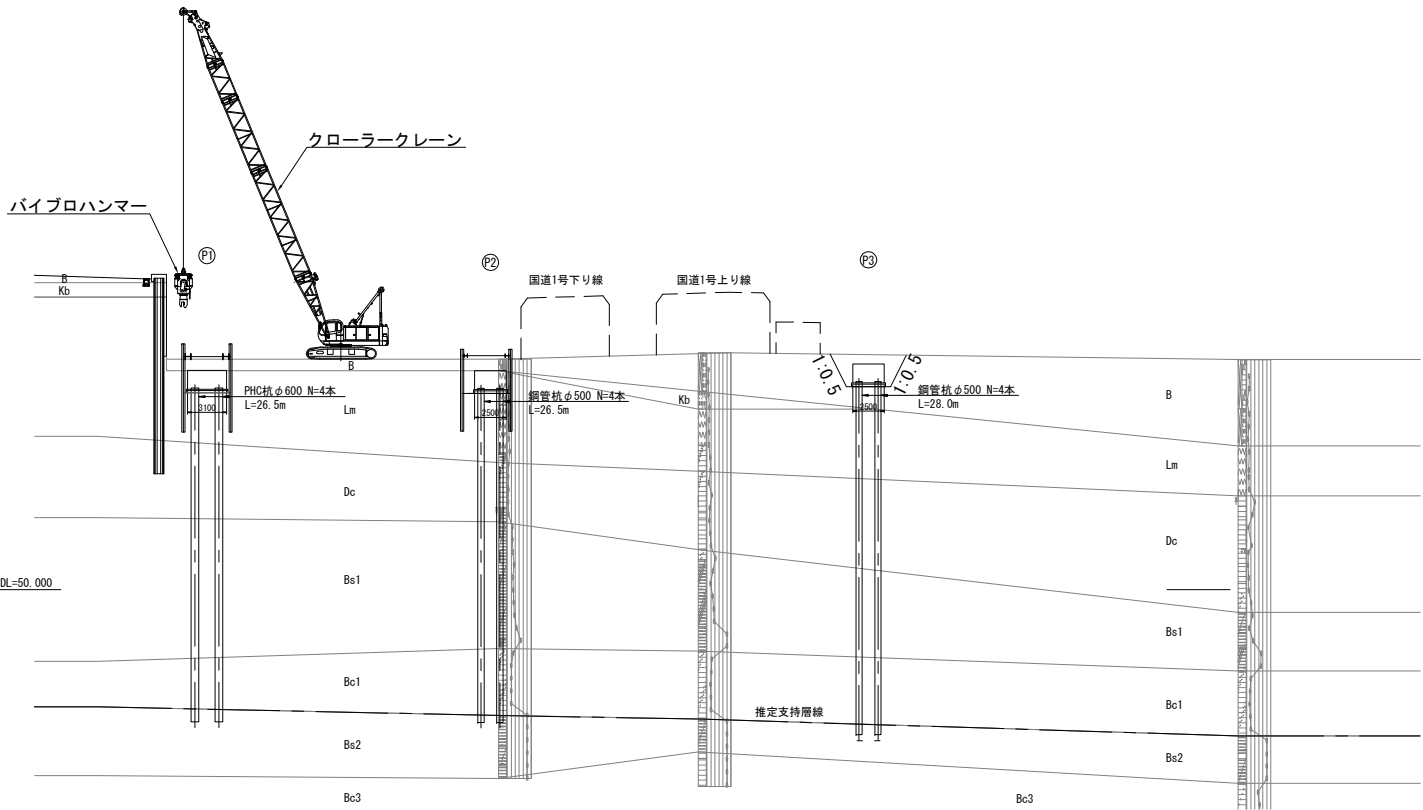
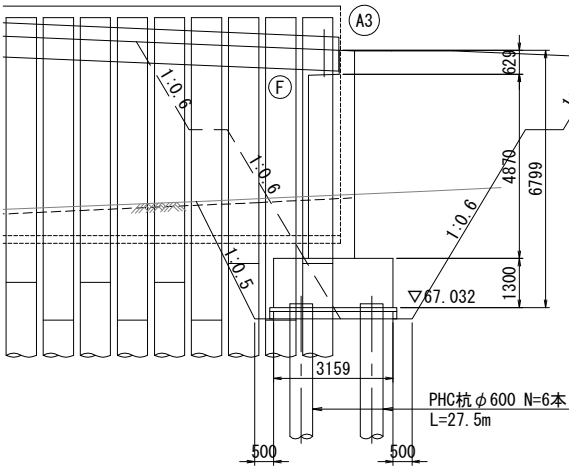
S=1:300

参考図 - 7

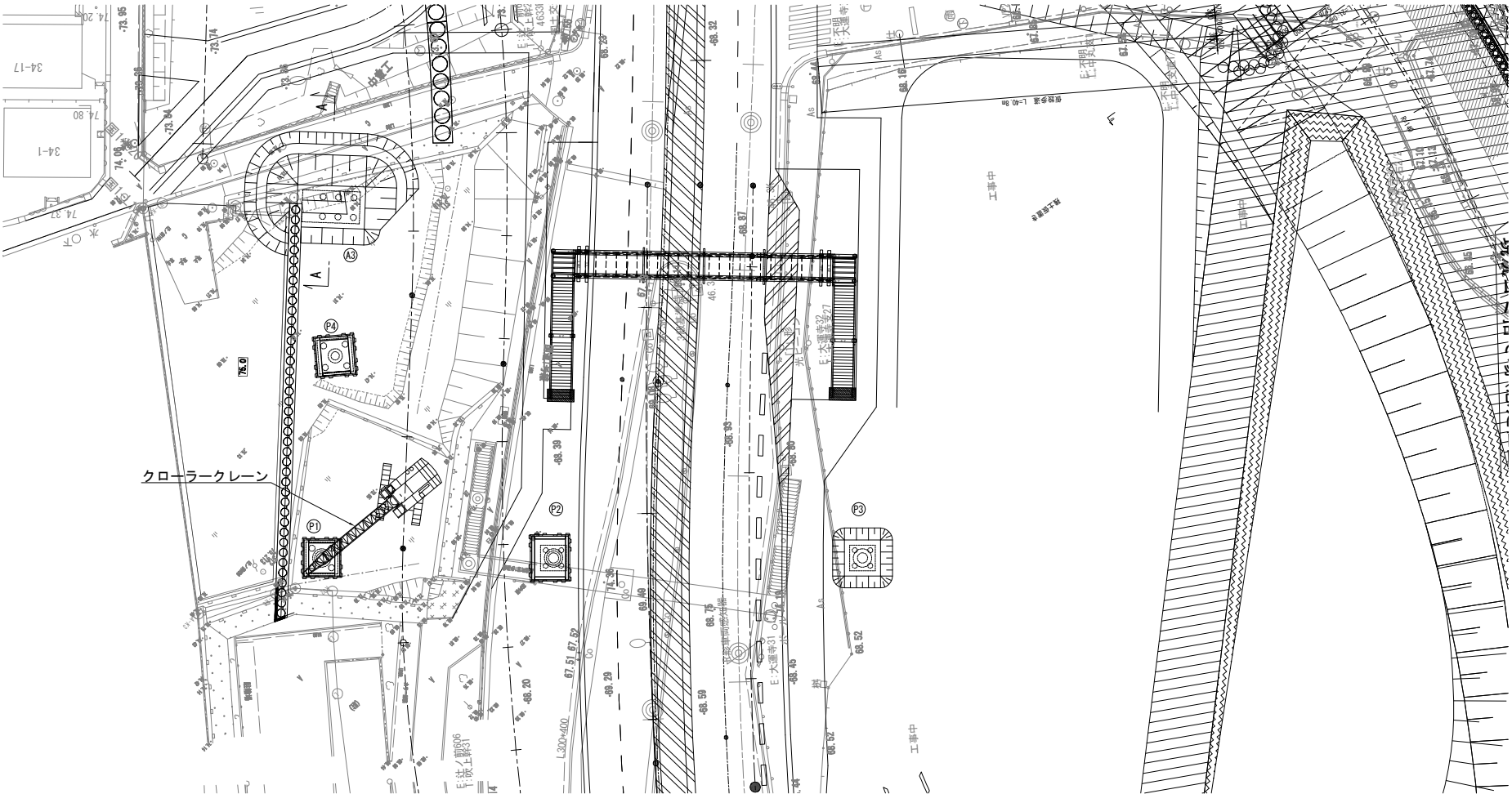
側面図

A3橋台側面図 S=1:100

A - A



平面図



この「参考図」は、入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。
従って、「参考図」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。
なお、この「参考図」の有効期限は、この工事の入札日までとする。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

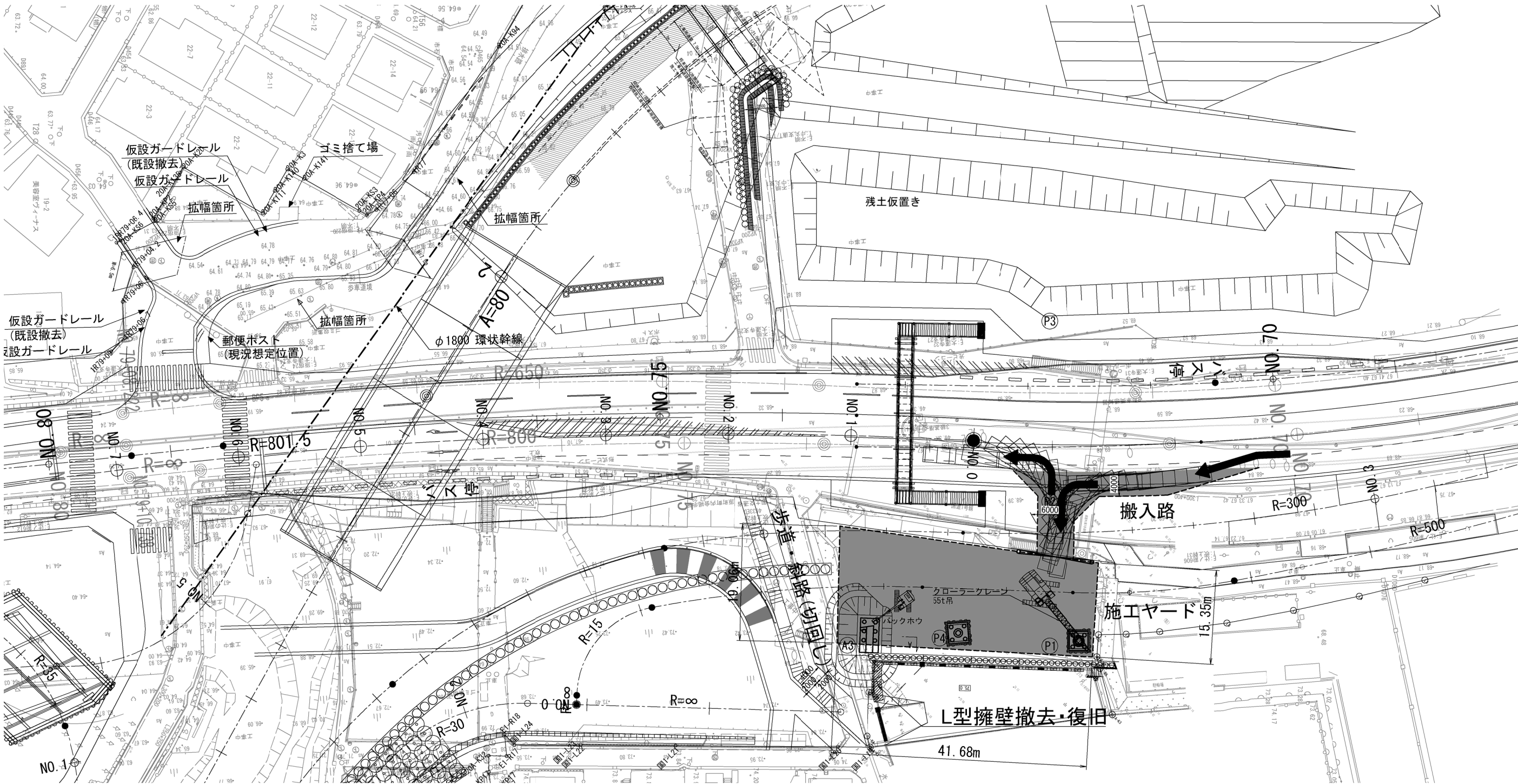
工 事 名	R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事		
図 面 名	国道1号歩道橋施工計画図(2)		
縮 尺	図示	図面番号	参考図 -7
年 月 日	令和 7 年 12 月 日		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

国道1号歩道橋施工計画平面図(2)

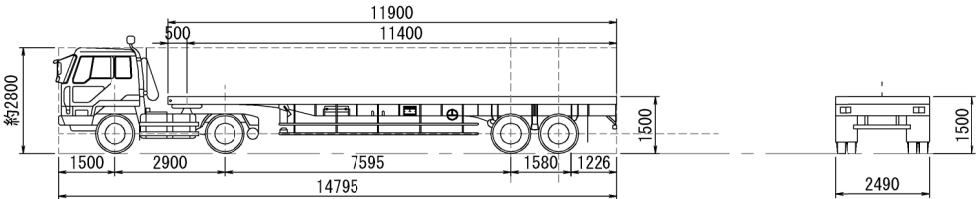
S=1:300

参考図 - 9

A3、P4、P1床掘工



軌跡対象車両：高床式セミトレーラ (18t積)
最小回転半径：12m



注記) ・PC壁体前面の床掘工によるPC壁体への影響を考慮して、PC壁体背面まで床掘りする計画とした。
よって、A3橋台床掘工前に、L型擁壁を一時撤去すること。
・高床式セミトレーラは、鋼矢板、および鉄筋搬入を想定している。

この「参考図」は、入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。
従って、「参考図」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。
なお、この「参考図」の有効期限は、この工事の入札日までとする。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工 事 名	R7横環南国道1号外歩道橋下部工事		
図 面 名	国道1号歩道橋 施工計画平面図(2)		
縮 尺	1:300	図面番号	参考図 - 9
年 月 日	令和 7 年 12 月 日		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

参考図 - 10

注記) ・国道1号上り線側施工ヤード内に仮置きしている残土は、P3橋脚施工前に一部撤去すること。
・高床式セミトレーラは、基礎杭搬入を想定している。

工 事 名	R7横環南国道1号外歩道橋下部工事		
図 面 名	国道1号歩道橋 施工計画平面図(3)		
縮 尺	1:300	図面番号	参考図-10
年 月 日	令和 7 年 1 2 月 日		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

参考図 - 11

工 事 名	R7横環南国道1号外歩道橋下部工事		
図 面 名	国道1号歩道橋 施工計画平面図(4)		
縮 尺	1:300	図面番号	参考図 -11
年 月 日	令和 7 年 1 2 月 日		
設計社社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

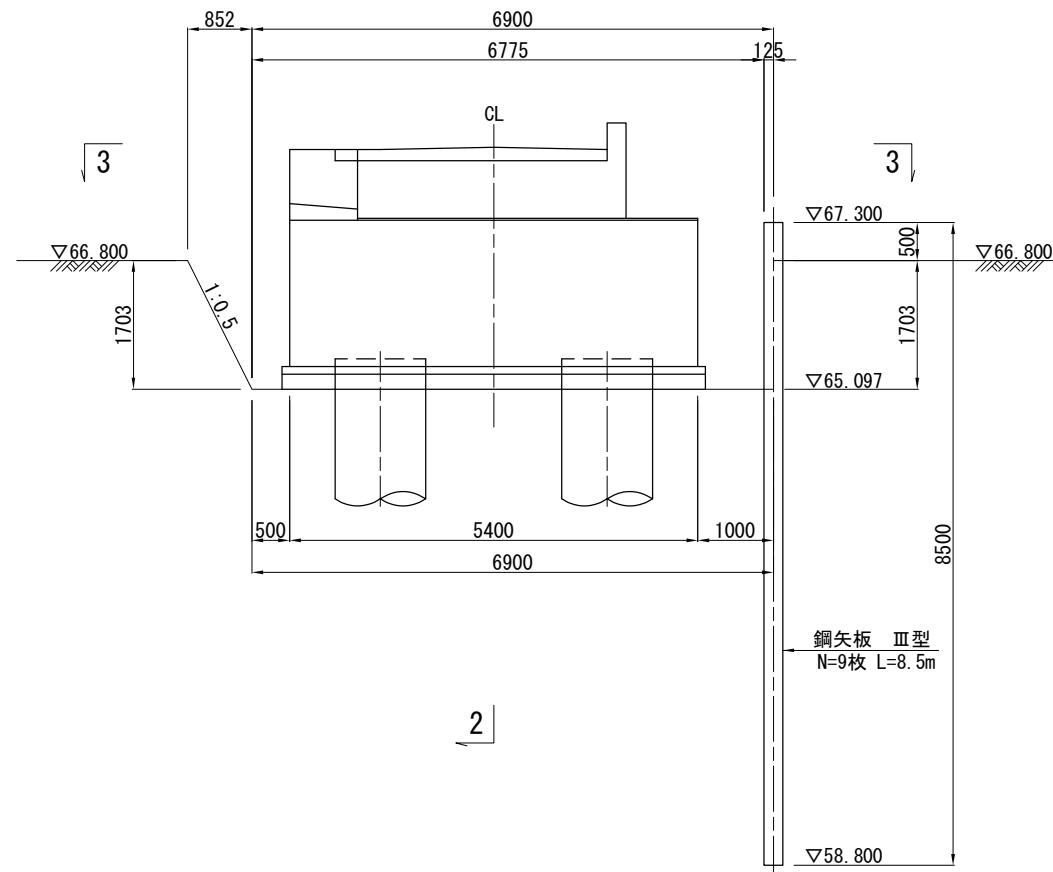
Eランプ1号歩道橋A1橋台仮設土留工図

S=1 : 50

参考図 - 12

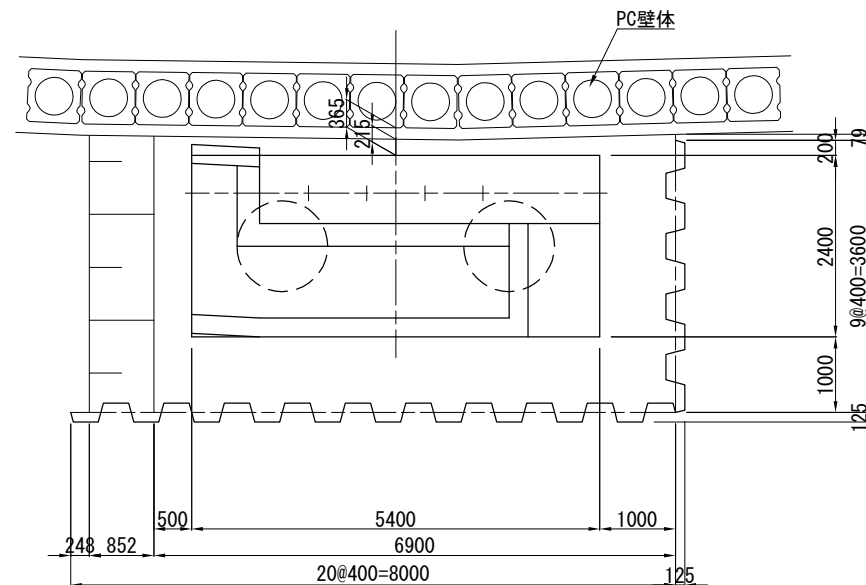
正面図

1 - 1

2

平面图

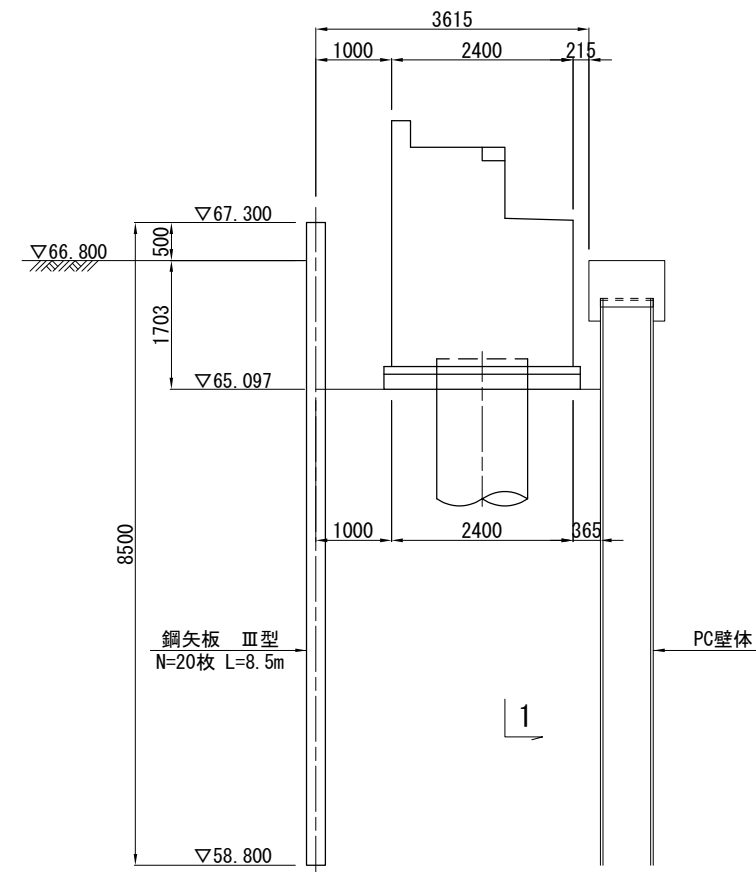
3 - 3



断面図

2 - 2

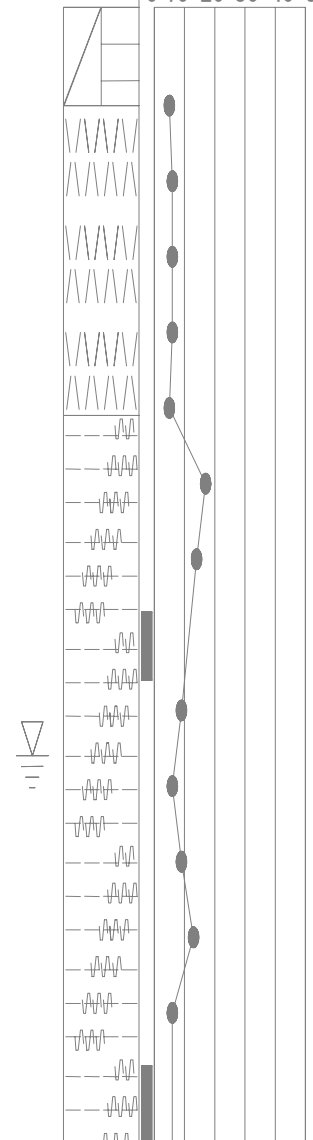
1



H13-No. 11
TP+67.68m
Dep.=63.11m

N 值

0 10 20 30 40 50



数量表

名 称	断 面	長 さ (mm)	単位重量 (kg/m)	数 量 (本、枚)	一本あたり質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
鋼矢板	Ⅲ型	8500	60.0	29	510.0	14790	
	継手箇所数	0	箇所		鋼矢板合計	14790	kg

この「参考図」は、入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。

従って、「参考図」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

なお、この「参考図」の有効期限は、この工事の入札日までとする。

従って、「参考図」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

なお、この「参考図」の有効期限は、この工事の入札日までとする。

工 事 名	R 7 横環南国道 1 号外歩道橋下部工事		
図 面 名	Eランプ①号歩道橋 A1橋台仮設土留工図		
縮 尺	1:50	図面番号	参考図 -12
年 月 日	令和 7 年 1 2 月 日		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 横浜国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

